

授業計画 2007

経済学部

授 業 計 画

目 次

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・
現代応用経済学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	31
3	外国語科目	155
4	保健体育科目	327
II	専門教育科目	407
III	他学部履修科目	653
IV	「日本語」・「日本事情」科目	681

経済学科フレックスB

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	713
2	教養教育科目	723
3	外国語科目	761
4	保健体育科目	785
II	専門教育科目	813
III	他学部履修科目	923

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
	全学共通科目	専門教育 他学部履修科目
	全学共通科目	「日本語」 「日本事情」
	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
経済学科フレックスB	全学共通科目	専門教育 他学部履修科目
	全学共通科目	他学部履修科目

経 済 学 科

経済学科フレックスA

商 学 科

現代応用経済学科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経1必	通年	4	石井修道	11
仏教と人間	経1必	通年	4	古山健一	11
仏教と人間	経1必	通年	4	飯塚大展	12
仏教と人間	経1必	通年	4	片山一良	12
仏教と人間	商1必	通年	4	飯塚大展	13
仏教と人間	商1必	通年	4	永井政之	13
仏教と人間	商1必	通年	4	程正	14
仏教と人間	現1必	通年	4	程正	14
仏教と人間	現1必	通年	4	金沢篤	15
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	吉津宜英	16
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	下室覚道	17
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	松田陽志	17
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	晴山俊英	18
自然と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選 経A選	通年	4	小川順敬	19
社会と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選 経A選	通年	4	矢野秀武	19
文化と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選 経A選	通年	4	佐藤憲昭	20
坐禅	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選 経A選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	21

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	経1必				
担当者名	いしい しゅうどう 石井 修道				

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。

履修上の留意点

「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

レポート(夏休み後に提出)20点と学期末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)273円

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	経1必				
担当者名	ふるやま けんいち 古山 健一				

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊(ゴータマブツダ)は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、特に初期の仏教に重点を置いてその思想を学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、現代東南アジアの仏教諸国で社会活動に従事する僧侶の思想と行動をとりあげ、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教科書

プリント随時配布する。

参考書等

中村元『原始仏教 その思想と生活』(日本放送出版協会)、913円、ISBN:4140011114; 中村元・三枝充恵『バウダ・佛教』(小学館)、3262円、ISBN4095580011; 水野弘元『仏教要語の基礎知識』(春秋社)、2100円、ISBN4393106040; 西川潤編『アジアの内発的発展』(藤原書店)、2625円、ISBN894342286

その他

参考書等については初回の授業で追加指示する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	経1必				
担当者名	<small>いづか ひろのぶ</small> 飯塚 大展				

講義のねらい

仏教に関する基本的概念の理解を目的として講義を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

インド・中国・日本における仏教の受容と展開を講義する。
特に日本の仏教については、人物と個別テーマを設定して講義する。

履修上の留意点

専用のノートを準備すること。

成績評価の方法

前・後期2回ずつの小テストと年度末試験によって評価する。

教科書

教科書は用いない。レジュメを適宜配布する。

参考書等

参考書は講義の初めに紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	経1必				
担当者名	<small>かたやま いちろう</small> 片山 一郎				

講義のねらい

人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禪などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点

「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
担当	商1必				
担当者名	飯塚 <small>いいつか ひろのぶ</small> 大展				

講義のねらい

仏教に関する基本的概念の理解を目的として講義を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

インド・中国・日本における仏教の受容と展開を講義する。

履修上の留意点

専用のノートを準備すること。

成績評価の方法

前・後期2回ずつの小テストと年度末試験によって評価する。

教科書

教科書は用いない。レジュメを適宜配布する。

参考書等

参考書は講義の初めに紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
担当	商1必				
担当者名	<small>ながい まさゆき</small> 永井 政之				

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめぐしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

成績評価の方法

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	商1必				
担当者名	程 正				

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
 宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・インド仏教の展開・仏教東漸（インドから中国へ）・中国仏教の展開・中国禅宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禪の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	現1必				
担当者名	程 正				

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
 宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・インド仏教の展開・仏教東漸（インドから中国へ）・中国仏教の展開・中国禅宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禪の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	現1必				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遙か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めた。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の成立と展開を歴史的なパースペクティブの下に捕えた後に、順次、仏教の諸相について概説する。

履修上の留意点

仏教への関心を読書習慣を培う形で醸成すると共に、読み書き等の日本語力を高めてほしい。

成績評価の方法

成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	吉津 宜英 <small>よしず よしひで</small>				

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましよう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましよう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	しもむら かくだう 下室 寛道				

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禪師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はれやま しゆんえい 晴山 俊英				

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

科目名	自然と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選 経A選				
担当者名	小川 <small>おがわ としゆき</small> 順敬				

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的な事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	社会と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選 経A選				
担当者名	矢野 <small>やの ひであき</small> 秀武				

講義のねらい

宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点をとりあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	文化と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選 経A選				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

講義のねらい

私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムとその周辺の諸問題に焦点を合わせて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 人類学の視点と方法、2. 文化の概念、3. 文化の特質と機能、4. 文化と社会構造、5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史、6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、8. 王権のカラー・シンボリズム、9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム、10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点とレポート点（4年生のみ該当）を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』（吉川弘文館）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	坐禅	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選 経A選				
担当者名	さとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人				

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験してもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

- ・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。(P.723)
- ・ 配当学科
 経済学科(19年度入学生)…経
 商学科…商
 経済学科フレックスB…経B
 経済学科フレックスA…経A
 現代応用経済学科…現

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学【4〔日本文学「古典」〕】	経A経商選	通年	4	坂口博規	31
	経B選				
文学【7〔日本のことば〕】	経A経商選	通年	4	萩原義雄	32
	経B選				
歴史学【5〔日本近世史〕】	経A経商現選	通年	4	小高昭一	33
	経B選				
芸術学【1〔日本美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	北野良枝	34
芸術学【2〔西洋美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	矢野陽子	35
芸術学【3〔音楽〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	通年	4	浦本裕子	36
哲学【1〔西洋思想の源流〕】	経A経商現選	通年	4	河谷淳	37
	経B選				
哲学【2〔西洋思想の源流〕】	経A経商現選	通年	4	中村友太郎	38
	経B選				
論理学 【1〔科学方法論と現代論理学〕】	経A経商現選	通年	4	鈴木聡	39
	経B選				
論理学【5〔知の技法〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	伊古田理	40
論理学【7〔知の技法〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	植野公稔	41
科学史 【2〔近代科学の成立と展開〕】	禅仏経A経商現法A政選	通年	4	高橋秀裕	42
倫理学【1〔人間観〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	古田知章	43
倫理学【2〔応用倫理学〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	黒崎剛	44
倫理学【3〔価値観〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	滝沢正之	45
倫理学【4〔応用倫理学〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	麻生享志	46
倫理学【5〔制度とモラル〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	滝口清栄	47
倫理学【6〔東洋倫理〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	末木恭彦	47
倫理学【7〔応用倫理学〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	黒崎剛	48
宗教学【1〔比較宗教文化〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	池上良正	49
	経B法B営B選				
宗教学【2〔聖と俗〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	田中かの子	50
	経B法B営B選				
宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	全学科(フレB除く)選	通年	4	小川順敬	51
	経B法B営B選				

宗教学【4〔日本人の宗教〕】	全学科(フレB除く)選 経B法B営B選	通年	4	矢野秀武	51
宗教学【5〔生活と宗教〕】	全学科(フレB除く)選 経B法B営B選	通年	4	菅原壽清	52
宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	全学科(フレB除く)選 経B法B営B選	通年	4	浅川泰宏	53
人文地理学【1〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 経A選	通年	4	山口太郎	54
人文地理学【2〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 経A選	通年	4	高橋健太郎	55
人文地理学【3〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 経A選	通年	4	伊藤修一	56
人文地理学【4〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政営A選 経A選	通年	4	伊藤修一	57
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	豊田千代子	58
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	北村三子	58
教育の思想	経B法B営B234選 歴日外考社福心経A234選	半期	2	伊藤茂樹	59
教育の思想	英福心経A商234選 経B法B営B234選	半期	2	萩原建次郎	60
教育の思想	商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	坂本信昭	61
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	伊藤茂樹	61
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	豊田千代子	62
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	北村三子	62
教育と社会	経B法B営B234選 歴日外考社福心経A234選	半期	2	伊藤茂樹	63
教育と社会	英福心経A商234選 経B法B営B234選	半期	2	萩原建次郎	64
教育と社会	商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	坂本信昭	65
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	小倉康仁	66
発達と学習の心理学	経B法B営B234選	半期	2	大浜幾久子	67
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	三國隆子	67
発達と学習の心理学	経B法B営B234選	半期	2	角野善司	68
発達と学習の心理学	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	飯田都	69
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	小倉康仁	70
カリキュラムと学習	経B法B営B234選	半期	2	大浜幾久子	70

カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	三國隆子	71
カリキュラムと学習	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選	半期	2	杉山二季	71
カリキュラムと学習	経B法B営B234選	半期	2	角野善司	72

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学 【1〔現代社会を考える〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	呉炳三	73
社会学 【4〔現代文化を考える〕】	経A経商現選	通年	4	呉炳三	74
統計学 【1〔社会現象の統計的分析〕】	経A経商現営A選 経B法B選	通年	4	田中正光	75
文化人類学 【5〔諸民族とコスモロジー〕】	経A経商選 経B選	通年	4	鈴木一馨	76
文化人類学 【7〔社会変化と価値観〕】	経A経商選 経B選	通年	4	内山明子	77
法学・憲法 【2〔法と社会生活〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	和知恵一	78
法学・憲法【8〔法と国家〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	新田浩司	79
法学・憲法【12〔法と権利〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現政営A放選 経B営B選	夏期集中	4	池田実	80
政治学【3〔国際社会と日本〕】	禅仏経A経商現選 経B選	通年	4	山崎望	81
経済学【1〔現代社会と市場経済〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	畠中貴	82
社会科学論【〔社会認識の思想〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選 経B法B営B選	通年	4	大石雄爾	83
教育学【〔デス・エデュケーション〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	柳堀素雅子	84
教育心理【大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	石橋達也	85

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学【1〔生態と進化〕】	地文環境歴日考経A経商選 経B選	通年	4	清水善和	86
地球科学 【4〔地球の変遷・生命の進化〕】	経A経商選 経B選	通年	4	山縣毅	87
自然環境論【5〔生命と環境〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	坂野井和代	88
自然環境論【6〔生命と環境〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	中村敏枝	89

自然誌【1〔現代の自然像〕】	禅仏経A経商法A政選	通年	4	清水善和 篠原正雄 山縣毅	90
数学【1〔微積分学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	91
数学【2〔線型代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	92
数学【3〔現代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選	通年	4	福田賢一	93
情報数学【〔情報と論理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選	通年	4	坂野井和代	94
物理学【1〔光と物質〕】	禅仏経A経商法A政選	通年	4	篠原正雄	95
化学【2〔衣食住の化学〕】	経A経商法A政選	通年	4	牧岡良和	96
宇宙科学【1〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	96
宇宙科学【2〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	97
コンピュータ基礎 【1〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	98
コンピュータ基礎 【2〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	99
コンピュータ基礎 【3〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	99
コンピュータ基礎 【4〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	100
コンピュータ基礎 【5〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	101
コンピュータ基礎 【6〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	102
コンピュータ基礎 【7〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	103
コンピュータ基礎 【8〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	104
コンピュータ基礎 【9〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	105
コンピュータ基礎 【10〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	106
コンピュータ基礎 【11〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	元木光雄	107
コンピュータ基礎 【13〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	山本博信	108
コンピュータ基礎 【14〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	長坂浩史	109
コンピュータ基礎 【15〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	小川健次郎	110

コンピュータ基礎 【16〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	小川健次郎	111
コンピュータ基礎 【17〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	谷本玲大	112
コンピュータ基礎 【18〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏期集中	2	小沢誠	113
コンピュータ基礎 【19〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	114
コンピュータ基礎 【20〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	114
コンピュータ応用 【1〔コンピュータの原理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	116
コンピュータ応用 【2〔コンピュータの原理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	117
人類学【1〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	118
人類学【2〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	119
心理学【2〔ヒューマン・ウォッチング〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	加藤博己	120
心理学【3〔ヒューマン・ウォッチング〕】	経A経商現選 経B選	通年	4	加藤博己	121
心理学【12〔心を科学する〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選	夏期集中	4	深堀友覚	122

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ【1〔仏教と自然〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	四津谷孝道	123
総合Ⅰ【2〔仏教と社会〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本英人	124
総合Ⅰ【3〔仏教と芸術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	村松哲文	125
総合Ⅱ 【1〔駒澤大学の歴史〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本史雄 大城道則 小泉雅弘 佐々木真 杉山清彦 廣瀬良弘	126

総合 II 【2〔自然観察入門富浦をめぐ る人と自然〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	清水善和 漆原和子 小沢誠 小高昭一 坂野井和代 桜井邦夫 篠原正雄 柳澤紀夫 山縣毅	127
総合 III 【1〔人権と社会問題〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	ピアス、D. M.	128
総合 III 【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	岡崎寿一郎	129
総合 III 【3〔フランス現代文化史〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	桑田禮彰	130
総合 IV 【1〔現代アメリカ事情〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	林明人	130
総合 IV 【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	西村祐子	131
総合 IV 【3〔ポスト・モダンの世界〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	丸小哲雄	132
総合 V				休講	
総合 VI【1〔民族とは何か〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大野祐二	133
総合 VI【2〔イスラム〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	吉田京子	133
総合 VI【3〔フェミニズム・ ジェンダー〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	早川紀代	134
総合 VII 【1〔トラブルと法的解決〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	高橋洋城 川口幸美 竹中智香 原田啓一郎 藤本茂 松村格	135
総合 VII【2〔都市論〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	内海麻利 浦田早苗 早川純貴 堀内康史 坂井文	136

科目名	文学【4〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商選 経B選				
担当者名	<small>さかくち ひろき</small> 坂口 博規				

講義のねらい

平安末期の歌人西行法師の作品を考察し、西行が中世精神の開拓者と評価される由縁を講じる。西行は真言僧であり、その宗教意識や宗教活動が和歌に如何に表現されているかを考え、また西行は「花月の歌人」と評されるが、その耽美的精神は日本の美意識の基調をなしている点も考えたい。西行という一人の歌人の作品や人間像を通して、和歌・説話・修験道・真言教理・無常観・漂泊の旅等々をキーワードに、日本文学の特徴を多方面から考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに西行の生涯を概説（1～10）し、その宗教意識や活動を考察（11～15）、西行は後世の遁世者の理想と仰がれる由縁を考える（16～18）。また西行の花月への愛着、漂泊の旅人の精神や人間像は、後世芭蕉をはじめとして多くの歌人・俳人たちの傾倒するところであり、そこに日本文学の伝統を形成することにも言及する（19～25）。

履修上の留意点

授業は適宜配布するプリント教材により講義形式で行う。レポート作成の資料となるものであるから出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その成績に出席点を加味して評価する。

教科書

授業において適宜プリントを配布する。

参考書等

教授において適宜紹介する。

科目名	文学【7（日本のことば）】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商選 経B選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
 国語・国文学作品に於ける研究とその展開
- 02の講義内容 和語と漢語
- 03の講義内容 漢字教育にみる日本語（「常用漢字表」の行方）
- 04の講義内容 国語辞書（近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』）
- 05の講義内容 漢和辞書（近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』）
- 07の講義内容 地名辞書（近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』）
- 08の講義内容 植物辞書（近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』）
- 09の講義内容 和英辞書（近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』）
- 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
- 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
- 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
- 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
- 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
- 15の講義内容 絵本と言語
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
- 17の講義内容 書道と言語（唐顔真卿と明朝体文字）
- 18の講義内容 文字遊び（回文・逆さことば・しりとり等）
- 19の講義内容 文字の不思議さ（漢字＝正字・通俗字、増画と省画、欠字＝『干禄字書』、かな（誕生と広がり）、ローマ字）
- 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう（『分類語彙表』）
- 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
- 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
- 23の講義内容 音韻を響きと弾み
- 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
- 25の講義内容 日本語の系統
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
- 27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

- (4) 成績評価方法
- 月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。
- ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。
- また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	歴史学【5〔日本近世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	小高 昭一 <small>おたか しょういち</small>				

講義のねらい

織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法

前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書

深谷克己著『江戸時代』(岩波ジュニア新書)『日本の歴史6』(岩波書店)2000年3月刊。

参考書等

授業の際、適宜紹介する。

科目名	芸術学【1〔日本美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	北野 ^{きたの} 良枝 ^{よしえ}				

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12)～(13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15)～(18) 琳派
 (19)～(20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』(小学館)
- 『日本美術全集』(学習研究社)
- 『日本美術絵画全集』(集英社)
- 『日本美術全集』(講談社)

科目名	芸術学【2〔西洋美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	やの ようこ 矢野 陽子				

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 16世紀および17世紀のフランス美術
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点

スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験によって評価する予定です。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等

授業中に適宜参考文献を紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	芸術学【3〔音楽〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	浦本 ^{うらもと} 裕子 ^{ゆうこ}				

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽（アジアを中心に）
後期：ヨーロッパの音楽（民族音楽とクラシック音楽）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

科目名	哲学【1〔西洋思想の源流〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	かわたに あつし 河谷 淳				

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（1）ギリシア哲学：哲学の始まり
ソクラテス以前の哲学
ソクラテスの「無知の自覚」
プラトンのイデア論
アリストテレスの質料形相論
ヘレニズム期の哲学

後期：（2）キリスト教哲学：信仰と合理性
神の存在証明（アンセルムス、トマス・アクィナス）
普遍論争（唯名論と実在論）
（3）近代哲学：認識論的転回
大陸合理論：デカルトにおける「私」
イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム
カント哲学：コペルニクスの転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	哲学【2〔西洋思想の源流〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A 経商現選 経B 選				
担当者名	中村 ^{なかもむら} 友太郎 ^{ともたろう}				

講義のねらい

古代ギリシアに起源をもつ西洋思想の展開をその端緒から歴史的に辿ることを通じて、「哲学的に考えること」の基本姿勢を、理解しつつ習得することを目標とします。究極的には、現代世界に生きる者として知的探究することがねらいですが、まずは源流に触れて古典的な思考法を身につける努力から始めましょう。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕古代ギリシアの思想家たちにおける自然観と人間観の形成過程を中心に。中世キリスト教哲学および近代思想の形成期における哲学思索を中心に。なお、講義の内容も展開も参加者の対応次第で変わることがあります。

履修上の留意点

「哲学」(フィロソフィア)の名に値する知的探求は、みずから問いかけ思考しつづけることが基本ですから、受身的なだけの講義参加は無意味です。熱意をもって取りくむ覚悟が必要です。

成績評価の方法

毎授業時間のリアクションペーパーと、前後期それぞれの筆記テストないしは課題リポートの成果を総合的に評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円。ほかに資料等のコピーを適宜配布します。

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

その他

小グループ方式等による討議や話し合いの場も大切にしたい。

科目名	論理学【1〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>				

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことだからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	論理学【5〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	伊古田 <small>いこた まさる</small> 理				

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	論理学【7〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	植野 <small>うえの きみとし</small> 公稔				

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてってくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	科学史【2〔近代科学の成立と展開〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経A経商現法A政選				
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕				

講義のねらい

近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講義では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。

履修上の留意点

いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布

科目名	倫理学【1〔人間観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	ふるた ともあき 古田 知章				

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	倫理学【2〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理—講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	倫理学【3〔価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝沢 <small>たきざわ</small> 正之 <small>まさゆき</small>				

講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。
 我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。
 そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。
 たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのに、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。
 細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	倫理学【4〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あきお たかし 麻生 享志				

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3－4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【5〔制度とモラル〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝口 清栄				

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。
こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	倫理学【6〔東洋倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	末木 恭彦				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	倫理学【7〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理―講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	宗教学【1〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>				

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	宗教学【2〔聖と俗〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ <small>かのこ</small>				

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	小川 <small>おがわ としゆき</small> 順敬				

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようとしてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	宗教学【4〔日本人の宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	矢野 <small>やの ひでたけ</small> 秀武				

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	宗教学【5〔生活と宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	<small>うかわら としきよ</small> 菅原 壽清				

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選 経B法B営B選				
担当者名	あさかわ やすひろ 浅川 泰宏				

講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

指定しません

参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房
関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂
井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂
池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

科目名	人文地理学【1〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 経A選				
担当者名	やまくち たろう 山口 太郎				

講義のねらい

今年度は、人文地理学の一分野である「文化地理学」を体系的に学習する。ただし、全学共通科目なので、人文地理学の研究対象である地域事象については、あくまで事例として扱い、講義の重点は人文・社会科学に広く適応できる文化論・社会問題の提供に置く。

講義の内容・授業スケジュール

I. イントロダクション

II. 文化地理各論

- ・都市・郊外・レジャーの空間といった地域・場所を対象として、以下の項目を中心に解説する。
- ・若者文化、エスニシティ、階級、世代・ライフコース、ジェンダー・セクシュアリティ、メディア、権力、レジャー、住居、自然

III. 文化地理学の方法論

- ・地域、景観、環境、分布

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期・後期試験で評価する。小レポート等の平常点も評価の対象とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中川正・森正人・神田孝治2006『文化地理学ガイダンス』ナカニシヤ出版。
大城直樹・加藤政洋2006『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房。

その他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

科目名	人文地理学【2〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 経A選				
担当者名	高橋 ^{たかはし} 健太郎 ^{けんたろう}				

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学からみた文化、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化とブナ帯文化、(5) 環境決定論と環境可能論、(6) 地域文化と観光、(7) 地図、(8) 地名、(9) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
 鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)
 佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
 田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
 市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
 中島峰広『日本の棚田』(古今書院)
 溝尾良隆『観光学』(古今書院)
 若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)。

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	人文地理学【3〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 経A選				
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゆいち</small>				

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。
 (1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	人文地理学【4〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選 経A選				
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>				

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	豊田 <small>とよた ちよこ</small> 千代子				

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想(子ども観)
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	北村 <small>きたむら みつこ</small> 三子				

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想をその基礎にある考え方にも注意しながら学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選 歴日外考社福心経A234選				
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}				

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	英福心経A商234選 経B法B営B234選				
担当者名	はぎわら けんじろう 萩原 健次郎				

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ②自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	坂本 信昭				

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	伊藤 茂樹				

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。
- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	豊田 千代子 <small>とよた ちよこ</small>				

講義のねらい 教育のあり方は、社会のあり方と関わっている。授業では、自分たちの受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
- ・教育をめぐる諸問題
 - ・近代社会と学校教育制度について
 - ・子どもの身体と教育・社会
 - ・その他

(詳細は第1回の授業時に説明する。)

成績評価の方法 出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書 教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等 適宜紹介する。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	北村 三子 <small>きたむら みつこ</small>				

講義のねらい 近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点 この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法 出席状況とレポートによります。

参考書等 教場で指示します。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	歴日外考社福心経A234選 経B法B営B234選				
担当者名	伊藤 ^{いとう} 茂樹 ^{しげき}				

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
担当	英福心経A商234選 経B法B営B234選				
担当者名	<small>はぎわら けんじろう</small> 萩原 建次郎				

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わりの場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
 ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	商法 A 政営A234選 経 B 法 B 営B234選				
担当者名	坂本 信昭 <small>さかもと のぶあき</small>				

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論等）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	おぐら やすよし 小倉 康仁				

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義
- ②発達の規定因（遺伝と環境）
- ③発達のメカニズム（成熟と経験）
- ④発達観と教育可能性
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育
- ⑥発達の様子（発達時期・発達段階）
- ⑦学習のメカニズム（学習理論）
- ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲）
- ⑨教授－学習過程
- ⑩個性・個人差と教授法（適性－処遇相互作用）

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	大浜 <small>おおはま</small> 幾久子 <small>きくこ</small>				

講義のねらい 子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法 定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書 参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	三國 <small>みくに</small> 隆子 <small>りゅうこ</small>				

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書 教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	角野 <small>すみの</small> 善司 <small>ぜんじ</small>				

講義のねらい

教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	いしば みやこ 飯田 都				

講義のねらい

人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけ、つくりあげていきます。教職を志す者だけにとどまらず、すべての人が何らかの形で他者の成長発達に関わる存在である以上、人間に対する心理学的な考え方を深めていくことは重要なことです。心理学的な考え方を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- ◆人の発達・学習と教育 ◆乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 ◆思春期の自我の発達
- ◆学習と認知（連合説と認知説） ◆知識の種類と構造、技能と知識の獲得 ◆動機づけ
- ◆学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点

聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の、自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法

中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果を総合して評価します。ただし、出席が半分にも満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書

特に使用しません。必要に応じて資料を配布します。

参考書等

- 西林克彦 『間違いだらけの学習論』新曜社
- 川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』福村出版

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	小倉 <small>おぐら やすとし</small> 康仁				

講義のねらい

人間の発達と学習のしくみを踏まえた上で、カリキュラム（教育課程）の構造（構造要素）、社会的意義、編成方式などを理解し、日本の現行カリキュラム（教育課程）について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？（カリキュラムの構造要素）
- ②カリキュラムの意義と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラム編成方式
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴と問題点
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績および出席状況等の平常点との総合評価によって評価を行う予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選				
担当者名	<small>おおはま きくこ</small> 大浜 幾久子				

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	三國 <small>みくに りゆうこ</small> 隆子				

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経A商法A政営A234選 経B法B営B234選				
担当者名	杉山 <small>すぎやま ふたき</small> 二季				

講義のねらい

カリキュラムとは単なる教育計画でなく、子どもの学習経験の履歴でもあります。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定です。（1）カリキュラムとは何か（2）学習指導要領の変遷（3）カリキュラムを支える教育理論（4）知識とは、学力とは何か（5）授業の反省と批評（6）かくれたカリキュラム 実践を見る目を養うために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察し検討する機会を何回か設けます。

成績評価の方法

授業中の提出物と期末レポートの内容によって総合的に評価します。各回（毎回ではないが）の講義終了時にその日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書いて提出してもらう予定です。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介します。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選				
担当者名	すみの せんじ 角野 善司				

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

(1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-10)学習指導要領をめぐるその後の動き (11-13)カリキュラムと教育評価 (14-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

追って指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	社会学【1〔現代社会を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	おひよんさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

- I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論
- II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

- (11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【4〔現代文化を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選				
担当者名	おびよんさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

- I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論
- II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

- (11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参すること、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止し単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	統計学【1〔社会現象の統計的分析〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A 経商現営A 選 経B 営B 選				
担当者名	田中 <small>たなか まさみつ</small> 正光				

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて、統計的基礎知識の習得に努め、現実の統計データ及び架空の数値などで実際に統計的計算を実行する場面も多々つく。その場合大量のデータを扱う時には、パソコン（実際にはエクセルが主流）を使って計算作業を実行する。

【前期】

1. 代表値（平均値、中央値、最頻値等）
2. データの散布度（分散、標準偏差、変動係数等）
4. 度数分布
5. 相関分析
6. 回帰分析

【後期】

1. 確率
2. 確率変数
3. 確率分布
4. 標本と標本分布
5. 統計的推定
6. 統計的仮説検定

履修上の留意点

通常の講義では電卓（関数電卓が望ましい）を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法

前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』（共立出版）2004年
 室淳子・石村貞夫『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）2004年
 鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）2003年
 東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』（東京大学出版会）1997年
 岸野洋久『社会現象の統計学』（朝倉書店）1992年
 森田優三『統計概論』（日本評論社）1966年

その他

授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

科目名	文化人類学【5〔諸民族とコスモロジー〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商選 経B選				
担当者名	鈴木 一馨 <small>すずき いっけい</small>				

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。
この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間への対応、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第1部. 文化人類学と民族
 (1～3)「文化」と「文化人類学」(4～6)「民族」とはなにか
 第2部. 民族とコスモロジー
 (7～8)「コスモロジー」とはなにか(9～10)天とひとつのコスモロジー
 (11～13)世界の断絶と連続
 後期：第3部. 風水のコスモロジー
 (14～20)風水を構成する宇宙論(21～22)風水による現実空間の意味付け
 (23～26)風水と人間社会

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店、2002年)1,470円
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円

科目名	文化人類学【7〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A 経商選 経B 選				
担当者名	内山 ^{うちやま} 明子 ^{あきこ}				

講義のねらい

グローバル化により日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展しています。しかし、大方の日本人は、多文化状況を消費を介して積極的に受け入れる一方、多様な隣人たちの多様な声には耳を傾けず、実態に目を向けることもほとんどありません。最近では、「我々か、彼らか」という単純な二者択一で人々を分類し、「他者」の脅威をおおることで「我々」の結束を高める傾向が強まり、異なる考えをもつ他者と向き合い、対話を積み重ねる努力をすることで合意点を探り、自己／他者理解を深化させることを軽視する風潮すら見出されます。

このような時代に地に足をつけて自分で考えるための一つの足がかりとして、微細であまいな日常生活のなにげない世界を大切にしながら他者と向き合う学問である文化人類学の基礎知識を提供していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な理論と方法（・文化人類学の主要な流れ・未開と文明・フィールドワークと民族誌・文化相対主義など）、主要な研究分野と成果（・ジェンダー、家族、親族・交換と経済・リーダーシップと政治・世界観と宗教など）、現代社会と文化人類学（・民族、人種、国家、マイノリティ・ファンダメンタリズムなど）を主要な柱とし、各々で「社会変化と価値観」というテーマに言及しながら授業を行う予定です。

履修上の留意点

講義は板書を中心に進め、随時プリントを配布します。教科書は指定しないので、各自ノート作成を工夫してください。

成績評価の方法

年度末の筆記試験を80%、夏休みの課題レポートを20%で評価します。

教科書

教科書は使用しません。

科目名	法学・憲法【2（法と社会生活）】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	和知 恵一 <small>わち けいいち</small>				

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『取賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪なのか、また逮捕に際し憲法上の問題があったか、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとする。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

○小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
 ○六法（例として、『ポケット六法（平成18年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
 ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
 その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

科目名	法学・憲法【8〔法と国家〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	につた ひろし 新田 浩司				

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	法学・憲法【12〔法と権利〕】	開講	夏期集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現政営A放選 経B営B選				
担当者名	いけだ みのる 池田 実				

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)
 (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念
 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党
 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政
 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)
 (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)
 (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)
 (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)
 (30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税
 ISBN 4-7823-0424-2

参考書等

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	政治学【3〔国際社会と日本〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経A商選 経B選				
担当者名	やまざきのぞむ 山崎 望				

講義のねらい

本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。特に後半では日本に焦点をあてることになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は国内政治と国際政治の相違点と類似点を扱います。具体的には国内政治では主権国家、政治体制、政治と経済、福祉、政治過程と政党といったテーマについて、国際政治では主権国家システムの成立、国民国家と植民地、世界大戦と冷戦、冷戦の終焉などについて扱います。

後期は国内政治と国際政治の垣根を越えるグローバル化がはらむ問題について扱います。アメリカの帝国化、グローバル・ガバナンス、テロのグローバル化、福祉国家の再編と新自由主義の拡大、ネオ・ナショナリズム、市民社会と参加民主主義、EUや南米の地域主義といったテーマを扱います。そして各々のテーマについて日本がグローバル化に連関していかなる変化にさらされているのか、米軍再編、格差社会化、治安・管理社会化、閉塞感の増大、日本の近年のナショナリズム、住民投票といった個別的なテーマについて論じる予定です。

履修上の留意点

新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法

年度末の試験。

教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ
ISBN 4-641-12168

参考書等

講義中に適宜指摘します。

その他

講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。

科目名	経済学【1〔現代社会と市場経済〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A 経商現選 経B 選				
担当者名	ほたなか たかし 島中 貴				

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。

後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、政府が行っている経済活動、国内総生産（GDP）、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第一回目の授業で指示する。

科目名	社会科学論【〔社会認識の思想〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商法A 政営A選 経B法B営B選				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名	教育学【(デス・エデュケーション)】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すがこ</small>				

講義のねらい

デス・エデュケーションの始まりはベトナム戦争当時のアメリカにある。デス・エデュケーションの1つの流れは戦争で傷ついたベトナム帰還兵の心をどのように癒すかであった。これは現在のトラウマの問題とその治療につながっていく。デス・エデュケーションのもう1つの流れは、治らない病気、すなわち死にゆく患者との対話の中から生まれた。キューブラー・ロスを中心に、精神科医や宗教者が死にゆく患者との対話を重ねた中から新しい視点が注目されるようになった。死を考えることはやがて死後の世界まで考えることになり、昨今是一種のブームになっているようである。デス・エデュケーションの1の流れと2の流れの両方を取り扱う予定である。アメリカでの取り組みを中心に説明していくが、欧米の文化や思想も合わせて解説していく。幅広い知識と視野をもっていないと、講義の内容はあらゆる方向に拡大していくので理解していくのに労力を要することになるだろう。デス・エデュケーションの欧米での取り組みを紹介すると同時に、日本でのデス・エデュケーションの状況も紹介する。戦争の問題と医療の問題の両方の内容にまたがっているので、両方に興味がある人が履修することが望ましいだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- ①デス・エデュケーションの1の流れ②デス・エデュケーションの2の流れ
①と②の内容の概略を説明して具体的な内容に入っていく。

履修上の留意点

授業中に絶対に私語をしないようにすること。基本的に遅刻は認めない。出席は毎回とる。授業中に入ったり、飲食したりしないこと。

成績評価の方法

レポート提出(内容に点数をつける)。出席回数。その他総合的な視点から評価する

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する

その他

講義に必要な資料はコピーして配布する。

科目名	教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	石橋 ^{いしばし} 達也 ^{たつや}				

講義のねらい

本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場から探っていきます。前期の授業では、生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点

履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他

受講学生には「学ぶ意欲」をしっかり持って、積極的に取り組むことを望みます。

科目名	生物学【1〔生態と進化〕】	開講	通年	単位	4
担当	地文環境歴史考経A経商選 経B選				
担当者名	しみず よしかず 清水 善和				

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

科目名	地球科学【4〔地球の変遷・生命の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商選 経B選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

講義のねらい

地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の変遷を誕生した45億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球の現在の姿〕
- 1. 地球の大きさ・形
- 2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス
- 3. 大陸移動とプレートテクトニクス
- 4. 火山活動とそのメカニズム
- 5. 地震とそのメカニズム
- 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環
- 〔地球環境の変遷〕
- 1. 地球環境の変動要因
- 2. 地球の形成過程
- 3. 環境変化と生物進化
- 4. 生物の大量絶滅
- 5. 人類の誕生と進化
- 〔未来の地球の姿〕
- 1. 未来の地球環境の変遷

履修上の留意点

講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に紹介します。

その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	自然環境論【5〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

人間が普段活動している地球環境（陸地、大気、海洋）の基礎的な構造や原理を学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境（地球磁気圏、太陽系の惑星など）についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。

講義の内容・授業スケジュール

主に地球の大気環境（気候、気象、超高層大気）と地球近傍の宇宙環境について触れる。

1. 地球環境システムの構造と原理（個体地球、大気・海洋、地球磁気圏）
2. 地球と太陽系惑星との比較（地球磁気圏、太陽、太陽系）
3. 地球の気候と気象
4. 地球環境問題（地球温暖化、オゾン層破壊）
5. 地球近傍の宇宙環境（宇宙天気予報、人工衛星観測、太陽系惑星探査）
6. その他、トピックス

履修上の留意点

なるべく一つ、一つ説明はしますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力は必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて、適宜調節します。人数によってはレポート発表形式の講義も検討します。レポート形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。

成績評価の方法

評価は授業時間中および期末に出題する課題および試験またはレポート（口頭）によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	自然環境論【6〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small>				

講義のねらい

アメリカ産の牛肉の安全性が近年問題になった。牛海綿状脳症（BSE 狂牛病）は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。経済性・効率性を追及して到達した究極の資源の再利用とは、草食動物である牛に肉食、しかも「共食い」をさせることであった。
増え続ける人口、豊かな食生活への限りない欲求。それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 自然環境の改変
 (1-6) 自然のしくみ
 (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
- (後期) 人間の活動と自然環境-食をめぐる問題
 (13-18) 農業-有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業-肉食とは何か・BSE・クローン動物
 (23-25) 漁業-海外依存度・環境ホルモン汚染
 (26) まとめ 私たちは自然に生かされている

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

参考書等

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	自然誌【1〔現代の自然像〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏経A経商法A政選				
担当者名	<small>しみず よしかず しのはら まさお やまがた たけし</small> 清水 善和・篠原 正雄・山縣 毅				

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 銀河の起源と進化（宇宙の大規模構造、ダークマター、銀河）
- (3) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (4) 太陽系の起源（太陽系起源仮説、太陽系外惑星、宇宙の有機化合物）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽の進化、太陽放射の変動、地球軌道、隕石、銀河系）

第2講 地球の進化 山縣毅

- (1) 大陸と海洋の形成（海の誕生、地球の内部構造の変化）
- (2) 大陸の漂流（大陸移動説、プレートテクトニクス、プレリウムテクトニクス）
- (3) 変動する地球（巨大山脈の形成、火山、地震）
- (4) 地球と生命の共進化（地球表層の環境変遷、生物の進化・大量絶滅）

第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- (5) 人類と地球環境（生態系、食物連鎖、物質の循環、地球温暖化）

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

教員ごとに小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。教員ごとにプリント等を配布する。

参考書等

各教員がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	数学【1〔微積分学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	小沢 ^{おざわ} 誠 ^{まこと}				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合と写像
2. 数列
3. 連続関数
4. 1変数関数の微分
5. 多変数関数の微分
6. 積分

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 微積分』サイエンス社
1050円（税込）ISBN4-7819-1082-3

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【2〔線形代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 文字の使用について
2. 行列
3. 連立一次方程式
4. ベクトル空間
5. 線形写像
6. 行列式
7. 固有値・固有空間

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 線形代数』（サイエンス社）
1050円（税込）ISBN4-7819-1092-0

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【3〔現代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	福田 ^{ふくだ} 賢一 ^{けんいち}				

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。

本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。時間に余裕があれば、経済工学・金融工学の数理的基礎にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用。

後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、保険の数理、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎。

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名	情報数学【〔情報と論理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	さかのい かぢよ 坂野井 和代				

- 講義のねらい** 情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
- 履修上の留意点** 予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと解答することは難しい。
- 成績評価の方法** 評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
- 教科書** 使用しない。適宜資料を配付する。
- 参考書等** 野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名	物理学【1〔光と物質〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏経 A 経商法 A 政選				
担当者名	篠原 <small>しのはら</small> 正雄 <small>まさお</small>				

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

波としての光

光線 影 鏡 屈折 屈折楼 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色
波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 電波 X線とガンマ線
光子 原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学的な予備知識はいらない。

成績評価の方法

期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。しかし、期末試験の比重は15%程度であり、数回のテストを含む平常点を中心に評価する。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円＋税

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	化学【2〔衣食住の化学〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商法A政選				
担当者名	まきおか よしかず 牧岡 良和				

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 (1)有機化学・無機化学の導入 (2)物質の成り立ち (3)水の性質 (4)有機化学の基礎 (5)合成繊維 (6)染料 (7)合成洗剤と水質汚濁
 後期 (8)太陽光発電 (9)遺伝子 (10)燃料電池 (11)バイオ燃料 (12)食品の安全性 (13)住環境と化学物質

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法 出席点と筆記試験による。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

科目名	宇宙科学【1〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのぶら まきお 篠原 正雄				

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。
 観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール
 前期は恒星をとりあげる。
 観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離
 太陽：構造 エネルギー源
 恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化
 後期は銀河をとりあげる。
 銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質
 銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造
 宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書 高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円+税

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	宇宙科学【2〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠原 ^{しのぶ} 正雄 ^{まさお}				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。

観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離

太陽：構造 エネルギー源

恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化

後期は銀河をとりあげる。

銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質

銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	コンピュータ基礎【1〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おぎわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	コンピュータ基礎【2〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	山本 博信 <small>やまもと ひろのぶ</small>				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）（237P、¥1680）（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【3〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

履修上の留意点

授業は予習をしてください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Major Countries in the World -世界の主要国-』（鳳書房）1,800円

科目名	コンピュータ基礎【4〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【5〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>				

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【6〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おさわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	コンピュータ基礎【7〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。特段の事情で休むことが当初から予想される学生は、その期の授業の履修申請はしないこと。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）（237P、¥1680）（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【8〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

- 講義のねらい** インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
- 履修上の留意点** 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
- 成績評価の方法** 評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
- 参考書等** 参考書は必要に応じて紹介する。
- その他** 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【9〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おさむ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【10〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【11〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	もとき みつお 元木 光雄				

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述するHTMLの基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

7/31 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作

8/1,2 インターネットの原理と実際の利用

8/3,6 論理的構造を持った文書のHTMLによる記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限

予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【13〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	<small>やまもと ひろのぶ</small> 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎としてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

- ・課題 30%
- ・授業最終日に実施する確認試験 40%
- ・出席状況 30%

教科書

新基礎コンピュータ演習、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147

参考書等

ITリテラシーへの招待、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN 4894717220

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやっけて登録するか1回目の授業で補足説明します。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【14〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	<small>ながさか ひろふみ</small> 長坂 浩史				

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

総合情報センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をもらう。この資料はWeb ページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
 予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
 また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMOディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
 実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思ってよい。
 逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限
 予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【15〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日の1～3時限
 : (16) 7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限
 (16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【16〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 <small>おがわ けんじろう</small> 健次郎				

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日の1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

(16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【17〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	たにもと さちひろ 谷本 玲大				

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

7/31 4限 ガイダンス 5～6限 情報検索・メール
 8/1 Word
 8/2 Word・画像処理
 8/3 } Excel
 8/6 }

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。申請が遅れたり、失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
 (講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034

その他

授業日程: 7月31日～8月3日・6日の4～6時限
 予備日: 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【18〔コンピュータの実際〕】	開講	夏期集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。
授業日程：7月31日～8月3日、6日の4～6時限
予備日：8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【19〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【20〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【1〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さかのい かずよ 坂野井 和代				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出题する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【2〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 <small>さかのい かずよ</small> 和代				

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円
ISBN4-88135-718-2
瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	人類学【1〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠田 謙一 <small>しのだ けんいち</small>				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	人類学【2〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社新心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠田 ^{しのだ} 謙一 ^{けんいち}				

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	心理学【2〔ヒューマン・ウォッチング〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	かとう ひろき 加藤 博己				

講義のねらい

この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【学習・思考】 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習、5.問題解決
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティテスト、4.知能
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.欲求不満、3.防衛機制、4.葛藤、5.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

後期：**【発達】** 1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）
【臨床】 1.査定、2.心理療法
【心理学論】 1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の分野、4.心理学の研究法、5.歴史。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法

前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-7

参考書等

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他

主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

科目名	心理学【3〔ヒューマン・ウォッチング〕】	開講	通年	単位	4
配当	経A経商現選 経B選				
担当者名	加藤 博己 <small>かとう ひろき</small>				

講義のねらい

この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、約130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：オリエンテーション（講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等）、
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【学習・思考】 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習、5.問題解決
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定、3.パーソナリティテスト、4.知能
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.欲求不満、3.防衛機制、4.葛藤、5.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

 後期：**【発達】** 1.発達段階、2.発達要因、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（アフォーダンス、心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用（リーダーシップ論）
【臨床】 1.査定、2.心理療法
【心理学論】 1.心理学の語源、2.定義、3.心理学の分野、4.心理学の研究法、5.歴史。

履修上の留意点

履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法

前期授業の最終日（7月）に前期試験を、定期試験期間内に、定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書

鹿取廣人・杉本敏夫 2004年 『心理学 第2版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円+税）ISBN4-13-012041-7

参考書等

教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。

その他

主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや、授業内容についての積極的なコメントが毎回求められる。

科目名	心理学【12〔心を科学する〕】	開講	夏期集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	ふかほり ともなり 深堀 友覚				

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。
本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	総合I【1〔仏教と自然〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よつや こうぞう 四津谷 孝道				

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点を絞りながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	総合I【2〔仏教と社会〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人				

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・
授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	総合I【3〔仏教と芸術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文				

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界（1～2）
 インドの仏教美術（3～5）
 西域の仏教美術（6～8）
 初期の敦煌石窟（9～11）
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕
 炳靈寺石窟（16～17）
 麦積山石窟（18～20）
 雲岡石窟（21～23）
 龍門石窟（24～27）
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名	総合II【1（駒澤大学の歴史）】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>くまもと ふみお おおしろ みちのり こいずみ まさひろ ささき まこと すぎやま きよひこ ひろせ りょうこう</small> 熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘				

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成14年（2002）に「開学120周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に415年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに、“駒澤スピリット”を感じ取り、“駒澤アイデンティティ”を形成して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス
 2. 道元と曹洞宗
 3. 永平寺と総持寺
 4. 吉祥寺施檀林の誕生
 5. 学寮での厳しい修行
 6. 学寮から学校へ
 7. 明治政府の宗教・教育政策
 8. 曹洞宗大学の発足
 9. 日々窠から駒沢へ
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生
 11. 「大正教養主義」と駒大生
 12. 「禅文化歴史博物館」の見学
- 後期：13. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～
 14. 戦時下の駒大 ～学徒動員と学徒出陣～
 15. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～
 16. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～
 17. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～
 18. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～
 19. 占領政策と新制大学の設立
 20. 東京オリンピックと駒大
 21. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本
 22. 学生運動／部活動
 23. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～
 24. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	総合Ⅱ【2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>しみず よしかず</small> 清水 善和・ <small>うるしはら かずこ</small> 漆原 和子・ <small>おぎわ まこと</small> 小沢 誠・ <small>おだか しょういち</small> 小高 昭一・ <small>さかのい かずよ</small> 坂野井 和代・ <small>さくらい くにお</small> 桜井 邦夫・ <small>しのほら まさお</small> 篠原 正雄・ <small>やなぎさわ のりお</small> 柳澤 紀夫・ <small>やまがた たけし</small> 山縣 毅				

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を総合的に理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介する。一部の講義では大学キャンパスや駒沢公園を利用した実習も行う。次に、夏休み中（7月下旬）に房総半島の富浦にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体望遠鏡を用いて天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と夏休みの富浦での実習を行う。内容に応じて9名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。なお、後期の講義はない。

- 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む）
 - (1) ガイダンス（抽選）、(2) 自然観察の方法、(3) 植物の観察1、(4) 植物の観察2、(5) パードウォッチング1、(6) パードウォッチング2、(7) 地球科学的な見方1、(8) 地球科学的な見方2、(9) 地球環境の見方1、(10) 地球環境の見方2、(11) 天体観測の方法1、(12) 天体観測の方法2、(13) 富浦実習に向けて
- 富浦での講義と実習：7月16日（月）午後—20日（金）午前（4泊5日）
午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。

履修上の留意点

- 前期半期の講義と夏休み中の実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休み中の実習に参加する人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。
- 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
- 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計9名の教員が分担して講義と実習を行うので、各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試は行わない。

教科書

特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

その他

定員30名を越える希望者がある場合は抽選を行うので、履修希望者は必ず4月の初回講義に出席すること。

科目名	総合III【1〔人権と社会問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 rights	CLASS 16 abortion
CLASS 2 rights	CLASS 17 abortion
CLASS 3 rights	CLASS 18 abortion
CLASS 4 income	CLASS 19 racism
CLASS 5 income	CLASS 20 racism
CLASS 6 income	CLASS 21 racism
CLASS 7 income	CLASS 22 racism
CLASS 8 feminism	CLASS 23 suicide
CLASS 9 feminism	CLASS 24 suicide
CLASS 10 feminism	CLASS 25 suicide
CLASS 11 feminism	CLASS 26 suicide
CLASS 12 euthanasia	CLASS 27 war
CLASS 13 euthanasia	CLASS 28 war
CLASS 14 euthanasia	CLASS 29 war
CLASS 15 euthanasia	CLASS 30 war

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagno-

教科書

stic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	総合Ⅲ【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	総合III【3〔フランス現代文化史〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい

フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。

講義の内容・授業スケジュール

ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランショ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコメッティ、スタール他）、音楽（ブーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含まれます。

講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。

もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにありましたが、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。

尚、この講義は、Jean-PaulAron, Les modernes, Gallimard, 1984 を下敷にします。

履修上の留意点

履修者にフランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義で指示します。

科目名	総合IV【1〔現代アメリカ事情〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	林 <small>はやし あきと</small> 明人				

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion,affirmative action,euthanasia,Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

プリントを配布します。

科目名	総合Ⅳ【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	にしむら 祐子 西村 祐子				

講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について：日本との比較
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者
 インド社会概観
 インド社会とNGO
 南インドのNGOとコミュニティビルディング
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。

科目名	総合IV【3〔ポスト・モダンの世界〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}				

講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、連動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどうのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれている現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合IVの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシュールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
 - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
 - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
 - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
 - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レヴュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

参考書等

講義のときに、随時指示します。

科目名	総合VI【1〔民族とは何か〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おおの ゆうじ 大野 祐二				

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	総合VI【2〔イスラム〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よしだ きょうこ 吉田 京子				

講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、概論的講義を行い、初歩的なイスラームの知識を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①イスラームの預言者ムハンマド
 - ②イスラームの啓典クルアーン
 - ③イスラームの世界観
 - ④イスラームの実践
 - ⑤イスラームの分派
 - ⑥イスラーム神秘主義
- これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点

授業中の疑問点やコメント回答を毎回提出してもらい、それらに対する返答を習週行う。

成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席表とする。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

科目名	総合VI【3〔フェミニズム・ジェンダー〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	早川 紀代 <small>はやかわ のりよ</small>				

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしく生きてゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっていくか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	総合VII【1〔トラブルと法的解決〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	高橋 洋城・川口 幸美・竹中 智香・原田 啓一郎・藤本 茂・松村 格				

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき
- 2 川口 幸美 現代社会と商法
- 3 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 4 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル
- 5 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 6 松村 格 刑事事件と法定手続

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	総合VII【2〔都市論〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>うちうみ まり</small> <small>うらた さなえ</small> <small>さかい あや</small> <small>はやかわ よしき</small> <small>ほりうち やすし</small> 内海 麻利・浦田 早苗・坂井 文・早川 純貴・堀内 康史				

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

- 内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）
- 内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：4月・5月）
都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。
- 早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：5月・6月）
いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
- 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）
イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。
- 堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：9月・10月）
都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心に見ていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。
- 坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：11月・12月）
都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	水1	経1年	通年	2	川崎 笑佳	155
英語IA	水1	経1年	通年	2	朝川 真紀	155
英語IA	水1	経1年	通年	2	川崎 浩太郎	156
英語IA	水1	経1年	通年	2	三輪 久恵	156
英語IA	水3	経1年	通年	2	三輪 久恵	157
英語IA	水3	経1年	通年	2	岩屋 玉江	157
英語IA	水3	経1年	通年	2	岸本 茂和	158
英語IA	水3	経1年	通年	2	三芳 康義	158
英語IA	水3	商1年	通年	2	相馬 美明	159
英語IA	水3	商1年	通年	2	川崎 浩太郎	159
英語IA	水3	商1年	通年	2	水崎 野里子	160
英語IA	水3	商1年	通年	2	真砂 久晃	160
英語IA	水3	商1年	通年	2	丹治 弘昌	161
英語IA	水3	商1年	通年	2	朝川 真紀	161
英語IA	月2	現1年	通年	2	甲斐 捷子	162
英語IA	月2	現1年	通年	2	高見 陽子	162
英語IA	月2	現1年	通年	2	松堂 啓子	163
英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】	土1	経商現1年	通年	2	吉沢 栄治郎	163
英語IB	火2	経1年	通年	2	梅原 敏弘	164
英語IB	火2	経1年	通年	2	落合 真裕	164
英語IB	火2	経1年	通年	2	伊良部 祥子	165
英語IB	火3	経1年	通年	2	落合 真裕	165
英語IB	火3	経1年	通年	2	伊良部 祥子	166
英語IB	火4	経1年	通年	2	濱口 真木	166
英語IB	火4	経1年	通年	2	杉村 初枝	167
英語IB	火2	経1年	通年	2	山田 照子	167
英語IB	火3	商1年	通年	2	梅原 敏弘	168
英語IB	火3	商1年	通年	2	山田 照子	168
英語IB	火3	商1年	通年	2	杉村 初枝	169
英語IB	火4	商1年	通年	2	狩野 晃一	169
英語IB	火4	商1年	通年	2	萩原 輝	170
英語IB	火4	商1年	通年	2	木元 喜久子	170
英語IB	火1	現1年	通年	2	伊良部 祥子	171
英語IB	火1	現1年	通年	2	大庭 直樹	171
英語IB	火1	現1年	通年	2	山田 照子	172
英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】	火1	経商現1年	通年	2	落合 真裕	172
英語IIA	火3	経A2年	通年	2	井伊 順彦	173
英語IIA	火3	経A2年	通年	2	伊藤 幸一	173
英語IIA	火3	経A2年	通年	2	小泉 和弘	174
英語IIA	火2	経A2年	通年	2	岩山 義春	174

外国語

英語IIA	火2	経A2年	通年	2	小泉 和弘	174
英語IIA	火2	経A2年	通年	2	鈴木 美貴子	175
英語IIA	火2	経A2年	通年	2	足田 和人	175
英語IIA	火3	経A2年	通年	2	甲斐 捷子	176
英語IIA	火2	経A2年	通年	2	三幣 友行	176
英語IIA	火2	商2年	通年	2	伊勢村 定雄	177
英語IIA	火2	商2年	通年	2	牧野 正秀	178
英語IIA	火2	商2年	通年	2	牧野 輝良	178
英語IIA	金1	商2年	通年	2	山口 晃	179
英語IIA	金1	商2年	通年	2	西田 義和	179
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	熊沢 和明	180
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	市川 仁	180
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	塚本 利男	181
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	高橋 佳江	181
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	植村 恵子	182
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	清水 雅夫	182
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	井出 功一	183
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	萩原 輝	183
英語IIB	金1	経A2年	通年	2	渡部 孝治	184
英語IIB	月2	商2年	通年	2	伊藤 美代子	184
英語IIB	月2	商2年	通年	2	佐藤 孝一	185
英語IIB	月2	商2年	通年	2	小布施 圭佐三	185
英語IIB	土2	商2年	通年	2	本間 俊一	186
英語IIB	土2	商2年	通年	2	岩原 康夫	186

【ドイツ語】

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA	木4	経商現1年	通年	2	河上 和史	187
ドイツ語IB	月1	経商現1年	通年	2	柴野 博子	187
ドイツ語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	柴野 博子	188
ドイツ語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	飯塚 公夫	188
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	柴野 博子	189
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	本橋 右京	189
ドイツ語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	飯塚 公夫	190
ドイツ語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	藪下 紘一	190
ドイツ語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	森 公成	191

【フランス語】

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA	木4	経商現1年	通年	2	伊藤 なお	192
フランス語IB	月1	経商現1年	通年	2	遠山 博雄	192
フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	遠山 博雄	193

フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	前田 祝一	193
フランス語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	小玉 齊夫	194
フランス語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	遠山 博雄	194
フランス語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	菅谷 暁	195
フランス語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	畑中 千晶	195
フランス語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	小玉 齊夫	196

〔中国語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA	木4	経商現1年	通年	2	曹 泰和	198
中国語IB	月1	経商現1年	通年	2	三田村 圭子	199
中国語IA	木4	経商現1年	通年	2	宮本 厚子	199
中国語IB	月1	経商現1年	通年	2	陳 洲拳	
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	橋本 幸枝	200
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	福地 桂子	200
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A3年	通年	2	児島 弘一郎	201
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	弘兼 加奈子	201
中国語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	江林 英基	202
中国語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	秋元 翼	202
中国語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	児島 弘一郎	203
中国語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	李 雲	203
中国語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	岩崎 皇	204
中国語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	橋本 幸枝	204
中国語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	梅田 雅子	205
中国語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	弘兼 加奈子	205
中国語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	根岸 政子	206
中国語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	秋元 翼	206
中国語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	岩崎 皇	207
中国語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	児島 弘一郎	207

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA	木4	経商現1年	通年	2	萩野 雅司	208
スペイン語IA	木4	経商現1年	通年	2	齋藤 明美	208
スペイン語IB	月1	経商現1年	通年	2	上野 勝広	209
スペイン語IB	月1	経商現1年	通年	2	真下 祐一	209
スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	真下 祐一	210

スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	上野 勝広	210
スペイン語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	大岩 功	211
スペイン語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	真下 祐一	211
スペイン語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	大岩 功	212
スペイン語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	大岩 功	212

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA	木4	経商現1年	通年	2	大須賀 史和	214
ロシア語IB	月1	経商現1年	通年	2	木村 英明	214
ロシア語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	木村 英明	215
ロシア語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	杉山 秀子 佐藤 和子	215
ロシア語IIB	月4	禅仏経A法A2年	通年	2	木村 英明	216
ロシア語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	佐野 朝子	216

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	曜日・時間	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	濱口 真木	270
英語IA〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	松堂 啓子	270
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩井 洋美	271
英語IA〔再クラス〕	月2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	牧野 輝良	271
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	272
英語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	塙 美智子	272
英語IA〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	丸小 哲雄	273
英語IA〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	近藤 真彰	273
英語IA〔再クラス〕	土1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 誠	274
英語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩原 康夫	274
英語IA〔再クラス〕	土2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	275
英語IB〔再クラス〕	月1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高見 陽子	275
英語IB〔再クラス〕	月4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅原 典子	276
英語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐藤 江里子	276
英語IB〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	落合 和昭	277
英語IB〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高柳 文江	277
英語IB〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	山岸 二郎	278
英語IB〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	太田 由紀子	278
英語IIA〔再クラス〕	月4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	竹村 恵都子	279
英語IIA〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）34年	通年	2	山口 晃	279
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	三幣 友行	280
英語IIA〔再クラス〕	火4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	澤田 真弓	280
英語IIA〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）34年	通年	2	前田 脩	281
英語IIA〔再クラス〕	木2	全学科（フレB除く）34年	通年	2	外池 一子	281
英語IIA〔再クラス〕	木3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	古富 猛	282
英語IIA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	飯沼 好永	282
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	岡崎 寿一郎	283
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	大淵 利春	283
英語IIB〔再クラス〕	月4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	佐藤 アヤ子	284
英語IIB〔再クラス〕	月5	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	安齋 薫	284
英語IIB〔再クラス〕	月5	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	芝田 興太郎	284

英語II B〔再クラス〕	水 1	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	矢島 直子	285
英語II B〔再クラス〕	水 1	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	相馬 美明	285
英語II B〔再クラス〕	土 3	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	本間 俊一	286
英語II B〔再クラス〕	土 3	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年 経A34年	通年	2	手島 敬子	286

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA〔再クラス〕	水 5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	本橋 右京	287
ドイツ語IA〔再クラス〕	木 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	志真 斗美恵	287
ドイツ語IA〔再クラス〕	土 4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	南 はるつ	288
ドイツ語IA〔再クラス〕	金 4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	井村 行子	288
ドイツ語IA〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉本 正俊	289
ドイツ語IB〔再クラス〕	月 5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	飯塚 公夫	289
ドイツ語IB〔再クラス〕	火 5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 時子	290
ドイツ語IB〔再クラス〕	土 4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉本 正俊	290
ドイツ語IB〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 時子	291
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水 1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	森 公成	291
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水 1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	森 公成	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水 4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	本橋 右京	292
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水 4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	本橋 右京	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	南 はるつ	292
ドイツ語IIB〔再クラス〕	土 3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	南 はるつ	

〔フランス語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	前田 祝一	293
フランス語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	芦原 脊	293
フランス語IA〔再クラス〕	木1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	小玉 齊夫	294
フランス語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅原 猛	294
フランス語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	谷川 かおる	295
フランス語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅谷 暁	295
フランス語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	今関 アン	296
フランス語IB〔再クラス〕	木5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	伊藤 なお	296
フランス語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	谷川 かおる	297
フランス語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	畑中 千晶	297
フランス語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	畑中 千晶	
フランス語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	沼倉 広子	298
フランス語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	沼倉 広子	
フランス語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	前田 祝一	298
フランス語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	前田 祝一	

〔中国語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	児島 弘一郎	299
中国語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	本間 由香利	299
中国語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA〔再クラス〕	木1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	天野 節	300
中国語IB〔再クラス〕	木1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	天野 節	
中国語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	児島 弘一郎	300
中国語IB〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	張 渭涛	301
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	弘兼 加奈子	301
中国語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	弘兼 加奈子	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	蘭 明	302
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	蘭 明	

中国語IIA〔再クラス〕	月5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	梅田 雅子	302
中国語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	岩崎 皇	303
中国語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	大久保 明男	303
中国語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	李 雲	304
中国語IIB〔再クラス〕	水5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	李 雲	304
中国語IIB〔再クラス〕	土4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	蘭 明	304

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	305
スペイン語IB〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	斉藤 明美	305
スペイン語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	斉藤 明美	
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	306
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	
スペイン語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	306
スペイン語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	307
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	307
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	
スペイン語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	齋藤 明美	307
スペイン語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	齋藤 明美	
スペイン語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	大岩 功	308
スペイン語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	大岩 功	

スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	亀山 晃一	308
スペイン語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	亀山 晃一	

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	309
ロシア語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IA〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	309
ロシア語IB〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	
ロシア語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	310
ロシア語IB〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	
ロシア語IA〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	310
ロシア語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	
ロシア語IIA〔再クラス〕	火4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	311
ロシア語IIB〔再クラス〕	火4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	
ロシア語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	大須賀 史和	311
ロシア語IIB〔再クラス〕	木5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	大須賀 史和	
ロシア語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年 経A34年	通年	2	安徳 ニーナ	312
ロシア語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年 経A34年	通年	2	安徳 ニーナ	

《選択科目》

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	水 1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	林 明人	217
英文講読	水 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	矢島 直子	217
英文講読	水 1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	牧野 輝良	218
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	高野 秀夫	218
時事英語研究	火 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	林 明人	219
時事英語研究	火 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	岸本 茂和	219
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	落合 和昭	220
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選 経A選	通年	4	矢島 直子	220
マルチ・メディア	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	落合 和昭	221
マルチ・メディア	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	大庭 直樹	222
マルチ・メディア	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	西村 祐子	223
マルチ・メディア	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	大庭 直樹	224
英会話I	月 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ロビン、 G. F.	224
英会話I	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ロビン、 G. F.	225

英会話I	火1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	226
英会話I	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	227
英会話I	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	228
英会話I	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	229
英会話I	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	レーン、 C. M.	230
英会話I	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	レーン、 C. M.	231
英会話I	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ピアス、 D. M.	232
英会話I	金4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ピアス、 D. M.	233
英会話I	土1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	レイン、 R. V.	234
英会話I	土2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	ラッセル、 S. J.	235
英会話II	水1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	236
英会話II	土1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ラッセル、 S. J.	237
英会話II	土2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	レイン、 R. V.	238
英会話III	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	239
英会話III	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ピアス、 D. M.	240
英語LLI	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	西村 祐子	241

外国語

英語LLI	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	塙 美智子	241
英語LLI	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	塙 美智子	242
英語LLI	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	西村 祐子	242
英語LLI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	外池 一子	243
英語LLI	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	外池 一子	244
英語LLI	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	甲斐 捷子	245
英語LLI	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放選 経A選	通年	2	久保 ひさ子	245
英語LLII	月 3	全学科(フレB除く)234選	通年	2	西村 祐子	246
英語LLII	木 2	全学科(フレB除く)234選	通年	2	高橋 明子	246
英語LLII	金 3	全学科(フレB除く)234選	通年	2	甲斐 捷子	247
英語LLIII	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	甲斐 捷子	247
英語LLIII	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	西村 祐子	248
英語LLIII	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	久保 ひさ子	248
ドイツ語外国書講読	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選 経A34選	通年	4	柴野 博子	249
時事ドイツ語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	4	堀内 美江	249
上級ドイツ語	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	2	薮下 紘一	249
ドイツ語コミュニケーションI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	小林 ゲアリ ンデ	250

ドイツ語コミュニケーションII	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	小林 ゲアリンデ	250
ドイツ語IA (選)	火 2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	松岡 晋	251
ドイツ語IB (選)	金 2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	井村 行子	251
ドイツ語II (選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	井村 行子	252
フランス語外国書講読	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選 経A34選	通年	4	前田 祝一	252
時事フランス語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	4	桑田 禮彰	253
上級フランス語	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	2	小玉 齊夫	253
フランス語コミュニケーションI	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ラリア・三倉、M.	254
フランス語コミュニケーションII	月 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ラリア・三倉、M.	254
フランス語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	出口 雅敏	254
フランス語IA (選)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	前田 祝一	255
フランス語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	桑田 禮彰	255
フランス語II (選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	桑田 禮彰	256
中国語外国書講読	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選 経A34選	通年	4	佐藤 普美子	256
時事中国語	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	4	塩旗 伸一郎	257
上級中国語	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	2	児島 弘一郎	257
中国語コミュニケーションI	月 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	岩崎 皇	258

外国語

中国語コミュニケーションII	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	曹 泰和	258
中国語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	吉田 建一郎	259
中国語IA (選)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	宮本 厚子	259
中国語IB (選)	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	蘭 明	260
中国語II (選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	三田村 圭子	260
スペイン語外国書講読	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選 経A34選	通年	4	齋藤 明美	261
時事スペイン語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	4	齋藤 明美	261
上級スペイン語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	2	上野 勝広	262
スペイン語コミュニケーションI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	262
スペイン語コミュニケーションII	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	262
スペイン語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	亀山 晃一	263
スペイン語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	齋藤 明美	263
スペイン語II (選)	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	萩野 雅司	264
ロシア語外国書講読	金 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選 経A34選	通年	4	廣田 英靖	264
時事ロシア語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	4	木村 英明	265

上級ロシア語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選 経A34選	通年	2	クロチコフ、 Y.	265
ロシア語コミュニケーションI	月 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	安德 ニーナ	266
ロシア語コミュニケーションII	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	安德 ニーナ	266
ロシア語IA (選)	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	クロチコフ、 Y.	267
ロシア語IB (選)	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	木村 英明	267
ロシア語II (選)	木 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	クロチコフ、 Y.	268
朝鮮語IA (選)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	宋 美玲	268
朝鮮語IB (選)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	通年	2	宋 美玲	269
朝鮮語II (選)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選 経A234選	通年	2	宋 美玲	269

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	川崎 笑佳				

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLなども授業に取り入れる予定。

履修上の留意点

毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)

成績評価の方法

3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。

教科書

『Writing Plus!』(金星堂) ¥1,950 ISBN 4-7647-3803-1

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	朝川 真紀				

講義のねらい

語彙・文法・構文を正確に把握し、実践的なコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テーマとなる英語表現方法をテキストにそって説明し、練習問題を解きながら定着させていきます。

履修上の留意点

毎回予習をしてください。

成績評価の方法

小テスト・平常点・前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書

『比較して覚える基礎英語表現』朝日出版社 ¥1800- ISBN4-255-15338-8

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	かわさき こうたろう 川崎 浩太郎				

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがって E-mail を書いてもらいます。TOEIC のリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 毎時間辞書を必ず持ってくること。

成績評価の方法 出席点、発表点50%、レポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 黒川裕一著『Subject:E-Mail —大学生のEメール英作文』（南雲堂）1,900円（税別）ISBN4-523-17396-6

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	みわ ひさこ 三輪 久恵				

講義のねらい シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものを見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール テクストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点 予習をしてることが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しないですけどね。

成績評価の方法 日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15~20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行わない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書 Culture Riddles — America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円 + tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円 + tax.[後期]

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	三輪 ^{みわ ひさえ} 久恵				

講義のねらい

シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものの見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点

予習をしていくことが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しなくてもいいです。

成績評価の方法

日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15～20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行わない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書

Culture Riddles — America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円 + tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円 + tax.[後期]

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	岩屋 ^{いわや たまえ} 玉江				

講義のねらい

基本的な英文法の知識を確認しながら、身近な話題に関して、内容的にまとまりのある文を書く能力の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

出席および演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書

「Three-line Writing in English」成美堂 ¥1,800- ISBN 4-7919-1041-9 C-1082

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	岸本 ^{きしもと} 茂和 ^{しげかず}				

- 講義のねらい** 基本英語の向上、とくに読解力を伸ばすことを意図する。英語の5文型をみっちり理解し、やさしいパラグラフリーディングをとおしていっそうの基礎学力を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけの章をこなしてゆきたい。
- 履修上の留意点** 出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。
- 成績評価の方法** 授業にはかならず英和辞典を持ってくること。電子辞書でも可。予習は必須。
- 教科書** 『What a Story!』(南雲堂) 定価1,470円(CD付き)

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	三芳 ^{みよし} 康義 ^{やひよし}				

- 講義のねらい** TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。
- 履修上の留意点** 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。
- 成績評価の方法** 授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
- 教科書** 島本たい子/宮野智靖/Jodi Flowers 著
『TOEIC® テスト基礎文法トレーニング第2版』マクミランランゲージハウス 1890円
ISBN 978-4-7773-6163-2

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst, 『American Communication Patterns』(金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara, 『10-Minute Listening (Introductory)』(桐原書店) 780円

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

E-mailや日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってE-mailを書いてもらいます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

毎時間辞書を必ず持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、レポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

黒川裕一著『Subject:E-Mail—大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1,900円(税別)
ISBN4-523-17396-6

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	水崎 野里子 <small>みずさき のりこ</small>				

講義のねらい	日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	一授業にテキスト一課を予定としている。具体的には、英語でEメール文が書けるようになって欲しい。また、通年用のテキストであるが、場合に応じては副教材も用いる。
履修上の留意点	授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点（出席）をも加味する。
成績評価の方法	前期後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。
教科書	『はじめてのEメール英作文』（南雲堂）1,700円 ISBN4-523-17504-7 C0082

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	真砂 久晃 <small>まなご ひさあき</small>				

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。
成績評価の方法	成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。
教科書	『English Writing for Global Communication』（金星堂）1,950円（税別） ISBN978-4-7647-3834-8 C1082

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	丹治 弘昌 <small>たんにじ ひろまさ</small>				

講義のねらい

映画のシナリオと原作を読み比べながら、各場面での表現法を学習し、口語表現と書き言葉の違いなど、多角的なアプローチで英語を修得していく。

講義の内容・
授業スケジュール

4月－6月 3本のDVD作品より、印象的な場面を取り出し、表現文法を学ぶ。
7月初め、表現のまとめおよび期末テスト
9月－11月 2本のDVD作品とその原作を比較鑑賞して、英語表現への理解を深める。
12月初め、期末テスト

成績評価の方法

日常の出席および発表を重視する。テストは年2回、期末の授業の中でおこないます。

教科書

教場にて指定

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	朝川 真紀 <small>あさかわ まき</small>				

講義のねらい

語彙・文法・構文を正確に把握し、実践的なコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テーマとなる英語表現方法をテキストにそって説明し、練習問題を解きながら定着させていきます。

履修上の留意点

毎回予習をしてください。

成績評価の方法

小テスト・平常点・前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書

『比較して覚える基礎英語表現』朝日出版社 ¥1800- ISBN4-255-15338-8

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	現1年				
担当者名	甲斐 捷子 <small>かひ かつこ</small>				

講義のねらい	アメリカの大学生活をビデオで学び、さまざまな人へのインタビューを通して、アメリカ社会への理解と、英語の運用能力を高めることを、この授業の目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	全12章のうち、6章を前期に、残り6章を後期に予定しています。
履修上の留意点	語学の授業ですから、欠席しないようにお願いします。
成績評価の方法	一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。
教科書	『Campus Encounters: Understanding American University Life.』 (マクミランランゲージハウス) 2, 400円

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	現1年				
担当者名	高見 陽子 <small>たかみ ようこ</small>				

講義のねらい	文法に関する知識をひろげながら、それを英語でのコミュニケーションに活かす能力を伸ばすことを主な目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	自分の意見を述べ、議論するうえで必要な英語表現や話の展開の仕方などに慣れ、簡単なプレゼンテーションやグループ・ディスカッションを通して実践することを課題とします。
履修上の留意点	必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	全授業回数の3分の2以上の出席を基本条件として、前・後期末試験と上記課題の結果をベースに、授業中の取り組み等の平常点を加味して総合的に評価します。
教科書	テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	現1年				
担当者名	松堂 啓子 <small>まつどう ひろこ</small>				

講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、語彙、表現力の強化をはかる。リスニング力を高め、要旨を把握するための練習も併せて行う。

履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要ある。

成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Design Makes the World Go 'Round』（トムソンコーポレーション）¥1900
ISBN978-4-902902-77-8

科目名	英語ⅠA 【〔基礎英語特別クラス〕】	開講	通年	単位	2
配当	経商現1年				
担当者名	吉沢 栄治郎 <small>よしざわ えいじろう</small>				

講義のねらい

いろいろな文例を英訳していきます。その際、覚えるべき典型的な英訳例を何かひとつに決めておくといいでしょう。授業では、ともかくもできるだけ量をこなしていきます。短い文章を英訳することにします。何度も口馴らしをすることによって体得できると思います。

履修上の留意点

和英辞典を実際に使うこと。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況を見て評価します。

教科書

使用しません。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	うめはら としひろ 梅原 敏弘				

講義のねらい 正確な英語読書力の基礎を養うことを主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの小説家 John Steinbeck の短編集 The Red Pony を読みます。この作品は比較的平易な英語で書かれ、文体も簡潔で読みやすく、かつ叙情味あふれる優れた短編小説です。1回の授業で3ページぐらい進み、一年で読了する予定です。

履修上の留意点 受講者は必ず、毎回予習をしてくる。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてきてください。

成績評価の方法 主として平常の授業時に行うテスト（前期・後期一回ずつを予定）の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教科書 John Steinbeck “The Red Pony” 南雲堂

参考書等 出来れば、学習者用の英英辞典（Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の）を購入し、利用してください。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	おちあい まゆ 落合 真裕				

講義のねらい 既に習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間で内容を読み取る速読のコツを身につけます。また、同時にリスニング能力の向上も目指します。

履修上の留意点 毎回必ず予習をし、辞書を持参して下さい。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率（3分の2以上の出席が必要）、定期試験（前・後期）などを総合して評価します。

教科書 『Big Names in American Business』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-17479-2

その他 火曜2限

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	伊良部 <small>いらぶ あきこ</small> 祥子				

講義のねらい

英語文化圏の新聞や雑誌から選んだ記事を読み、英語読解力を養うとともに異文化に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文記事を読み、考え、要約する。また、記事の内容についての意見も求める。語彙や構文の練習問題も行う。

履修上の留意点

分からない単語は辞書で調べておくこと。語学の授業なので出席を重視する。

成績評価の方法

①前期・後期試験 ②授業時の発表 ③課題の提出 ④出席状況で総合評価する。

教科書

『Global View』 朝日出版社 ￥1,800
ISBN978-4-255-15441-1

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	<small>おちあい まゆ</small> 落合 真裕				

講義のねらい

既に習得した文法や語法の復習をしながら、基礎英語力の向上をはかると共に、短時間で内容を読み取る速読のコツを身につけます。また、同時にリスニング能力の向上も目指します。

履修上の留意点

毎回必ず予習をし、辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率（3分の2以上の出席が必要）、定期試験（前・後期）などを総合して評価します。

教科書

『Big Names in American Business』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-17479-2

その他

火曜3限

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	伊良部 祥子 <small>いらぶ あきこ</small>				

講義のねらい	英語文化圏の新聞や雑誌から選んだ記事を読み、英語読解力を養うとともに異文化に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	英文記事を読み、考え、要約する。また、記事の内容についての意見も求める。語彙や構文の練習問題も行う。
履修上の留意点	分からない単語は辞書で調べておくこと。語学の授業なので出席を重視する。
成績評価の方法	①前期・後期試験 ②授業時の発表 ③課題の提出 ④出席状況で総合評価する。
教科書	『Global View』（朝日出版社）¥1,800 ISBN978-4-255-15441-1

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	濱口 真木 <small>はまぐち まさき</small>				

講義のねらい	大学入試で学んだ英語を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめていく。また、必要に応じて英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習をする。
履修上の留意点	授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。
成績評価の方法	出席か発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。
教科書	「オンラインニュースで学ぶ世界情勢」New Windows on the World（成美堂）¥1,800-I SBN 4-7919-1043-5

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	杉村 初枝 <small>すぎむら ほとけ</small>				

講義のねらい

どんなに難解な英文でも正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読と、大意を的確に把握しながら読み進める速読の両面に重点を置いて授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行ないます。テストの提出を以って出席とみなしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め年間5回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表に基づいて総合的に評価します。

教科書

『What's on Japan 2』（金星堂）2480円 ISBN 978-4-7647-3826-3

参考書等

英和辞典は中辞典以上のものを用意してください。

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年				
担当者名	山田 照子 <small>やまだ てるこ</small>				

講義のねらい

英語の仕組みを理解し、英文を確実に読みこなせるように、英国の主要新聞、雑誌の記事を編集したテキストを中心に学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に授業を進めて行きますが、他の資料も使用します。

履修上の留意点

予習が必要です。

成績評価の方法

授業中の発表を重視し、レポート、前期・後期の試験等による総合評価をします。

教科書

『The World Reader』－メディアで知る世界の鼓動－ 金星堂 ISBN 978-4-7647-3840-9 C1082

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	梅原 敏弘 <small>うめはら としひろ</small>				

講義のねらい

正確な英語読書力の基礎を養うことを主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの小説家 John Steinbeck の短編集 The Red Pony を読みます。この作品は比較的平易な英語で書かれ、文体も簡潔で読みやすく、かつ叙情味あふれる優れた短編小説です。1回の授業で3ページぐらい進み、一年で読了する予定です。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてきてください。

成績評価の方法

主として平常の授業時に行うテスト（前期・後期一回ずつを予定）の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教科書

John Steinbeck “The Red Pony” 南雲堂

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞典（Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の）を購入し、利用してください。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	山田 照子 <small>やまだ てるこ</small>				

講義のねらい

英語の仕組みを理解し、英文を確実に読みこなせるように、英国の主要新聞、雑誌の記事を編集したテキストを中心に学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に授業を進めて行きますが、他の資料も使用します。

履修上の留意点

予習が必要です。

成績評価の方法

授業中の発表を重視し、レポート、前期・後期の試験等による総合評価をします。

教科書

『The World Reader』－メディアで知る世界の鼓動－ 金星堂
ISBN 978-4-7647-3840-9 C1082

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	杉村 ^{すぎむら} 初枝 ^{はつえ}				

講義のねらい

どんなに難解な英文でも正確に読みこなせる読解力をつけることを目標に、文法・構文に留意した精読と、大意を的確に把握しながら読み進める速読の両面に重点を置いて授業を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読解を中心に授業を進めます。

履修上の留意点

毎回授業の最初に小テストを行ないます。テストの提出を以って出席とみなしますので、遅刻をしないよう注意してください。なお欠席回数が全授業回数の3分の1を超えた場合は、成績評価の対象となりません。

授業は発表形式で進めますが、発表者は予めレポートをまとめて授業時に提出してください。発表時のレポートを含め年間5回レポートを提出してください。

成績評価の方法

小テスト、レポート、発表に基づいて総合的に評価します。

教科書

『BBC Understanding the News in English 4』（金星堂）2100円 ISBN 978-4-7647-3828-7

参考書等

英和辞典は中辞典以上のものを用意してください。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	狩野 ^{かのう} 晃一 ^{こういち}				

講義のねらい

基本的な英文の精読ののち、徐々に高度な文章に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

まず文法の全体的な見直しからはじめる。文章も同時に読んでゆく。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。なるべく紙製がよい。予習・復習を行う。特に後者は重要である。

成績評価の方法

3分の2以上の出席が求められる。そのほか、提出物・授業態度を含め総合的に判断する。

教科書

未定。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	萩原 輝				

講義のねらい	英文をたくさん読みながら、読解力の向上を目指す
講義の内容・授業スケジュール	ユニークな経営理念を持った12の企業についての文章を読み進めながら、英語の読解力の向上を目指す
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい
成績評価の方法	授業態度、出席、前後・後期の試験等の総合評価
教科書	Brenda Hayashi 著『Front-runners in the 21st Century: 12 Outstanding Companies』(松柏社) ISBN4-88198-576-0

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	商1年				
担当者名	木元 喜久子				

講義のねらい	スポーツ、音楽、サブ・カルチャー、環境、経済、社会と多方面の英字新聞の記事を読みながら、実践的な英文読解スキルを学ぶだけでなく、国際視野や感覚を磨くと共に、世界情勢への理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	さまざまな記事の速読と精読を通して英文読解力の向上をめざす。内容把握の設問、リスニング演習による概要のまとめ方に加え、英語ニュースを読むための基本文法、語いと表現に関する練習問題を通して英語の総合的、実践的な読解力を養成する。
履修上の留意点	十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。
成績評価の方法	成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表・課題と前・後期試験の結果を総合して評価する。
教科書	「English in the Media 2007」2007-金星堂¥1800-ISBN 978-4-7647-3841-6

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	現1年				
担当者名	いらが あきこ 伊良部 祥子				

講義のねらい

EUに関する様々な英文記事を読み、語彙を増やし読解力を高めるとともに、大きく変わりつつある大ヨーロッパ：EUについて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

英文記事を読み、考え、要約する。語彙や構文の練習問題も行う。

履修上の留意点

テキストを読んでおくこと。演習科目なので出席を重視する。

成績評価の方法

①前期・後期試験 ②授業時の発表 ③課題の提出 ④出席状況で総合評価する。

教科書

『The EU: Fundamentals Plus (EUを知る)』 英宝社 ¥1,800
ISBN978-4-269-12135-1

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	現1年				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を並行しておこなっていく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。毎回、教材用のコピーを配布するので十分な予習をしてクラスにのぞむように。配布されるプリントは、キリスト教の成立と歴史についての文献、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを論じたものなどである。テキストには、新約聖書物語を選び、それを精読していく。そして、イエスの生涯を描いたビデオを観る。

履修上の留意点

予習を十分にすること。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書

『新約聖書物語』(成美堂)
プリントは教場で配布する。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
担当	現 1 年				
担当者名	山田 ^{やまだ} 照子 ^{てるこ}				

講義のねらい	英語の仕組みを理解し、英文を確実に読みこなせるように、英国の主要新聞、雑誌の記事を編集したテキストを中心に学びます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に授業を進めて行きますが、他の資料も使用します。
履修上の留意点	予習が必要です。
成績評価の方法	授業中の発表を重視し、レポート、前期・後期の試験等による総合評価をします。
教科書	『The World Reader』－メディアで知る世界の鼓動－ 金星堂 ISBN 978-4-7647-3840-9 C1082

科目名	英語I B 【〔基礎英語特別クラス〕】	開講	通年	単位	2
担当	経商現 1 年				
担当者名	落合 ^{おちあい} 真裕 ^{まゆ}				

講義のねらい	既に習得した文法や語法の復習をしながら、まとまった英語の文章をできるだけ短時間で読みこなすことを目指していきます。
講義の内容・授業スケジュール	読解を中心に授業を進めます。
履修上の留意点	毎回必ず予習をし、辞書を持参して下さい。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率（3分の2以上の出席が必要）、定期試験（前・後期）などを総合して評価します。
教科書	『Good News : Book 1』（桐原書店）1,800円＋税 ISBN978-4-342-54950-2

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	井伊 順彦 <small>しい のぶひこ</small>				

- 講義のねらい** 現代アメリカの文化を中心に、多様な問題を扱ったテキストを用いて、英語を「聞く」力と「書く」力をのばす。
- 講義の内容・授業スケジュール** 毎回かなりの時間がテープを聞いて問題に答える（口答もしくは筆記で）ことに費やされる。ときおりビデオを観て、英米の社会状況について学びたい（英語の聞き取り練習にもなる）。
- 履修上の留意点** 毎回おそらく全体の半数ほどの学生が指名され、なんらかのかたちで問題に答えることになる。積極的な姿勢が求められる。
- 成績評価の方法** 数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数を柱とするが、詳細は教室で。
- 教科書** Think and Communicate (『発信する英語表現』) 堀内克明他著 (三修社)

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	伊藤 幸一 <small>いとう こういち</small>				

- 講義のねらい** 経済問題から発した？EU、拡大しているが一大実験は成功するのだろうか。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また復習の為に宿題レポートを（5月末、夏休み、大学祭後）3回課し、まとめとして最終授業時にテストの予定。
- 成績評価の方法** 以上の3点、予習・復習・まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。
- 教科書** 『The EU : Fundamentals Plus.』 (英宝社)

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	小泉 和弘 <small>こいずみ かずひろ</small>				

講義のねらい	IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	2回の授業でテキストの1課を学ぶ。
履修上の留意点	授業は予習をしてくる。
成績評価の方法	授業への出席率、前期・後期の試験の結果を総合的に評価する。
教科書	“Major Countries In The World” 鳳書房 ¥1,800 ISBN 4-902455-03-X

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	岩山 義春 <small>いはいま よしはる</small>				

講義のねらい	自分の意見を手紙やエッセイにまとめてめる能力をつけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	初めに、コロンやセミコロン等の使い方から学び、次に、英文のエッセイや手紙を書くという練習をします。
履修上の留意点	毎回レポートを課題として提出してもらいます。テキストの予習をしてくる。
成績評価の方法	レポート提出や前・後期の試験の結果を総合的に評価します。
教科書	『Concise Writing』(桜門書房出版部)

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	小泉 和弘 <small>こいずみ かずひろ</small>				

講義のねらい	IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを授業2回で1課進める。
履修上の留意点	授業は予習をしてくる。
成績評価の方法	授業への出席率、前期・後期の試験の結果を総合的に評価する。
教科書	“Major Countries In The World” 鳳書房 ¥1,800- ISBN 4-902455-03-X

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	鈴木 美貴子				

講義のねらい	文法を復習しながら英作文力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したリスニング教材で会話表現を学ぶ。前・後期各一回レポートを提出して頂く。
履修上の留意点	毎回必ず辞書（英和・和英）持参。
成績評価の方法	出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
教科書	「日常英語ライティング入門」（成美堂、1,800円） ISBN4-7919-1041-9 C1082

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	足田 和人				

講義のねらい	英作文および英会話の運用能力向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	演習形式で授業を行う。
履修上の留意点	授業時間の3分の1以上を欠席すると、不合格となる。
成績評価の方法	毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。
教科書	『WHAT'S UP ? 2006-7 Intermediate』（桐原書店）
参考書等	必要に応じて配布・紹介する。

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	甲斐 捷子 <small>かい かつこ</small>				

講義のねらい	テキストはアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	全15章のうち、7章を前期に、残り8章を後期に学ぶ予定です。
履修上の留意点	語学の授業ですから、欠席しないようお願いします。
成績評価の方法	一応の目安としてクイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。
教科書	『ABC World News 9』（金星堂）2,000円

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	三幣 友行 <small>みねし ともしき</small>				

講義のねらい	英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。
履修上の留意点	予習を前提として授業をすすめる。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
教科書	未定
その他	詳しいことは初回の授業で説明する。

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	伊勢村 定雄 <small>いせむら さだお</small>				

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英読の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 ガイダンス
 <本文音読・訳読→ダイアログの音読・訳読→練習→ダイアログのテスト>のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト(1回)
 6月 オーラルテスト(2回)
 " (3回)
 7月 オーラルテスト(4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト(5回)
 " (6回)
 11月 オーラルテスト(7回)
 " (8回)
 12月 オーラルテスト(9回)
 都合9回のオーラルテストを予定。

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと！ 辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストの結果による。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W. Chapmon 『オーラルコミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	まきの まきひで 牧野 正秀				

講義のねらい

文章表現の場合でも、リスニング、スピーキングの場合にしても、それなりの基礎は常に復習再確認が必要です。発音、語法、読解力はもとより多くの英文に積極的に接するようになければなりません。その上で、コミュニケーションの道具としての実力をつけたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

独習だけでは、誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があり、そこを何か客観的な手段に訴えてみる必要があります。その場が毎回の授業です。演習なので必ず個人を指名して発表してもらいます。今まで学んできた基本的な知識を復習再確認しながら勉強します。

履修上の留意点

活発な授業が出来るように、積極的な態度を期待します。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。自学自習の時間が、授業より圧倒的に多いので必ず下調べをして教室に臨んでください。指名されたら必ず発表すること。

成績評価の方法

前、後期の試験結果に、出席状況（3分の2以上の出席が必要）、授業中の発表や予習の度合いといった平常点を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

村松美映子『!Cultures! Interviews with people from around the world』（桐原書店）950円
ISBN4-342-77290-6 C9082

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	まきの てるよし 牧野 輝良				

講義のねらい

より高度な英文を身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

各課毎に英文を詳細に読み、英文中の重要な構文、語句の用い方を覚え、英作文に応用する。

履修上の留意点

英文を和訳出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間の課題提出、3課毎の小テスト、期末テスト等を総合して評価する。単位認定には原則的に2/3以上の出席が必要である。

教科書

『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』（朝日出版社）1,262円
ISBN4-255-15214-4 C1082

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	やまぐち あきら 山口 晃				

講義のねらい

IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのためレポートを部分的に英文で作成する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

IAの時以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現するための元になる思考を深める工夫をしたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表もしてもらう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表とその内容、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	にしだ よしかず 西田 義和				

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。

履修上の留意点

予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書

現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

英 語 II B

外国語

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい 映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みする能力も身に付けます。

履修上の留意点 英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書 『EVERY MOVIE TELLS A STORY』(金星堂)

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	いちかわ ひとし 市川 仁				

講義のねらい より多くの量の英文を読めるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 学生の皆さんの発表を中心にして授業を進めていきます。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に出席してください。

成績評価の方法 授業中の発表と前期・後期の試験を総合して評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教科書 廣田典子他『イギリスの背景を読む』(金星堂) 1,500円
ISBN4-7647-3797-3

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	塚本 利男 <small>つかもと としお</small>				

講義のねらい

1 Bを基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔明瞭な本文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとして、予習を兼ねる意味でも、テキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業における発表・テキストの練習問題の成績と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。

教科書

『リーディングスキルの発展問題』
Neil J. Anderson・川又 正之 (株)成美堂
1,700円+税 ISBN4-7919-1034-6 C1082

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	高橋 佳江 <small>たかはし よしえ</small>				

講義のねらい

文法を理解しながら、ある程度高度な内容の文を読解できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを最初は細かく、だんだん速読できるようにする。

履修上の留意点

授業時の発言点をポイントとしていくため、出席しているだけではなく、発言することが必要になってくる。そのため予習を必ずしてくること。

成績評価の方法

出席が授業回数の2/3以上で(遅刻3回で欠席1回とする)、発言点、前期、後期の試験(60点以上)の者を合格とする。

教科書

教科書は初回の授業時に指示する。

科目名	英語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	植村 恵子				

外国語

講義のねらい	新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)
講義の内容・授業スケジュール	使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事類出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercises1の問題を解きながら読み、最後にExercises2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
履修上の留意点	授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。
成績評価の方法	出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。
教科書	藤井・内野『時事英語の総合演習—2007年度版—』(朝日出版社)1,500円 ISBN978-4-255-15438-1
参考書等	『リーダーズ英和辞典』(研究社) 『現代用語の基礎知識』(自由国民社) 『イミダス』(集英社) 『知恵蔵』(朝日新聞社)

科目名	英語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	清水 雅夫				

講義のねらい	英文読解力を向上させることを目指す。語彙を増やし、構文を把握する力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	教科書は、生活に身近なライフサイエンスについて、やさしく解説したエッセイを集めたものである。どの課をどの順序で学習するかは、1回目の授業で説明する。
履修上の留意点	きちんと予習をし、授業には辞書を持参すること。
成績評価の方法	各学期の中間、期末テスト(各50点満点)が80%。出席点が20%。平常点±10%。
教科書	ジョアン・ペロケティ著『ダイナミックなビジネスと環境』(南雲堂) 978-4-523-17532-2 1995円

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	井出 功一 <small>い で こういち</small>				

講義のねらい テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法 前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書 George Soule 『Economics for Living (くらしの経済学)』(南雲堂) 1,400円

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経A2年				
担当者名	萩原 輝 <small>はぎわら てる</small>				

講義のねらい IBを基礎として、読解力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 毎時間、1課ずつ進む予定。自動車関連企業、外食関連企業、コンピューター・情報産業についてのエッセイを読む。

履修上の留意点 辞書を持参して欲しい。

成績評価の方法 授業態度、出席、前期、後期の試験等の総合評価。

教科書 J・グレイ著 『世界のリーディングカンパニー』(弓プレス) ISBN4-8034-1228-6

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
担当	経A2年				
担当者名	渡部 孝治				

講義のねらい	英文の読解力を高めることを目的とする。スラッシュ・リーディング（直読読解・同時通訳方式）をマスターさせる。これによって英文を早く読み、理解することを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に進めていく。前期は精読、後期は速読・多読を心がける。
成績評価の方法	前期・後期の試験の結果、3分の2以上の出席、授業の参加度合いを入れて総合的に評価します。
教科書	開講時に指示する。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
担当	商2年				
担当者名	伊藤 美代子				

講義のねらい	IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。また、リーディングだけでなく、スピーキング、リスニング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
教科書	1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima 「パラグラフ中心の英語基礎演習」(金星堂) ¥1,950 2. 伊藤美代子(編著)「さらばジャパニーズイングリッシュ」(北樹出版) 1,500円

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	佐藤 孝一				

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んでください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

- (1) M. ドライバー著『It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet』(World Communication) 1,700円
- (2) TOEICテキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	小布施 圭三				

講義のねらい

パラグラフ・リーディング、リスニング、ライティング、及び表現力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

英国の文化的な側面に光をあてた総合教材を利用し、効率的な読解のスキルを訓練します。
 ≪前期≫ Chapter1～Chapter11
 ≪後期≫ Chapter12～Chapter20

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/小テスト/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

和久豊/ Bill Benfield『Cultural Walks in Britain』(成美堂) 1,800円
 ISBN4-7919-0542-3 C1082

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	ほんま としかず 本間 俊一				

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 『TOEIC TEST: Step by Step』(南雲堂) 1,900円
ISBN4-523-17418-0 C0082

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	商2年				
担当者名	いしはら やすお 岩原 康夫				

講義のねらい 社会的な問題や科学の問題などを扱った教材を用い、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール クラスは基本的にテキストに沿って読み進む。

履修上の留意点 学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書 Gerald and Vivienne Mosback, 『Practical Faster Reading』(朝日出版) 1262円 ISBN4-255-15214-4

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	かわかみ かずひと 河上 和史				

講義の内容・
授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	ドイツ語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	しばの ひろこ 柴野 博子				

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でどのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
担当	国地文環境日外考商政管A2年				
担当者名	柴野 ^{しばの} 博子 ^{ひろこ}				

講義のねらい	中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（たとえばシュティフター）を読んでみましょう。
履修上の留意点	ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。
成績評価の方法	年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。
教科書	大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
担当	国地文環境日外考商政管A2年				
担当者名	飯塚 ^{いらいづか} 公夫 ^{きみお}				

講義のねらい	一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストである映画シナリオの読解③後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画は、『Paris je t'aime（アイ・ラブ・ユー・パリ）』というオムニバス・フランス映画の、ドイツ人監督トム・ティクヴァが監督したエピソードです。）
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。
成績評価の方法	前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）。
教科書	Tom Tykwer『True』（ISBN:3-936298-12-2）。大変きれいな本なので、購入をおすすめしますが、ドイツから直接取り寄せなければならないので、学内での購入は事務的に不可能ですから、自分で洋書店かアマゾンで購入してください。もちろん、こちらでもコピーを用意します。

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	柴野 ^{しばの ひろこ} 博子				

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（例えばヘッセ）を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	本橋 ^{もとほし うきよう} 右京				

講義のねらい

リライト版でグリム童話を読みます。ドイツ語初級文法を確認・復習しながら、ドイツ語の理解と読解力を養います。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的平易な表現を通してドイツ語に慣れて行きましょう。初級文法では十分時間をかけることができなかった項目は、その都度プリントで補足します。

履修上の留意点

しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋 『グリム童話で学ぶドイツ語 PartII』（郁文堂）

参考書等

『グリム童話集』の翻訳がたくさん出版されています。

科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経 A法A2年				
担当者名	飯塚 公夫 <small>いいつか きみお</small>				

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)②前期後半：練習問題と平行してテキストの読解③後期：テキストの読解(テキストは昨年作られた『最後の列車』というドイツ映画のノベラライゼーションです。アウシュヴィッツへ送られる最後のユダヤ人移送者の物語です。DVDが出ると思いますので、映画を見ながら、いくつかの場面をピックアップしてその部分を訳していくことになります。)

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Bernd Philipp/Renate Wiechmann『Der letzte Zug』(ISBN:3-7466-2311-1)。購入に関しては、ドイツから直接取り寄せなければならないため、学内での購入は事務的に不可能なので、自分で洋書店かアマゾンかで購入してください。もちろんこちらでもコピーを用意します。

科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政 2年				
担当者名	数下 絃一 <small>やがした こういち</small>				

講義のねらい

注がたくさんついてますが、それを参考にして訳して行きます。毎回当ります、予習をして来る事。

成績評価の方法

7月、12月の試験+平常点。

教科書

『こんにちは！ドイツです』(朝日出版) ¥1900+税。

科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	森 公成				

講義のねらい

ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・
授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

テキストはこちらで用意します。

〔フランス語〕

外国語

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	伊藤 <small>いとう なお</small>				

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいきます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、数多くの練習問題に取り組みます。発音練習と音読にも力を注ぎます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

内藤 陽哉著『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版） 2310円

科目名	フランス語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	遠山 <small>とみやま ひろお</small> 博雄				

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

中村敦子『友だちとフランス語を。』（白水社）2,520円 ISBN4-560-06060-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	フランス語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	とみやま ひろお 遠山 博雄				

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	まえだ のりかず 前田 祝一				

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語IA・IBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

数江編『フランス史』（白水社）1,200円

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫				

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・授業スケジュール

個々の場面に応じた実際的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると思ってください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくる。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕ができません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋 他著 『エクспレシオン 1』（第三書房、1500円）
ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	とのおやま ひろお 遠山 博雄				

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著 『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	菅谷 暁				

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ポームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,890円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	畑中 千晶				

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏季休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫				

外国語

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・
授業スケジュール

個々の場面に応じた実践的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると思ってください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくる。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それでなくても早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋他著『エクспレッション1』（第三書房、1500円）ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	中国語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	曹 <small>そう</small> 泰和 <small>たいわ</small>				

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点 予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。
この授業は、三田村先生とペアあることを確認すること。

成績評価の方法 出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書 楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円

参考書等 授業の中で紹介する。

科目名	中国語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	みたむら けいこ 三田村 圭子				

講義のねらい

発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

『中国語へのアプローチ』楊凱栄・張麗郡 朝日出版社 2300円

参考書等

授業開始時に説明する。

その他

曹泰和先生とのペアであることに注意すること。

科目名	中国語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	みやもと あつこ ちん しゅうきよ 宮本 厚子・陳 洲拳				

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

林正人著『楽しい初級中国語』2200円（陸美出版）

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	はしもと さちえ 橋本 幸枝				

講義のねらい	あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。
講義の内容・授業スケジュール	本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	杉野元子著『大学生のための現代中国12話』（白帝社）2625円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	ふくち けいこ 福地 桂子				

講義のねらい	自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。 文法は中国語Iで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。 中国語IIに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。 中国の社会文化に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	中国の文化を紹介した文章を読む。 文法事項を体系的に把握する。 下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進度で進めていく。
履修上の留意点	必ず予習してこること。 授業に辞書を携帯すること。
成績評価の方法	前後期（各2回）の総合テスト、小テスト、授業での発表内容、出席状況（3/4以上出席すること）を総合して評価する。
教科書	名和又介『ビデオで学ぶ中国文化』（金星堂）2,800円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A3年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

講義のねらい	中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国文化に関するテキストを精読し、中国語の文章を理解するための総合的な力を養成します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。中国文化に関連する書籍・写真や具体的なモノに触れる機会も、多く設ける予定です。
履修上の留意点	毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。
成績評価の方法	前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。
教科書	荒屋勤・尹景春・阿部博幸『中国と日本』（朝日出版社）2100円 CD付
参考書等	辞書や中国文化の理解に資する参考書などは、教場で紹介します。
その他	語学はコツコツやるよりほかに上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール	一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。課文には高校の漢文でなじみ深いものも一部含まれる。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。
成績評価の方法	年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	于振領『中国歴史故事』（駿河台出版社）1500円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政管A2年				
担当者名	江林 英基 <small>こうりん ひでもと</small>				

講義のねらい	講読と文法をかねた中級テキストを用いて、文章を正確に読み、文法を理解することによって翻訳力の育成をはかる。
講義の内容・授業スケジュール	語句と文章の意味を説明して、文形の構造（文法）を解説する。朗読力を高めるため文章を読ませる。二週間に一課の進度で授業を進めていく。
履修上の留意点	三分の二以上の出席が必要、授業中に私語を禁止する。
成績評価の方法	出席状況、学習態度、宿題、小テスト、学期末テストによって総合的に評価する。
教科書	中川正之、沈国威編著『中国語中級教科書（読物、文法編）』（白帝社）1400円。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>				

講義の内容・授業スケジュール	初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。
履修上の留意点	使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。
教科書	董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	児島 <small>こじま</small> 弘一郎 <small>こういちろう</small>				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国の生活習慣に関するテキストを精読します。基礎的な読解力を養いつつ、身近な事柄について適切に表現できるようになることが目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。日中の生活習慣、考え方の違いなどについての理解も深めます。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？—生活風景点描—』（白水社）2000円 CD付

参考書等

辞書や中国理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほか上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禪仏英経 A 法A2年				
担当者名	李 <small>り</small> 雲 <small>うん</small>				

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
担当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
担当	禅仏経 A法A2年				
担当者名	はしもと さちえ 橋本 幸枝				

講義のねらい

正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の目安で進めていく。

履修上の留意点

欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

教科書

陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>				

講義のねらい

一年時に学習した文法内容を整理・復習しながら、聞き取り能力の向上と発音の練習を重点的に行う。知らない単語でも、ピンインを見て正確に発音できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：文法事項などの確認と練習。
 - 2：本文・新出単語の発音練習と意味の確認。
 - 3：会話や問答の練習。
 - 4：練習問題の答え合わせ。
 - 5：本文の暗記と発表。(二人一組で本文の練習を行い、暗記の後、発表する。その際、適宜、発音の確認と矯正を行う。特に読み間違いやすいピンインに注意すること。)
- ★2回の授業で1課進む予定。
★時々、今までに習った単語の聞き取り小テストを行う。

履修上の留意点

- 3 / 4 以上の出席が必要。
- 予習復習必須。
- 辞書(日中・中日)持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 授業中は恥ずかしがらずに、大きな声を出すよう心がける。

成績評価の方法

平常点(出席・授業態度・小テスト)40%、前期試験:30%、後期試験:30%

教科書

『中国語明明白白』(東方書店) ISBN 4-497-20024-8

参考書等

日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他

外国語の練習は、カラオケの練習に似ています。実際の正しい発音を聞いていないと、なかなか正確に発音できません。CDをたくさん聞いてください。

また、暗記というと、大変そうに思う人が多いですが、前年度の学生さんを見てみると、若だけあってみな15分ほどで覚えてしまっています。難しく考えず、大きな声で練習しましょう。

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』(白帝社)2400円

外国語

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	根岸 政子 <small>ねがし まさこ</small>				

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習、復習を行い、授業時には中日辞典を持参すること。

成績評価の方法

前期後期の試験4回(中間を含む)、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

守屋宏則・陳淑梅・劉光赤『メグの中国ホームスティ』(同学社) 2,500円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>				

講義の内容・授業スケジュール

初級の復習をしながら、日常生活に必要な語彙や表現を増やしていく。出てくる文法はほとんど初級で学んだものだが、それを聞いて分かり、口に出して言えるようにする。教室では口頭練習を多くする。

履修上の留意点

予習・復習をきちんとし、教室ではできるだけ教科書から目を離し、耳と口を働かせて音声面の能力を高めて欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社) 2200円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

言葉の勉強は、まず単語をきちんと覚えていくことから始まります。そして、単語を覚えるとき一口に言っても、音を覚え、表記を覚え、意味を覚えるという3つの側面がそろってなければなりません。テキストを使うと、最も重要な音を覚えることがおろそかになりがちです。この授業では中国語の音声的訓練が中心になるので、聞くこと、声に出して読むことに最大の努力を払ってください。

なお、テキストは上海を題材としているので、本学の短期留学夏期中国語セミナーにも大変役立つと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めていきますが、適宜プリントを配布します。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となりますので注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは大きなものを年間4回行います。その他単語テストなど小テストも行います。

教科書

石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2,100円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、聴き取り、ペアによる対話の実践などを行ないます。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な練習の場となるので、出席を怠らないこと。また、失敗を懼れず積極的に取り組む気持ちも必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円 CD付

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

〔スペイン語〕

外国語

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	荻野 ^{おぎの} 雅司 ^{まさし}				

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	齋藤 ^{さいとう} 明美 ^{あけみ}				

講義のねらい

基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては直接法現在と過去の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	上野 勝広				

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	真下 祐一				

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。

教科書

山道佳子・他 『スペイン語をお願いします!』（同学社）

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一				

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～15課まで、後期は16課～22課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

菊田 和佳子／丹波 美佐子『二つの世界で』（同学社） 2,700円

科目名	スペイン語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	ましも ゆういち 真下 祐一				

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）

科目名	スペイン語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経A法A2年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいきます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科目名	スペイン語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)
長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	ロシア語IA	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	おおすか ふみかず 大須賀 史和				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IB	開講	通年	単位	2
配当	経1年 商1年 現1年				
担当者名	きむら ひであき 木村 英明				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語II A	開講	通年	単位	2
担当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	木村 英明				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	ロシア語II A	開講	通年	単位	2
担当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	杉山 秀子・佐藤 和子				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』（杉山秀子他著）（大学書林）、一年次に渡した文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	禅仏経 A法A2年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政 2年				
担当者名	佐野 朝子 <small>その あきこ</small>				

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席、④発表で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	矢島 直子 <small>やじま なおこ</small>				

講義のねらい

現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2006年2月にロンドンで上演された戯曲を読みます。残念ながら、芝居は見えていません。

講義の内容・
授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代チャキチャキの言葉で書かれていますから、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。できれば、1年間で最後まで読み終えたいです。

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してくること。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

Laura Wade, 「Other Hands」 Oberon Modern Plays, £ 8.99, ISBN 1-84002-650-2.

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	まきの てるよし 牧野 輝良				

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	たかの ひでお 高野 秀夫				

講義のねらい

今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

教科書では、時事英語 (Current English) の特徴 “最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている” を読み込んで生きた英語の理解に努める。

履修上の留意点

毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。
英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。

成績評価の方法

前、後期末テスト、平常点 (出席点、レポート等)

教科書

- ・ TV News Watching 21 Approaches (北星堂)
- ・ An Introduction to Media English (北星堂)
- ・ プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	林 ^{はやし あきと} 明人				

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	岸本 ^{きしもと しげかず} 茂和				

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism”（人種差別主義）・“sexism”（性差別主義）・“political correctness”（政治的妥当性）・“multiculturalism”（多文化主義）などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の文書については随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1を越えたばあいは「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美徳>』（朝日出版社）定価1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

新聞、雑誌、ニュース等の英語のヒヤリングと読解。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、二つの部分からなる。第一の部分では、ニュース英語のヒヤリングやディクテーションをする。第二の部分では、新聞、雑誌、ニュース等の英語を正確に読む練習をする。

履修上の留意点

授業は、徹底した演習形式をとるため、学生の予習を前提にして、進める。できるだけ多くの学生に、順不同に当て、積極的に参加してもらうために、受講学生を70人以下に制限する。受講希望者が70人を越えた場合は、最初の授業で、抽選を行う。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後の提出を予定。授業中の発表等に関しては、できるだけ多くの学生に当てるように気をつける）。出席率が平常授業（前期・後期試験は除く）の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻は2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

- 『続・英字新聞用語速習法』 マクミラン 1600円
ISBN4-89585-524-4
- 『読んで学んで英字新聞』 英宝社 1600円
ISBN978-4-269-190302 C1082
- プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	やしま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい

アメリカ、イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

英字紙の電子版を編集した教科書の中から記事を読んでもらい、意味を取っていきます。必要な場合は、文法・構文の説明をし、全体を把握してもらうようにします。進み具合は、学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いてしっかり予習してきて下さい。必ず1回目の授業から出席すること。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』成美堂、¥1,800円 ISBN 4-7919-1043-5。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政宮A選 経A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞（せりふ）を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れないLL教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%（前期試験が20%、後期試験が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は10回程度、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 『映画総合台本 ノッティングヒルの恋人』 松柏社
- 『イデオム書き取り練習帳』 鶴見書店
- 『L.A.ビート、ビデオで見るロサンゼルス』 朝日出版社
1800円 ISBN4-255-15322-1 C1082

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	大庭 <small>おおば なおき</small> 直樹				

外国語

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	西村 ^{にしむら} 祐子 ^{ゆうこ}				

講義のねらい

英語による欧米の学部レベルの授業を体験させ、英語によるプレゼンテーション能力、聞き取り、理解力、読解力、作文能力などを総合的に高めるクラス。前半、後半ともそれぞれ8回程度アメリカシアトル市のワシントン大学とテレビ会議システムでつなぎ、インターアクティブなレクチャーを進める。テレビ会議を行わない週には英語でレクチャー内容の復習、予習などを行う。講義は社会科学系のテーマで、現代日本社会論、日米のNPO比較、NPOにおけるインターンシップの詳細などである。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：米国ソーシャルワークとコミュニティビルディングの歴史をワシントン大学側がレクチャー（計4回）。日本現代社会論（社会福祉政策、公益法人とNPO,現代若者文化、ジェンダーなど）を西村がレクチャー（計4回）。（授業はワシントン大学ソーシャルワーク学部学生と共同聴講）。隔週でテレビ会議に備え、前回レクチャーの復習と次回レクチャーの予習を教場授業で行う。

9-12月：現代日本社会論のレクチャーをテレビ会議システムで8回にわたりワシントン大学に配信。ここで本授業受講者はテーマを現代社会論の中から決めてそれぞれ15分程度のプレゼンテーションを行う。

履修上の留意点

受講資格は最低TOEIC650（TOEFL500）レベル以上であること。第一回授業でスクリーニングを行う。英語圏への留学希望者などで英語力アップをめざす学生は積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席点、発表など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

授業で指定。

その他

本学ではじめてのテレビ会議によるインターアクティブな日米共同授業であり、本学とワシントン大学の交流プロジェクトの一環となる授業である。この授業とは別にこの授業の受講者に限り、夏季はシアトル市で実際にNPOのインターンシップに参加できる。また、冬季はこの授業を受講しているワシントン大学学生が日本のNPOでの研修に参加する。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語集データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY
STUDENT BOOK 1
WARREN WILSON
ROGER BARNARD
ISBN-10 9620056655
10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

外国語

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%
 Tests : 25% (one test each semester)
 Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ソルタ、P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

外国語

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Homework 10%
 (エ) Individual presentation 10%
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)
 During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%
 (イ) Participation during class 50%
 (ウ) Homework 10%
 (エ) Individual presentation 10%
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	レイン, R. V.				

外国語

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3: Romantic relationships / Dating

Unit 4: Shopping

Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6: Jobs / Job interviews

Unit 7: Opinions / Reasons for opinions

Unit 8: Music / Pop groups

Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11: Responses in various situations / Stories

Unit 12: Plans for the future

履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of-term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used.

Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・ 授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	レイン, R. V.				

外国語

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, 3rd Edition, **BOOK 4**
publisher: Longman
date: 2003
ISBN 0-13-183937-3

科目名	英会話III	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名	英会話Ⅲ	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semi-abstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD(別配布)

参考書等

授業中に提示する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -
(金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい	基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。 9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。
教科書	Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)
参考書等	教場で指定する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	外池 <small>とのかいけ</small> 一子 <small>かずこ</small>				

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

外国語

講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	甲斐 ^{かい} 捷子 ^{かつこ}				

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス2, 000円

参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選 経A1234選				
担当者名	久保 ^{くべ} ひさ子 ^{ひさこ}				

講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	西村 ^{にしむら} 祐子 ^{ゆうこ}				

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway Elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、U NIT8から後半部を集中的にとりあげる。(次年度は1-7を用いる)。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	高橋 ^{たかはし} 明子 ^{あきこ}				

講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円+税
ISBN978-4-255-15432-9

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい 日常の身近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。

履修上の留意点 特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。

教科書 アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2, 600円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい 日常の身近な問題から、現代の諸問題までディスカッションできるところまで、英語の運用能力を身につけることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期6～7章、後期6～7章の予定で進みます。

履修上の留意点 LLの授業につき、特に遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。

教科書 アメリカ口語教本 上級用 WilliamS. Clark 著 研究社 3, 000円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLI同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルIIを終了し、英検準一級程度（TOEICレベル650以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 8-12まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書の前半部分を使い、多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返す。ビデオの英語による概略説明も続ける。TOEICの模擬テストなども行う。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLIIの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

その他

最初と最後にTOEICの模擬などを授業で行い、到達度をチェックする。

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	くぼ ひさこ 久保 ひさ子				

講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思いません。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

科目名	ドイツ語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選 経A34選				
担当者名	柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small>				

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	時事ドイツ語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	堀内 美江 <small>ほりうち みえ</small>				

講義のねらい

ドイツ語圏のインターネットや雑誌、テレビやラジオなどを、少しでも理解できるようになると、あなたの世界はぐんと広がります。この授業では、さまざまなドイツのメディアを使うための学習をしていきます。

ドイツの国技サッカー、ドイツ料理にウィーン菓子、ドイツの観光名所、さらにドイツで今話題になっていることなどをテーマに、ドイツ語の世界を楽しみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

テーマごとに、まず用いられる語いを学び、必要な文法的な知識を復習します。その後、自力で情報を見つけたり、読み取ったりする練習をしていきます。映像などの視覚的資料でもできるかぎり紹介しながら、生のドイツを体験していただきたいと思っています。

履修上の留意点

PC教室をしばしば使います。学内で用いられるPCのアドレスを取っておいてください。皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

前後期それぞれ二回の小レポートと出席点による総合評価を行いません。

教科書

プリント配布

科目名	上級ドイツ語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	藪下 絏一 <small>やぶした こういち</small>				

講義のねらい

小人数で辞書を使って読んでいきます。毎回あたります。予習を忘れない様に。

成績評価の方法

評価は7月と12月の試験+平常点で決めます。

教科書

ヨーゼフ・ロート：美の勝利、白水社、¥950。

科目名	ドイツ語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	ドイツ語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	小林 ^{こばやし} ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	ドイツ語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科 (フレB 除く) 選				
担当者名	松岡 晋 <small>まつおか すすむ</small>				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験 (7月)、学年末試験 (1月) 以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点 (出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など) を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を収めたプリントを何度か配布いたします。

科目名	ドイツ語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科 (フレB 除く) 選				
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>				

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog 一ペーシック版』(都文堂)

科目名	ドイツ語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>				

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

最初に復習を行った後、前期に少なくとも3課まで、後期はそれ以降に進める予定です。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog 一ステップアップ版』(郁文堂)

その他

最初に『Dialog 一ベーシック版』のSzene4と5を1年次の復習を兼ねて使いますが、もっていない場合にはコピーを用意しますので、こちらは購入する必要はありません。

科目名	フランス語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選 経A34選				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい

初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。

履修上の留意点

この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。

成績評価の方法

平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。

教科書

中地編、ル・クレジオ『パヴァーナ』(朝日出版社) 1300円

科目名	時事フランス語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	桑田 ^{くわた のりあき} 禮彰				

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2007』（朝日出版社）本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	上級フランス語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	小玉 ^{こだま なりお} 齊夫				

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の3級あるいは準2級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養っていくつもりです。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していきます。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力などにせずに、積極的に、この授業をとるようにして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと、「実力」はすぐ落ちてしまいますから。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

阿南・モラン 共著 『パシヨネマン2』（第三書房、2400円） ISBN978-4-8086-2185-8

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ラリア・三倉 ^{らりあ・みくら} , M.				

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』
第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

科目名	フランス語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ラリア・三倉 ^{らりあ・みくら} , M.				

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE著BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	出口 雅敏 ^{でぐら まさとし}				

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	フランス語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	前田 <small>まえだ のりかず</small> 祝一				

- 講義のねらい** フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。
- 講義の内容・授業スケジュール** 日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ね、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。
- 履修上の留意点** したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。
- 成績評価の方法** 平常点としますが、ペーパーテストも随時行ないます。
- 教科書** 内藤・玉田著『フランス語へのパスポート（改訂版）』（白水社）1,800円

科目名	フランス語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

- 講義のねらい** フランス語の基礎の習得。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
- 履修上の留意点** 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
- 成績評価の方法** ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
- 教科書** 林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円＋税
- 参考書等** そのつど授業で指示します。

科目名	フランス語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>				

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2007』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	中国語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選 経A34選				
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>				

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品(主として詩歌、エッセイ、短篇小说)を読んでいます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章(の一節)を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	時事中国語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	塩旗 <small>しおいた</small> 伸一郎 <small>しんいちろう</small>				

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。
ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。
教材等、授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記URLに掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	上級中国語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	児島 <small>こじま</small> 弘一郎 <small>こういちろう</small>				

講義のねらい

実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。はじめは慣れないと思いますが、教員が丁寧に補助しながら何度も繰り返すので、心配は無用です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場となるので、出席を怠らないこと。予習は不要ですが、教員が示した方法による復習をしっかりと行なって下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊達・南勇『リスニング中国語I』（朝日出版社、2200円、CD付）。

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

科目名	中国語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。聞き取りは会話の前提となる能力であり、もっとも大事なものです。まずは、これまで習ったことを聞いて分かるようにすることが、直接の目的になります。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、テキストに沿って聞き取りの練習を行っていきませんが、必要に応じて他の音声教材も使います。授業の合間に、中国のテレビ番組などの映像も見ます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。欠席した場合は、そのつど課題を提出してもらいます。未提出が3回を越えるときは単位取得ができません。ただし、課題提出は授業に全く取って代わることはできないので、欠席が7回を越えてはいけません。
卒業年次生は就職活動等を考慮して、欠席回数を10回まで許容しますが、課題にかんしては上と同じです。
なお、これまで中国語を勉強したことのない人、および中国語を母語とする人は履修しないでください。

成績評価の方法

履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、および前期1回、後期1回のテストで評価を行います。

教科書

楊達他著「新・聞こえる中国語」(南雲堂) 2,940円

科目名	中国語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	そう たいわ 曹 泰和				

講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。初級文法の復習

講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションIを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。IA・IB既習程度

成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

竹島金吾 監修 竹島 毅著『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,200円+税

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	<small>よしだ たていちろう</small> 吉田 建一郎				

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 発音の基礎であるピンインを習得した上で、短い会話文を題材として基本的な語彙と表現を学んでいきます。

履修上の留意点 大きな声を出して積極的に発音練習に参加しましょう。携帯電話の使用、私語、内職などは、真剣に学習に取り組んでいる他の学生にとって極めて迷惑なので絶対に行わないでください。

成績評価の方法 平常点と定期試験により評価します。

教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円

科目名	中国語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	<small>みやもと あつこ</small> 宮本 厚子				

講義のねらい 中国語の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点 毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法 年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書 プリント配布。

その他 詳細は開講時に説明する。

科目名	中国語I B (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	らん めい 蘭 明				

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	みたむら けいこ 三田村 圭子				

講義のねらい

基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
- ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法

前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書

塚本慶一『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円

参考書等

授業開始時に説明する。

科目名	スペイン語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選 経A34選				
担当者名	齋藤 ^{さいとう} 明美 ^{あけみ}				

- 講義のねらい** 様々な分野の親しみやすく簡単なスペイン語の文章を辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけます。講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 受講者の興味関心に考慮しながら、スペイン語圏に関する平素なテキストや代表的な文学作品の一節にチャレンジし読解力をつけます。また外国人スペイン語初級学習者用に作成された短編小説の翻訳にも挑戦します。
- 履修上の留意点** 学習の効率を上げるためには毎回の予習・復習が大切です。内容を正確に理解するために意味が分かるまでとことん辞書を引きましょう。
- 成績評価の方法** 毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。
- 教科書** 未定

科目名	時事スペイン語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	齋藤 ^{さいとう} 明美 ^{あけみ}				

- 講義のねらい** 初級文法および基本語彙を復習しながら、スペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを理解できるようにします。また日本の文化・慣習について外国人に簡単に紹介できる能力をつけます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 様々な媒体のテキストの読解を通してスペイン語圏の文化・生活様式の理解を深めつつ、スペイン語を使った情報収集能力を高めます。また平素なテレビ・ラジオ番組を随所利用し基礎的なヒアリング力を向上させます。自分の考えを簡単にスペイン語で表現できる力を伸ばします。
- 履修上の留意点** 時事スペイン語を理解するためにはしっかりした文法の知識そして豊富な語彙力が不可欠です。受身にならず興味関心がもてるテーマの一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。
- 成績評価の方法** 毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。
- 教科書** 学生の興味関心や学習状況に応じてその都度具体的なテーマを指定します。

科目名	上級スペイン語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	上野 勝広				

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めま
す。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の
視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎
します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60％）と平常点（40％）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	スペイン語コミュニケーションⅠ	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や
会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができ
よう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』
テキスト及びVTR教材

科目名	スペイン語コミュニケーションⅡ	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や
会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができ
よう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	スペイン語IA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	亀山 晃一 <small>かめやま こういち</small>				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語IB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	齋藤 明美 <small>さいとう あけみ</small>				

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては初級文法の復習をしながら直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏で安心して生活できるコミュニケーション能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

レベルが上がれば上がるほど、文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	おぎの まさし 荻野 雅司				

講義のねらい

スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語IIの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」
(弘学舎)

その他

出来るだけ詳しい西和辞典(例、小学館「西和中辞典」等)を用意したい。

科目名	ロシア語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現34選 経A34選				
担当者名	ひろた ひでよし 廣田 英靖				

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	時事ロシア語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	木村 <small>きむら ひであき</small> 英明				

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	上級ロシア語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選 経A34選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	安徳 ^{あんどく} ニーナ				

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	ロシア語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	安徳 ^{あんどく} ニーナ				

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	ロシア語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	木村 <small>まきむら</small> 英明 <small>ひであき</small>				

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	ロシア語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	朝鮮語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	宋 美玲 <small>さん みりょん</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,800円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語I B (選)	開講	通年	単位	2
配当	禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョク</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選 経A234選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョク</small>				

講義のねらい

基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての方は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税

《再履修クラス》

〔英語〕

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	濱口 眞木				

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

教科書

前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」
後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」
朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	松堂 啓子				

講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岩井 洋美				

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	牧野 輝良				

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本& Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい	英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
教科書	『NEW ACTIVATOR』（金星堂）
その他	土曜3限

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	ひしなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Appreciating European Culture 一生まれ変わるヨーロッパー』（成美堂）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	丸小 ^{まるこ} 哲雄 ^{てつお}				

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	近藤 ^{こんどう} 真彫 ^{まほり}				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと まこと 岡本 誠				

講義のねらい

日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。

講義の内容・授業スケジュール

なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのような大きさで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。

履修上の留意点

辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。

成績評価の方法

発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。

教科書

特定のものを使用しない。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いわはら やすお 岩原 康夫				

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	英語ⅠA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	熊沢 <small>くまさわ かずあき</small> 和明				

講義のねらい	英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
教科書	『今日の問題二つの見方 Opposite Opinions on News Topics』Brian Powle 著 長阪 朱美 編 1785円

科目名	英語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	高見 <small>たかみ しょうこ</small> 陽子				

講義のねらい	英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直して一回目の読解内容を確認します。
履修上の留意点	必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。
教科書	テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 ^{すがわら のりこ} 典子				

講義のねらい	比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。
履修上の留意点	授業は予習をしてください。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	<i>Simply America, Simply Japan</i> 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込） ISBN4-523-17308-7

科目名	英語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 ^{さとう えりこ} 江里子				

講義の内容・授業スケジュール	テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
成績評価の方法	定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
教科書	『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900＋税

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB 除く）234年				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円
ISBN978-4-255-15443-5
『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円
ISBN4-7647-3655-1

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB 除く）234年				
担当者名	たかやなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章のReading だけではなく、Listening にも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

科目名	英語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	やまきし じろう 山岸 二郎				

外国語

講義のねらい	英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。
講義の内容・授業スケジュール	文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。
履修上の留意点	ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。
成績評価の方法	平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。
教科書	『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

科目名	英語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおた ゆきこ 太田 由紀子				

講義のねらい	聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝 My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。
履修上の留意点	毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。
成績評価の方法	授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。
教科書	随時、プリントを配布する。
参考書等	安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	竹村 <small>たけむら えつこ</small> 恵都子				

講義のねらい

主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。

履修上の留意点

遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。

教科書

未定

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	<small>やまぐち あきら</small> 山口 晃				

講義のねらい

IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々に表現できることを授業の中で感じとってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのもとなる思考を深める工夫をしたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもらおう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	三幣 友行 <small>みねだ ともゆき</small>				

講義のねらい	英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。
履修上の留意点	予習を前提として授業をすすめる。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。
教科書	未定
その他	詳しいことは初回の授業で説明する。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	澤田 真弓 <small>さわだ まゆみ</small>				

講義のねらい	毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂） 1,600円 ISBN4-7919-1258-6

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩				

講義のねらい

英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。

教科書

「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	とのおいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点

コンピューター教室を使用する場合がありますのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

その他

日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	こども たけし 古富 猛				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	いづま よしなが 飯沼 好永				

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けることを目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』 桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	おかさき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価。

教科書

柳瀬正人註 『イギリスの諺、さまざま』 太陽社 ¥1,200

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	おおふち としはる 大淵 利春				

講義のねらい

英語IBの内容を発展させ、さらなるリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに15分程度リスニングの練習を行い、そのあとで教科書の本文を読み進めていく。毎回最低一回はすべての学生が発言する機会をもうけたい。プリント等も適宜使用する。

履修上の留意点

英和辞書持参のこと。予習を行うこと。

成績評価の方法

前、後期二回の試験成績をベースにしつつ、出席状況、授業態度などの平常点も考慮し、総合的に評価する。

教科書

『English in the Media 英語ニュースで読む現代社会2007』（金星堂）ISBN978-4-7647-3841-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	佐藤 ^{さとう あやこ} アヤ子				

講義のねらい	英語のパラグラフの読み方を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	毎回プリントを配り、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回に行った授業の単語テストを行います。
履修上の留意点	毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。
成績評価の方法	日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。
教科書	当分の間、プリントを使用します。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	安齋 ^{あんざい かおる} 薫				

講義のねらい	Listening 能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする
講義の内容・授業スケジュール	毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。
教科書	『English with Hit Songs』成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	芝田 ^{しばた こうたろう} 興太郎				

講義のねらい	「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。
履修上の留意点	自宅学習が欠かせない。辞書必携。
成績評価の方法	授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。
教科書	Lori Howard 著『Read All About It Book2』（OXFORD）

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

- 講義のねらい → 大学中級程度の英文を読めるようにすること。
- 講義の内容・授業スケジュール → 英文を読んで、時に文法、構文の説明をしながら、理解できるようにしていきます。練習問題も解きます。進度は学生次第です。
- 履修上の留意点 → 毎回どんどん当ててやってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。
- 成績評価の方法 → 平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。
- 教科書 → 竹下裕子、他、「世界の多様な英語 1」、松柏社、¥1,900、ISBN 4-88198-599-X

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	そうま よしあき 相馬 美明				

- 講義のねらい → 「英語II Bの授業内容」
IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。
- 成績評価の方法 → 出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。
- 教科書 → 開講時に指示する。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 経A34年				
担当者名	ほんま としかず 本間 俊一				

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年 経A34年				
担当者名	てじま けいこ 手島 敬子				

講義のねらい

「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また適切に英文の内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

授業は予習を前提に進めていきます。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。英和辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書

William M. Balsamo 著『New Issues for Global Change and Challenges』金星堂 ¥1500
ISBN4-7647-3820-1

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本橋 <small>もとはし</small> 右京 <small>うきやう</small>				

講義のねらい	伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。
履修上の留意点	予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	志真 <small>しま</small> 斗美恵 <small>とみえ</small>				

講義のねらい	さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。
講義の内容・授業スケジュール	文法の説明だけでなく、CDを使い、聞き取り、書き、話すことを繰り返しおこないます。さらに、授業で習った知識を、その場で確かなものとするため、毎回できるだけ多くの練習問題に取り組んでいきます。
履修上の留意点	欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。
成績評価の方法	前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。
教科書	1) 入谷・河野・小林・小松・佐原 2) ようこそベルリンへ！ -独検4級対応- 3) 同学社 4) 2500円 5) ISBN4-8102-0726-2 C1084

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	みなみ けむつ 南 はるつ				

- 講義のねらい ▶ 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
- 講義の内容・授業スケジュール ▶ 教科書に沿って前期は発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞について、後期は形容詞、助動詞、複合動詞、過去形・現在完了形、関係代名詞について学習します。
- 履修上の留意点 ▶ 出席を重視します。
- 成績評価の方法 ▶ 前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
- 教科書 ▶ 高橋・城間著『お洒落なドイツ語』（朝日出版社）
- 参考書等 ▶ 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

- 講義のねらい ▶ ドイツ語文法の基礎を復習します。
- 講義の内容・授業スケジュール ▶ 基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。
- 履修上の留意点 ▶ 何はともあれ出席を心がけてください。
- 成績評価の方法 ▶ 前期と後期の学期末に筆記試験を行います。
- 教科書 ▶ 諏訪田清『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	杉本 <small>すぎもと まさとし</small> 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生がドイツ語の知識を全く無い事を前提に、あらゆる観点からドイツ語への入門を行う。ただ文法事項は正しく理解しながら進んで行く。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を行うが、発音に関しては別にプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、楽しい授業を心掛けるが、必要な課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要であり、重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にはならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 ステップバイステップ15
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一
発行所：東洋出版株式会社 ￥1900

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	飯塚 <small>いらいづか さみむね</small> 公夫				

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点

一年の語学は続き物ですので、途中抜けたときは、その分は自分でやっておいてもらわないと、ついていけなくなると思います。その場合は責任は当人にありますから、心してください。「やる気」もさることながら、「根気」がないと一年持ちませんよ。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

宇佐美幸彦他著「ドイツめぐり（ユーロ版）」（朝日出版社）2,400円

科目名	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

火曜5限

科目名	ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生にドイツ語の知識が全く無いことを前提に、あらゆる観点から、ドイツ語への入門を行う。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、又楽しい授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 楽しいドイツ語トレーニング
著者：太田隆士 明石真和 櫻井千絵
発行所：三修社 ¥2100

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい	初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。
履修上の留意点	授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。
成績評価の方法	期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。
教科書	開講時に指定する。
参考書等	必要に応じて授業中に指示する。
その他	土曜3限

科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政管A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年 経A34年				
担当者名	もり こうせい 森 公成				

講義のねらい	ドイツ語IAとIBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	本橋 右京 <small>もとほし うきょう</small>				

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書 橋本・Neuberger 『楽しく学ぼうドイツとドイツ語』（三修社）

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政営34年				
担当者名	南 はるつ <small>みなみ はるつ</small>				

講義のねらい ドイツ語IA及びIBで学んだことを基礎として、難解な文法項目の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 形容詞、関係代名詞、受動態、接続法について教科書に沿って学習していきます。それに関連した比較的容易な問題を解きながら、同時に読解力も身につけましょう。その際必要があれば今まで学習した項目についても復習します。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2300円

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

〔フランス語〕

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

- 講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。
- 講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。
- 履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。
- 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。
- 教科書

西南学院大学編 『大学生のフランス語－文法・読本・練習－』（白水社）1,700円

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	芦原 睿 <small>あしはら けん</small>				

- 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
- 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
- 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。
- 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
- 教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	小玉 齊夫 <small>こがま なりお</small>				

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然、というより、学生の「権利」です。

教科書

内藤 著 『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-00820-6

参考書等

辞書については初めの授業時に説明します。

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 猛 <small>すがはら たけし</small>				

講義のねらい

英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

「基礎入門タブロー・グラメール」久富 健著（朝日出版社） ¥2,200
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かおる				

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	『街かどのフランス語一新訂版』、瀬戸秀一他著（朝日出版社）2100円
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅谷 <small>すがや</small> さとる				

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『新・彼女は食いしん坊! 1』(朝日出版社) 2,625円

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いまげき 今関 アン				

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席（25%）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』（白水社）の実力テスト（25%）＋前・後期定期試験（50%）

教科書

内村瑠美子著『フランス語でサバイバル!』（白水社）2,000円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いとう なお 伊藤 なお				

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項を解説しながら、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、発音には力を注ぎます。また簡単な文章の読解にも取り組みます。テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国かについての知識も得られるようにしましょう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川 誠司 『トーム・アン』（第三書房）本体2,000円

科目名	フランス語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かつおる				

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。フランス語とフランス文化に親しみつつ、フランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点

出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書

『フランス語でサバイバル』（白水社）2,000円

科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	畑中 <small>はたなか</small> ちゆき				

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早かつ確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

リリアヌ・ラタンジオ、村松定史著
『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー（CD付）』
駿河台出版社 2004年 2500円

科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	ぬまくら ひろこ 沼倉 広子				

講義のねらい

初級文法の基本項目を復習しながら読む、書く、力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

日常会話文、インタビュー、アンケート、メール文、時事文など変化に富んだ文体に触れつつ、フランスの日常生活に対する興味を深める。

履修上の留意点

出席はとらないが、毎回練習問題を提出させるので休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。

教科書

パシヨネマン2 阿南婦美代 セシル・モラン著 第三書房
2400円 ISBN978-4-8086-2185-8 C1085

科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	まえだ のりかず 前田 祝一				

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）2,000円

〔中国語〕

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語—会話と閲読—』（中国詩文研究会発行、東方書店出版、1800円、CD付）。

その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。
月曜5限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では先に進むのではなく、確実に発音ができること、語順を理解し定着させることを目的とします。

履修上の留意点

必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

教科書

方如偉・王智新・鏡屋一『《新版》中国語10課』（白水社）2,100円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	あまの せつ 天野 節				

講義のねらい	発音、基礎的な文法、構文を修得し、簡単な会話練習をし、中国語の基本を身につけること。
履修上の留意点	遅刻、早退、欠席をせず、予習、復習をすること。
成績評価の方法	出席点（30％）＋課題の提出あるいは小テスト（10％）＋前後期計2回の期末テストの平均点（60％）。
教科書	荒川清秀著『[改訂版] 簡明中文システム15』（同学社2200円税別）
参考書等	授業の中で提示する。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい	外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。
講義の内容・授業スケジュール	開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。
履修上の留意点	毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。
成績評価の方法	前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。
教科書	夏宇継『大学生の中国語―基礎からステップアップ―』（金星堂、2200円、CD付）。
その他	新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。 金曜1限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	張 渭涛 <small>ちやう いとう</small>				

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号であるピンインを全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張っていていけば、必ずためになる。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

参考書等

推奨辞書は開講時に説明する。

その他

ピンインから始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	らん めい 蘭 明				

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一カ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年				
担当者名	うめだ まさこ 梅田 雅子				

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1：本文の発音と、意味の確認。
 - 2：本文中の文法項目の確認。
 - 3：練習問題の答え合わせ。
- ★文法項目は本文にあわせて、適時復習する。

履修上の留意点

3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書持参。特に、その場で辞書を引かせるので、辞書は必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

参考書等

中日辞典を教室に持ってくること。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国？』（白水社）2,100円

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年				
担当者名	おおくぼ あきお 大久保 明男				

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一步』（白水社）

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜4限

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	李 雲 <small>り うん</small>				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜5限

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	蘭 明 <small>らん めい</small>				

講義のねらい	基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。
履修上の留意点	授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。
成績評価の方法	出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』(朝日出版社) 2,835円

〔スペイン語〕

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

土井裕文他著『スペイン料理はいかが？』同学社

参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美				

講義のねらい

初級文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） 長文読解用の教材については、適宜プリントを用意する。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	荻野 ^{おぎの めぐみ} 恵				

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 ^{さとう まりの} 麻里乃				

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業内で行う課題により評価する（このため出席は必須である）。

教科書

宮本博司『簡単なスペイン語18課』大学書林

参考書等

西和辞典（出版社は不問）

科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	齋藤 ^{さいとう あけみ} 明美				

講義のねらい

基礎文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

直接法現在形、過去形や命令形など基礎文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点 予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書 中川清、児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	かみやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい 基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書 開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	杉山 ^{すぎやま} 秀子・廣田 ^{ひろた} 英靖 ^{ひでやす}				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐野 ^{さの} 朝子 ^{あさこ}				

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外国語

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	安德 ニーナ <small>あんどく</small>				

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 経A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年 経A34年				
担当者名	<small>おとすか ふみかず</small> 大須賀 史和				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	禪仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 経A34年 禪仏国歴日外考経商現法A政34年 経A34年				
担当者名	安徳 <small>あんどく</small> ニーナ				

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

4. 保健体育科目

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1時限 (商)		2時限 (経済-1)		3時限 (経済-2)		4時限 (現代応用)	
火曜日	※高橋	空手道	※光永	トレーニング	※江口	テニス	※館岡	ゴルフ	
	光永	トレーニング	高橋	空手道	牧野	卓球	鈴木	ソフトボール	
	森本	ジョギング	牧野	卓球	佐藤	ジョギング	山口	室内球技	
	下谷内	卓球	山口	室内球技	館岡	ゴルフ	下谷内	卓球	
	佐藤	ゴルフ	森本	ソフトボール	鈴木	室内球技	江口	テニス	
	江口	テニス	館岡	ゴルフ	森本	ソフトボール			
	鈴木	室内球技							

※は、科目の担当当事者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限											
2時限	渡	前期・基礎	大	前期・応用	田	前期・基礎	村	前期・応用	牧	前期・応用	野
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール	
	後記・基礎	後記・応用		後期・基礎		後記・応用		後記・応用			
	室内球技	ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール			
3時限	渡	前期・応用	大	前期・基礎	田	前期・基礎	鈴	前期・基礎	牧	前期・基礎	野
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール	
	後記・応用	後記・基礎		後記・基礎		後記・基礎		後記・基礎			
	室内球技	簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール			
4時限	大	前期・応用					鈴	前期・応用			
		簡化太極拳						バドミントン			
	後記・応用	後記・応用									
	簡化太極拳	バドミントン									

4. 保健体育科目

保健体育

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習 (空手道)	火 1	商 1 選	通年	2	高橋俊介	327
健康・スポーツ実習 (卓球)	火 1	商 1 選	通年	2	下谷内勝利	328
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	火 1	商 1 選	通年	2	光永吉輝	329
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	火 1	商 1 選	通年	2	森本葵	330
健康・スポーツ実習 (室内球技)	火 1	商 1 選	通年	2	鈴木淳平	331
健康・スポーツ実習 (テニス)	火 1	商 1 選	通年	2	江口淳一	332
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	火 1	商 1 選	通年	2	佐藤政之	333
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	火 3	経 1 選	通年	2	光永吉輝	334
健康・スポーツ実習 (室内球技)	火 3	経 1 選	通年	2	山口良博	335
健康・スポーツ実習 (空手道)	火 3	経 1 選	通年	2	高橋俊介	336
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	火 3	経 1 選	通年	2	館岡儀秋	337
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	火 3	経 1 選	通年	2	森本葵	338
健康・スポーツ実習 (卓球)	火 3	経 1 選	通年	2	牧野茂	339
健康・スポーツ実習 (テニス)	火 2	経 1 選	通年	2	江口淳一	340
健康・スポーツ実習 (室内球技)	火 2	経 1 選	通年	2	鈴木淳平	341
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	火 2	経 1 選	通年	2	佐藤政之	342
健康・スポーツ実習 (ソフトボ ール)	火 2	経 1 選	通年	2	森本葵	343
健康・スポーツ実習 (卓球)	火 2	経 1 選	通年	2	牧野茂	344
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	火 2	経 1 選	通年	2	館岡儀秋	345
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	火 4	現 1 選	通年	2	館岡儀秋	346
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	火 4	現 1 選	通年	2	鈴木淳平	346
健康・スポーツ実習 (室内球技)	火 4	現 1 選	通年	2	山口良博	347
健康・スポーツ実習 (卓球)	火 4	現 1 選	通年	2	下谷内勝利	348
健康・スポーツ実習 (テニス)	火 4	現 1 選	通年	2	江口淳一	349

健康・スポーツ実習 (トレーニング)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	秋田浩一	350
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (トレーニング)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	秋田浩一	
健康・スポーツ実習 (太極拳)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	大石武士	351
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (太極拳)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	大石武士	
健康・スポーツ実習 (卓球)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	村松誠	352
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (卓球)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	村松誠	
健康・スポーツ実習 (室内球技)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	山口良博	353
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	山口良博	
健康・スポーツ実習 (卓球)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	鈴木淳平	354
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (卓球)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	鈴木淳平	
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	高橋俊介	355
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (ソフトボール)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	高橋俊介	
健康・スポーツ実習 (トレーニング&太極拳)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	光永吉輝	356
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (トレーニング&太極拳)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	光永吉輝	
健康・スポーツ実習 (室内球技)	特4	経商現234年(19年度以降入学生)	集中授業	2	村松誠	357
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	特4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	集中授業	2	村松誠	
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	月2	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	通年	2	三幣晴三	358
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	月3	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	通年	2	三幣晴三	358
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	月4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	通年	2	三幣晴三	358
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	火3	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	通年	2	田中佳孝	359
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (室内球技)	水4	経A商2・3・4年(18年度以前入学生)	通年	2	田中佳孝	359
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	渡辺一郎	360

生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	渡辺一郎	360
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	渡辺一郎	361
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	渡辺一郎	361

生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	大石武士	362
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・ 応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・ 応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	大石武士	363

生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(ミニサッカー)	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	大石武士	363
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 1選 経A 1選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 2選 経A 2選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 3選 経A 3選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 1選 経A 1選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 2選 経A 2選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 3選 経A 3選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(簡化太極拳)	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	大石武士	364
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 1選 経A 1選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 2選 経A 2選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 3選 経A 3選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 1選 経A 1選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(フットサル)	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 2選 経A 2選	半期	1	田中佳孝	365

生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(フットサル)	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	田中佳孝	365
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(フットサル)	水2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	田中佳孝	366
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	村松誠	367

生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・ 応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(卓球)	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	村松誠	367
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(卓球)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	鈴木淳平	368
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(バドミント ン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(バドミント ン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(バドミント ン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(バドミント ン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	鈴木淳平	369

生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	鈴木淳平	369
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選 経A4選	半期	1	牧野茂	370
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選 経A1選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選 経A2選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選 経A3選	半期	1	牧野茂	371

生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 1選 経A 1選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 2選 経A 2選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 3選 経A 3選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(バスケットボール)	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A 4選 経A 4選	半期	1	牧野茂	371
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン基礎)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選 経B法B営B選	半期	2	佐藤政之 他	372
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン応用)(ゴルフ)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選 経B法B営B選	半期	2	佐藤政之 他	372
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン基礎)(スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選 経B法B営B選	半期	2	山口良博 他	374
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン応用)(スキー・スノーボード)	特 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選 経B法B営B選	半期	2	山口良博 他	374
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)(テニス)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	集中授業	1	江口淳一	375
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)(テニス)						
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)(ゴルフ)	特 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	集中授業	1	三幣晴三	376
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)(ゴルフ)						
健康・スポーツ論 1	火 3	経商 1選	半期	2	下谷内勝利	377
健康・スポーツ論 1	火 4	経商現 1選	半期	2	高橋俊介	378
健康・スポーツ論 2	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	半期	2	大石武士	379
健康・スポーツ論 2		禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	半期	2	三幣晴三	380

健康・スポーツ論2		禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	半期	2	村松誠	381
健康・スポーツ論2		禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経A選	半期	2	牧野茂	382
余暇学		経商現選 経A 2・3・4選(18年度以 前入学生) 経B選	半期	2	秋田浩一	383
余暇学		経商現選 経A 2・3・4選(18年度以 前入学生) 経B選	半期	2	田中佳孝	384

科目名	健康・スポーツ実習（空手道）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は実技テストにて判定する。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	みづなが よしひろ 光永 吉輝				

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	もりもと まもる 森本 葵				

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を重視する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

科目名	健康・スポーツ実習（テニス）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行うか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	商1選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 政之 ^{まさゆき}				

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝				

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：＃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2 kg up、女子は1 kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	山口 ^{やまぐち} 良博 ^{よしひろ}				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
（バスケットボール）
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：ゲーム（リーグ戦）
（バレーボール）
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：ゲーム（リーグ戦）
（バドミントン）
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習（空手道）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	たかほし しゆんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋				

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
担当	経 1 選				
担当者名	もりもと まもる 森本 葵				

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2時限目： ”
- 3時限目：試合（勝ち点制）
- 4時限目： ”
- 5時限目： ”
- 6時限目： ”
- 7時限目： ”
- 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9時限目： ”
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目： ”
- 12時限目： ”
- 13時限目： ”
- 14時限目： ”
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、ダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、生涯スポーツの一つとして、継続して実施できるような基盤を作ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方 シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習（テニス）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	えくち じほんいち 江口 淳一				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
担当	経 1 選				
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）	開講	通年	単位	2
担当	経1選				
担当者名	佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small>				

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：20分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

平常点など

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	もりもと まもる 森本 葵				

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2時限目： ”
- 3時限目：試合（勝ち点制）
- 4時限目： ”
- 5時限目： ”
- 6時限目： ”
- 7時限目： ”
- 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9時限目： ”
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目： ”
- 12時限目： ”
- 13時限目： ”
- 14時限目： ”
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視する。

その他

雨天時は視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、ダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、生涯スポーツの一つとして、継続して実施できるような基盤を作ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方 シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	経1選				
担当者名	なておか よしあき 館岡 儀秋				

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	現1選				
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋				

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
配当	現1選				
担当者名	すずき じゅんぺい 鈴木 淳平				

講義のねらい

ソフトボールを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を習得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：キャッチボール、トスパッティング、ゲーム
- 3時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム
- 4時限目～：総合練習、リーグ戦

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	現 1 選				
担当者名	山口 ^{やまぐち} 良博 ^{よしひろ}				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
（バスケットボール）
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：ゲーム（リーグ戦）
（バレーボール）
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：ゲーム（リーグ戦）
（バドミントン）
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	現 1 選				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は実技テストにて判定する。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名	健康・スポーツ実習（テニス）	開講	通年	単位	2
配当	現1選				
担当者名	<small>えぐち じゅんいち</small> 江口 淳一				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕（トレーニング）	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムIIの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習（太極拳） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕（太極拳）	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 2日目午後：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 5日目午後：総合・テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕（卓球）	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博				

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

(1)実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合

(2)実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3)実施場所：玉川体育館

(4)申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5)備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習 (卓球) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕（ソフトボール）	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目
午前：ゲーム
午後： "
- 第3日目
午前： "
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
午前： "
午後： "
- 第5日目
午前： "
午後： "

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習 (トレーニング&太極拳) 健康・スポーツ実習 [再クラス] (トレーニング&太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	みつなが よしてる 光永 吉輝				

講義のねらい

この講義では午前に、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目
午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目
午前：カイザーカムIIの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目
午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目
午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)~21日(土)、(後期) 1月5日(土)~9日(水)
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技） 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	経商現(19年度入学生) 経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：ゲーム（トーナメント）
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）の配分で評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（火）～21日（土）、（後期）1月5日（土）～9日（水）
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	三幣 晴三 <small>みねさ はるみ</small>				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、フットサル、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃(ルールの解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 3 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 4 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(ゲーム)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	経A商234年(18年度以前入学生)				
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： " (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： " (シングルスゲーム)
- 5 時限目： " (シングルスゲーム)
- 6 時限目： " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： " (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： " (まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目： " (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目： " (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12 時限目： " (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13 時限目： " (ゲーム)
- 14 時限目： " (ゲーム)
- 15 時限目： " (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： " (ソフトバレーの概要とルール)
- 4 時限目： " (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： " (ゲーム)
- 6 時限目： " (ゲーム)
- 7 時限目： " (ゲーム)
- 8 時限目： " (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： " (ゲーム)
- 13 時限目： " (ゲーム)
- 14 時限目： " (ゲーム)
- 15 時限目： " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球で使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。成績評価を受ける為には2/3以上の出席日数が必要。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（室内球技）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎				

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

- 1. 本校第一体育館で行う。
- 2. 定員は40名とする。
- 3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（室内球技）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	わたなべ いちろう 渡辺 一郎				

講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3 時限目～6 時限目：総合練習、ゲーム
- 7 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8 時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

履修上の留意点

- 1. 本校第一体育館で行う。
- 2. 定員は40名とする。
- 3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（ミニサッカー）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たくし 大石 武士				

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
成績評価を受けるには2/3の出席日数が必要。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6時限目：ゲーム
- 7時限目：ゲーム
- 8時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受ける為には2/3の出席日数が必要。

そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（卓球）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	村松 誠 <small>むらまつ まこと</small>				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（卓球）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営をクラスの仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 3時限目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 4時限目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行う。
3. スポーツウェア（上下）、体育館用のシューズ着用で受講する。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（バドミントン）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平				

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。シングルス、ダブルス等のゲームを通じて技術・戦術を習得し、試合の運営、マナーやエチケット等も学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット、シングルス・ゲーム
- 4 時限目：半面での簡易ゲーム、シングルス、ダブルス・ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目～15時限目：総合練習・ゲーム

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・応用)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	牧野 茂 <small>まきの しげる</small>				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・基礎)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A4選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENS(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENS(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENS(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENS(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENS(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENS(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選 経B法B営B選				
担当者名	佐藤 ^{さとう} 政之 ^{まさゆき} 他				

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月7日（土）12：20～12：40 2研-102教場
 - 2回目 4月14日（土）12：20～12：40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日（火）13：00～16：10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月10日（月）
講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13：00～17：30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月11日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月12日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月13日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月14日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習I（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成19年9月10日（玉川校舎）・9月11日～14日（現地：3泊4日）
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - （1）集合 9月10日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
9月11日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - （2）解散 9月14日（金）午後12時30分：予定 ダイナミック成田
- 受講料：35,700円（左記金額には、交通費は含まれない。）
- 納入期間：平成19年5月21日（月）～6月2日（土）
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門（第2研究館9館資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
 - （1）一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - （2）ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - （3）グローブは、必ず各自で用意すること。
 - （4）ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A選 経A選 経B法B管B選				
担当者名	やまぐち よしひろ 山口 良博 他				

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日(火)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日(土)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）(テニス) 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）(テニス)	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一				

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、その価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後： " " （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日（火）～21日（土）
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	開講	集中授業	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A選 経A選				
担当者名	三幣 ^{みのさ へるみ} 晴三				

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

- (1) 実施期間：1月5日（土）～9日（水）
1月5日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	経商1選				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

講義のねらい

「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 授業内容の説明
2. 健康とは
3. スポーツとは
4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
5. からだと環境 1 適応について
6. " 2 生活習慣病について
7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）
8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の動きなど）
9. 身体構造に規制される動き
10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）
11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）
12. 有酸素運動
13. 無酸素運動
14. ワークショップ
15. まとめ

履修上の留意点

配布プリントに沿って板書することが多くあることから、出席してノートを整理しておく必要がある。

成績評価の方法

小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）

参考書等

配布プリントに記載されている参考文献参照のこと

その他

基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行うこともある。

科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	経商現1選				
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介				

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を辿って今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 5時限目：学校体育による教育
 6時限目：社会体育による教育
 7時限目：生涯体育による教育
 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出”授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 12時限目：（例）スポーツの文化性、芸術性について
 13時限目：（例）スポーツマン精神について
 14時限目：（例）大衆スポーツ論
 15時限目：（例）スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	おおいし たくし 大石 武士				

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっぎの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	三幣 晴三				

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的な前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10時限目：同 II
- 11時限目：同 III
- 12時限目：同 IV
- 13時限目：同 V
- 14時限目：健康のまとめ
- 15時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経A選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2）
- 4 時限目：健康とは何か（3）
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11 時限目：日常生活と健康（2） "・"・"・"（2）
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
配当	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目： " の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目： " の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目： " の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10 時限目：フランスサッカーについて
- 11 時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12 時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13 時限目：オランダサッカーの実習
- 14 時限目：イタリア "
- 15 時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参考書等

不要。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
担当	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選				
担当者名	たなか よしたか 田中 佳孝				

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：Jリーグの運営について
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10 時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11 時限目：冬のアウトドアスポーツ
- 12 時限目：グループ・プレゼンテーション
- 13 時限目：グループ・プレゼンテーション
- 14 時限目：テスト

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、レポート提出（2回）とテスト（最終週）により、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

Ⅱ. 専門教育科目

経 濟 学 科

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A

商 学 科

現 代 応 用 経 済 学 科

II. 専門教育科目

- ・経済学科フレックスA、商学科、経済学科フレックスBの学生で、『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。(P.813)
- ・科目名の前に※印が付いている科目は経済学科(19年度入学生)・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科
 経済学科(19年度入学生)…経 経済学科フレックスA…経A 商学科…商
 現代応用経済学科…現 経済学科フレックスB…経B

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経済学概説	経1必(19年度以降入学生)	通年	4	福原好喜	407
	経A1必(18年度以前入学生)				
経済学概説	経1必(19年度以降入学生)	通年	4	渡邊恵一	407
	経A1必(18年度以前入学生)				
経済学概説	経1必(19年度以降入学生)	通年	4	安元稔	408
	経A1必(18年度以前入学生)				
経済理論A・資本の原理	経1・2・3・4必(19年度以降入学生)	通年	4	有井行夫	409
経済理論IA・資本の原理	経A1・2・3・4必(18年度以前入学生)				
経済理論A・資本の原理	経1・2・3・4必(19年度以降入学生)	通年	4	阿部弘	410
経済理論IA・資本の原理	経A1・2・3・4必(18年度以前入学生)				
経済理論IA・資本の原理	商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	大石雄爾	411
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
ミクロ経済学	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	畠中貴	412
経済理論II・ミクロ経済学	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
ミクロ経済学	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	松井柳平	413
経済理論II・ミクロ経済学	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
マクロ経済学	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	荒木勝啓	414
経済理論II・マクロ経済学	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
マクロ経済学	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	浅野克巳	415
経済理論II・マクロ経済学	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済学史	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	福原好喜	416
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済史	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	安元稔	417
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				

経済政策	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	飯田泰之	419
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
財政学	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	里中恆志	420
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
金融論	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	代田純 須藤時仁	421
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
社会政策	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	光岡博美	422
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
日本経済論	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	小林正人	423
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
国際経済論	経1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	通年	4	徳永俊明	424
	経A1・2・3・4選必(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
流通論基礎	商1選必(19年度以降入学生)	通年	4	大吹勝男	425
	商1選必(16~18年度入学生)				
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
商学総論	商1・2・3・4選必(15年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経営学基礎	商1選必(19年度以降入学生)	通年	4	百田義治	426
	商1選必(16~18年度入学生)				
経営学総論	商1・2・3・4選必(15年度以前入学生)				
会計学基礎	商1選必(19年度以降入学生)	通年	4	小栗崇資	427
	商1選必(16~18年度入学生)				
会計学総論	商1・2・3・4選必(15年度以前入学生)				
会計学総論	経1・2・3・4選(19年度以降入学生)	通年	4	寺坪修	428
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
社会経済学 a	現1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	半期	2	阿部弘	429
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
社会経済学 b	現1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	半期	2	阿部弘	430
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
企業経済学 a	現1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	半期	2	飯田泰之	431
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
企業経済学 b	現1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	半期	2	飯田泰之	432
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
企業経営学 a	現1・2・3・4選必(19年度以降入学生)	半期	2	百田義治	433
	経A2・3・4選(18年度以前入学生)				

企業経営学 b	現 1・2・3・4 選必 (19年度以降入学生)	半期	2	百田義治	434
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
地域経済論 a	現 1・2・3・4 選必 (19年度以降入学生)	半期	2	長山宗広	435
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
地域経済論 b	現 1・2・3・4 選必 (19年度以降入学生)	半期	2	長山宗広	436
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
産業組織論 a	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	舘健太郎	437
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
産業組織論 b	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	舘健太郎	437
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
基礎ゼミ	商 1 選 (19年度入学生のみ)	半期	2	勝田佳裕 小西宏美 佐藤和子	438
	現 1 選 (19年度入学生のみ)				
基礎ゼミ	現 1 選 (19年度入学生のみ)	半期	2	松田健 松本典子	439
	商 1 選 (19年度入学生のみ)				
情報入門 I	現 1 選 (19年度入学生のみ)	半期	2	舘健太郎	441
情報入門 I	商 1 選 (19年度入学生のみ)	半期	2	中濟光昭	442
情報入門 II	現 1 選 (19年度入学生のみ)	半期	2	舘健太郎	443
経済学基礎	商 1 選 (19年度以降入学生)	通年	4	森田成也	444
	商 1 選 (16~18年度入学生)				
経済学概説	商 1 必 (15年度以前入学生)	通年	4	森田成也	
簿記論	経 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)	通年	4	福島隆	445
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (16~18年度入学生)				
	商 1・2・3・4 選必 (15年度以前入学生)				
簿記論	経 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)	通年	4	渡邊智	446
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (16~18年度入学生)				
	商 1・2・3・4 選必 (15年度以前入学生)				
簿記論	経 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)	通年	4	森田佳宏	447
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)				
	商 1・2・3・4 選 (16~18年度入学生)				
	商 1・2・3・4 選必 (15年度以前入学生)				
企業論基礎	商 1 選 (19年度以降入学生)	通年	4	劉永鶴	448
	商 1 選 (18年度以前入学生)				
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経 B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
ファイナンス基礎	商 1 選 (19年度以降入学生)	通年	4	須藤時仁	449
	商 1 選 (18年度以前入学生)				
	経 A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経 B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				

キャリア・デザイン	経1・2選 (19年度以降入学生)	通年	4	竹下睿麒	450
	商1・2選 (19年度以降入学生)				
	現1・2選				
	経A1・2選 (18年度以降入学生)				
	商1・2選 (18年度以降入学生)				
経B1・2選 (18年度以降入学生)					
経済理論B・経済システムの原理	経1・2・3・4選 (19年度以降入学生)	通年	4	有井行夫	451
経済理論IB・経済システムの原理	経A1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済数学	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	池田宏	452
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経1・2・3・4選 (19年度以降入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
応用ミクロ経済学	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒木勝啓	453
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
応用マクロ経済学	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉野紀	454
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
計量経済学	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	田中正光	455
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
統計原論	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉野紀	456
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
景気循環論	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	野村信廣	457
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
現代資本主義論	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	長島誠一	458
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
社会思想史 a	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	阿部弘	459
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
社会思想史 b	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	阿部弘	460
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
日本経済史	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	渡邊恵一	461
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
西洋経済史	商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	友松憲彦	462
	経B1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				

農業政策	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	溝手芳計	463
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
工業政策	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	奥山雅之	464
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
経済地理	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	矢延洋泰	465
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
中小企業論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	吉田敬一	466
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
中小企業政策論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	吉田敬一	467
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
公共経済学 a	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木伸枝	468
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
公共経済学 b	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木伸枝	469
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
地方財政論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	篠原章	470
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
国際金融論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	田中綾一	471
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
人口論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	森岡仁	472
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
教育経済論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	谷敷正光	473
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
労働経済論				休講	
環境経済論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	山口由二	474
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
アジア経済論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	鄭章淵	475
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
中国経済論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小杉修二	476
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
アメリカ経済論	経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	瀬戸岡紘	477
	商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生)				

EU統合論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	廣田愛理	478
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
現代西欧経済論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	廣田愛理	479
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
ロシア・東欧経済論				休講	
貿易実務				休講	
通関実務				休講	
情報・経済ネットワーク論	経 1・2・3・4選 (19年度以降入学生)	通年	4	中濟光昭	480
	経A 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
プログラミング論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	濱本和彦	481
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
基礎情報処理 I	経 1・2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	相浦宣徳	482
	経A 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
基礎情報処理 II	経 1・2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	相浦宣徳	483
	経A 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
応用情報処理 I	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井川俊実	484
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
応用情報処理 II	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井川俊実	485
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
憲法	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	内田真利子	486
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
民法一部	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	竹中智香	487
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
民法二部	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	織田晃子	488
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
商法一部	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒木正孝	489
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
商法二部	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	中濱義章	490
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済法	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	若林亜理砂	491
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				

労働法	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	藤本茂	492
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
行政法	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小林弘人	493
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
国際法	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	橋本靖明	494
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
税法Ⅰ				休講	
税法Ⅱ				休講	
経済外国書講読Ⅰ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	494
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	495
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) H				
経済外国書講読Ⅰ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	495
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	496
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	496
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ a〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	497
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱ b〔英語〕	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				

経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	497
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	498
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰa〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	498
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱa〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰb〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	499
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱb〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰa〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	499
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱa〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰb〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	499
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱb〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	500
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				

経済外国書講読Ⅰb〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	500
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
経済外国書講読Ⅱb〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
現代経済事情Ⅰ 【〔IT時代の経済産業動向〕】	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	竹本正男	501
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
現代経済事情Ⅱ 【〔少子高齢化と経済〕】	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	増田幹人	502
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
現代経済事情Ⅲ 【〔世界経済と中小企業〕】	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	高田好章	503
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
現代経済事情Ⅳ 【〔フリーターと日本社会〕】	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	豊田義博	504
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
会計資格特別演習				休講	
情報資格特別演習Ⅰ				休講	
情報資格特別演習Ⅱ				休講	
教員試験特別演習				休講	
流通経済論	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	大吹勝男	505
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
商業政策	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	岩下弘	506
	商2・3・4選(16~18年度以前入学生)				
	商1・2・3・4選必(15年度以前入学生)				
	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)				
マーケティング	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	曾我信孝	507
	商2・3・4選(16~18年度以前入学生)				
	商1・2・3・4選必(15年度以前入学生)				
商品学	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	大瀬良伸	508
	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
交通政策	経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	金兌奎	509
	経B2・3・4選(18年度以前入学生)				
交通論	商2・3・4選(18年度以前入学生)				
商業史				休講	

消費経済論	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	姉齒暁	510
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
ロジスティックス	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	石原伸志	511
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営管理論 a	商2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	岩波文孝	512
	商2・3・4選 (16年度以降入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営管理論 b	商2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	岩波文孝	513
	商2・3・4選 (16年度以降入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営管理論	商1・2・3・4選必 (15年度以前入学生)	通年	4	岩波文孝	514
人的資源管理論 a	商2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	堀龍二	515
	商2・3・4選 (16年度以降入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
人的資源管理論 b	商2・3・4選 (19年度以降入学生)	半期	2	堀龍二	516
	商2・3・4選 (16年度以降入学生)				
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
労務管理論	商1・2・3・4選必 (15年度以前入学生)	通年	4	堀龍二	517
経営戦略論 a	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	田淵泰男	518
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営戦略論 b	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	田淵泰男	519
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
企業統治論 a	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	水村典宏	520
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
企業統治論 b	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	水村典宏	521
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				
現代企業論 a	現1・2・3・4選必 (19年度以降入学生)	通年	4	松田健	522
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
現代企業論 b	現1・2・3・4選必 (19年度以降入学生)	通年	4	松田健	523
	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営学史				休講	
非営利組織論 a	経A2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	524
	商2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B2・3・4選 (18年度以前入学生)				

非営利組織論 b	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	525
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営情報システム論 I	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	斎藤隆	526
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営情報システム論 II	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	斎藤隆	527
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
財務会計論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小栗崇資	528
	商 2・3・4選 (16~18年度入学生)				
	商 1・2・3・4選必 (15年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
会計監査論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	森田佳宏	529
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
会計情報論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川純治	530
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
管理会計論 a	経A商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	石川祐二	530
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
管理会計論 b	経A商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	石川祐二	531
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
原価計算論				休講	
税務会計論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	北口りえ	531
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
経営分析				休講	
※上級簿記	経 1・2・3・4選 (19年度以降入学生)	通年	4	福島隆	884
	商 1・2・3・4選 (19年度以降入学生)				
	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)				
コンピュータ会計 I	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木勝浩	532
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
コンピュータ会計 II	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木勝浩	533
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
貿易論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	古沢敏造	534
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
銀行システム論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齊藤正	535
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				

現代銀行事情	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齊藤正	536
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
グローバル・ファイナンス	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小西宏美	537
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
証券市場論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	広田真人	538
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
保険論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	宮地朋果	539
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
※ビジネス英会話 a	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井上愛子	888
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
※ビジネス英会話 b	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井上愛子	889
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
ビジネス・インターンシップ a	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	吉田敬一 光岡博美	540
	商 3選 (17年度入学生のみ)				
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	石川純治	541
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	石川祐二	541
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	岩波文孝	542
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	小栗崇資	542
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	齋藤正	543
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	清水卓	543
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	代田純	544
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	瀬戸岡紘	544
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	曾我信孝	545
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	徳永俊明	545
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	光岡博美	546
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	谷敷正光	547
	経B 3選 (17年度入学生のみ)				
ビジネス・インターンシップ b	経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	吉田敬一	548
ビジネス・インターンシップ b	商 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	吉田敬一 堀龍二	548

情報の経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	舘健太郎	549
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
法と経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	550
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
制度の経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	551
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
ベンチャー論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	長山宗広	552
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
起業論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	長山宗広	553
	商 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)				
現代産業事情Ⅰ				休講	
現代産業事情Ⅱ				休講	
現代産業事情Ⅲ	経A 3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齋藤正	554
	商 3・4選 (18年度以前入学生)				
	経B 3・4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	浅野克巳	555
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	姉齒暁	556
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	阿部弘	557
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒木勝啓	557
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	有井行夫	558
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	飯田泰之	559
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川祐二	560
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川純治	561
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	岩波文孝	562
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	大吹勝男	562
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	大石雄爾	563
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	小栗崇資	564
	商 2選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅰ	経A 2選 (18年度以前入学生)	通年	4	北口りえ	565
	商 2選 (18年度以前入学生)				

演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小杉修二	566
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小西宏美	567
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小林正人	568
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	齊藤正	569
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	清水卓	570
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	鈴木伸枝	570
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	瀬戸岡紘	571
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	曾我信孝	572
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	館健太郎	572
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	鄭章淵	573
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	徳永俊明	574
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	友松憲彦	575
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	中濟光昭	576
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	長山宗広	577
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	百田義治	578
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	福原好喜	579
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	古沢紘造	580
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	堀龍二	581
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	松井柳平	582
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	松田健	583
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	松本典子	584
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	溝手芳計	585
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生) 商 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	光岡博美	586

演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	村松幹二	586
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	森田佳宏	587
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	森岡仁	588
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	谷敷正光	589
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	安元稔	590
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	山縣弘志	590
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉野紀	591
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉田敬一	591
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 I	経 A 2 選 (18年度以前入学生)	通年	4	渡邊恵一	592
	商 2 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	浅野克巳	592
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	姉齒暁	593
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	阿部弘	593
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒木勝啓	594
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	有井行夫	594
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	飯田泰之	595
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川祐二	596
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川純治	597
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	岩波文孝	598
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	大石雄爾	599
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	大吹勝男	599
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	北口りえ	600
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小栗崇資	600
	商 3 選 (18年度以前入学生)				
演習 II	経 A 3 選 (18年度以前入学生)	通年	4	小杉修二	601
	商 3 選 (18年度以前入学生)				

演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	小西宏美	602
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	小林正人	603
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	齊藤正	604
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	清水卓	604
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	代田純 小西宏美	605
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	鈴木伸枝	605
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	瀬戸岡紘	606
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	曾我信孝	607
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	館健太郎	608
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	鄭章淵	609
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	徳永俊明	610
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	友松憲彦	610
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	中濟光昭	611
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	長山宗広	612
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	百田義治	613
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	福原好喜	613
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	古沢紘造	614
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	堀龍二	614
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	松井柳平	615
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	松田健	616
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	松本典子	617
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	溝手芳計	618
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	光岡博美	618
	商3選 (18年度以前入学生)				

演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	村松幹二	619
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	森田佳宏	620
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	森岡仁	620
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	谷敷正光	621
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	安元稔	621
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	山縣弘志	622
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉野紀	622
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉田敬一	623
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅱ	経A 3選 (18年度以前入学生)	通年	4	渡邊恵一	623
	商3選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	浅野克巳	624
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	阿部弘	624
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒木勝啓	625
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	有井行夫	625
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	飯田泰之	626
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川祐二	627
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	石川純治	627
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	岩下弘	628
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	岩波文孝	629
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	大石雄爾	630
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	大吹勝男	630
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小栗崇資	631
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小杉修二	632
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小林正人	633
	商4選 (18年度以前入学生)				

演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	齊藤正	633
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	里中恆志	634
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	清水卓	634
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	代田純 須藤時仁	635
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	鈴木伸枝	635
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	瀬戸岡紘	636
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	曾我信孝	636
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	鄭章淵	637
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	徳永俊明	638
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	友松憲彦	638
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	中濟光昭	639
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	百田義治	639
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	福原好喜	640
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	古沢紘造	640
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	堀龍二	641
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	松井柳平	641
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	溝手芳計	642
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	光岡博美	642
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	森岡仁	643
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	森田佳宏	643
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	谷敷正光	644
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	山縣弘志	644
	商 4 選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉田敬一	645
	商 4 選 (18年度以前入学生)				

演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	吉野紀	645
	商4選 (18年度以前入学生)				
演習Ⅲ	経A 4選 (18年度以前入学生)	通年	4	渡邊恵一	646
	商4選 (18年度以前入学生)				

科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	経1必(19年度以降入学生) 経A1必(18年度以前入学生)				
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜				

講義のねらい

経済現象とそれを分析した経済学に興味を持ってもらうこと。経済は「経国済民」(国ヲ経メ民ヲ済フ)。経済を学ぶ心を身につけさせること。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを使い、日本経済の諸問題をゼミナール型式で討論し、教師が論点整理して行く。大教場での授業が予想されるが、初めて学生参加型の授業を考えている。乞御協力。

成績評価の方法

出席点及び試験の成績で行なう。出席不良者は失格することがある。

教科書

福原著『総理に忠告すー日本経済危機水域に入れりー』、『総理お間違えではありませんか? 銀八教授内閣への直言』、『今経済学が解かなければならない問題』(『Worm Heart』所収)

参考書等

参考文献はその都度指示。必要資料は授業時配布する。

科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	経1必(19年度以降入学生) 経A1必(18年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

経済学部に入学生した学生に、経済学という学問分野の基本的な考え方や分析対象について理解してもらうとともに、今後専門科目を順次履修していくための指針を与える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、経済学部の学生として最低限必要となる基礎知識について、チェックしていく機会とする。知っているつもりで実はよく知らなかったこと、あいまいに理解していたことがないかどうか、1話完結型の講義で確認していきたい。後期は、戦後日本経済の展開を、さまざまなデータ・資料を用いて読み解いていく。前期で得た知識やツールが、実態経済を分析していく上でどのように実践・応用されるのかを体験し、今後の専門分野を選択する一助としたい。

履修上の留意点

欠席厳禁。遅刻も常習者に対しては厳しい指導と評価で対処する。

成績評価の方法

教員からの問題提起に対する意見、授業の感想、内容への質問などを記入してもらう「リアクション・ペーパー」を、毎回配布・回収する。出席票を兼ねると同時に、講義に取り組む受講生の姿勢を読み取り、平常点として評価する。最終的な評価は、期末試験の成績を加味して行う。

教科書

使用しない。レジュメを毎回配布する。

参考書等

その都度、紹介する。

その他

1年生は、学生番号で機械的に受講者が決まります。縁あっての出会いですので悪しからず。

科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	経1必(19年度以降入学生) 経A1必(18年度以前入学生)				
担当者名	やすもと みのる 安元 稔				

講義のねらい

この講義では、経済学的なもの見方とは何かを経済学の基本的な概念を説明し、現代社会の経済問題について、新聞・雑誌・著書からの抜粋を解説しながら勉強します。現在私たちが生きている社会は、資本主義社会・工業化社会・市場経済社会などと呼ばれていますが、これらは必ずしも同じものではありません。その違いを理解するためには、現代社会の仕組み、成り立ち、歴史的な発展を知る必要があります。講義は以下の順序で進めます。

講義の内容・授業スケジュール

第I編 社会科学としての経済学

1. 経済学の対象
2. 資源配分の方法（市場経済と非市場経済）
3. 慣習経済・指令経済・市場経済
4. 市場経済の特質

第II編 経済学の発展

1. アダム・スミスの自由主義経済学
2. カール・マルクスの資本主義批判
3. ジョン・メイナード・ケインズの経済学

第III編 経済分析の基礎理論

1. 国民所得と経済成長
2. 価格と市場メカニズム
3. 消費者の行動
4. 生産者の行動と独占
5. 雇用と失業

第IV編 現代社会の経済問題

1. 資本主義の変容
2. グローバリゼーションの進展
3. 高齢化社会の到来
4. 労働の倫理

履修上の留意点

配布する資料をよく読んで、まとめてもらいます。必修科目ですから、毎回出席し、指定された文献は必ず読むこと、これらを守ってください。

成績評価の方法

レポートと期末試験の成績で評価します。前期試験を実施しない代わりに、夏休みあけにレポートを提出してもらいます。テキストは、『経済成長の世界史』（名古屋大学出版会）、長さは、4,000字以上です。このレポートに40点、期末試験に60点を配点します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

適宜指示します

その他

できるだけ社会の動きに関心を持つ事が大事です。そのためには、例えば、新聞をよく読んで下さい。

科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論IA・資本の原理	開講	通年	単位	4
配当	経1234必(19年度以降入学生) 経A1234必(18年度以前入学生)				
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫				

講義のねらい

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といますが、資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論Aは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論Bは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる経済理論Aの発展コースです。また、ミクロ経済学、マクロ経済学は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論A、Bとはアプローチの方法がちがいます。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

【前期】(第1週-第4週) 第1章=経済学の対象と方法。(第5週-第13週) 第2章=商品と貨幣。

【後期】(第13週-第22週) 第3章=資本と剰余価値。(第23週-第26週) 第4章=資本の蓄積。(第27週) 第5章=結論。

履修上の留意点

骨格的内容の理解に時間を集中します。

成績評価の方法

授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験によります。

教科書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論IA・資本の原理	開講	通年	単位	4
担当	経1234必(19年度以降入学生) 経A1234必(18年度以前入学生)				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
- 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する。
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
- 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 日本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：5月／第2回目：6月末～7月初旬／第3回目：10月／第4回目：12月
- 2 その他

定期試験は行いません。

教科書

池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリ）
マルクス『資本論』①～⑤（大月書店 国民文庫）

その他

受講生と講師が連絡できるように次に連絡先等を掲載しておきます。
研究室：第2研究棟5F No. 2538
TEL 03-3418-9360

科目名	経済理論ⅠA・資本の原理	開講	通年	単位	4
配当	商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論A」では、科学的方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義していきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるように心がけていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

1. 経済学とはどのような学問か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論A（資本の原理）は体系的なまとまりを持っているため、講義の全体を通して聞くことにより、初めてよく理解できるという性質の科目です。授業には、年間をとおして毎回出席することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に小レポートを書き、提出することを求めることがあります。成績は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して評価します。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）3,600円
大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	はたなか たかし 畠中 貴				

講義のねらい

ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学（関数、微分）の説明も併せて行う。

この講義の目標とするところは、次の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。

後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース（市場の失敗）、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第一回目の授業で指示する。

科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつい 柳平				

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
ガイダンス 講義の概要等説明
あるパン屋の話
ナッシュ均衡
バックワード・インダクション
サブゲーム完全均衡
<後期>
不完備情報ゲーム
ベイズ完全均衡
消費者理論
金融とリスク管理
契約と誘因

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算(足し算、引き算、かけ算、わり算)、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全に身につけていることが、受講生には求められる。こうした算数、初等的な数学について自信のない場合は、算数や中学時代の数学の教科書を事前によく復習してもらい必要がある。

講義プリントを、<http://www.komazawa-u.ac.jp/~matsui/lecture.html> から事前にプリントアウトして予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。

また、夏期休暇中のレポート課題も1点~10点で評価する。

以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。

成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成绩の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

教科書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9

参考書等

岩田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5
武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫:経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社) ISBN: 4532108292
渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN: 4816337458
船木『演習ゲーム理論』(新世社) ISBN4-88384-072-7
神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』(日本評論社) ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒木 <small>あらかき</small> 勝啓 <small>よしのり</small>				

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
4. 国民所得の決定
5. 政府・輸出入の導入
6. 乗数理論
7. ビルト＝イン＝スタビライザー
8. 貨幣とは何か
9. 信用通貨の成立
10. 信用創造理論
11. 貨幣数量説と古典派学説
12. 流動性選好説
13. LM曲線
14. 投資関数
15. IS曲線
16. IS＝LM曲線による均衡実質国民所得の決定
17. マンデル＝フレミングの定理
18. IS＝LM＝BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
19. コブ＝ダグラス生産関数に基づく経済成長率の算出
20. ハロッド＝ドーマーモデル
21. 新古典派成長理論
22. 期待理論その1
23. 期待理論その2

成績評価の方法

主として計算問題から成る定期試験により評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳				

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよ。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門のコースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、以上厳守。

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』(成蹊堂) 1995年

参考書等

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の主な要点、トピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

科目名	経済学史	開講	通年	単位	4
担当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	福原 <small>ふくはら</small> 好喜 <small>よしのき</small>				

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で把えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるとするのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓詁学とならないために、極力現代の経済問題も取り上げる。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。違反者は退場願う。(イエローカード二枚でレッドカード)

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。数回レポートを課す。

参考書等

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』

その他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイPHS禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。

科目名	経済史	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	やすもと みのる 安元 稔				

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か

I 『経済史』の対象と課題

1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題

II 資源配分の方法

1. 市場経済と非市場経済(慣習・指令経済)
2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』

第2編 外国経済史を学ぶ意味

I ヨーロッパとアジア

1. 比較史の視点

II 環境・政治支配の型と経済発展

1. E. L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』

第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

I 中世の経済と社会

1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会の変容

II 近代の幕開け

1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化

III 工業化のモデル

1. ロストウ理論
2. ガーシェンクロン・モデル
3. クズネッツの近代経済成長論
4. シュンペーターのイノベーション理論
5. その他の工業化モデル

IV 最初の工業国家

1. 産業革命をどう捉えるべきか

講義の内容・
授業スケジュール

- 2. 人口の動向と農業革命
 - 3. 18・19世紀イギリスの経済変動
 - 4. 都市化と工業化
- V 工業化の伝播と拡大
- 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
 - 2. イギリス経済の退潮
- VI 国際経済の生成と発展
- 1. 国際経済の構造
 - 2. ヨーロッパとアジア

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E. L. ジョーンズ『経済成長の世界史』を読み、レポート（400字詰め原稿用紙10枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

E・L・ジョーンズ『経済成長の世界史』（名古屋大学出版会）

その他

授業の方法は、講義方式です。但し、Power Point・OHP・ビデオ・資料を使って説明します。

科目名	経済政策	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	飯田 泰之 <small>しいだ やすゆき</small>				

講義のねらい

現代経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。
 複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、個々の経済問題について、
 (1) 理論的な枠組みを解説し
 (2) 基本理論を用いて政策的課題を論じ
 (3) 現実の事例・データで確認する
 というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎理論 (1) ミクロ編
2. 競争市場の効率性と政府介入
3. 公益事業と競争政策
4. 外部性と公共財
5. 情報の経済学
6. 経済学と経済政策の基礎理論 (2) マクロ編
7. 短期安定化政策
8. 中期安定化政策
9. 現代日本経済の政策的課題

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

夏・冬2回のレポート提出と後期試験による。

教科書

岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』(日本経済新聞社)2006年近刊

参考書等

必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

科目名	財政学	開講	通年	単位	4
担当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	さとなか つねし 里中 恆志				

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粋公共財、(第18回) 公共事業費と費用=便益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスピルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明、(第30回) 試験

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教科書

里中恆志=八巻節夫編著『新財政学』(文真堂) 3,200円 ISBN4-8309-4546-X C3033

参考書等

北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

その他

授業の方法は講義形式による。

科目名	金融論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	代田 純・須藤 時仁				

講義のねらい

通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。

講義の内容・ 授業スケジュール

年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。

- 1 金融とは
- 2 通貨とは
- 3 小切手・手形とは
- 4 ペイオフ解禁とは
- 5 銀行貸出とは
- 6 金利とは
- 7 金融市場とは
- 8 証券市場とは
- 9 国債とは
- 10 金融機関とは
- 11 公的金融とは
- 12 財政投融资とは
- 13 郵便貯金とは
- 14 簡易保険とは
- 15 公的年金とは
- 16 政府系金融機関の再編とは

履修上の留意点

OHPにより、授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。

成績評価の方法

定期試験(100点)とレポート(提出した場合、20点を加点)により評価する。4~9月には、試験やレポートは課さない。

教科書

代田 純著、『図説 やさしい金融財政』(丸善)を使用する。

参考書等

レポートの際に、
代田純著『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済)2002年
代田純編、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理)2007年
のいずれか(本人の選択による)を使用する。

その他

出席はとらないが、私語は厳禁する。
代田が在外研究のため、4~7月は須藤が担当し、9月以降代田が担当する。

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
担当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	みつおか はくみ 光岡 博美				

講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学(沖縄)に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
担当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小林 ^{こばやし} 正人 ^{まさひと}				

講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」ーとくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高ーをのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバルゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：その国内原因と海外要因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の発展過程と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典を一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。

科目名	国際経済論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選必(19年度以降入学生) 経A1234選必(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	徳永 ^{とくなが} 俊明 ^{としあき}				

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいますのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていくことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	流通論基礎 商学総論	開講	通年	単位	4
配当	商1選必(19年度以降入学生) 商1選必(16~18年度入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商1234選必(15年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおき かつお 大吹 勝男				

講義のねらい

この授業では、「流通論基礎」を講義するのですが、どのような内容の講義であるのか。まず、「流通論」の「基礎」を講義することは解るでしょう。それでは、「流通論」とは何を論じるものなのか。すくなくとも、「流通」について論じるものであることも解るでしょう。しかし、問題はここからです。以上ではまだ何も解っていないということは解っていますね。あるいは、これから論じる「流通」とは何か、ということは知っていますか。諸君は、この授業で、「流通」に関する理論、のさらにその「基礎」を学習することになるのですが、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について主きをおいて講義するとともに、ロジステックスおよびサプライチェーン、そしてそれらのマネジメントについても検討する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は下記の通りです。

- (1) 商品について。
- (2) 商品の生産について・商品がなければ流通はありません。
- (3) 商品の流通について。
- (4) 商品の売買について・いまの社会ではわれわれ消費者は商品を買わなければ生活できません。
- (5) 商品を販売するためには、それまで保管されなければなりません。
- (6) 商品を販売するためには、市場まで輸送されなければなりません。

成績評価の方法

評価は期末試験による。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備(学習)をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

教科書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(梓出版社) 1,500円

科目名	経営学基礎 経営学総論	開講	通年	単位	4
配当	商1選必(19年度以降入学生) 商1選必(16~18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にしてください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 企業とは何か—株式会社から市民事業まで—
II. 経営とは何か？

①経営学100年の歴史の概観、②経営戦略、③リーダーシップ、④生産管理 ⑤人的資源管理、⑥日本の経営、⑦情報化・国際化と企業経営、⑧環境経営、⑨企業倫理、CSR

以上のようなテーマについて、その基本的な論点(エッセンス)を取り上げ、2年生以降にそれぞれの専門科目を学ぶ意義を伝え、関心を鼓舞できるように講義します。

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験(50点)、夏季レポート(25点)、授業スケジュールにある項目ごとの小レポート(25点)で成績評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

参考書等

随時紹介します。

科目名	会計学基礎 会計学総論	開講	通年	単位	4
配当	商1選必(19年度以降入学生) 商1選必(16~18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	小栗 崇資 <small>おくり たかし</small>				

講義のねらい

この講義は、会計学の基本的内容を理解し、2年生以降の財務会計論や経営分析論、会計監査論を学習するための企業会計の基礎知識を習得することをねらいとしています。会計学をはじめて学ぶ学生を対象とするので、前半においては、会計の歴史や理論、簿記の基本原則、企業会計制度、財務諸表の仕組みなどについて講義し、後半においては財務諸表の内容や経営分析の初歩などについて講義する予定です。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような構成で進める予定です。

1. 現代社会における会計
2. 会計の歴史
3. 企業会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度
5. 簿記の基礎
6. 簿記の体系と実際
7. 財務諸表の仕組み
8. 貸借対照表の内容
9. 損益計算書の内容
10. キャッシュフロー計算書の内容
11. 連結財務諸表の内容
12. ディスクローチャーの体系
13. 会計監査の役割
14. 経営分析の基礎

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。

教科書

関西学院大学会計学研究室編『最新会計学総論』中央経済社、2940円

参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	会計学総論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	寺坪 ^{てらつば} 修 ^{おきむ}				

講義のねらい

経済学専攻の学生にとっても、会計学の知識は不可欠といえます。国民経済単位（マクロ）および個別経済単位（ミクロ）の運動（活動）を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。前期は会計の知識体系および複式簿記の基本原則を身につけるようにします。後期は財務諸表の作成と分析を学習したうえで、管理会計の基本知識を身につけるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 会計・知の体系 (2) 会計帳簿の作成(複式簿記原理) (3) 財務諸表の作成
(4) 財務諸表の分析 (5) 会計による経営の管理

履修上の留意点

会計は積み重ねの学習によって理解が深まります。極力、休まずに受講して下さい。

成績評価の方法

学年末試験と随時行う課題の提出により総合的に評価します。

教科書

寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』（創成社）2004年4月刊 3,990円

参考書等

- ・簿記を基礎から学習するためには、次の書籍を参考にしてください。
- 寺坪修他『ひとりでもわかる簿記論』（創成社）2005年5月刊 1,890円
- ・会計を深く学習する際には、次の書籍を参考にしてください。
- 寺坪修編著『経営者会計論—財務会計と管理会計の統合』（税務経理協会）2001年4月刊 3,360円
- ・このほか、適宜プリントを配布します。

その他

講義は教科書中心に行いますので、毎回教科書を持参して下さい。また、電卓を使用することがあります。

科目名	社会経済学 a	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あべひろし 阿部 弘				

講義のねらい

この科目は「現代応用経済学科」の基本的科目の一つです。従来の「経済原論」的なものを取り込みながらも、その上部にたつて、私たちの日常社会における「豊かさ」とは何か、それがこの社会の「富」に結実しているさまを考察し、基本にあるのは何かをえぐりだします。次にしかしそのような「富」の現実の複雑に入り組んだ構造を明らかにして、「格差社会」がどのようにして形成されるのか、貧困化はなぜ起るのかを地球的規模で問題にしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

経済学がその形成期より現在に至るまで問題にしてきた「富」を論理的に考察します。この場合、到達点は、「私的」・「個別的・私人的」な次元での富から協同の富の解明に至ることです。

講義のプラン：

- 1 「富」とは何か
- 2 経済学の方法
- 3 人間社会と交換価値

履修上の留意点

この科目は初年次「選択必修」です。皆さん全員がこの科目を履修していただくために「レポート」を数回おこないますから、出席が重要になります。

成績評価の方法

数回の「レポート」で評価します。したがって「定期試験」は行いません。なお、何度か出席の確認を簡単なペーパーで行います。これも評価の基準に入ります。

教科書

次の2文献を用います：

- 1)池上惇 『文化経済学のすすめ』丸善ライブラリー
- 2)マルクス『資本論』国民文庫、大月書店 ①～③

科目名	社会経済学 b	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

この科目は「社会経済学 a」の発展したものです。”a”では私たちの社会の「富」とは何かをその原理から明らかにしてきました。「富」は貨幣や資本的な形で形成され運動していきます。「協同の富」を求め、造り出していく私たちの活動は「資本」の個別利潤追求運動との関わりの中で、公共的な社会的保障による人間的なものの保護・発展を必要とします。最早、「私的・個別的」次元では統御不可能な「共通の利益」の観点の形成がどのようにすれば可能なかを考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会的価値体系
- 2 「企業社会」と価値体系の分裂
- 3 地球的規模での価値体系の形成

履修上の留意点

この科目は初年次「選択必修」です。皆さん全員にこの科目を履修していただくために「レポート」を数回おこないますから、出席が重要になります。

成績評価の方法

数回の「レポート」で評価します。したがって「定期試験」は行いません。なお、何度か出席の確認を簡単なペーパーで行います。これも評価の基準に入ります。

教科書

次の2文献を用います：

- 1) エスピン＝アンデルセン『福祉資本主義の三つの世界』ミネルヴァ書房
- 2) マルクス『資本論』国民文庫、大月書店 ①～③

科目名	企業経済学 a	開講	前期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた やすゆき</small>				

講義のねらい

企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体に積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 a で主に取り扱うのは市場に対する企業の活動である。様々な市場環境に対して、企業はどのように活動するかが主なターゲットになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 企業とはなにか？
2. 経済学と経営学
3. 経済学思考について
4. 競争市場での企業活動
5. 価格支配力と企業活動
6. ライバル企業との競争と協調
7. 利潤最大化の3つの方向性

履修上の留意点

企業経済学 b との同時履修を強く推奨する。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお勧め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。

成績評価の方法

中間レポートと学期末試験によって評価する

教科書

なし

参考書等

必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

科目名	企業経済学 b	開講	後期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	飯田 <small>いいた やすゆき</small> 泰之				

講義のねらい

企業活動のマイクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがマイクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体にも積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 b では企業戦略の立案、企業内部でのマネジメント・ガバナンスの問題を主に取り扱う。

講義の内容・授業スケジュール

1. レッドオーシャンとブルーオーシャン
2. コスト優位戦略
3. 差別化優位戦略
4. インセンティブ・コントロール
5. 委託と受託
6. コーポレート・ファイナンス
7. 企業経済学から考える

履修上の留意点

企業経済学 a を履修していることを前提に講義を進める。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお薦め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。

成績評価の方法

中間レポートと学期末試験によって評価する

教科書

なし

参考書等

必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

科目名	企業経営学 a	開講	前期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

現代社会における企業の基本的な役割、企業諸形態、株式会社の経済的機能、株式会社における所有と経営の関係、専門経営者の性格、企業統治メカニズム（会社機関）のあり方、持株会社と企業集団といった企業論基礎を概説すると同時に、経営組織とは何か、経営組織におけるマネジメントの機能と役割、企業管理の基本的組織構造（事業部制、カンパニー制、ライン・スタッフ制など）、その日本の特徴など企業経営の基礎を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代企業の基本的な役割と構造
2. 現代の株式会社をめぐる諸問題：現代における株主と経営者の実像、コーポレート・ガバナンス、企業集団（持株会社）などについて
3. マネジメント（経営管理）の基本的性格について
4. 経営組織の基本的構造について
5. 日本企業の普遍性と特殊性について

履修上の留意点

新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働をめぐる動きに注目し、現代企業経営のさまざまな問題に関心をもって授業に参加してください。

成績評価の方法

レポート数回と定期試験で総合的に評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

参考書等

授業の中で随時紹介します。

科目名	企業経営学b	開講	後期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

科学的管理法、人間関係論、現代組織論、企業戦略論など経営学の主要理論を生成から現代まで概観し、経営学のエッセンス（基本的な方法と課題）を明らかにする。また、情報技術革新、グローバリゼーション、少子高齢化など経営環境が激変する中で、現代の企業経営の基本的な変化の方向およびその課題を明確化し、さらに企業倫理や企業社会責任など新たに台頭する企業と社会の関係の重要性、環境問題など現代企業経営の基本的な諸問題について理解できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営学の流れ：経営学の巨人たちはどのような問題にどのようにアプローチしたのか？
2. 現代のビジネス・モデル：グローバリゼーションやIT革命などの経営環境の変化は企業経営のあり方をどのように変えているのか？
3. 「社会と企業」の関係：社会から信頼される企業とは何か、企業が果たすべき社会的責任とは何か？

履修上の留意点

新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働などめぐる動向に目を向け、現代の企業経営に関心を持って授業に参加してください。

成績評価の方法

レポート数回と定期試験で総合的に評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

参考書等

授業の中でその都度紹介します。

科目名	地域経済論 a	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広				

講義のねらい

グローバル化の進展下、現代経済における「地域」という存在を再評価し、その活性化を図るための理論面の理解と実践的な課題解決について考えていく。地域経済および産業集積の構造的把握とともに、企業間関係・企業家ネットワーク・スピノフ連鎖・産学官連携などの実態把握を目指す。特に、地域経済の活性化を図る上での地域イノベーションシステム、新産業集積の形成と既存産業集積の再生を一体的に進めるメカニズムを明らかにしていく。本講義では、その上で前提となる地域経済論の基礎的な諸理論・概念を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 地域、地域経済とは
- (2) 古典的な立地論
- (3) フレキシビリティ論
- (4) 新経済地理・空間経済学
- (5) 産地・産業集積論
- (6) 産業クラスター論
- (7) 学習地域・ミリュー・地域イノベーションシステム論
- (8) 地域政策、地域産業政策論
- (9) 日本の地域政策の動向
- (10) 欧米の地域政策の動向

履修上の留意点

地域経済論 a、b を一括履修することがのぞましい。

成績評価の方法

前期試験（又はレポート）による評価を基本とするが、出席状況など平常点も加味する。

教科書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

参考書等

岡田・川瀬・鈴木・富樫『地域経済学』（有斐閣アルマ）
 矢田・松原編『現代経済地理学』（ミネルヴァ書房）
 山本健児『産業集積の経済地理学』（法政大学出版局）
 M.ポーター『競争戦略論I・II』（ダイヤモンド社）

科目名	地域経済論b	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広				

講義のねらい

本講義の基本的な狙いは、地域経済論 a と同じであるので、そちらを参照のこと。
本講義では、地域経済論 a で学んだ理論を踏まえて、日本および欧米の地域経済事例へと接近し、現代経済における地域的視点をより一層養っていく。具体的には、各種統計データを用いた地域経済分析、地域産業集積の実態把握、地域活性化策の策定、といった実践的手法・方法論についてケーススタディ等を通じて学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 地域経済の分析方法
- (2) 地域産業の分析方法
- (3) 地域企業・起業家の分析方法
- (4) ケーススタディ①(地場産業・産地の再生)
- (5) ケーススタディ②(ハイテク型産業集積の形成)
- (6) ケーススタディ③(既存産業再生と新産業創出の一体的解決)
- (7) ケーススタディ④(商店街・中心市街地の活性化)
- (8) ケーススタディ⑤(一次産業・観光産業の振興)

履修上の留意点

地域経済論 a、b を一括履修することがのぞましい。

成績評価の方法

後期試験(又はレポート)による評価を基本とするが、出席状況など平常点も加味する。

教科書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

参考書等

浜松信用金庫・信金中央金庫総合研究所編『産業クラスターと地域活性化』(同友館)
三井逸友『地域インキュベーションと産業集積・企業間連携』(御茶の水書房)
中小企業総合研究機構編『地域経営 まちづくり』(同友館)

科目名	産業組織論 a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	<small>たけけんたろう</small> 館 健太郎				

講義のねらい

本講義では、現実の経済でもっともよく見られる不完全競争市場（独占、寡占など）を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルを説明する。また、実証面も念頭におきながら、企業や産業の特徴を示す指標についても解説したい。さらに、この講義の特徴として、近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業、ソフトウェア産業などや、企業間の戦略的提携についても紹介したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

まずは完全競争市場の特徴について簡単に解説し、競争の意義をたしかめる。その上で競争のまったくない独占市場と対比させる。また、ゲーム理論の基礎について短く述べた上で、クールノー競争、ベルトラン競争といった寡占市場の代表的なモデルを説明する。

履修上の留意点

ミクロ経済学の入門的な知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

とくに指定しない。

その他

レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

科目名	産業組織論 b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	<small>たけけんたろう</small> 館 健太郎				

講義のねらい

本講義では、現実の経済でもっともよく見られる不完全競争市場（独占、寡占など）を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルを説明する。また、実証面も念頭におきながら、企業や産業の特徴を示す指標についても解説したい。さらに、この講義の特徴として、近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業、ソフトウェア産業などや、企業間の戦略的提携についても紹介したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

市場の特徴を知るための指標について解説し、寡占モデルとの関連を見る。また、応用的なトピックとして、参入阻止、特許、カルテル、合併、ネットワーク産業について取り上げる。

履修上の留意点

ミクロ経済学の入門的な知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

とくに指定しない。

その他

レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

科目名	基礎ゼミ	開講	半期	単位	2
配当	商1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	<small>かつた よしひろ</small> <small>こにし ひろみ</small> <small>さとう かずこ</small> 勝田 佳裕 小西 宏美 佐藤 和子				

講義のねらい

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、入学後の学習の道案内をするとともに、学習のための基礎知識とスキル（学習技術）を身につけてもらおうという目的で設けられた科目です。

新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会は実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学・会計学・経営学を学ぶということは、新聞に載っているさまざまな問題がなぜ生まれてくるのか、その問題をどのように解決すれば良いのかということについて、事実を正確に認識した上で、考えることです。そのためには、まず基礎知識を身につけていただきたいのです。その過程で、どのような問題であろうと興味・関心が湧いてくればしめたものです。

興味・関心が芽生えた問題をさらに追求しようとするとき、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたらサッパリ、というのでは役に立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味・関心を喚起しながら、同時にそれを題材にして学習のための知識と技術を演習形式で身につけていただきます。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して（１）基礎知識の習得（５回程度）、（２）学習技術の習得（４回程度）、（３）基礎知識・学習技術の活用としてのレポート作成とプレゼンテーション（４回程度）の３つを柱とします。

基礎ゼミは、商学科の新入生を対象としていますので、ここでの基礎知識とは、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの知識を指しています。

学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これらを具体的問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションしていただきます。

履修上の留意点

基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないことを望みます。また、学習スキルを身に付けたり、プレゼンテーションを行うためにはPCの活用が不可欠です。「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。

成績評価の方法

出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

教科書

第1講時に担当者がそれぞれ指示します。

参考書等

担当者が適宜紹介します。

その他

基礎ゼミで基礎知識と学習技術を習得し、社会・経済問題への興味・関心を養い、4年間の勉学に大いに役立てられることを期待します。

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科目名	基礎ゼミ	開講	半期	単位	2
配当	現1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	まつた たけし 松田 健 まつもと のりこ 松本 典子				

講義のねらい

基礎ゼミは1年次生のみを対象とし、今後の4年間の勉学の基礎となる知識と学習技術、これは基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった技術を指しますが、こうした技術を具体的な問題を題材にしながら、学習のための知識と技術とを演習形式で身に付けてもらうこと、ならびに社会・経済問題への興味・関心を養うことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して(1)基礎知識の習得(5回程度)、(2)学習技術の習得(4回程度)、(3)基礎知識・学習技術の活用としてのレポート作成とプレゼンテーション(4回程度)の3つを柱とします。ここでの基礎知識とは、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの知識を指しています。学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これら具体的問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションをしてもらいます。

履修上の留意点

基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないようにして下さい。またPCの活用が不可欠になりますから、「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。さらに、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

教科書

『知へのステップ 改訂版』学習技術研究会編著、くろしお出版、2006

参考書等

適宜指示します。

その他

なし

科目名	情報入門	開講	半期	単位	2
担当	商1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	なかすみ みつあき 中濱 光昭				

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法および表計算ソフト（Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) パソコンの仕組み、Windowsの基本的な使い方、タイピング練習
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- 4) Wordの基本操作、文書の作成・印刷
- 5) Wordの使い方 表の作成、文書レイアウト
- 6) Wordの使い方 図の作成、図の挿入
- 7) 表計算 Excelの基本操作
- 8) 表計算 データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）・印刷

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』（情報入門II（後期）でも使用します。）
（開講時に指定します。）

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科目名	情報入門Ⅰ	開講	半期	単位	2
配当	現1選（19年度入学生のみ）				
担当者名	<small>たち けんたろう</small> 館 健太郎				

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法および表計算ソフト（Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) パソコンの仕組み、Windowsの基本的な使い方、タイピング練習
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- 4) Wordの基本操作、文書の作成・印刷
- 5) Wordの使い方 表の作成、文書レイアウト
- 6) Wordの使い方 図の作成、図の挿入
- 7) 表計算 Excelの基本操作
- 8) 表計算 データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）・印刷

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期開講の「情報入門Ⅱ」の履修登録ミスが予想されます。後期の「情報入門Ⅱ」も忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テストの結果から総合的に評価する。
高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』（情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。）
（詳細は開講時に指定します。）

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科目名	情報入門II	開講	半期	単位	2
配当	商1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	なかすみ みつあき 中濟 光昭				

講義のねらい

本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト（Excel）によるデータ処理法、Power Pointによるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) WordとExcelの要点の復習
- 2) 表計算 グラフの作成
- 3) 表計算 Wordとの連携
- 4) プレゼンテーションとは何か？
- 5) プレゼンテーション Power Pointの基本操作、スライドの作成、スライドショー
- 6) プレゼンテーション 文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- 7) プレゼンテーション 個人発表

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。必ず後期の情報入門IIも忘れずに履修届に記入して登録すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』（開講時に指定します。）

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科目名	情報入門II	開講	半期	単位	2
配当	現1選（19年度入学生のみ）				
担当者名	館 <small>たち</small> 健太郎 <small>けんたろう</small>				

講義のねらい

本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト(Excel)によるデータ処理法、Power Pointによるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) Word と Excel の要点の復習
- 2) 表計算 グラフの作成
- 3) 表計算 Word との連携
- 4) プレゼンテーションとは何か？
- 5) プレゼンテーション Power Point の基本操作、スライドの作成、スライドショー
- 6) プレゼンテーション 文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- 7) プレゼンテーション 個人発表

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 4月の履修登録時、当科目も必ず履修届に記入して登録すること。
- 8) 後期開講の「情報入門II」の履修登録ミスが予想されます。後期の「情報入門II」も忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果から総合的に評価する。
高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』
(詳細は開講時に指定します。)

参考書等

図書館書誌検索画面へ

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科目名	経済学基礎 経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	商1選(19年度以降入学生) 商1選(16~18年度入学生) 商1必(15年度以前入学生)				
担当者名	もりた せいや 森田 成也				

講義のねらい

経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます(多少、後期にくい込む可能性あり)。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思いません。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

(1) はじめに (2,3) 商品・貨幣 (4,5, 6) 資本と剰余価値 (7) 賃金 (8,9) 資本の蓄積 (10,11) 利潤と利潤率 (12,13) 利子生み資本と株式資本 (14,15) 独占資本、国家、外国貿易 (16) 世界市場と帝国主義 (17) 19世紀資本主義と20世紀資本主義日本経済の基本構造を学ぶ (18,19) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20,21) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (22,23) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (25) 企業社会と女性 (26) クルマ社会日本 (27,28) 経済大国日本とバブル経済 (29,30) 長期不況と構造改革下の日本経済 (31) 日本経済の未来

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

教科書はとくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』(青木書店)

科目名	簿記論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商1234選(19年度以降入学生) 商1234選(16～18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	ふくしま たかし 福島 隆				

講義のねらい

本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学（会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等）の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。

(1) ガイダンス(簿記の意義) (2・3) 簿記の基礎概念 (4) 仕訳と転記 (5) 決算と財務諸表(1) (6・7) 現金預金 (8・9) 商品売買 (10) 売掛金と買掛金 (11・12) その他の債権と債務 (13・14) 手形 (15) 有価証券 (16) 固定資産 (17・18) 収益と費用 (19) 資本金と引出金・税金 (20) 伝票 (21・22) 決算と財務諸表(2) (23・24) 財務諸表の読み方

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかのうち自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・出席10点、課題30点(3点×10回)、中間試験40点(20点×2回)、定期試験20点。
- (2) 試験重視型・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書

福島隆「簿記論」、創成社、2,200円。*駒澤大学で簿記を教えるために作成したテキストなので、大学以外の書店では販売していません。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席して下さい。

科目名	簿記論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商1234選(19年度以降入学生) 商1234選(16~18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智				

講義のねらい

簿記とは企業の経営活動を記録するために重要なツールである。これを習得することにより、企業の日々の経営活動を把握し、その後一連の手続きを経て損益計算書ならびに貸借対照表を作成することが可能となる。この一連の手続きを深く理解することにより、企業会計に対してもより一層理解が深まることになる。

本講義においては、簿記の基礎原理ならびに基本的な記帳技術について取り扱う事とする。比較的ゆっくりとしたペースで基本的な取引例題を中心に進めていく。最終的には財務諸表の作成が各自可能となることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) ガイダンス | (13) 掛取引 |
| (2) 簿記の基礎概念 | (14) 手形取引 |
| (3) 損益計算書と貸借対照表 | (15) 有価証券取引 |
| (4) 簿記一巡 | (16) その他債権債務取引 |
| (5) 決算手続き1 | (17) 固定資産取引 |
| (6) 決算手続き2 | (18) 資本金・税金 |
| (7) 現金預金取引1 | (19) 伝票 |
| (8) 現金預金取引2 | (20) 決算整理1 |
| (9) 商品売買1 | (21) 決算整理2 |
| (10) 商品売買2 | (22) 精算表1 |
| (11) 商品売買3 | (23) 精算表2 |
| (12) 前期のまとめ | (24) 財務諸表の作成 |

履修上の留意点

教科の性質上、予習・復習・出席は必須。電卓は毎回持参する。

成績評価の方法

期末試験、出席点、小テストの総合評価。

教科書

- 『日商簿記検定テキスト商業簿記3級』（実教出版）
 『日商簿記検定テキスト問題集 商業簿記3級』（実教出版）

科目名	簿記論	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商1234選(19年度以降入学生) 商1234選(16～18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	<small>もりた よしひろ</small> 森田 佳宏				

講義のねらい

今日わが国で一般に用いられている複式簿記は、明治6年（1873年）に刊行された福沢諭吉訳『帳合の法』に始まる。

複式簿記とは、現金の取支、商品の売買、債権・債務の発生や消滅、建物・備品の購入や売却など、さまざまな企業活動を記録・計算・整理し、もって企業の財政状態および経営成績を明らかにするための技術である。

このような簿記の技術や知識は、税理士や公認会計士などの会計専門家を志す人にとっては必要不可欠なものであるとともに、企業の経営者が合理的な経営管理を行うためにも、投資者や債権者が企業に対して投資・融資を行う場合にも、また、企業に対して税金を課す税務当局者にとっても欠かすことのできない基本的なものである。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

本講義においては、日商簿記検定試験3級レベルをマスターすべく、簿記一巡の手続を手順を追って説明するとともに、簿記の技術的性格を重視して練習問題を多く取り入れる。

履修上の留意点

簿記では特に、毎回の講義内容の完全な理解が重要であり、その積み重ねがないと、最終的な目標である貸借対照表と損益計算書の作成に到達することが困難となる。基本的な仕組みさえマスターすれば、簿記は決して難しいものではないので、頭で考えるだけでなく、実際にペンと電卓を手に取り、ワークブックに取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

原則として期末試験の結果により評価する。

教科書

加古直士、渡部裕亘編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）
 加古直士、渡部裕亘編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）

科目名	企業論基礎	開講	通年	単位	4
配当	商1選(19年度以降入学生) 商1選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	劉 永鶴				

講義のねらい

本講義は、企業の法律形態、企業の統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、株式会社の特質、支配形態および統治構造を重点的に講義し、その国際比較も行う。これを通して、現代社会における企業とくに巨大な株式会社の全体構図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチし、企業理論の最先端を走っていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。章別構成は以下の通り。

- I 企業論の研究対象
- II 企業の種類と企業形態
- III 企業形態の発展過程
- IV 単独出資者の企業：個人企業
- V 会社企業：①合名会社 ②合資会社 ③合同会社

後期には、株式会社の特質と会社機関、企業支配、企業統治、企業成長と社会などを講義する。章別構成は以下の通り。

- VI 株式会社の特質
- VII 株式会社の資金調達
- VIII 株式会社の支配
- IX 株式会社のガバナンス
- X 企業成長と社会

履修上の留意点

予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。

成績評価の方法

前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。

教科書

作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）著『経営学—企業と経営の理論』白桃書房、2003年。
その他、授業の初回目に指示する。

科目名	ファイナンス基礎	開講	通年	単位	4
配当	商1選(19年度以降入学生) 商1選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	すどう ときひと 須藤 時仁				

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていましたが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・ 授業スケジュール

(前期) (1-4) 金融制度と金融機関 (5-7) 金融システムの形成とその変遷
(9-13) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
(14-18) 債券市場を用いた資金調達 (19-23) 株式市場を用いた資金調達
(24-26) まとめと今後の展望

成績評価の方法

基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

講義の中で適宜指示します。

参考書等

講義の中で適宜指示します。

科目名	キャリア・デザイン	開講	通年	単位	4
担当	経12選(19年度以降入学生) 商12選(19年度以降入学生) 現12選 経A12選(18年度以降入学生) 商12選(18年度以降入学生) 経B12選(18年度以降入学生)				
担当者名	竹下 ^{たけした} 睿 ^{えい} 駿 ^{しゅん}				

講義のねらい

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には（職業・労働の世界での生き方に限定されず）「人生の諸過程（ライフプロセス）、生き方（ライフスタイル）」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

講義－1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応（学業と就職準備活動の両立）、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか（生涯学習社会と「キャリア・デザイン」）、3. ライフサイクルと職業生活（職業と就職の意味）、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割（学業と課外活動の意義）、5. 大学生活をどのように過ごすか（進路選択＝職探しは自分探しである）。ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計論）」－前期3～4回、後期5～6回。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

後期の期末に記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

講義のつど紹介します。

その他

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配付します。

科目名	経済理論B・経済システムの原理 経済理論IB・経済システムの原理	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫				

講義のねらい

今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。経済理論Aは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、それ自身、人間の生命のように生きたシステムです。人間が生命を実現するのに頭脳や神経組織、消化諸器官、運動諸器官など、身体の諸器官を展開しておこなうのと同様に、資本のシステムは資本の自己増殖運動という独特の生命原理を実現するのに、自己の独特の身体諸器官、すなわち社会的諸姿態を発達させています。価格や商業、利子、土地所有、国家、市場などは、歴史的に資本のシステムに先行して形成された社会的諸形態ですが、今日では、資本のシステムという社会的有機的身体の独特の自己諸器官になっています。経済理論Bは、このような観点から、経済システムの諸姿態をとらえかえします。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

【前期】(第1週―第3週)第1章=資本の原理(経済理論Aの復習)。(第4週)第2章=資本の再生産。(第5週―第7週)第3章=価格と利潤。(第8週―第10週)第4章=商業資本と商業利潤。(第11週―第13週)第5章=利子生み資本と信用制度。

【後期】(第14週―第17週)第6章=土地所有と地代。(第18週―第22週)第7章=資本の国家。(第23週―第25週)第8章=世界市場と恐慌。(第26週)結論

履修上の留意点

経済理論Aの既習者がのぞましいですが、未習者も履修できます。未習者に配慮した授業をおこないます。

成績評価の方法

授業中にアンダーラインを指示した箇所からの出題に基づく実力試験、70%。レポート1回、30%。前期試験は行わない。

教科書

大谷禎之介著『図解社会経済学』(桜井書店)3000円

科目名	経済数学	開講	通年	単位	4
担当	経1234選(19年度以降入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	池田 宏				

講義のねらい

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目差す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2.3) ベクトルと行列の定義と計算 (4.5. 6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7.8) 行列式の定義と計算 (9.10) 連立1次方程式(掃き出し方) (11.12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1.2. 3) 微分の基礎 (4.5) 接線、増減、極値 (6.7. 8.9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11.12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

田代嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

科目名	応用ミクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒木 ^{あらか} 勝啓 ^{よしひろ}				

講義のねらい

金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数居は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では比較的易しい最低限の6つのテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 基礎となる数学の復習——解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。
2. 条件付き最適化問題（静学）
3. 最適制御問題
 - (1) 変分法とダイナミック・プログラミング
 - (2) 最大値原理
 - (3) 無限端点
 - (4) 確率制御問題
4. 資産選択・投資理論
 - (1) 静学的方法
 - (2) 動学的方法
5. 利子理論
 - (1) 債券価格とさまざまな利子率
 - (2) デュレーション
 - (3) イミュニゼーション
6. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとする膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。授業に出ればほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

教科書

特になし。

参考書等

池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
板垣有記輔『動的最適化と経済理論』（多賀書店）1995年

科目名	応用マクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	よしの おさむ 吉野 紀				

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率は何故に上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえば実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

その他

本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

科目名	計量経済学	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	田中 ^{たなか} 正光 ^{まさみつ}				

講義のねらい

経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを収集し、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。

こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

前期では、計量経済学に最低限必要な基礎的統計学、経済の数量的分析に必要な分析手法、最小二乗法の初歩について学ぶ。

【後期】

後期では、回帰分析に関する諸問題、系列相関、多重共線性の問題、分散不均一の問題等についての理解を深め、最終的には簡単な連立モデルをつくる場合に遭遇する問題、即ち識別問題などについて学び、連立方程式の解法としての2段階最小二乗法等について勉強する予定である。

履修上の留意点

授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓（関数電卓が望ましい）を持参すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に実施する中間試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』（日本評論社）2000年
唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』（東洋経済新報社）2003年
蓑谷千鳳彦『計量経済学』（東洋経済新報社）1998年

その他

授業では、原則的にプリントを配布する。これに従って授業を進める予定である。しかしながら、講義を進める過程で、履修者の興味・理解度に応じて講義内容の軌道修正を行う場合があるのでご理解願いたい。

科目名	統計原論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉野 紀 <small>よしの おさむ</small>				

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サムエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになる。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものである。偶然が支配しているとしか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなかったときの、神の仮名であろう」（アナートル・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布
3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布
4. 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定
5. 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定
6. 回帰分析I
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関
7. 回帰分析II
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰）

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnetのユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

期末試験による。ただし、夏季休暇中の宿題を考慮する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	景気循環論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	野村 信廣 <small>のむら のぶひろ</small>				

講義のねらい

景気(循環)への関心は極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響する(2)景気循環の姿がその都度変化する(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用して景気の過去や現状把握、将来予測などを学ぶ。学生達が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようになる。

講義の内容・ 授業スケジュール

景気循環と景気指標
 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
 景気循環の歴史
 景気循環の理論
 09300景気循環論は30900景気循環論に比較して、理論的なもののウエートを高くして行う。

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つこと

成績評価の方法

レポート(前期)、定期試験(筆記・後期)、出席状況を加味して評価

教科書

景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」(東洋経済新報社)

参考書等

適宜参考資料を配布

その他

講義中心だが、質問や討議を歓迎

科目名	現代資本主義論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながしま せいいち 長島 誠一				

講義のねらい

第2次大戦以後の現代資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展と今後の動向について、戦後の日本資本主義社会を説明しながら理論的に考察する。人間の解放（自立した個の連帯する社会）の視点から、企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (1) 戦後復興過程
- (2) 資本主義
- (3) 独占資本主義
- (4) 国家独占資本主義
- (5) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (6) 戦後日本資本主義の社会体制
- (7) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (8) 高度成長期と景気循環
- (9) スタグフレーションと景気循環
- (10) バブルの高進と景気循環
- (11) バブルの崩壊と長期停滞
- (12) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (13) 日本社会の真の構造改革とは何か
- (14) 新しい社会経済システムに向けて（21世紀の社会主義像）

履修上の留意点

教室にできる限り出てくること。教科書を用意し、予習・復習すること。歴史としての現代社会に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み直前）に中間試験を実施する。必ず受けること。後期は定期（教場）試験。成績は前期と後期の成績の総合的評価。

教科書

拙著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年 本体3,000円

参考書等

拙著『経済学原論』（青木書店）1996年
拙著『経済と社会』（桜井書店）2004年
拙著『現代の景気循環論』（桜井書店）2006年

科目名	社会思想史 a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	阿部 弘				

講義のねらい

テーマ：市民と経済学－「経世済民」思想
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこでこの講義で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章：古代中国での「経世済民」思想
- 第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」
- 第3章：「経世済民論」と現代

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 数回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います：
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

科目名	社会思想史 b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

この講義は前期の講義である、「社会思想史 a」：市民と経済学—「経世済民」思想—の発展したものである。日本の「経済学」は江戸期の経世済民論にその源をもっているが、明治期以後には、それとは異なったヨーロッパの思想に基いたものが「経済学」を構成する。ヨーロッパでは「市民」との関係がその根底をなす。つまり「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開
—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ
- 第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程
- 第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 数回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います：
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

科目名	日本経済史	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 第一次世界大戦期の日本経済
 6. 恐慌の時代
 7. 戦時日本経済の展開と崩壊

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなることになり、留意されたい。

成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価する。不定期に「リアクション・ペーパー」を配布し、講義へ取り組む姿勢を平常点としてチェックすることもある。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会, 2002年)。あらかじめ指示したページ範囲を読んでいることを前提に授業を行う。
その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問、挫折者歓迎。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、どうぞ。

科目名	西洋経済史	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	友松 憲彦 <small>ともまつ けんひこ</small>				

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）の問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋資本主義の歴史を学ぶことによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
2. 前近代の経済 -封建制-
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立-イギリス産業革命（工業化）
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 国際経済
 - (3) 帝国主義と植民地
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。

教科書

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

参考書等

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房、1992年
 岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版、1996年
 楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社、2006年
 飯田隆『図説西洋経済史』日本経済評論社、2005年

科目名	農業政策	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	みやて よしかず 溝手 芳計				

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

科目名	工業政策	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	奥山 ^{おくやま} 雅之 ^{まさゆき}				

講義のねらい

現在、わが国の工業（「ものづくり産業」）は、生産の海外化等の影響で厳しい状況ですが、その一方で独自の技術力や製品開発力を背景に高い国際競争力を発揮している企業も少なくありません。「ものづくり産業」は、わが国の経済を支える主役であり、将来においても重要な産業であることに変わりありません。この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、「ものづくり産業」の特徴を確認しながら、それに対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性について考察します。

前期では、「ものづくり産業」の現状をさまざま角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産など、「ものづくり産業」をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴
（4～6）戦後における工業の発展と工業政策
（7～9）工場立地の変化と工業集積の効果
（10～13）生産の海外化と空洞化問題
- 後期（14～16）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
（17・18）「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
（19）産学連携 （20）知的財産の創造・保護・活用
（21・22）工業の環境調和とCSR
（23・24）企業の創業と事業承継、ベンチャービジネス
（25）規制緩和と構造改革特区、企業誘致 （26）まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科目名	経済地理	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	やのぶ ひろやす 矢延 洋泰				

講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることは不可能であり、また余り意味もない。従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(カッコ内は時数)

- A アジア経済発展の系譜 〈前期〉
1. 植民地遺制の光と陰 (2)
 2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか (2)
 3. 経済開発と人権・秩序 (2)
 4. NICSからNIESへの変化 (2)
 5. ASEAN諸国の開発政策 (2)
 6. 非難される開発独裁 (1)
 7. ハブ&スポークスの夢競争 (1)
- 8.21世紀の開発戦略：シンガポールのOHQ制度と“ビジネスハブ”を考える (2)
- B 国際化と地域化 〈後期〉
1. ASAからASEANへ (2)
 2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索 (2)
 3. EAEC構想からAFTA誕生まで (2)
 4. APEC10年 (2)
 5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ (2)
 6. アジア経済開発の課題 (2)

履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

成績評価の方法

学年末試験結果に出席を加味。

教科書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

参考書等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』(勁草書房)
鶴見良行者『東南アジアを知る』(岩波新書)

科目名	中小企業論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉田 敬一				

講義のねらい

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 中小企業の基礎理論、
I-1 中小企業の法的規定、
I-2 中小企業の経営類型、
I-3 中小企業の企業形態、
I-4 日本型下請構造の特質、
II 日本型下請システムの形成過程、
II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、
II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等

『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	中小企業政策論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一				

講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	公共経済学 a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 伸枝				

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学の手法を用いて考えます。

『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 政府の役割
3. 日本の政府
4. 数学・ミクロ経済学の復習
5. 競争均衡の効率性・公平性
6. 寡占・独占

履修上の留意点

公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法

レポート・試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

その他

講義情報ページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/>

科目名	公共経済学 b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 伸枝				

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学の手法を用いて考えます。

『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができます。

講義の内容・授業スケジュール

0. 寡占・独占（『公共経済学 a』で終わらなかった場合のみ）

1. 外部性
2. 公共財
3. 環境問題
4. 保険の理論
5. 医療・年金
6. 失業

また、時間に余裕があれば、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。

履修上の留意点

公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法

レポート・試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

その他

講義情報ページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/>

科目名	地方財政論	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	篠原 <small>しのけら あきむ</small> 章				

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定なので活用してほしい。

科目名	国際金融論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たなか りょういち 田中 綾一				

講義のねらい

国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
- (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
- (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方

後期

- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
- (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

*なお、授業の進度は受講者の反応をみて調整することがある。

履修上の留意点

出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

成績評価の方法

学年末試験（60％）と夏休みのレポート（40％）の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

教科書

奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－構図と解明－』（法律文化社）2006年。

参考書等

講義中に適宜指示する。

その他

国際金融に関係のある（と自分が思う）TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

科目名	人口論	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみても、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』(新評論)1981年 2,800円 1033-330172-3177
大淵 寛・森岡 仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年 2,800円 4-562-0911-2-6

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送出版協会)1997年
阿藤誠『現代人口学』(日本評論社)2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	教育経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	谷敷 ^{やしき} 正光 ^{ただみつ}				

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにする。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面で国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革を行ってきた。

本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から高度経済成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー 1 識字率と児童労働
- (2) 日本の産業化とリテラシー 2 江戸時代—工業化の準備機能
- (3) レーガン政権の経済と教育 「危機に立つ国家」
- (4) ブッシュ政権の経済と教育 全米教育サミット
- (5) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」
- (6) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」
- (7) ブレア政権の経済と教育 1 福祉のニューディールとオプティミズム
- (8) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準・枠組み法」とビーコンスクール

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (9) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業
- (10) 学制時代における経済と教育 2 「学制」公布と行政管理学校
- (11) 教育令時代における経済と教育 1 「工場私下概則」と産業の勃興
- (12) 教育令時代における経済と教育 2 「教育令」公布と職工学校・機業地学校
- (13) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展
- (14) 学校令時代における経済と教育 2 「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立
- (16) 実業学校令時代における経済と教育 2 「実業学校令」公布と委託教育・工場内学校

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (17) 復興期の経済発展と教育 「産業教育振興法」
- (18) 高度成長第I期の経済発展と教育 在来・新鋭重化学工業
- (19) 高度成長第II期の経済発展と教育 「国民所得倍增計画」
- (20) 高度成長第III期の経済発展と教育 資本の自由化
- (21) 高度成長終焉後と教育 高度成長のひずみ

履修上の留意点

- ① 年間6～7回程度小テストを実施し、平常点とする。
 - ② 毎時間、講義の参考資料として、ビデオ(VTR)・DVDを使用する。
 - ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。
- 一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席して下さい。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
追試験は実施する。

教科書

教科書の代わりとして講義用プリントを年間70～80枚程度配布し、教科書とする。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
G・メイナード『サッチャーの経済革命』(日本経済新聞社)
舟場正富『ブレアのイギリス』(PHP新書)
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』(新評論社)
玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』(新日本出版社)
猪木武徳『学校と工場』(読売新聞社)

参考書等

三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科目名	環境経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山口 由二				

専門教育

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しきゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』（岩波書店）
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われている自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらわないと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこれら環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

科目名	アジア経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大國志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなり部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年-)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚しい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち=「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 2002年

科目名	中国経済論	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}				

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢つくり消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年一)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚しい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち=「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電気産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

こうした中国の発展を可能にした要因を考えていくと同時に、産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差・階層格差等について考えていく。

履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小林修二『増補 現在中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 2002年

科目名	アメリカ経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つき
 で、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり
 入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社) 2005年
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店) 1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年
 をおすすめします。

科目名	EU統合論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	廣田 <small>ひろた えり</small> 愛理				

講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的な前例としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：

- ◇ 両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動
- ◇ EUの制度的起源：ECSCとEEC
- ◇ 経済統合の拡大と深化
- ◇ 通貨統合
- ◇ EUの政策と制度
- ◇ EUの現在の課題

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	現代西欧経済論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	廣田 愛理				

講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：

- ◇第一次大戦以前の西欧経済
- ◇第一次大戦とボックス・ブリタニカの動揺
- ◇大衆消費社会のはじまり
- ◇世界恐慌と資本主義の“大転換”
- ◇第二次大戦後の西欧経済社会の再編
- ◇福祉国家の成立と展開
- ◇ヨーロッパ経済の分裂から統合へ
- ◇植民地体制の崩壊と南北問題
- ◇資本主義の“黄金時代”
- ◇ブレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化
- ◇グローバル化の深化と西欧経済

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	情報・経済ネットワーク論	開講	通年	単位	4
担当	経1234選(19年度以降入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭				

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているのかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 ー情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 ーコンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 ー電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 ーマイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0やロングテール、googleのビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com, google などについてビジネスモデルを調査・分析する)

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修することをお薦めします。

成績評価の方法

講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと最終講義時に行うテストによります。実習を含むため、追試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義で履修許可票を配布するので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難です）。
- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科目名	プログラミング論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	濱本 和彦				

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としては主にC言語を扱う。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール（大学のメールアドレスを利用）による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

新訂新C言語入門 {スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編}, 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。

科目名	基礎情報処理	開講	半期	単位	2
担当	経1234選(19年度以降入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	相浦 宣徳				

講義のねらい

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「コンピュータの扱い方、ビジネス用ソフトウェアの使い方」を予備知識のない学生を対象とし、実習を中心に講義する。具体的には、コンピュータの扱いに慣れること、インターネット（電子メールやウェブページ）の利用方法の習得、文書作成ツール（Microsoft Word）による文書の作成技法の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) Windowsの基本的な使い方、各種アクセサリの使い方
- 3) 日本語入力MS-IMEの使い方、ブラインドタッチ習得
- 4) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方
- 5) 電子メールの使い方（その1）電子メールの作法、署名挿入法
- 6) 電子メールの使い方（その2）添付ファイルの利用
- 7) 文章作成（その1）Microsoft Wordの概要
- 8) 文章作成（その2）文字の入力と編集
- 9) 文章作成（その3）ビジネス文書の作成
- 10) 文章作成（その4）表の作成
- 11) 文章作成（その5）図の作成、図の挿入
- 12) まとめ

履修上の留意点

コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。出席調査実施回数に対し66%以上の出席を必須とする。

成績評価の方法

課題(3-4回程度実施予定)および出席状況により評価する。全課題の提出を必須とする。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

初回の講義で指示する。

科目名	基礎情報処理II	開講	半期	単位	2
配当	経1234選(19年度以降入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	相浦 <small>あいうら</small> 宣徳 <small>のぶのり</small>				

講義のねらい

本講義は、「基礎情報処理I」の履修者を対象としている。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、Microsoft Excelによる表計算、データ処理技法の習得、Microsoft PowerPointによるプレゼンテーション資料作成技法の習得を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) 表計算(その1)Microsoft Excelの概要
- 3) 表計算(その2)Microsoft Excelの基本操作
- 4) 表計算(その3)データ集計、関数の利用
- 5) 表計算(その4)グラフの作成
- 6) 表計算(その5)絶対参照・相対参照とその混合
- 7) 表計算(その6)総合演習
- 8) プレゼンテーション(その1)Microsoft PowerPointの概要
- 9) プレゼンテーション(その2)Microsoft PowerPointの基本操作、スライドの作成
- 10) プレゼンテーション(その3)オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 11) プレゼンテーション(その4)プレゼンテーション資料の作成
- 12) まとめ

履修上の留意点

「基礎情報処理I」の履修者を前提に講義を進めるため、コンピュータの基本的操作に関しては習得しておく必要がある。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。出席調査実施回数に対し66%以上の出席を必須とする。

前期に開講される「基礎情報処理I」の一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

課題(3-4回程度実施予定)および出席状況により評価する。全課題の提出を必須とする。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

初回の講義で指示する。

科目名	応用情報処理I	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	井川 俊実 <small>いかわ としみ</small>				

講義のねらい

表計算ソフト (Excel) を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excel の基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・ Excel の基本操作 (セル参照、合計関数など)
- ・ ピボットテーブル
- ・ VLOOKUP関数
- ・ テンプレートとクエリ
- ・ ExcelVBA の基礎
- ・ 相関と単回帰分析
- ・ パレート図の作成とABC分析
- ・ ゴールシークとソルバー、線形計画法への適用
- ・ 重回帰分析 (3 変数間の相関)

履修上の留意点

Excel の応用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excel の基本操作は知っていることを前提にしています。

成績評価の方法

講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。

教科書

初回の講義時に指示します。

参考書等

- 『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析』(ソフトバンクパブリッシング) 2,480円
- 『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析』(秀和システム) 2,500円

その他

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

科目名	応用情報処理II	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	井川 俊実 <small>いがわ としみ</small>				

講義のねらい

プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返す行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ 図解のポイント
- ・ PowerPoint の基本操作 (クリップアート・写真の取込み、表・棒グラフ、円グラフ・Excel 表・組織図)
- ・ 良い図解悪い図解
- ・ プレゼンテーション技法
- ・ プレゼン資料作成とプレゼンの実施
- ・ 企画書の作成

履修上の留意点

- ・ PowerPoint の活用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。
- ・ PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。

成績評価の方法

作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。

教科書

初回の講義時に指示します。

参考書等

『ひと目でわかる Microsoft PowerPoint プレゼン術』(日経BPソフトプレス) 1,980円
『PowerPoint プレゼンに勝つスライド作成の技』(技術評論社) 2,380円

その他

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

科目名	憲法	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	内田 真利子				

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけでなく、主体的に授業に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

その他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科目名	民法一部	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	竹中 ^{たけなか} 智香 ^{ちか}				

講義のねらい

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 導入
- (2) 民法における個人
- (3) 権利能力
- (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度
- (5) 所有権の概念
- (6) 所有権の効力
- (7) 契約とその効力
- (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1]
- (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2]
- (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1]
- (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2]
- (12) 予備日

〔後期〕

- (1) 法人 [1]
- (2) 法人 [2]
- (3) 代理制度
- (4) 無権代理
- (5) 表見代理
- (6) 法律行為
- (7) 消滅時効
- (8) 取得時効
- (9) 抵当権
- (10) 先取特権、留置権、質権
- (11) 譲渡担保
- (12) 予備日

履修上の留意点

民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、講義の前の予習は必ず必要となります。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

山野目章夫『民法 総則・物権 [第3版]』(有斐閣) 1,800円

参考書等

六法(コンパクトタイプのもの)
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科目名	民法二部	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	織田 <small>わた てるこ</small> 晃子				

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

『民法2債権法』(勁草書房)・『コンパクト六法』(岩波)

科目名	商法一部	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒木 正孝				

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社＜合名会社、合資会社、合同会社＞）の重要かつ基礎的な事項について説明するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。教場には、最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法

成績は、12月の最終授業に行われるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

参考書等

会社法判例百選（別冊ジュリストNO.180）（有斐閣）

科目名	商法二部	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章				

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 5 代理人・代表者による手形行為
- 6 無権代理と偽造
- 7 手形関係と手形の実質関係
- 8 手形の振出
- 9 白地手形
- 10 手形の裏書
- 11 為替手形の引受、手形保証
- 12 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 13 手形上の権利と手形抗弁
- 14 手形上の権利の消滅
- 15 支払・不渡・遡求
- 16 小切手特有の法制度
- 17 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。

民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』(文真堂)

参考書等

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)

山下友信=神田秀樹編『商法判例集』(有斐閣)

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂				

講義のねらい

経済法を中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	労働法	開講	通年	単位	4
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。
この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定案などです。
本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。
詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公-労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定-労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更-労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口-採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動-配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口-解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。
憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。確認テストや中間試験も対象です。出席も考慮します。
追試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』(有斐閣)か浅倉むつ子ほか著『労働法』(有斐閣)のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
六法は最新のもの(法律改正や制定があるので特に注意)。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	行政法	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

講義のねらい

本講義では、行政法総論の基礎的概念について、具体的事例をとりあげながら、わかりやすく解説します。
行政法に関する知識は市民生活を営んでいくためには、常識として覚えておく必要があると思います。
また、各種の公務員試験の受験を考えている人は、受講されるのが望ましいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

これについては、主たる項目を列記しておきます。
(1) 行政とは (2) 行政法とは (3) 行政主体 (4) 行政の態様 (5) 行政立法
(6) 行政行為 (7) 約款 (8) 取消と撤回 (9) 行政手続 (10) 即時強制 (11) 行政強制 (12) 行政契約 (13) 行政指導 (14) 行政計画 (15) 行政上の制裁 (16) 損失補償 (17) 損害賠償 (18) 不服申立 (19) 行政訴訟

専門
教育

履修上の留意点

あたり前のことですが、教場内では他人に迷惑をかけるような言動はしないこと。

成績評価の方法

平常点および期末テストなど総合的な観点から評価します。

教科書

桜井昭平編著『現代行政法』(八千代出版)

参考書等

講義初日に指示します。

科目名	国際法	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	橋本 靖明				

講義のねらい

私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、国際社会のさまざまな構成員間の関係を良好に保つことができないのです。

本講義「国際法」では、皆さんとともに、国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法とは何か、について学んでゆきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

大きく、以下の三つのパートに分けて進めてゆく予定です。

- ①国際法の全体像をを概観する。
- ②領域（陸、海、空、宇宙等）に関する国際法を考える。
- ③領域を越えるさまざまな今日的課題（人権、環境、テロ等）に関する国際法を考える。

履修上の留意点

事前の準備は基本的に不要とする予定ですが、その分、授業への出席が求められます。

成績評価の方法

受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行う予定です。

教科書

編者：広部和也、杉原高嶺（代表）
書名：『解説条約集2006』
出版社名：三省堂 価格：2940円（税込み）
ISBN：4-385-15911-4

参考書等

特に指定する予定はありません。

その他

講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行う予定です。

科目名	経済外国書講読I a〔英語〕・経済外国書講読II a〔英語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	村松 幹二				

講義のねらい

経済学に関する英語文献を講読し、英文で書かれた専門書の読解力をつけるとともに、経済学の基本文献にふれることで、経済学者の経済に対する考え方、問題意識を学び、経済学的思考を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は輪読形式で行う。

- 1 経済学、なかでもミクロ経済学の基礎的文献を読み、専門用語になれる。
- 2 企業理論や法と経済学などの基本文献を読み、企業や組織、制度に対する経済学的思考を学ぶ。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲を予習し、必ず辞書を持参すること。学習意欲のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

出席・予習状況などの平常点で評価する。

教科書

随時プリントを配布する。

科目名	経済外国書講読I b〔英語〕・経済外国書講読II b〔英語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	村松 幹二				

講義のねらい

経済学に関する英語文献を講読し、英文で書かれた専門書の読解力をつけるとともに、経済学の基本文献にふれることで、経済学者の経済に対する考え方、問題意識を学び、経済学的思考を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は輪読形式で行う。

- 1 経済学、なかでもミクロ経済学の基礎的文献を読み、専門用語になれる。
- 2 企業理論や法と経済学などの基本文献を読み、企業や組織、制度に対する経済学的思考を学ぶ。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲を予習し、必ず辞書を持参すること。学習意欲のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

出席・予習状況などの平常点で評価する。

教科書

随時プリントを配布する。

科目名	経済外国書講読I a〔英語〕・経済外国書講読II a〔英語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	松本 典子				

講義のねらい

NPO（非営利組織）に関する英語文献を素材に、外国語の専門書を読むことに慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、NPOの経営学や企業経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

NPOに関する下記の英語文献を講読します。特に、NPOのマネジメントの歴史的な流れと思想を知ることによって、現代のわが国におけるNPOの今後の発展にとっての課題について学びます。

講読予定の論文は、次のものです。

Stephen R. Block, A History of the Discipline, in: David L., Gies, J. Steven Ott, and Jay M. Shafritz, eds., *The Nature of the Nonprofit Organization: Essential Readings*, Belmont: Wadsworth Publishing Company, 1990.

履修上の留意点

- ・語学力は問いません。NPOやコミュニティ経済に関心のある学生の受講を希望します。
- ・必ず予習をして参加しましょう。

成績評価の方法

出席、予習、報告状況など、平常点で評価します。定期試験は行いません。

教科書

随時、配布します。

参考書等

随時、指示します。

その他

- ・輪読形式です。

科目名	経済外国書講読I b〔英語〕・経済外国書講読II b〔英語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	松本 典子				

講義のねらい

NPO（非営利組織）に関する英語文献を素材に、外国語の専門書を読むことに慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、NPOの経営学や企業経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

NPOに関する下記の英語文献を講読します。特に、NPOのマネジメントの歴史的な流れと思想を知ることによって、現代のわが国におけるNPOの今後の発展にとっての課題について学びます。

講読予定の論文は、次のものです。

Stephen R. Block, A History of the Discipline, in: David L., Gies, J. Steven Ott, and Jay M. Shafritz, eds., *The Nature of the Nonprofit Organization: Essential Readings*, Belmont: Wadsworth Publishing Company, 1990.

履修上の留意点

- ・語学力は問いません。NPOやコミュニティ経済に関心のある学生の受講を希望します。
- ・必ず予習をして参加しましょう。

成績評価の方法

出席、予習、報告状況など、平常点で評価します。定期試験は行いません。

教科書

随時、配布します。

参考書等

随時、指示します。

その他

- ・輪読形式です。

科目名	経済外国書講読I a〔英語〕・経済外国書講読II a〔英語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	安元 稔				

講義のねらい

この講義では、英語の教材を用いて、経済史的なものの方や専門知識を勉強します。英文の正確な読解力を身につけ、外国語文献を気軽に読む習慣を養うこと、長い文章をできるだけ多く読むこと、これらの課題達成を目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 使用するテキストの内容を簡単に説明する。
2. 受講者による解釈とまとめに対して、訂正と補足をする。
3. 関連する参考文献を指示する。

履修上の留意点

指定された箇所を予習し、まとめておくこと。

成績評価の方法

出席・予習・期末試験の成績で評価します。

教科書

講義の最初の時間にプリントして配布します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	経済外国語講読I b〔英語〕・経済外国語講読II b〔英語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	やすもと <small>みのる</small> 安元 稔				

講義のねらい

この講義では、英語の教材を用いて、経済史的なものの見方や専門知識を勉強します。英文の正確な読解力を身につけ、外国語文献を気軽に読む習慣を養うこと、長い文章をできるだけ多く読むこと、これらの課題達成を目標にしています。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 使用するテキストの内容を簡単に説明する。
2. 受講者による解釈とまとめに対して、訂正と補足をする。
3. 関連する参考文献を指示する。

履修上の留意点

指定された箇所を予習し、まとめておくこと。

成績評価の方法

出席・予習・期末試験の成績で評価します。

教科書

講義の最初の時間にプリントして配布します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	経済外国語講読I a〔ドイツ語〕・経済外国語講読II a〔ドイツ語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつだ <small>たけし</small> 松田 健				

講義のねらい

語学は基礎的文法を身につけた後、継続して学習することで、初めて役立つ機会があったり楽しさが分かったりしてきます。この講義では、比較的平易なドイツ語のテキストを読みながら、文法を復習し、また応用を試みます。
加えてドイツにおける社会・経済問題への興味・関心を養うことを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

最初のうちは文法ならびに基礎知識の復習(5回程度)をし、その後テキストに入ります。何を読むかは、集まる学生の皆さんの希望も聞きたいと思いますので、とりわけ初回の授業を欠席しないようにしてください。

履修上の留意点

電子辞書は非常に使い勝手のよいものですが、初期の語学の勉強には書籍形態の辞書を使いましょう。出版社は問いませんが、できるだけ文例が多く所収されているものを選んでください。
また、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、積極的な予習や授業中のパフォーマンスによって評価します。学期末の試験と授業中評価との両者を均等に評価基準とします。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	経済外国書講読I b〔ドイツ語〕・経済外国書講読II b〔ドイツ語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	松田 健				

講義のねらい

経済外国書講読I a ないしII a での内容を踏まえ、テキストの輪読を中心に行います。この講義では、ドイツ語のテキストを通じて、ドイツにおける社会・経済問題に対する理解を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

経済外国書講読I a ないしII a と同様、何をテキストとするかは、集まる学生の皆さんの希望も聞きたいと思いますので、初回の講義を欠席しないようにしてください。
基本的に前期の講義よりもレベルを上げつつ、輪読を中心としますので、数多くのドイツ語文献に触れるような構成を考えたいと思います。

履修上の留意点

電子辞書は非常に使い勝手のよいものですが、初期の語学の勉強には書籍形態の辞書を使いましょう。出版社は問いませんが、できるだけ文例が多く所収されているものを選んでください。
また、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、積極的な予習や授業中のパフォーマンスによって評価します。学期末の試験と授業中評価との両者を均等に評価基準とします。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	経済外国書講読I a〔中国語〕・経済外国書講読II a〔中国語〕	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 修二				

講義のねらい

現在の改革・開放政策の基本方向を定めた中国の指導者＝鄧小平の『鄧小平文選』をテキストにする。

履修上の留意点

中国語を既に履修していること。中国語を母語とする者は、厳密な日本語への翻訳と解釈ができなければ、単位を認められない。

成績評価の方法

前期、後期とも試験による（辞書持込不可）

科目名	経済外国書講読I b〔中国語〕・経済外国書講読II b〔中国語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 修二				

講義のねらい

現在の改革・開放政策の基本方向を定めた中国の指導者＝鄧小平の『鄧小平文選』をテキストにする。

履修上の留意点

中国語を既に履修していること。中国語を母語とする者は、厳密な日本語への翻訳と解釈ができなければ、単位を認められない。

成績評価の方法

前期、後期とも試験による（辞書持込不可）

科目名	経済外国書講読I a〔ロシア語〕・経済外国書講読II a〔ロシア語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山縣 弘志				

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。

教科書

Книга первая.М Города Помосковья трех книгах., 1979

科目名	経済外国書講読I b〔ロシア語〕・経済外国書講読II b〔ロシア語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山縣 弘志				

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。

教科書

Книга первая.М Города Помосковья трех книгах., 1979

科目名	経済外国語講読I a〔朝鮮語〕・経済外国語講読II a〔朝鮮語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科目名	経済外国語講読I b〔朝鮮語〕・経済外国語講読II b〔朝鮮語〕	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科目名	現代経済事情I【(IT時代の経済産業動向)】	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たけもと まさお 竹本 正男				

講義のねらい

現代世界は新世紀の行動原理の下で動きだそうとしている。
ベルリンの「壁」撤去によって期待された「新世界秩序」は構築されることなく、同時多発テロ時代を導いてしまい、今日の核拡散不安を招くこととなってしまった。
バブル崩壊とデフレ不況に見舞われた日本経済は日銀「量的緩和」によって家計は構造改革の痛みを味わい、企業は収益回復を享受しはじめた。
本講義は、そうした21世紀のIT時代を生きる産業の「今」を事例的にとらえることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

授業スケジュール：後期・毎週水曜日、第4限
 第1～3回：ITネットワーク社会の到来。
 第4～5回：戦後60年か失われた10年か。
 第6回：前半のまとめ（アンケート実施）（参考文献・資料の感想文提出）。
 第7回：IT時代の総括（レポート課題提示）。
 第8～11回：産業の「今」≪情報通信・生活産業・重化学工業・金融／保険≫。
 第12回：後半のまとめ（アンケート結果・感想文結果報告）。
 第13回：今、体験している情報革命（期末レポート提出）。

履修上の留意点

eラーニングを活用し、課題提出やディスカッションを行なう予定にしているため、KOMAnetのユーザーIDを取得しておくこと。なお、ディスカッションは毎回の授業毎に行なう。

成績評価の方法

授業出席40%、感想文・レポート提出40%、ディスカッション参加20%で評価。

教科書

使用しない。

参考書等

指定しない（参考文献・資料は授業の進行に応じ都度情報提供する）。

その他

授業方法は講義形式（PPT使用、必要に応じプリント配布も併用）。以上

科目名	現代経済事情II【〔少子高齢化と経済〕】	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	増田 <small>ますだ</small> <small>みきと</small> 幹人				

講義のねらい

日本において現在進行している少子高齢化は、社会経済に対して大きな影響を及ぼしているが、この結果今まで前提としてきた社会保障制度は適格的でなくなってきている。また少子高齢化の結果、日本では2005年より人口減少時代に突入し、社会経済全体を新たな形に変えようとしている。本講義の目的は、少子高齢化が社会経済、そして社会保障制度の一つである年金制度に及ぼす影響を幅広い視点に立って解説し、現代経済の理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は以下のスケジュールに従って進める。

1. イントロダクション
2. 基礎的な人口統計指標について
3. 少子化の背景①：理論による考察
4. 少子化の背景②：日本の特徴
5. 高齢化のメカニズム、および年齢構造変化が経済に及ぼす影響
6. 日本人口の歴史的推移および将来予測
7. 日本の少子高齢化、人口減少がもたらす社会経済問題
8. 日本の年金制度の歩み
9. 日本の少子高齢化が年金制度に及ぼす影響
10. 政策的対応①：少子化対策
11. 政策的対応②：少子高齢化を前提とした対策
12. 世界的な人口現象としての少子高齢化

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

定期試験を主とするが、授業にて出席調査を行い、この平常点を定期試験の点数に加えて総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

阿藤誠、『現代人口学：少子高齢社会の基礎知識』、日本評論社、2,835円、4535552274。
大淵寛、『少子化時代の日本経済』、日本放送出版協会、966円、414001797X。
大淵寛・森岡仁、『経済人口学』、新評論、3,360円、4794873034。
社会保障入門編集委員会、『社会保障入門2006』、中央法規、2,415円、4805846445。
和田光平、『Excel で学ぶ人口統計学』、オーム社、3,990円、4274066584。

その他

授業ごとに資料を配布するので各自保管のこと。

科目名	現代経済事情III【(世界経済と中小企業)】	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たかだ よしあき 高田 好章				

講義のねらい

日本の経済の国際化は、東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、世界経済と中小企業の問題を一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバリゼーションを中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略

履修上の留意点

授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法

成績評価はレポートによります。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書

森岡孝二編著『格差社会の経済構造』桜井書店、2007年3月刊

参考書等

出来れば、以下を読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』(昭和堂)3,000円。その他の参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他

図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。適宜アンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文(以上メールでも可)は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。E-mail: ystakada@komazawa-u.ac.jp ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/ytakada/>

科目名	現代経済事情Ⅳ【〔フリータと日本社会〕】	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	豊田 <small>とよだ よしひろ</small> 義博				

講義のねらい	フリーターに関する議論が、さまざまところで、さまざまな形で繰り広げられている。しかし、その実態が不明確であるために、適切な議論がなされている状況とはいえない。本講義では、フリーターという存在の意義、日本社会に与える影響を、多面的観点から提示し、近未来に向けての処方箋の方向性を共有する。
講義の内容・ 授業スケジュール	フリーターという存在を、「国家視点」「産業視点」「企業視点」「職場視点」「個人のキャリア視点」などの多様な視点から見つめ、課題のありかを抽出していく。
履修上の留意点	受講者の一部には、講義内容づくりに参加してもらいたいと考えている。学年問わず、希望者を初回講義において募る。この講義を機会に、思考・行動の視野を変えてみたい、という気概を持っている人の参加を期待している。
成績評価の方法	期間中に数回提出してもらったレポートあるいはエッセイの提出状況、内容により評価を決定する。
教科書	なし。
参考書等	授業において、参考図書の指定を行う予定。
その他	初回の講義で、重要な通達、意思決定、意見収集を行う。必ず出席のこと。

科目名	流通経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男				

講義のねらい

近年ますます大学においても、学問が軽視される風潮にあります。そして大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として実用主義・実学主義を売りものにする大学や、大学は社会的要請に応えねばならないとして、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

- 授業内容は下記の項目のようになります。
- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
 - (2) 生産過程論
 - (3) 流通過程論（商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
 - (4) 商業資本の本質・機能論
 - (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
 - (6) 商業利潤論
 - (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論
 - (8) 大規模商業資本論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって、容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

- 前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

科目名	商業政策	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(16～18年度以前入学生) 商1234選必(15年度以前入学生) 経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いわした ひろし 岩下 弘				

講義のねらい

小売業とまちづくりについて講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 三 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法
 - 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法
 - 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行草審報告
 - 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 四 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
 - 3 都市計画法
- 五 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

履修上の留意点

- 1 新聞、雑誌、テレビ等を通して流通に関する情報を収集すること。
- 2 授業中はノートをとること。

成績評価の方法

定期試験。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	マーケティング	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(16～18年度以前入学生) 商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	そが のぶたか 曾我 信孝				

講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの実例を上げ（事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める）、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

なお、講義は全てパワーポイントを使って行う。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中で受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート（60％程度）と平常点（講義中の小レポートの評価：40％程度）によって評価する。但し、著しく受講生が多い場合は、年度末のレポートを試験にすることがある。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法－講義形式

科目名	商品学	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおせら しん 大瀬良 伸				

講義のねらい

我々の生活は商品を抜きに考えることはできない。商品は使用に適しているだけでなく、購買可能な価格が設定され、入手可能な場所で販売され、適切に情報提供がなされている必要がある。本講義では、まず、商品を構成している諸要素について理解する。その上で、企業戦略の視点、消費者の視点から商品について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1) オリエンテーション
 - 2) 商品の構成要素と競争力
 - 3) 製品と競争力
 - 4) ブランドと競争力
 - 5) 価格と競争力
 - 6) 流通チャネルと競争力
 - 7) プロモーションと競争力
 - 8) サービスの性質と構成要素
 - 9) 商品の多様化と戦略
 - 10) 商品のライフサイクルと戦略
 - 11) 市場地位と商品戦略
 - 12) 先発優位と後発優位
 - 13) 競争戦略の事例
 - 14) 前期まとめ
 - 15) 前期テスト
- 後期
- 16) 商品開発における顧客志向性
 - 17) 新商品開発のプロセス
 - 18) 商品のイノベーション
 - 19) イノベーション・マネジメント
 - 20) 商品開発と組織
 - 21) 新商品開発の事例
 - 22) 消費者行動と商品
 - 23) 消費者の知覚
 - 24) 消費者の関与と情報処理
 - 25) 消費者の商品評価
 - 26) 消費者のサービス評価
 - 27) 商品利用後の過程
 - 28) 消費者の経験価値と商品
 - 29) 後期のまとめ
 - 30) 後期テスト

履修上の留意点

欠席しないこと。
私語や携帯電話の使用など、講義の妨げになるような行為はしないこと。

成績評価の方法

前期(40%)、後期(50%)の2回のテスト、および講義中の小テスト(10%)により評価する。

教科書

とくに指定しない。毎回の講義で資料を配付する。

参考書等

青木幸弘、恩蔵直人編『製品・ブランド戦略』有斐閣、2004年
石崎悦史『商品学と商品戦略』白桃書房、1993年
和田充夫、恩蔵直人、三浦俊彦『マーケティング戦略 第3版』有斐閣、2006年

科目名	交通政策 交通論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	金 兌奎				

講義のねらい

交通サービス及び交通産業の概念・特徴・分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ①交通政策の概略：交通政策を学ぶ目的、交通論の対象
- ②交通サービスの需要と供給の特性（2回）
- ③交通サービスへの規制（2回）
- ④運賃理論（2回）
- ⑤運賃政策（3回）
- ⑥交通投資の特徴（2回）
- ⑦前期のまとめ
- ⑧鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回）
- ⑨国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状（2回）
- ⑩航空政策及び航空輸送事業の特徴（2回）
- ⑪航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入（2回）
- ⑫空港整備制度（2回）
- ⑬道路整備制度
- ⑭道路政策及び道路公園の民営化
- ⑮後期のまとめ

履修上の留意点

交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。

成績評価の方法

平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価

教科書

なし

参考書等

藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年
山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年
杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年

その他

授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

科目名	消費経済論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あねは あき 姉齒 暁				

講義のねらい

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動が抱える問題が噴き出す場でもある。私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。米国産牛肉の輸入禁止をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金の無人店舗から消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 今日の「生産」「流通」と消費経済
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 2. 経済の変化と消費生活
 3. 流通システムの変化と消費生活
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. 豊かさ論議をめぐる「消費のサービス化」から豊かさを考える
 2. 家計と金融—家計内債務と消費者問題
 3. 「情報」・「情報化社会」と消費
 4. ITと消費生活への影響
- III. グローバリゼーションと消費生活
 1. 食料輸入大国日本の消費生活
 2. グローバリゼーション下における地域経済と消費生活
 3. 環境問題を生産・流通・消費の相互連関から考える

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法

中間試験及び学年末試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも、随時、評価に組み入れる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

参考文献などについては講義の中でそのつど紹介する。

その他

配布するレジメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

科目名	ロジスティクス	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしはら しんじ 石原 伸志				

講義のねらい

経営戦略の一環としてのグローバル・ロジスティクスやSCMを構築するためには、従来の物流に関する知識の他に、貿易実務やマーケティング及び海外の物流事情など幅広い知識が不可欠となっている。本講義では、具体的な事例やビデオなどを使って、ロジスティクスのおもしろさが理解できるよう講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な基礎について講義する予定である。
- ②後期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な海外の物流事情や貿易実務などの応用編について講義する予定である。

履修上の留意点

ロジスティクスは学生にとって馴染みが薄い分野で、解りづらいかもしれないが、物流の必要性とその面白さが理解できればと思う。

成績評価の方法

授業の3分の2以上出席して、1年間の講義を通して、ロジスティクスの必要性や重要性をどの程度理解できたかを成績評価の対象にする。なお、授業開始後、20分以上の遅刻は欠席とみなす。

教科書

ハンドアウトのテキストを使用予定

参考書等

- 中田信哉・湯浅和夫・橋本雅隆・長峰太郎
『現代物流システム論』有斐閣アルマ ¥2000
中田信哉・橋本雅隆
『物流のしくみ』日本実業出版社 ¥1400
石原伸志
『貿易物流実務マニュアル』成山堂 ¥8400
山下洋史・諸上茂登・村田潔
『グローバルSCM』有斐閣 ¥2500

その他

講義形式・プリント配布

科目名	経営管理論 a	開講	半期	単位	2
担当	商234選（19年度以降入学生） 商234選（16年度以降入学生） 経A234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	岩波 <small>いわなみ</small> 文孝 <small>ふみたか</small>				

講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。企業におけるマネジメントの基本的役割、企業管理の発展史を踏まえ、企業管理の現代的課題を考察していく。本講義は、現代企業における株式所有・会社支配・戦略的管理に関連づけてコーポレート・パワーの権能の行使および行使システムの現代的特質を明らかにし、現代の企業管理におけるトップ・マネジメントの構造と機能を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
 - 2 経営管理論と企業・市場・社会
 - 3 市場・社会と企業：国際比較
 - 4 アメリカ企業と社会
 - 5 アジア企業と社会
 - 6 EU社会の変貌と企業
 - 7 市場移行と東欧企業
 - 8 ロシア企業と社会
 - 9 多様化する市場・社会と企業管理の課題
- 授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

前期末（2007年7月）の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	経営管理論 b	開講	半期	単位	2
配当	商234選（19年度以降入学生） 商234選（16年度以降入学生） 経A234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

現代の企業管理の構造的特質、特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解することを目的として、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。本講義は、コーポレート・パワー行使に対する企業間関係のパーспекティブを導入し、現代企業の株式所有・会社支配・戦略的管理の考察にあたって、企業間関係のパーспекティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業と社会：社会的責任
- 3 現代社会におけるCSR
- 4 SCRの評価と市場
- 5 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパーспекティブ
- 6 企業と社会：社会ネットワークのパーспекティブ
- 7 企業と社会：非営利組織のパーспекティブ
- 8 企業と社会：グローバル化のパーспекティブ
- 9 持続可能な発展と企業管理の課題
- 10 経営管理論の現代的課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

後期末（2008年1月）の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	経営管理論	開講	通年	単位	4
配当	商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解し、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。組織間関係のパーспекティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 経営管理論と企業・市場・社会
- 3 市場・社会と企業：国際比較
- 4 アメリカ企業と社会
- 5 アジア企業と社会
- 6 EU社会の変貌と企業
- 7 市場移行と東欧企業
- 8 ロシア企業と社会
- 9 現代の企業と社会：社会的責任
- 10 現代社会におけるCSR
- 11 SCRの評価と市場
- 12 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパーспекティブ
- 13 企業と社会：社会ネットワークのパーспекティブ
- 14 企業と社会：非営利組織のパーспекティブ
- 15 企業と社会：グローバル化のパーспекティブ
- 16 持続可能な発展と企業管理の課題
- 17 経営管理論の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

学年末（2008年1月）の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	人的資源管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	商234選（19年度以降入学生） 商234選（16年度以降入学生） 経A234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	堀 龍二				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。a（前期）では、主にわが国の雇用の変化と新しい働き方の問題を取り上げます。

いま、雇用のあり方は流動化、多様化、階層化という事態を迎えています。まず長期勤続を奨励する従来の雇用政策から従業員の入れ替えがしやすい政策への転換がみられます。次に、いわゆる正社員という雇用形態だけでなく、パート、派遣、契約といった非正規雇用の活用が進展しています。非正規雇用は雇用者全体の3割にも達しています。また、正社員の間でも職種別、地域別、組織別に別々の人事制度を適用する複線化が進められています。さらに、最近では、労働基準法による労働時間規制を適用しない「ホワイトカラー・エグゼンプション」という新しい働き方が検討されています。このような雇用のあり方の変化は、何を背景にして生じているのか、企業の経営戦略とどのように結びついて展開されてきているのか、それが働く者にとってどのような意味を持つのかこうした問題を考察してみるのが、この講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本的経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エグゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き（労働契約法）
15. 雇用問題の日米比較

履修上の留意点

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、前期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。（2,600円＋税）。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	人的資源管理論 b	開講	半期	単位	2
担当	商234選 (19年度以降入学生) 商234選 (16年度以降入学生) 経A234選 (18年度以前入学生) 経B234選 (18年度以前入学生)				
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゆうじ</small>				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するかという問題を取り上げます。つまり、人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生などに関する諸制度です。

いま、わが国企業は、激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の更なる有効活用を追求しています。そこで登場してきたのが、従来の年功主義や能力主義ではなく、成果主義という新たな方針です。この成果主義はかなり普及してきましたが、その具体的制度の導入や実施・運営をめぐる混乱や不満も引き起こしています。本講義は、成果主義に基づいて展開されている、新しい人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生の諸制度の実態と問題点を探ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷（属人給と仕事給）
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用（総額人件費）
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、後期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	労務管理論	開講	通年	単位	4
配当	商1234選必(15年度以前入学生)				
担当者名	堀 龍二				

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理（＝人的資源管理）の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として雇用問題を扱い、後期は主として賃金など処遇問題を扱う。

<前期の講義概要>

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本的経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エクゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き（労働契約法）
15. 雇用問題の日米比較

<後期の講義概要>

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷（属人給と仕事給）
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用（総額人件費）
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、年度末の定期試験を総合して評価します。
 [定期試験受験時の注意事項]：本講義の受講対象である商学科の平成15年度以前入学生は、通年4単位科目として登録履修するので、定期試験は年度末（後期）の1回のみとなります。前期（7月）の定期試験はありません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円＋税)。

教科書

なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	経営戦略論 a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たがら やすお 田淵 泰男				

専門教育

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
- ・戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。
- ・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。

教科書

使用しません。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

科目名	経営戦略論 b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	田淵 泰男				

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競合企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・業界の競争構造分析フレームワーク（競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法）である「5つの競争要因」分析。
- ・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。
- ・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。
- ・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。
- ・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。

教科書

開講時に説明します。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

科目名	企業統治論a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選（18年度以前入学生） 商234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	水村 <small>みずむら のりひろ</small> 典弘				

講義のねらい

・株式会社の仕組みを確認したうえで、「企業統治」（コーポレート・ガバナンス）の制度的な側面に焦点を当てながら、「企業統治」の意味を解き明かしてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①ガイダンス
- ②株式会社制度と企業統治
- ③株式会社の機関
- ④株式会社の歴史
- ⑤企業統治と比較制度分析
- ⑥企業観と企業統治
- ⑦企業統治の比較制度分析
- ⑧米国における企業統治（a）
- ⑨米国における企業統治（b）
- ⑩欧州における企業統治（a）
- ⑪欧州における企業統治（b）
- ⑫日本における企業統治（a）
- ⑬日本における企業統治（b）
- ⑭企業活動のグローバル化と企業統治
- ⑮講義の総括

履修上の留意点

・受講生の関心や理解度に応じて、講義の内容並びに授業スケジュールを変更することもあります。（その際には、事前に受講生の了承を得るように致します。）

成績評価の方法

・平常点・課題レポート・期末試験の結果を総合的に判断して受講生の成績を評価致します。

教科書

・1) 中村瑞穂編著、2) 『企業倫理と企業統治—国際比較—』、3) 文真堂、4) 定価2800円＋税、5) ISBN4-8309-4470-6

参考書等

- ・講義の時間内に必要に応じて紹介致します。
- ・講義の内容に即したウェブサイトを必要に応じて紹介致します。

その他

- ・講義形式は履修登録者数に応じて決定致します。
- ・講義はパワーポイントを使用致します。
- ・必要に応じてプリントまたはレジュメ等を配布致します。

科目名	企業統治論b	開講	半期	単位	2
担当	経A234選（18年度以前入学生） 商234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	みずむら のりひろ 水村 典弘				

講義のねらい

・「企業統治」（コーポレート・ガバナンス）の関係当事者に焦点を当てながら、専門経営者が兼ね備えるべき倫理性と社会の内部で企業が果たすべき役割を解き明かしてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①ガイダンス
- ②企業と社会
- ③企業統治と企業責任
- ④企業統治とゲートキーパー（a）
- ⑤企業統治とゲートキーパー（b）
- ⑥企業統治とステークホルダー（a）
- ⑦企業統治とステークホルダー（b）
- ⑧企業統治とステークホルダー（c）
- ⑨専門経営者の正当性問題（a）
- ⑩専門経営者の正当性問題（b）
- ⑪経営管理と経営倫理（a）
- ⑫経営管理と経営倫理（b）
- ⑬専門的経営管理者のリーダーシップ（a）
- ⑭専門的経営管理者のリーダーシップ（b）
- ⑮講義の総括

履修上の留意点

・受講生の関心や理解度に応じて、講義の内容並びに授業スケジュールを変更することもあります。（その際には、事前に受講生の了承を得るように致します。）

成績評価の方法

・平常点・課題レポート・期末試験の結果を総合的に判断して受講生の成績を評価致します。

教科書

・1) 水村典弘著、2) 『現代企業とステークホルダー—ステークホルダー型企業モデルの新構想—』、3) 文真堂、4) 定価2300円+税、5) ISBN4-8309-4492-7

参考書等

・講義の時間内に必要に応じて紹介致します。
・講義の内容に即したウェブサイトを必要に応じて紹介致します。

その他

・講義形式は履修登録者数に応じて決定致します。
・講義はパワーポイントを使用致します。
・必要に応じてプリントまたはレジメ等を配布致します。

科目名	現代企業論a	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選 (18年度以前入学生) 商1234選 (18年度以前入学生)				
担当者名	まつだ たけし 松田 健				

講義のねらい

本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じ、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業論 (1) (持続可能な社会と企業：現代企業論の基礎)
- 第3回 現代企業論 (2) (企業と市場)
- 第4回 現代企業論 (3) (取引コスト論)
- 第5回 現代企業論 (4) (所有権理論)
- 第6回 企業形態 (1) (企業形態の分類とその意図)
- 第7回 企業形態 (2) (個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP)
- 第8回 企業形態 (3) (会社制度の歴史的発展とその意義)
- 第9回 株式会社の特質 (1) (株式会社制度と所有者支配論)
- 第10回 株式会社の特質 (2) (株式会社制度と専門経営者)
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象 (1)
(株主の機関化・法人化を巡る問題)
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象 (2)
(機関的大株主と企業支配様式)
- 第13回 企業集中形態 (1) (企業合同形態と金融集団形態)
- 第14回 企業集中形態 (2) (連結経営と企業グループ)
- 第15回 前期のまとめ

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、新聞、雑誌に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書

未定

参考書等

自分で使いやすいと思われる経営学辞典あるいは経営学用語集

その他

なし

科目名	現代企業論b	開講	半期	単位	2
配当	現1234選必(19年度以降入学生) 経A234選 (18年度以前入学生) 商1234選 (18年度以前入学生)				
担当者名	まつだ たけし 松田 健				

講義のねらい

本講義では、現代企業論bの履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって極めて重要なTOPICSを中心に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回企業の目的と経営者の役割(1)(経営理念と企業の目的)
- 第2回企業の目的と経営者の役割(2)(企業価値と株主の富の最大化)
- 第3回企業統治(1)(企業統治とは何か:利害関係者と会社権力の正当性)
- 第4回企業統治(2)(株主と企業(経営者):プリンシパル=エージェント問題)
- 第5回企業統治(3)(株式所有構造と企業間関係)
- 第6回企業統治(4)(アングロ・サクソン型企業統治)
- 第7回企業統治(5)(ライン型企業統治)
- 第8回企業統治(6)(日本型企業統治)
- 第9回株式会社の資金調達(1)(株式会社のリスクとリターン)
- 第10回株式会社の資金調達(2)
(リスク負担の構造:リスクと企業制度)
- 第11回地球環境問題と現代企業(1)(持続可能な発展と株式会社の責務)
- 第12回地球環境問題と現代企業(2)(循環型社会の構築と現代企業:NPO)
- 第13回企業倫理(1)(企業倫理とはなにか)
- 第14回企業倫理(2)(企業倫理の制度化と企業統治)
- 第15回 まとめ:今後求められる企業像

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、学期末に筆記試験を行います。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書

未定

参考書等

経営学辞典あるいは経営学用語集

その他

なし

科目名	非営利組織論 a	開講	半期	単位	2
担当	経A234選 (18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	松本 ^{まつもと} 典子 ^{のりこ}				

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性の明確化、国際比較などから、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・狭義／広義の非営利組織
 - ・非営利組織に関する法、税制度および経済規模
 - ・非営利組織の活動分野（医療・福祉、まちづくり、環境等）
 - ・非営利組織の国際比較など
- 以上から、非営利組織とは何かを学びます。

履修上の留意点

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。

成績評価の方法

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- ・塚本一郎・雨宮孝子・古川俊一編著『NPOと新しい社会デザイン』同文館出版、2004年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。

その他

講義形式で行い、随時講義用プリントをHPに掲載しますので、各自プリントアウトして持参してください。必要に応じて参考文献や関連HPを紹介しします。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

科目名	非営利組織論b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子				

講義のねらい

非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性の明確化、国際比較などから、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ソーシャルエコノミー、ボランタリー経済
 - ・社会的起業家とは何か
 - ・非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、リーダーシップ、経営戦略、資金調達、ネットワークなど
- 以上から、非営利組織とは何かを学びます。

履修上の留意点

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。

成績評価の方法

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- ・塚本一郎・雨宮孝子・古川俊一編著『NPOと新しい社会デザイン』同文館出版、2004年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。

その他

講義形式で行い、随時講義用プリントをHPに掲載しますので、各自プリントアウトして持参してください。必要に応じて参考文献や関連HPを紹介しします。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

科目名	経営情報システム論I	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう たかし 齋藤 隆				

講義のねらい

第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

「企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性」「ビジネス活動を遂行するための情報システム」「意思決定を支援するための情報システム」「企業コラボレーションのための情報システム」「戦略的優位性を創出するための情報システム」、等

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理I・II」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科目名	経営情報システム論II	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう たかし 齋藤 隆				

講義のねらい

前期開講の「経営情報システム論I」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ（SAP社製「R/3」）を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

「ERP (Enterprise Resource Planning)」「ERPの事例紹介」「SDLC (System Development Life Cycle)」「BPR (Business Process Reengineering)」「EUC (End User Computing)」「システム監査」「情報化人材」、等

履修上の留意点

「経営情報システム論I」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理I・II」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済か、同等の能力を有することが求められます。

前期に開講される「経営情報システム論I」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(16～18年度入学生) 商1234選必(15年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小栗 崇資				

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 次のような構成で進めたい。
1. 財務会計とは何か
 2. 経済社会と企業会計
 3. 会計規制の仕組み
 4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
 5. 財務諸表の仕組み
 6. 貸借対照表の構造と内容
 7. 損益計算書の構造と内容
 8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
 9. 連結財務諸表の構造と内容
 10. 金融商品会計
 11. 退職給付会計
 12. リース会計
 13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考えるー変わる会計と経済』（大月書店）

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	森田 ^{もりた} 佳宏 ^{よしひろ}				

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これらの財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、会社法、金融商品取引法、企業会計原則等の関係に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に金融商品取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学基礎または会计学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配付する。

参考書等

山浦久司『監査論テキスト』（中央経済社）
 友杉芳正『新版スタンダード監査論（第2版）』（中央経済社）
 千代田邦夫『現代会計監査論』（税務経理協会）
 日本公認会計士協会編『監査小六法（平成18年版）』（中央経済社）
 日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック（平成19年版）』（中央経済社）

科目名	会計情報論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治				

講義のねらい

時事で読み解く「会計ビッグバン」をテーマにする。会計学においては会計原則や個々の会計基準を学習することももちろん重要だが、それだけが会計学ではない。その基礎にあるものや、その背景からより深く理解することがいっそう重要である。とりわけ今日のように会計制度が大きく変容しようとしているときはそうである。本講義では、社会のなかの「生きた会計」、とりわけ90年代から今日に続く会計制度の大改革（会計ビッグバン）を政治経済学的に学習する。社会科学としての会計学の視点を養うことが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

会計ビッグバンを政治経済学的な視点から取り上げ、社会科学としての会計学習を行う。教科書にそって講義するが、最新の会計トピックスはホームページ掲載の「時事会計教室」から取り上げる。

履修上の留意点

会計の政治経済学的な学習をねらいにしているので、商学科のみならず経済学科の学生も意識した講義をする。細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験ないしはレポート。

教科書

石川純治『激動する会計』（日本評論社）1,900円

参考書等

別途指示する。

科目名	管理会計論 a	開講	半期	単位	2
配当	経A 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ けいじ 石川 祐二				

講義のねらい

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、管理会計の基礎的な概念を学ぶことにする。その上で、意思決定に関わる具体的な手法を取り上げることにする。

履修上の留意点

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

前期末の試験により評価する。

教科書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	管理会計論b	開講	半期	単位	2
配当	経A商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	石川 祐二				

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な管理会計研究との相違を明らかにした上で、とくに「リスク・マネジメント」にかかわる会計現象を取り上げ、考察を加えることとする。

履修上の留意点

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

後期末の試験により評価する。

教科書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）

参考書等

必要に応じて紹介する。

専門教育

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	北口 りえ				

講義のねらい

本講義は、税務計算技術の習得のみを目的とするのではなく、社会生活を営む上で切っても切り離せない租税にまず興味・関心を持ち、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。講義では、租税を身近に感じることができるよう、具体的事例を取り上げたり、計算問題を解いたり、新聞記事等を配布したりする予定です。租税と日常の生活の関わり合いを意識しながら実社会において役立つように租税への理解を深めてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。本講義では、租税の意義や租税特有の論理などについて学んだ上で、法人税法における基礎理論や課税所得計算構造についての講義を行います。本講義をきっかけに、なぜ租税が必要なのか、公平な課税はどのようにしたら実現できるのかということについて考えてもらえればと思います。

履修上の留意点

電卓を持参してください（授業前半では必要ありませんので、講義内で指示します）。

成績評価の方法

成績評価は、出席点、中間試験、期末試験の総合評価により行います。

教科書

末永英男『法人税法会計論』中央経済社、3465円、ISBN4-502-24590-9

科目名	コンピュータ会計I	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 <small>すずき</small> 勝浩 <small>かつひろ</small>				

講義のねらい

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、そのシステムへのデータ入力の実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 会計情報とデータベース (3) 会計情報とシステム設計 (4) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (5) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (6) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (7) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (8) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (9) 表計算ソフトによる実習(財務諸表の作成) (10) 表計算ソフトによる実習(取引の入力①) (11) 表計算ソフトによる実習会計(取引の入力②) (12) 表計算ソフトによる実習(財務分析)

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科目名	コンピュータ会計II	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき かつひろ 鈴木 勝浩				

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(製造原価報告書・損益計算書) (3) 表計算ソフトによる実習(貸借対照表・キャッシュフロー計算書) (4) 表計算ソフトによる実習(財務指標) (5) 表計算ソフトによる実習(売上データ) (6) 表計算ソフトによる実習(原価分解法) (7) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析) (8) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法) (9) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス) (10) 表計算ソフトによる実習(予算シミュレーション) (11) 表計算ソフトによる実習(予算コントロール) (12) 表計算ソフトによる実習(投資プロジェクトの評価法)

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科目名	貿易論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふるさわ ことぞう 古沢 紘造				

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. WTOと貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	銀行システム論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正				

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。

(2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。

1) 銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。

2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

3) 地域金融機関の再編・淘汰が進む一方、地域経済の「疲弊」が深刻化している。経済発展に果たすべき銀行の役割について考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

1) 後期科目の「現代銀行事情」

2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年

日本銀行『新版 わが国の金融制度』

吉田暁『決済システムと銀行・中央銀行』日本経済評論社、2001年

科目名	現代銀行事情	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	齊藤 <small>さいとう</small> 正 <small>ただし</small>				

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

(1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関(普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など)の役割を理解する。

(2) 時期区分は、おおまかに高度成長期(1974年まで)、低成長・自由化期(1985年まで)、バブル経済期(1990年まで)、グローバル期(1990年代以降)とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。

(3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指したビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

(4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

1) 前期科目の「銀行システム論」

2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。

なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融』大月書店、2001年

川波・上川編著『現代金融論』(有斐閣ブックス)2004年

科目名	グローバル・ファイナンス	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小西 宏美				

講義のねらい

海外での子会社設立や企業買収、OEM契約を通じた生産委託など、今日、経済のグローバル化は様々なところで確認できる。ファイナンス（金融）の分野では、こうした企業のグローバル化に対応すべく多様な金融商品、システムが誕生している。グローバル・ファイナンスは、企業の資金調達の見直しを促しリスクを管理することで、貿易や海外投資、国際分業の発展を促す働きがある。

しかし、グローバル・ファイナンスは、時に、実体経済にマイナスの効果をもたらすこともある。本講義では、グローバル・ファイナンスの基本構造を理解した上で、その存在意義と同時に問題点を明らかにする。その中で、将来的に望ましい企業金融のあり方や国際金融市場の枠組みを考える。

講義の内容・授業スケジュール

- I グローバル化と貿易金融
貿易金融の意義
多国籍企業の海外進出と企業内貿易
- II 企業のグローバル化と資本移動の自由化
外為法改正の歴史と資本移動の自由化
欧米各国の資本移動自由化
- III グローバル化と企業金融
グローバル化と企業金融の意義
多国籍企業の資金調達
クロスボーダーM&Aファイナンス
- IV グローバル化にともなうリスクとその管理
為替リスク、信用リスク、決済リスク、金利リスク
- V むすび ～グローバル・ファイナンスの可能性～

履修上の留意点

日常的に新聞やニュースでグローバル・ファイナンスに関わる問題を意識しておくことが望ましい。

成績評価の方法

期末試験が中心であるが、適宜小テストを実施。積極的な質問も評価の対象とする。

教科書

とくに教科書は指定しない。

科目名	証券市場論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひふた まさと 広田 真人				

講義のねらい

ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解はありえない。そこで、講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に「金融ビックバン」の説明の際、「改革」の前提としての既存制度についても言及する。従って、本講義のキーワードは、“資本コスト” 発見の場としての証券市場の役割となる

講義の内容・授業スケジュール

- ①「出席表－同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出－」の説明
- ②株式市場の存在理由－資本コスト発見機能を中心に－
- ③資産価値の評価－NPV・IRR、債券と株式の評価－
- ④株式投資におけるリスク－ σ と β －
- ⑤資本コストの計測とEVA
- ⑥デリバティブの初歩－オプションを中心に－
- ⑦株価指数とインデックス運用
- ⑧金融ビックバンの評価からみた日本の証券市場の特色

履修上の留意点

最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること

成績評価の方法

期末レポート（中間は未定）、ただし、問題数は計算問題を含めて10近く、全て回答すること

教科書

特になく、授業中にプリント配布

参考書等

井手・高橋『経営財務入門』・『証券投資入門』（日本経済新聞社）2003～2006年

科目名	保険論	開講	通年	単位	4
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	みやち ともか 宮地 朋果				

講義のねらい

現代の複雑な社会において、企業と家庭は多様なリスクに直面している。本講義では、主として、企業におけるリスク処理の体系的な考え方であるリスクマネジメントについて検討する。また、リスクに対する有効な手段である保険の仕組みと機能を説明する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・リスクの概念
- ・リスクの分類
- ・リスクマネジメントの生成と目的
- ・リスクマネジメントのプロセス
- ・リスクコントロール
- ・リスクファイナンス
- ・リスクと保険（保険の概念）
- ・保険の生成
- ・保険の仕組み
- ・保険成立の条件
- ・保険の機能
- ・保険者の組織
- ・保険の分類
- ・保険の現状と将来

履修上の留意点

受講者の理解度を測るために、授業内レポートや小テストをしばしば行う予定です。試験は講義で話した内容を中心に出題するので、授業にはできる限り出席するよう心がけてください。

成績評価の方法

定期試験、出席状況、小テスト、授業態度による総合評価。

教科書

堀田一吉・岡村国和・石田成則 編著 『保険進化と保険事業』（慶應義塾大学出版会）

参考書等

堀田一吉 『保険理論と保険政策』（東洋経済新報社）
堀田一吉 編著 『民間医療保険の戦略と課題』（勁草書房）

その他

講義内容に関する質問を、授業終了後に受け付けます。

科目名	ビジネス・インターンシップ a	開講	半期	単位	2
担当	経A3選(17年度入学生のみ) 商3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	吉田 <small>よしだ けいいち</small> 敬一・光岡 <small>みつおか ほんみ</small> 博美				

講義のねらい

「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体での現場研修を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

また現場研修に関わる「ビジネス・インターンシップ b」を受講するためには、この科目の単位の修得が条件になりますので、真剣に受講することが求められます。

講義の内容・授業スケジュール

「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業に入ってから現場研修で最低限必要な社会人としての素養や基礎知識を修得するために必要な準備トレーニングを行います。経営者・団体役員・専門家を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・ インターンシップの目標とプログラムについての理解
- ・ 仕事のルールとビジネスマナーの修得
- ・ 自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定
- ・ インターンシップ先についての研究
- ・ インターンシップ先の確定と研修計画の相談

履修上の留意点

(1) この科目は a (前期) と b (後期) に分かれています。登録時は必ず ab 2 つセットで登録してください。a のみ、あるいは b のみの登録および履修は認めません。

(2) 単位認定は、a、b それぞれに 2 単位を認めますが、a (前期) の 2 単位を修得できなかった場合は、b (後期) の履修と単位は認められません。

(3) <経済学科フレックスAの学生のみに対する注意事項>
(商学科の学生は関係ありません)

ビジネス・インターンシップ a (前期) を登録・履修できる経済学科フレックスAの学生は、履修する演習IIの担当者がビジネス・インターンシップ b を併設している場合だけです。履修する演習IIに併設されていない場合は、a・b 両方とも登録・履修できません。登録前に履修する演習IIの担当教員に必ず相談してください。

受講希望者は、最初の講義時間に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点と授業中のレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出るとメモの取り方も重要なポイントになりますので、5W1Hの観点からメモを取る方法を身につけるように努力してください。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	いしかわ じゅんじ 石川 純治				

講義のねらい	インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミにて説明します。
履修上の留意点	このインターンシップは私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。
成績評価の方法	事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。
教科書	講義の際に必要な資料を配布します。
その他	3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい	インターンシップは、学生が企業等で実習する体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	7月：インターンシップ先の決定 8月～9月上旬：インターンシップ研修 9月～10月：研修についてのレポート作成
履修上の留意点	インターンシップは、演習Ⅱに所属する学生のうち、経済学科の学生に履修が限定されます。また、企業等にお世話になるため、自らの責任を自覚して下さい。
成績評価の方法	研修内容とレポートを中心に評価します。
教科書	適宜指示します。
その他	3年次生のみ履修可能です。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選 (17年度入学生のみ)				
担当者名	いわなみ ふみなか 岩波 文孝				

講義のねらい

ビジネス・インターンシップは、企業や団体の現場実習を通じて就業体験をすることにより、自分の適性を発見し、就業することや社会について認識を深め、人生設計など自らの将来像を描くための授業です。

履修上の留意点

現場実習を行なうので、受講生の自覚と責任がきびしく要求されます。この科目は、演習Ⅱ(岩波ゼミ)を受講する経済学科の学生のみが履修できます。受け入れ先や研修の調整作業が必要となるとともに、受け入れ先の都合で、時期・期間が変更になることもあります。

成績評価の方法

インターンシップ事前準備、インターンシップ受け入れ先からの報告、および事後研修レポートにより評価します。

そ の 他

演習Ⅱ(岩波ゼミ)を履修する3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	おくり なかし 小栗 崇資				

講義のねらい

インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミにて説明します。

履修上の留意点

このインターンシップは私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。

成績評価の方法

事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

教科書

講義の際に必要な資料を配布します。

そ の 他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正				

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・履修スケジュール

4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
後期授業期間中に就業体験(2週間程度)
終了後事後研修(レポート作成)など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

そ の 他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	しみず たかし 清水 卓				

講義のねらい

インターンシップという科目が設けられたのは比較的最近のことです。その背景には、大学卒業生の3割が新規就職して3年以内に転職するという現象に現れているように、安定的な就職先を見つけることが困難となってきたことがあります。企業や団体その他公的機関等も、テレビなどの一般向PR情報では、その実際の姿を知ることはできません。学生時代に企業や団体の現場を直接経験することで、自分を活かせる産業や企業など、就職先の選択を確かなものとすることができます。そして現場に立つことによって、今まで気が付かなかった自分の本当の姿を発見することができるでしょう。

講義の内容・履修スケジュール

ゼミにて説明します。

履修上の留意点

このインターンシップは私の演習Ⅱ参加者のみ受講可能です。

成績評価の方法

事前の準備の質と量、事後のレポートで評価します。

教 科 書

適宜指示します。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選 (17年度入学生のみ)				
担当者名	しろた じゆん 代田 純				

講義の内容・授業スケジュール

相手先の都合により変更となる可能性があるものの、岡三証券本社において夏休み中に3～4日間のインターンシップを予定している。

成績評価の方法

成績評価については、インターンの出席と相手先からの評価、事後のレポートで決定する。

その他

希望者多数の場合は、選抜となる。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選 (17年度入学生のみ)				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

講義のねらい

企業、商店、NGO、芸術団体、自治体など実際に経済活動や社会活動をおこなっている現場に向いて作業や労働を経験してもらうことが目標です。相応の責任感が要求されますが、大学のキャンパス内では学べない多くのことを体験学習することができます。本学の構内は決して広くはありませんが、学外の広い世界をいわば広義の学園と見立てて大学生活にふくらみをもたせてみることをお勧めします。

講義の内容・授業スケジュール

この科目のスケジュールは、大きく三つの時期に分けられます。
 前期は、学内の教室でおこなわれる授業をとおして、インターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。
 夏休みには、現場での実際の研修をおこないます。
 後期は、現場での研修について、レポートの作成と発表会をおこないます。

履修上の留意点

現場の作業や労働の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。研修先を自分で探してくる学生は歓迎します。インターンシップに必要な交通費や衣服などの諸経費は自己負担になります。また、あくまで研修というたてまえから、報酬は支給されないことを了解しておいてください。

成績評価の方法

学内での授業、研修先からの評価、レポートや発表などを総合的に評価します。

教科書

とくにありません。ただし、随時、必要と思われるプリント等の配布はいたします。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	曾我 ^{そが} 信孝 ^{のぶたか}				

講義のねらい 企業等で実習することで、就業に必要な専門知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期中にビジネスインターンシップの講義を受講する。
夏期休暇中にインターンシップの研修をする。
後期に入って、研修後のレポート作成をする。

履修上の留意点 このインターンシップは、私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しかとれません。

成績評価の方法 研修の内容および事後のレポートで評価する。

教科書 講義中に資料等を配布する。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	徳永 ^{とくなが} 俊明 ^{としあき}				

講義のねらい インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

履修上の留意点 (1) インターンシップでは、「3者」間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
(2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法 受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書 事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他 3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	光岡 ^{みつおか} 博美 ^{ひろみ}				

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普通の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミにて説明します。

履修上の留意点

- (1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップb	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ) 経B3選 (17年度入学生のみ)				
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光				

講義のねらい

インターンシップとは、学生が在学中に、企業、学校、教育委員会その他公共施設、各種団体などで研修生として<就業(職場)体験>を積むための制度です。
インターンシップによって、実社会=職場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野について大学の講義では学べない具体的な知識を得、自己の適正を的確に判断しながら、進路の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なり、仕事の大変さや厳しさ、責任の重さややりがい(生きがい)など<就業(職場)体験>で得たものは、きっと貴重な生きた知識になるとともに自己啓発にもおおいに役立つと思います。

講義の内容・授業スケジュール

4月 履修登録、「インターンシップa」の履修
9月 「インターンシップb」の履修開始
①演習(Ⅱ)担当教員・就業体験受け入れ先・学生の3者間で実施についての基本的な合意。
②就業体験事前研修の後、1～2週間程度または通年でインターンシップを実践
10～11月 事後研修(レポート作成)、発表

履修上の留意点

- (1) インターンシップは目的意識を持って参加してください。
- (2) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。
- (3) スケジュールは、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わること、長期間になる場合(通年)、短期の場合(一定期間)など時期や期間はいろいろです。
- (4) プログラムは大学の教員が主体となる場合と企業や学校等が主体的に運営する場合があります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修で必要な資料などを配布します。
受け入れ先の必要な資料・文献なども配布します。

その他

3年次生のみ履修が可能な科目です。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	経A3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	吉田 敬一 <small>よしだ けいいち</small>				

講義のねらい

「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとした科目です。

講義の内容・授業スケジュール

実際の研修は原則として夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行ないます。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

その他

- *次の点を必ず確認して履修してください。
- ①吉田ゼミの演習Ⅱを受講している3年生のみが登録できます。
- ②ビジネス・インターンシップ aの単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ bを受けることはできません。

科目名	ビジネス・インターンシップ b	開講	半期	単位	2
配当	商3選(17年度入学生のみ)				
担当者名	吉田 敬一・堀 龍二 <small>よしだ けいいち ほり りゆうじ</small>				

講義のねらい

「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんが企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行います。
- (2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。またレポートにもとづく発表会も予定しています。

履修上の留意点

- 次の点を必ず確認して履修してください。
- 1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ bは多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
- 2. ビジネス・インターンシップ aの単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ bを受けることはできません。
- 3. 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

科目名	情報の経済学	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	館 ^{たち} 健太郎				

講義のねらい

入門レベルでのミクロ経済学では、人々が選択を行うために必要な情報はすべて容易に入手できると想定していた。しかし、現実には、人々は先の見えない不確実な状況におかれていたり、人に保有する情報が異なっていることがしばしば見うけられる。もし人々がこのような状況にあるときには、結果はどのように変化するだろうか？また、情報が不足する問題に対してどのような対処が考えられるだろうか？本講義では、不確実性と情報にまつわるさまざまな経済問題を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

全体として5部構成で説明していく。
 ①市場と情報
 ②不確実性下の意思決定
 ③情報の非対称性(1) 逆選択
 ④情報の非対称性(2) モラルハザード
 ⑤ホールドアップ問題

履修上の留意点

平方根や対数といった高校までの数学を使うことがある。ミクロ経済学の入門的な知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的に期末試験で行う。ただし、課題を出すことがある。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

とくに指定しない。

その他

レジュメ資料を配布し、黒板で解説する。

科目名	法と経済学	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	村松 幹二 <small>むらまつ かんじ</small>				

講義のねらい

法制度は日常生活や企業活動などの様々な側面で経済に大きな影響を与えており、経済現象を考える上で、法制度の役割を理解することは不可欠である。そのような法制度の役割を経済システム全体の中で見ると、「法と経済学」ではミクロ経済学的手法を用いてインセンティブの視点から様々な法制度の役割について論じる。

受講する学生には、この授業を通じて経済における法制度の役割、それに関する政策の意義を考え、経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクションー法律学と経済学の基礎
2. 事故と犯罪の「法と経済学」
3. 所有と契約の「法と経済学」
4. 競争政策の「法と経済学」
5. 知的財産の「法と経済学」
6. 環境問題の「法と経済学」

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学の知識を前提とするため、ミクロ経済学を履修した学生を対象とする。「法と経済学」で学ぶ内容は、「制度の経済学」と密接に関連しており、あわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験による。

教科書

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

参考書等

テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

科目名	制度の経済学	開講	半期	単位	2
配当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	村松 ^{むらまつ} 幹二 ^{かんじ}				

講義のねらい

企業組織と企業を取りまく制度は相互に関連しながら経済システムを作り上げており、景気の動向や産業構造、雇用形態などを通じて消費者・労働者としての我々の日々の生活に大きな影響をもたらす。また1990年代以降、企業の雇用形態や資本市場との関係などは大きく変化しており、そのなかで企業の不祥事が頻発するなど、企業組織のあり方やコーポレート・ガバナンスのあり方が問われている。

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「比較制度分析」と情報の経済学などの手法を用いて企業組織に関する諸制度の相互の関連と経済システムについて論じる。

受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、経済における制度の役割、それに関する政策の意義を考えることで経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報の経済学と比較制度分析の基礎
2. 労働契約とインセンティブ
3. 雇用形態と企業組織
4. 金融制度と企業
5. 会社法とコーポレート・ガバナンス
6. 競争政策と経済システム

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学の知識を前提とするため、ミクロ経済学を履修した学生を対象とする。「制度の経済学」で学ぶ内容は、「法と経済学」と密接に関連しており、あわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、期末試験による。

教科書

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

参考書等

テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

科目名	ベンチャー論	開講	半期	単位	2
担当	経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生) 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗弘				

講義のねらい

日本は、大量生産体制・キャッチアップ型経済から、知識集約化・フロントライナー型経済へとパラダイムの転換を果たした。こうした時代環境の中、ミクロレベルでは、プロダクト・イノベーション創出の担い手として、ベンチャービジネスに期待が高まっている。本講義では、ベンチャービジネスに関する正確な理解を深めるとともに、ベンチャービジネスの担い手である起業家を養成していく。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ケーススタディなどを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ベンチャービジネスとは
- (2) 中小企業、中堅企業、ベンチャー企業
- (3) 起業家とは
- (4) ベンチャー企業の成長ステージ別マネジメント
- (5) ベンチャー企業の成長戦略
- (6) スピンオフ・ベンチャーの実態
- (7) 大学発ベンチャー、産学連携の実態
- (8) ベンチャー金融(ベンチャーキャピタル、エンジェル、株式公開)
- (9) ベンチャービジネスに関する法律、知的所有権
- (10) ベンチャービジネスの支援施策、支援インフラ

履修上の留意点

起業論、ベンチャー論を一括履修することががのぞましい。

成績評価の方法

期末試験(又はレポート)による評価を基本とするが、出席状況など平常点も加味する。

教科書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。

参考書等

植田・桑原・本多・義永『中小企業・ベンチャー企業論』(有斐閣コンパクト)
金井・角田編『ベンチャー企業経営論』(有斐閣)
松田修一『ベンチャー企業』(日本経済新聞社)
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』(ダイヤモンド社)

科目名	起業論	開講	半期	単位	2
配当	経A234選（18年度以前入学生） 商234選（18年度以前入学生） 経B234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま 宗弘 長山 宗弘				

講義のねらい

1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回り、経済のダイナミズムが失われてきている。特に、地方圏においては、企業誘致による外来型開発に限界が見える中、地域における新規開業企業の増大・創業支援が重要な課題となっている。本講義では、こうした課題解決に向けて主体的に挑戦できる人材（起業家）を養成する。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ビジネスプラン（事業計画書）作成の演習などを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 起業、起業家とは
- (2) 起業とイノベーション
- (3) 事業機会の発見
- (4) ビジネスモデルの構築
- (5) 起業活動と経営戦略
- (6) 創業期のマーケティング
- (7) 起業家ネットワーク
- (8) 組織・人材戦略
- (9) 資金調達
- (10) ビジネスプランの作成

履修上の留意点

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。

成績評価の方法

期末試験（又はレポート）による評価を基本とするが、出席状況など平常点も加味する。

教科書

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。

参考書等

高橋徳行『起業学の基礎』（勁草書房）
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』（ダイヤモンド社）
D・J・ストーリー『アントレプレナーシップ入門』（有斐閣）

科目名	現代産業事情III	開講	半期	単位	2
配当	経A34選(18年度以前入学生) 商34選(18年度以前入学生) 経B34選(18年度以前入学生)				
担当者名	齊藤 正 <small>さいとう ただし</small>				

講義のねらい

野村ホールディングス(旧野村証券)の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応する授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーとIPO

履修上の留意点

定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、毎回、レジユメを配布する。パワーポイントを用いた授業となる予定。

参考書等

氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社、2002年。
福光寛・高橋元編著『ベーシック 証券市場論』同文館出版、2004年。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き原則として遅刻は認めない。また、私語など受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳				

講義のねらい

ゼミの目標は3つ

- ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう
- ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう
- ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう

講義の内容・ 授業スケジュール

1. マクロ経済学を基礎から学ぶ
2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ
3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする
4. インターネットで経済学を学ぼう
5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう
6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

なにより授業にまじめに出席することが前提だ。

教科書

経済学の入門書を授業の際に指示する。

参考書等

必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	あわは あき 姉齒 暁				

講義のねらい

紙面を賑わせるさまざまな社会・経済問題は、わたしたちの生活に多大な影響を与えるものでありながら、難解な言葉で語られることが多いので、実際には、それがどのように生活と関わっているのかが見えにくいものでもあります。

そこで、演習Iでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。

皆で一緒に考えていくこと、意見を交わしていくことで、複雑な問題でも理解しやすくなるという実感は、ゼミならではの最も大切な体験になることでしょう。

具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、簡潔かつ安価な新書やブックレットを題材に、報告ならびに討論を行うつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミの活動に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。タイムリーな問題を扱った新書やブックレットといった安価で簡潔にまとめられた題材を利用して、レジュメの作り方から報告・討論の手法を身につけます。

ゼミ生と相談の上、時期を決めて合宿を行います。現時点では、農村での合宿を通して、「グローバル化の影響」と「食生活」、「コミュニティー」などを考えたいと思っていますが、特にこのゼミは、今年度がデビューとなりますので、皆さんと相談の上で、どのような合宿にするのかを決めたいと思います。

履修上の留意点

遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。

ただ、その場に座っているだけでは、ゼミへの参加とはみなしえません。必ず毎回発言することが求められます。

成績評価の方法

報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

教科書

岩波ブックレットおよび新書類を中心に最初の時間に提示し、相談の上、決定します。

参考書等

岩波ブックレットおよび新書類を中心に最初の時間に提示し、相談の上、決定します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

「文化経済学」の基本の確立。

講義の内容・
授業スケジュール

文化経済学を学んでいくための基礎文献を読みます。
演習参加者はゼミナル論文を書いてゼミ論集の『アルファ』に掲載します。
また年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

教科書

予定：池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

専門教育

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	あらかき よしひろ 荒木 勝啓				

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップアプリケーション）の方法を習得させる。すなわち（1）編集方法（Page Maker、Quark Express）（2）グラフィックス（Illustrator）（3）レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。時間があればLATEXによる組版の初歩も行う。演習IIからはExtdを使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫				

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 野村正実『雇用不安』
後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%

教科書

川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	飯田 <small>いいた</small> 泰之 <small>やすゆき</small>				

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジюме作成・発表演習
- ・Word、Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読
- ・卒論報告会

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

特に、演習Iでは、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に扱う。基本的には、プリントを中心にディスカッションを行いたい。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治				

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。
また社会経済における「生きた会計」を学習するために「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切でそれとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

経済・法律の基本テキストなど、その都度指示します。

参考書等

『常識「日本の論点」』（文藝春秋）など、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るができますので参考にしてください。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	岩波 文孝				

講義のねらい

企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、企業不祥事の続出、経営不振、機関投資家・投資ファンドの不祥事など経営システムの改革が企業経営に求められています。演習では、現代企業におけるトップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業経営の仕組みや企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関を理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関係、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

開講時に指定します。

その他

演習III履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	大吹 勝男				

講義のねらい

今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他

<応募するにあたっての注意点>

個別説明会はしませんが、諸君が聞きたいことを、予想して答えておきます。

1. 夏合宿はあります。
2. ゼミは休めません。当たり前のことですが、今日の学生はこのようなことを質問するのです。

<卒業研究の有無>

義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

現在、日本の経済構造は大きく変化しつつあります。この変化は、1970年代の国際通貨制度の崩壊、石油危機などとともに始まり、バブル経済とその崩壊を経て今日に至っています。この演習では、バブル経済がなぜ起こり崩壊したか、その原因を考えながら今日の日本経済の特質について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、北村洋基著『岐路に立つ日本経済』をテキストとして、日本経済の特質について、理論と歴史の両面から迫ります。また、環境問題、高齢化社会のあり方、日本の開発援助など、今日の重要問題について学習します。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。演習Iの履修者は、原則として演習II・IIIを履修し、4年次に「卒業論文」を作成することになります。

成績評価の方法

平常点により評価します。

教科書

北村洋基著『岐路に立つ日本経済』（大月書店）2,400円

参考書等

大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他

- ①「卒業研究」を併設します。
- ②コース制との関連：コースの履修は自由です。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	小栗 ^{おぐり たかし} 崇 ^{たかし} 貴				

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iでは、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ				

講義のねらい

税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないコストであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習では、法人税を中心として租税の基本的な考え方や課税所得計算構造について学び、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず、税体系を概観し、租税の意義や租税特有の論理について学びます。その上で、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計についての理解を深めていきます。法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。

基本的には、テキストの1つのテーマに対して2、3人のグループにより報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言する学生、ゼミの運営や行事に積極的に参加する学生を希望します。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席率、報告内容、授業への参加度など）とレポートの総合評価により行います。

教科書

使用テキスト等はゼミ生との話し合いの上で決定します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
担当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}				

講義のねらい

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきます。これに対して、ゼミ(演習)は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、討論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらって発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温に過ぎません。国連の機関であるIPCCによれば、今世紀末には地球全体が1.4-5.8度の気温上昇を見るだろうとされています。文明(農業)が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気候の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病気・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められています。暑くなればこれらが溶け出してきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらす、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。通常の授業とならんで年2回の「ゼミ合宿」では集中的に1冊の本を勉強します。また、ゼミ生同士の親睦を図るため、いくつかのイベントも用意しています。

履修上の留意点

出席の悪い人は単位を認定できません。

成績評価の方法

出席点とゼミへの参加意欲を総合して認定。

教科書

『よくわかる地球温暖化問題』(中央法規社)

参考書等

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』(東大出版会)

その他

<卒業研究の有無>

あり。4年次に履修(別に4単位が与えられる)。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	小西 ^{こにし} 宏美 ^{ひろみ}				

講義のねらい

演習Iは、自ら学び、学んだ知識や理論を自分の言葉で説明する能力を養うことを目的とします。テキストを分担で報告するという形式を取ります。報告では、テキストを読んだ上でそれを分かりやすく説明することが求められますが、優れた報告をするためには、単にテキストだけを読むだけでなく、それに関連する図書や資料を調べる必要があります。他の人に説明するためには自分がまずしっかりと理解していなければいけません。図書館に行って自分で調べてもやっぱり分からないということがあれば、報告の際にそう述べてください。皆で一緒に考えましょう。演習は、参加する皆さんが共に学び成長する場です。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんの報告、質疑応答が中心となります。
前期は社会科学の役割について、後期は企業の国際的な活動について学習する予定です。

履修上の留意点

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法

授業での積極性、報告内容によって評価します。

教科書

最初の授業で皆さんと相談の上、決定します。

参考書等

適宜、お知らせします。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	こばやし まさと 小林 正人				

講義のねらい

テーマは「IT経済の歴史と現状」。
ブロードバンドが普及し、携帯電話の機能がめざましく拡張しており、IT（情報技術）に関連したビジネスや電子商取引が新しい成長をみせています。ITによるイノベーションは確実に進展しています。しかしサイバー犯罪やセキュリティ問題なども増えています。これらの最新動向や諸問題について検討し、これをつうじて日本経済の今後の発展について考察するのが、このゼミのねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、インターネットによる情報検索や、各ゼミ生のホームページの開設に取り組み、インターネットのしくみを学びます。ワープロによるレポート作成の技法も修得します。
後期は、「IT経済の歴史と現状」について文献をもとに研究します。グループ研究や研究成果のプレゼンテーションに取り組み、自発的な調査や発表の方法を学びます。
下記のサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミ活動の概要を載せています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

駒澤大学の学内情報ネットワーク（KOMAnet）を使うためのユーザーIDとパスワードをいつでも使えるようにしておく。またゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従う。

成績評価の方法

ふだんの発表、レポート、出席状況を総合して評価。

教科書

授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

演習IIIに「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう まだし 齊藤 正				

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それにもなっている銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

IT（情報通信技術）の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞誌上で目にするが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブやM&A（合併）の仲介へと大きく変貌を遂げています。

演習Iでは、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

川波洋一・上川孝夫編『現代金融論』有斐閣ブックス

参考書等

日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』（毎年、新版が発行されています）

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	しみず たかし 清水 卓				

講義のねらい 当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会、各国国民の日常生活など興味の対象はつきません。3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

中・東欧諸国の加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、ディベートとEUに関する基礎知識修得を課題とします。見学（裁判所、TBS、製鉄所、東京の街散歩）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやります。

履修上の留意点 「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO FLE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法 平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等 授業で紹介します。

その他 「卒業研究」併設。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき のぶえ 鈴木 伸枝				

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書 受講者と相談して決定します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	瀬戸岡 <small>せとおか ひろし</small> 紘				

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した社会、経済、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうこと。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用して、「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。何を研究・学習の対象とするかは、受講生の希望によりかなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴。

最初の2ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。その後は、グローバル時代の特質と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心。しばしば英語の文献も使用します。

その他、上級生によるパソコン教室、英語圏から当ゼミにきた留学生による英会話教室、上級生と少人数グループで一緒に学習・研究をするサブゼミの活動、他大学の学生と交流できる日本学生経済ゼミナールへの参加、アメリカの学生とのインターネットによる交流とテレビ会議システムをつかった遠隔討論会、工場見学・企業訪問など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

参考書等

随時、有益な文献を紹介します。

その他

当ゼミは、2003年には『世界週報』で全国に、1994年にはCNNテレビで世界120カ国に紹介されました。

当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/setooka>

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	そが のぶたか 曾我 信孝				

講義のねらい

マーケティングの基本的な政策を理解させ、プレゼンテーション能力およびディベート能力を高めさせることを主たる目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

4、5名のチームを編成し、前期は主に基本的なマーケティング政策について調査したものをチーム単位で発表してもらい、他チームからの質疑応答の時間もとる。後期は具体的なマーケティング政策に関する課題を出し、それらを前期に編成したチーム単位で調査・研究し、チーム間で討論してもらう。

履修上の留意点

チーム単位で調査、研究、発表等をしてもらうので、講義時間以外でチームによる予習が必要です。チーム学習の出席率などが悪く、学生さんからの苦情があった場合、受講を断ることもあります。本当に、マーケティングに興味があり、やる気がないと続かないかもしれませんのでご注意ください。

成績評価の方法

平常点（チーム学習の評価、プレゼンテーションの評価などを参考にする）

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法ーゼミ形式

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	たち けんたろう 館 健太郎				

講義のねらい

産業組織論とこれを分析するための道具となるゲーム理論、ミクロ経済学について勉強します。ゲーム理論はトランプや花札の必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなして、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問です。たとえば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、市場や企業について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめ、その後、実際の産業の分析に広がっていきます。

履修上の留意点

自分自身でオリジナルのゲームを作るなど、発想やアイデアを養うことを重視したい。

成績評価の方法

出席とゼミへの貢献度

教科書

教科書はとくに指定しません。

参考書等

最初の段階の参考書としては渡辺隆裕『図解雑学ゲーム理論』ナツメ社をあげます。

その他

卒業研究として仕上げることをめざします。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税
夏期休暇にはゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動もおこなうつもりです。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明				

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	友松 ^{ともまつ} 憲彦 ^{よしのこ}				

講義のねらい

経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
 2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
 3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。
 4年次は、自分でテーマを決めて卒業研究をまとめます。
 また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート、(2) 平常点(レジュメ、報告、討論の状態)(3) 出席状態、を総合して評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習を通じて紹介します。

その他

卒業研究を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
担当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかずみ みのあき 中 濟 光 昭				

講義のねらい

インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・
授業スケジュール

履修者のパソコンスキルによっては、ITリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

履修上の留意点

- ・合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。
- ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。自宅にインターネットに接続しているパソコンがあることが必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

- ・今年度はオーストラリアでの在外研究から戻りゼミをゼロから再構築します。新しいゼミと一緒に作っていきける積極性のある学生の参加を希望します。
- ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。
- ・演習IIIでは、卒業研究(論文及び作品)を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま わねひろ 長山 宗広				

講義のねらい

演習Iでは、地域経済・地域産業に関する文献レビューを通じて基礎的な理論を学ぶ。また、地域の実態を把握するための手法・方法論も学んでいく。

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、地域経済論の基礎的な文献を使って、輪読や担当を決めての要旨報告を中心に討論を行っていく。古典的な経済地理学・立地論のみならず、産業クラスター論や学習地域・地域イノベーションシステム論などの新しい理論に関する文献も取り上げる。

後期では、地域活性化に関するケーススタディについて、グループ単位で取り組んでいく。地域の経済統計データ分析、地域産業や中小企業の実態分析等を通じて、当該地域の現状と課題を整理し、地域活性化プランとして取りまとめ、グループ単位での発表会を行っていく。

履修上の留意点

地域経済論 a・b の講義を履修することががのぞましい。

ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。

教科書

開講時にゼミ生と相談して決定する。

参考書等

地域経済論 a・b を参照のこと。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？企業の社会的責任とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？
- (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年

参考書等

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	福原 好喜				

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊ぶよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎しむこと

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
担当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化I〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 次のテーマについて研究発表を行う。
A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
(3) 演習をアクティブなものとするため、楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゅうじ</small>				

講義のねらい

雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった人的資源管理論に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の人的資源管理はいま大きく変化を遂げつつあるところですが、従来の人的資源管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

人的資源管理に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。

成績評価の方法

毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書

初回ゼミで相談して決めます。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

〈卒業研究の有無〉
演習II・IIIまで引き続き履修した場合には、演習III履修時に卒業研究を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつい 柳平				

講義のねらい

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用方法 Excel の使用方法 データの要約と視覚化
 基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定
 数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

鳥居『はじめての統計学』(日本経済新聞社) ISBN4-532-13074-3

縄田『Excelによる統計入門』(朝倉書店) ISBN4-254-12142-3

得津『はじめての統計』(有斐閣) ISBN4-641-08667-2

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつだ たけし 松田 健				

講義のねらい

今日の企業は単に経済的な機関として位置づけられるのみならず、私たちの生活に大きな影響力を及ぼす社会的存在に成長しました。企業とは一体どのような存在なのでしょう？ 私たちはどの程度企業について知っているのでしょうか？

本演習はこうした基底的問題意識を踏まえつつ、現代における企業の基本的活動について体系的に理解することを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

利潤の追求を基本的原理としながら、製品・サービスの生産・流通・販売という経済活動を担う、企業の行動を主たる対象として、私たちの生活に密接不可分な存在になってきている企業を、再度「企業とは何か」という視点から見つめ直します。一年を通じて、企業の意義、役割およびその特質について理論的に考察を進めます。

履修上の留意点

専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件としつつ総合的に評価します。

教科書

適宜指示します。

参考書等

経営学辞典あるいは経営学用語集。

その他

卒業研究有り

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子				

講義のねらい

- 非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。
- ①非営利組織（NPO）の基礎を学びます。
 - ②企業と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。
 - ③非営利組織の実際の活動や、行政や企業とのコラボレーションの現実をみます。
 - ④非営利組織（NPO）の経営（マネジメント）について共に考えましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

①基本文献をテキストに発表・討論を行い、②非営利組織・行政・企業の見学・訪問も実施します。

授業では、非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。また、第一線で活躍している人に話を聞いたり現場を見学することで、文献では学べないことを積極的に学びましょう。

同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力やHP作成能力、訪問やゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。

履修上の留意点

- ①積極的に授業に出席してください。
- ②積極的に物事を調べてください。
- ③積極的にNPO・企業・行政訪問、合宿等に参加しましょう。

成績評価の方法

出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

- 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
- 非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。
- ①川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
 - ②山内直人『NPO入門（第2版）』日本経済新聞社、2004年。

その他

4年次（演習III）に卒業研究を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	溝手 ^{みぞて} 芳計 ^{よしけし}				

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

1冊目：レスター・ブラウン『フード・セキュリティ - だれが世界を養うのか』、ワールドウォッチジャパン。

2冊目以降は、ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習IIIで「卒業研究」を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	みつおか たくみ 光岡 博美				

講義のねらい

演習Iでは、現代日本の労働問題や社会保障を研究するための準備として、これらの分野に関する基礎的な学習を行うこととします。具体的には、参加者と相談しながらテキストを決定し、毎時間レポーターによる報告と討論を積み重ね、確実にテキストの内容が理解できるように努力します。1年間で、できるだけたくさんのテキストを読んでいく予定です。ゼミ参加者は、毎時間きちんと出席し、同時に、自分自身がどのようなテーマで今後の研究を行っていくのかを考えて下さい。(例えば、「日本の労使関係」、「女性労働問題」、「日本の社会保障・福祉」)なお、春と夏にはゼミ合宿(2泊3日程度)を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め3、4年生のゼミ生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

履修上の留意点

通常の講義とは違って、演習は参加者自身が協力し、全員の努力で充実したものとなります。教員の話を一方向的に聞くのではなく、全員が発言し、活発な討論を期待します。

成績評価の方法

成績は(1)出席(2)レポーターとしての努力や工夫などを総合的に判断して評価します。通常の講義のような筆記試験は行いません。

教科書

演習参加者の意見や要望を参考にして決めたいと思います。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二				

講義のねらい

現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために2年次には、ミクロ経済学・ゲーム理論の基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、ミクロ経済学とゲーム理論のテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに合宿討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期には企業組織論や「法と経済学」のテキストの輪読とワーキング・グループによる研究発表を行う。

3年次前期には、企業組織論や「法と経済学」のテキストを輪読し、各自の研究テーマを決定する。3年次後期には、各自の研究発表を元に討論を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点

ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

成績評価の方法

ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。

教科書

開講時にゼミ生と相談の上、決定する。

その他

演習III履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	森田 ^{もりた} 佳宏 ^{よしひろ}				

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

本演習では、財務会計および監査の基礎理論を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習を取り入れることもある。演習Iの終了時にはレポートの提出を課すので必ず提出すること。

履修上の留意点

演習であるから、すでにどれだけの知識を持っているかということよりも、みんなと一緒に会計を勉強したいという気持ちを重視したい。したがって、特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法

出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学（第8版）』（中央経済社）2,600円（なお、初回の演習時まで購入しないこと。）

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習IIIに「卒業研究」を併設する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

講義のねらい

社会保障・人口問題研究所の平成14年人口推計によると、日本の人口は2006年の1億2,774万1,000人をピークに、その後は減少すると予測されていた。しかし実際には2年早まり、2004年をピークに2005年から減少に転じた。1970年代半ば以降30年に亘って続いてきた少子化の結果、いよいよわが国は人口減少時代に突入したのである。この人口減少少子高齢化の影響は多方面に及ぶと考えられるが、本演習では経済成長や所得再配分あたりに焦点を当ててみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国の人口減少・少子高齢化が経済との間で持つ相互依存の関係を明らかにする。

履修上の留意点

休まず遅れず参加することが演習を履修する際の大前提である。

成績評価の方法

平常点

教科書

未定

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	谷敷 ^{やしき} 正光 ^{ただみつ}				

講義のねらい

テーマ「工業化と学校」

2年生の演習は日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったのか、日本の工業化・近代化の過程を通じて明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 工業化・近代化の過程で外貨の獲得に貢献した製糸業、豊田佐吉の力織機の発明で飛躍的に発展した織物業、豊田喜一郎が造った国産初の乗用車などの理解の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『ああ野麦峠—ある製糸工女哀史』、邦光史郎『トヨタ王国』などの経済小説を読み進め、「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「乗用車ゼロからの出発」などのDVDやVTRを視聴覚教材として使用し、班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

〔後期〕 前期に学んだ先の「教材」にかかわる「学術論文」を読んだり、日本の工業化・近代化に関する基本文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムの形成と機業地学校、工場内学校などについて班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

授業の出席を基本にレポートと合宿での発表などで総合評価します。

教科書

授業中に紹介します。
学術論文（授業で配布します）

参考書等

『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」（4単位）を併設しています。
3年ゼミでは、「インターンシップ」（後期、2単位）を併設しています。インターンシップは「インターンシップb」の項を見てください。希望する人は併せて履修することができます。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	安元 稔 <small>やすもと めのる</small>				

- 講義のねらい

初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。
- 講義の内容・授業スケジュール

テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。
- 履修上の留意点

なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。
- 成績評価の方法

日常の勉強態度・出席状況を見て成績を評価します。
- 教科書

川勝平太『経済史入門』（経済学入門シリーズ）（日経文庫888/F37）860円
ISBN4-532-10888-8
- 参考書等

適宜指示します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	山縣 弘志 <small>やまがた ひろし</small>				

- 講義のねらい

比較経済論研究の入門
- 講義の内容・授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。
- 成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。
- 教科書

岡沢憲英『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書
- その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉野 紀 <small>よしの おさむ</small>				

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション（模擬実験）を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参考書等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（数量経済分析シリーズ第6巻）多賀出版。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉田 敬一 <small>よしだ けいいち</small>				

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波新書）

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習IIIでは「卒業研究」を併設します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経A2選(18年度以前入学生) 商2選(18年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Iでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を輪読し、基本的事実や先行研究について理解することを目標にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

学生が主体となったレポート(報告)&ディスカッション(討論)形式を基本とする。素朴な疑問などを遠慮なく出しあえる自由な雰囲気の中にしていきたい。その他、ビデオ教材の視聴、工場・資料館等の見学も企画中。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳				

講義のねらい

基礎的な経済学をしっかりと勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴
2. 日本の企業と産業組織
3. 日本の企業システム
4. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

内閣府『経済財政白書』その他

参考書等

その他の資料については授業の中で指示する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	あむは あき 姉齒 暁				

講義のねらい

演習Iに引き続き、「グローバル経済と生活」を大まかなテーマに据え、「生活」を取り巻くさまざまな問題について学ぶと同時に、卒業研究への取り組みを開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

原書講読も含めて、より高度な文献を読みこなし、資料を解析し、他大学とのゼミ交流を深めながら報告ならびに討論のスキルを磨き、後期からは卒論作成に取り組むことになります。全員でひとつの問題に取り組んで報告・討論を行うか、班分けをしながら、班毎の報告を主体にゼミを進行するかなど具体的なゼミの進行については、人数が確定した上で指示したいと思います。

履修上の留意点

遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。アルバイトやサークル活動などでゼミを欠席することはできません。履修予定表に載っている時間配分では終わらないのがゼミ活動です。忙しいことを承知の上で、やる気のある方の参加を希望します。

成績評価の方法

報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

教科書

時間の初めに指示します。

参考書等

時間の初めに指示します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	あへ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

文化経済学の発展をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表（ゼミ論集『アルファ』）することとします。年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。「卒業研究」（4年次）を併設します。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒木 ^{あらい} 勝啓 ^{ゆきお}				

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップパブリケーション）の方法を習得させる。すなわち（1）編集方法（Page Maker、Quark Express）（2）グラフィックス（Illustrator）（3）レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。時間があればLATEXによる組版の初学も行なう。演習IIからはExtidを使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	有井 ^{あらい} 行夫 ^{ゆきお}				

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企業社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
 夏合宿 野村正実『雇用不安』
 後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

教科書

川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	飯田 <small>いいた</small> 泰之 <small>やすゆき</small>				

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iでの学習内容をふまえ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。

講義の内容・授業スケジュール

演習IIでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることとする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治				

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

参考書等

その都度、指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るができますので参考にしてください。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

21世紀を迎えて以降も経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

現代企業におけるコーポレート・パワーに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

開講時に指定します。

その他

演習III履修時には「卒業研究」(4単位)を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおいし ほうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

2年次の演習Iでは現実の経済問題について幅広く学びました。演習IIではそれをふまえて、市場経済の進歩的な側面とそれが抱える問題点について検討し、資本主義経済の本質について理解を深めていきます。

また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養えるような、そんな学習にも取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

いまや世界中が市場経済に組み込まれています。これは、資本主義的商品経済の仕組みが、地球的な規模で成立したことを意味しています。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがますます重要になってきます。

この演習IIでは、マルクスが『資本論』で明らかにした資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済・地球環境問題への理解を深め、現代資本主義の本質に迫ります。

専門教育

履修上の留意点

少人数形式の演習では、欠席をしないこと・遅刻をしないことが各人に求められます。参加者には、その点を自覚したうえで、様々な活動に積極的に取り組むことを期待しています。

成績評価の方法

平常点により評価します。

教科書

大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）3,600円

参考書等

マルクス『資本論』（新日本新書）
西川潤『世界経済入門（第3版）』（岩波新書）

その他

- ①「卒業研究」を併設します。
- ②コース制との関連：コースの履修は自由です。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男				

講義のねらい

昨年は、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、等々を学習しましたが、今年度は『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。

近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感があります。そこで、当ゼミでは真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということです。

それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他

<卒業研究の有無>
義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	北口 <small>きたぐち</small> りえ				

講義のねらい

税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないコストであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習では、法人税を中心として租税の基本的な考え方や課税所得計算構造について学び、租税、特に法人税に関する理解を深めることを目的として行います。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず、税体系を概観し、租税の意義や租税特有の論理について学びます。その上で、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計についての理解を深めていきます。法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。

基本的には、テキストの1つのテーマに対して2、3人のグループにより報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言する学生、ゼミの運営や行事に積極的に参加する学生を希望します。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出席率、報告内容、授業への参加度など）とレポートの総合評価により行います。

教科書

使用テキスト等はゼミ生との話し合いの上で決定します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	小栗 <small>おぐり たかし</small> 崇資				

講義のねらい

演習Iと同じねらい。演習IIでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

演習IIでは、演習Iに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 ^{こすぎ しゅうじ} 修二				

講義のねらい

演習Iに同じですので、そちらをご覧ください。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的には演習Iに同じです。演習Iでは温暖化のメカニズム、その害悪について学びますが、演習IIではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか(①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減)考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つこととなります。3年時以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することとなります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、「デイバイト」形式で問題を表と裏から考えます。デイバイトは為にする議論、という印象もありますが、ある問題に徹底的に賛成あるいは反対の立場に立って見た時、それが簡単に崩れるようなら、それは役に立たない議論ということとなります。こうした議論を通じて、確実な根拠ある結論を探しましょう。やってみると意外に楽しいものです。

履修上の留意点

演習Iと同じ。

成績評価の方法

演習Iと同じ。

教科書

演習Iの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

参考書等

演習Iと同じ。

その他

<卒業研究の有無>
あり(通常のゼミの4単位と別に卒業研究の4単位が与えられる)。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	こにし ひろみ 小西 宏美				

講義のねらい

演習IIは、自ら学び、学んだ知識や理論を自分の言葉で説明する能力を養うことを目的とします。テキストを分担で報告するという形式を取ります。報告では、テキストを読んだ上でそれを分かりやすく説明することが求められますが、優れた報告をするためには、単にテキストを読むだけでなく、それに関連する図書や資料を調べる必要があります。他の人に説明するためには自分がまずしっかりと理解していなければいけません。図書館に行って自分で調べてもやっぱり分からないということがあれば、報告の際にそう述べてください。皆と一緒に考えましょう。演習は、参加する皆さんが共に学び成長する場です。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんの報告、質疑応答が中心となります。
企業の貿易、海外投資活動、それを支える金融機関の海外展開について学ぶ予定です。

履修上の留意点

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法

授業での積極性、報告内容によって評価します。

教科書

最初の授業で皆さんと相談の上、決定します。

参考書等

適宜、お知らせします。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	こばやし まさと 小林 正人				

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」

戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、IT経済や日本経済にかかわる文献を各ゼミ生が自主的に選んで研究し、その内容についてゼミで紹介発表します。

後期では、個々の産業ないし業界について、グループに分かれて調査研究を行います。

以上の調査をふまえて、次年度の演習IIIで卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な調査、発表、発言が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表、レポート、出席状況を総合して評価。

教科書

授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

「卒業研究」(卒業論文のみ)を演習IIIに併設

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	齊藤 正 <small>さいとう ただし</small>				

講義のねらい 「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・授業スケジュール 金融ビッグバンの展開後、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理を迫り、「貸し渋り」が広範囲に及んできました。その結果、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。演習IIでは、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融システムの再建方向について考えます。

履修上の留意点 日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法 年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書 大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』(大月書店)

その他 「卒業研究」を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	清水 卓 <small>しみず たかし</small>				

講義のねらい 現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、西洋の偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向と、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。

また3年次後半からは就職活動が日程に上がってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・授業スケジュール 専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点 演習Iを参照のこと。

成績評価の方法 演習Iを参照のこと。

教科書 演習Iを参照のこと。

その他 演習Iを参照のこと。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	代田 純・小西 宏美				

講義のねらい

代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。

講義の内容・授業スケジュール

4～7月においては、日本の株式市場について、テキストを使用し、学習する。夏合宿を経て、9～12月には証券外務員資格の学習指導も行う。3回生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点

金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

まず出席が基本です。さらにゼミでの発表、質問など発言によって日常点で評価します。

教科書

代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）

参考書等

適宜紹介します。

その他

代田が前期は在外研究のため、小西が担当します。9月から代田が担当します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 伸枝				

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。

とくに2006年度のばあい、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力をやしなっているのです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語るようなゼミ生が確実にそだっています。

あわせて、後輩のゼミ生の世話をすること、日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加・インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

4年次生で卒業論文を作成します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、本人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしば3年生や4年生のゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	曾我 ^{そが} 信孝 ^{のぶたか}				

講義のねらい

特定の企業の財務状況などを分析し、その企業が展開しているマーケティング戦略を批判検討し、企業のマーケティング能力の分析力を身に着けることを目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期にゼミ生全員が研究テーマを持てるように、いくつか課題を出して、それらを調査・討論していく。研究課題が見つかった学生から随時、分析方法を発表してもらい、夏休み中に不足している分析資料を収集し、論文の執筆を開始してもらう。

論文の締め切りは10月末とし、その後論文集の作成をするので、校正等に時間をとる。また、並行して後期は他学年とディベートを計画しているため、チームによる共同研究が必要になる。

履修上の留意点

テーマの設定、資料の収集、分析方法の決定と連続して難しい問題が続きます。しかし、論文の執筆までの最終段階に達しますと相当の実力がつきます。それぞれの段階で壁に当たり苦しむこともあるかもしれませんが、相談できるようにしています。実力を付けようという強い願望のある人のみの受講を期待します。

成績評価の方法

平常点（論文を執筆したもののみを、論文作成過程の態度を考慮に入れて評価する。）

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法－ゼミ形式

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	たち けんたろう 館 健太郎				

講義のねらい

産業組織論とこれを分析するための道具となるゲーム理論、ミクロ経済学について勉強します。ゲーム理論はトランプや花札の必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなして、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問です。たとえば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。ゲーム理論という共通の土台の上立って、市場や企業について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめ、その後、実際の産業の分析に広がっていきます。

履修上の留意点

自分自身でオリジナルのゲームを作るなど、発想やアイデアを養うことを重視したい。

成績評価の方法

出席とゼミへの貢献度

教科書

教科書はとくに指定しません。

参考書等

最初の段階の参考書としては
渡辺隆裕『図解雑学ゲーム理論』ナツメ社
をあげます。

その他

卒業研究として仕上げることをめざします。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんまん 鄭 章淵				

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

北原淳・西澤信善〔編著〕『アジア経済論』現代世界経済叢書4（ミネルヴァ書房）2004年、3,200円＋税

進藤榮一・平川均〔編〕『東アジア共同体を設計する』日本経済評論社、2006年、2000円＋税

夏期休暇にはゼミ合宿をします。ここでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動をおこなうつもりです。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明				

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそ
 での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日
 本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間
 の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたか
 いについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。
 春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？
 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの
 意見を参考にして考えを深めます。
 第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめ
 ます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦				

講義のねらい

西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読
 し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

演習をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための
 基礎づくりをします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度末のレポートと平常点（出席、レジュメ、報告、討論の状態）で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習を通じて紹介します。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
担当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭				

講義のねらい

演習Iの内容を前提に、具体的なテーマを設定して研究します。インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

履修者のパソコンスキルによっては、ITリテラシー、レジュメ作成、レポーティング、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

履修上の留意点

- ・演習IIでは、就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん、合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。
- ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。自宅にインターネットに接続しているパソコンがあることが必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

- ・今年度はオーストラリアでの在外研究から戻りゼミをゼロから再構築します。新しいゼミと一緒に作っていただける積極性のある学生の参加を希望します。
- ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。
- ・演習IIIでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広				

講義のねらい

演習IIでは、地域経済・地域産業の理論を踏まえて、地域の実態を把握する実践的手法を学んでいく。

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

世田谷区など実在の地域を選定し、当該地域の実態把握と活性化プランを取りまとめていく。まずは、ゼミ生全員で、選定地域における既存資料や統計データを入手・分析する。その後は、グループ単位で、選定地域において興味のある研究テーマ（例：地場産業・中小企業の再生、新産業・ベンチャービジネスの創出、商店街・中心市街地の活性化、観光振興による交流人口アップなど）を設定し、各種調査を実施・取りまとめていく。それぞれの研究テーマにおける調査結果をもとに、当該地域の関係者（中小企業経営者や政策担当者など）と議論を行ない、最終的に当該地域の活性化プランとして取りまとめていく。この活性化プランは、当該地域の関係者に対して発表会が行なえる水準を目指す。

夏休み等を利用して、合宿やフィールドワークも行なう予定。

履修上の留意点

地域経済論 a・b の講義を履修することがのぞましい。

ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。

教科書

開講時にゼミ生と相談して決定する。

参考書等

地域経済論 a・b を参照のこと。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしほろ 百田 義治				

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Iの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

専門
教育

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜				

講義の内容・
授業スケジュール

〔ウェーバーとマルクス研究〕

このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

講義のねらい

3年演習〔アフリカの社会と文化II〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 卒業作品について数回の中間発表を行う
- (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- (3) アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法

作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	ほり りゅうじ 堀 龍二				

講義のねらい

わが国企業の人事・労務管理(人的資源管理)はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本的労務管理(あるいは日本的経営)と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバル化、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化(フレキシビリティ)、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方(社会への貢献の仕方)として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもら。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生(企業年金を含む)、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。ワーキンググループ方式以外の方法をゼミ生が希望する場合は、進め方を相談して決めます。

履修上の留意点

1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをする楽しい学習と思ってほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。

教科書

共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

〈卒業研究の有無〉
引き続き演習IIIを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	松井 柳平				

講義のねらい

統計学の知識が経済の分野で必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経済データの統計処理(推定と検定) クロスセクション・データの並べ替え・検索・集計・抽出 連立方程式モデルの解法 最適化問題の解法 IS-LMモデルと政策シミュレーション 時系列データの取り扱い 単回帰分析 重回帰分析 計量経済モデルの推定・テスト・予測シミュレーション・グラフィック処理 定型処理の自動化とその応用 モンテカルロ法によるコンピュータ・シミュレーション ほか

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

授業のなかで必要に応じて、指示する。

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつだ たけし 松田 健				

講義のねらい

現代は極めて変化のスピードが早い時代です。こうした傾向は企業経営の世界にも当てはまります。企業は経営環境の著しい変化の中で日々の業務に携わりながらも、自らが拠って立つ基盤を模索しています。これは企業自身も自らと社会との関係をどのように構築していけばよいのかという課題に直面しているといえるでしょう。こうした理解に立ち、本演習では企業経営の現代的課題について取り上げながら、企業活動の体系的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業論文作成の準備に取り掛かれるように、企業の意義、役割ならびにその特質に関わる体系的な理解を目指します。

履修上の留意点

専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件としつつ総合的に評価します。

教科書

適宜指示します。

参考書等

経営学辞典あるいは経営学用語集。

その他

卒業研究有り

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	松本 ^{まつもと} 典子 ^{のりこ}				

講義のねらい

非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。

- ①非営利組織（NPO）の基礎を学びます。
- ②企業と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。
- ③非営利組織の実際の活動や、行政や企業とのコラボレーションの現実をみます。
- ④非営利組織（NPO）の経営（マネジメント）について共に考えましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

①基本文献をテキストに発表・討論を行い、②非営利組織・行政・企業の見学・訪問も実施します。

授業では、非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。また、第一線で活躍している人に話を聞いたり現場を見学することで、文献では学べないことを積極的に学びましょう。

非営利組織や企業の見学・訪問は、ゼミ生を中心に見学先・訪問先を話し合い決定します。実際の活動の現場から学習するだけでなく、訪問先を自ら選定する企画力、インタビューを行う主体性の獲得もゼミの学習課題です。また、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力やHP作成能力、訪問やゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。

履修上の留意点

- ①積極的に授業に出席してください。
- ②積極的に物事を調べてください。
- ③積極的にNPO・企業・行政訪問、合宿等に参加しましょう。

成績評価の方法

出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。

非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。

- ①川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ②山内直人『NPO入門（第2版）』日本経済新聞社、2004年。

その他

4年次（演習III）に卒業研究を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	みぞて よしかず 溝手 芳計				

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習IIでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習I（2年次生）等と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。
ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習IIIで「卒業研究」を併設します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	みつおか けいみ 光岡 博美				

講義のねらい

演習Iの勉強を前提として、各人のテーマをさらに深く研究していくことを目標とします。参加者は自分の研究テーマを登録し、順次報告してもらいます。各人の報告は討論に付し、担当教員がコメント、今後の研究についてのアドバイスを行います。また、研究テーマが近接している場合にはテーマ別のグループによる共同研究を組織し、グループ別の発表会なども予定しています。参加者はこの1年間の勉強にもとづいて、次年度のゼミ論文に取り組んでもらいたい。なお、春と夏にはゼミ合宿（2泊3日程度）を行います。強制はしませんが、ゼミ内での親睦を深め、2、4年生との交流の場とします。多数の参加を期待します。

成績評価の方法

(1) 出席は当然のことですが (2) 自分の研究テーマをどれだけ深くほりさげ研究に努力を払ったのかという点を重視します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二				

講義のねらい

現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために3年次には、企業組織論と「法と経済学」の基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、企業組織論や「法と経済学」のいずれかのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期にはワーキング・グループによる研究発表を行うとともに個人の研究テーマを決定し、個人研究のための指導を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点

ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

成績評価の方法

ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。

教科書

開講時にゼミ生と相談の上、決定する。

その他

演習III履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	もりた よしひろ 森田 佳宏				

講義のねらい

財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。

講義の内容・授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。なお、夏合宿では日商簿記検定試験2級程度の学習を行う。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告(レジュメを含む)・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書

最初の演習時に指示する。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

その他

演習IIIに「卒業研究」を併設する。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』(大明堂)

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	谷敷 <small>やしき たけみつ</small> 正光				

講義のねらい

テーマ〔高度経済成長と人・教育〕

3年ゼミは、日本の高度経済成長の過程と各段階における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降、西欧以外の諸国でなぜ日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたか経済・人材・教育等の面から基礎文献や「学術論文」を使って明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 日本の経済成長を復興期、高度成長I期、II期、III期、IV期、安定成長期、バブル経済期の推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。

〔後期〕 「経済大国」と称された後、長期に日本経済を支えてきた日本型経済システムの形成と帰結を考察します。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席を基本にレポートや合宿の発表などで総合評価します。

教科書

授業で紹介します。
学術論文（授業で配布します）

参考書等

『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」（4単位）を併設しています。
3年ゼミでは、「インターンシップb」（後期、現場実習、2単位）を併設しています。希望する人は「インターンシップa」（前期、事前指導、2単位）を併せて履修してください。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	<small>やすもと みのる</small> 安元 稔				

講義のねらい

われわれが現在生活している工業化社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習IIでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志				

講義のねらい	比較経済論の専門的学習・研究
講義の内容・授業スケジュール	現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。
成績評価の方法	出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。
教科書	相談の上決める。
その他	非喫煙者が望ましい。 「卒業研究」有。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	よしの おさむ 吉野 紀				

講義のねらい	経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的(normative)な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想(身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分)に依存する。 日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。
成績評価の方法	日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。
教科書	開講時に指示する。
その他	「卒業研究」併設。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉田 敬一				

講義のねらい

この演習は日本経済の構造転換問題をグローバルゼーションとの関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。

参考書等

適宜、指示します。

科目名	演習II	開講	通年	単位	4
配当	経A3選(18年度以前入学生) 商3選(18年度以前入学生)				
担当者名	渡邊 恵一				

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習IIで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。文献輪読と並行しながら、ゼミとしての共同研究にも着手する。テーマは、受講生の話し合いで決定する。

講義の内容・授業スケジュール

学生が主体となったレポート（報告）&ディスカッション（討論）形式を基本とする。事前に図書館で関連文献を参照するなど、演習I以上に能動的な参加姿勢が求められる。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	あきの かつみ 浅野 克巳				

講義のねらい

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫逓増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参考書等

内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

専門教育

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

日本経済の基本的枠組みの把握を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表（ゼミ論集『アルファ』）することとします。
年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。
「卒業研究」（4年次）を併設します。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらかき よしひろ</small>				

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。

成績評価の方法

オリジナルモデルの作成

その他

C言語やコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	有井 行夫 <small>ありい ゆきお</small>				

講義のねらい

現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましょう。演習Iと演習IIとの発展研究がこれです。演習IIIでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。

成績評価の方法

平常点(出席、レポート、発言)。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	しいだ やすのき 飯田 泰之				

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習内容を継続的に発展させ、卒業研究の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

「卒業研究」を併設する。演習Ⅲは卒業論文の指導が中心のため、履修登録時の登録を忘れないこと。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	石川 祐二				

講義のねらい

企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。
 具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、「卒業研究」を開設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。なお、「卒業研究」を作成することが、演習の評価にも結びつくので注意すること。

教科書

特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	石川 純治				

講義のねらい

上級会計学の学習、および卒業論文の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文については、夏休み中に論文のテーマおよびおよ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

成績評価の方法

ゼミ報告・レポートなどの平常点、及び卒業論文の内容評価。

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	いわした ひろし 岩下 弘				

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。
 多国籍化している大手小売資本の企業行動＝経営戦略とそれに対する海外諸国の公共政策を、日本の政策と比較しながら検討する。
 小売資本に対する公共政策の国際比較

専門教育

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。卒論は別に指導。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	いわつなみ 岩波 文孝				

講義のねらい

経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、卒業研究またはゼミ論文の執筆を通じて、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。

合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加、論文の執筆など平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。

後期には、卒業論文作成のために詳細なレジュメを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学ゼミ論集』（大石ゼミナール発行）にまとめられます。

履修上の留意点

原則として平常点で評価しますが、「卒業論文」が提出されない場合は演習IIIの単位を取り消すことがあります。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

新聞記事等、授業に使用する教材は支給します。

参考書等

特に指定しない。

その他

- ①「卒業研究」を併設します。
- ②コース制との関連：コースの履修は自由です。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	おおき かつお 大吹 勝男				

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習II」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	小栗 崇資 <small>おぐり たかし</small>				

講義のねらい	新規募集せず。
講義の内容・ 授業スケジュール	各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。
成績評価の方法	総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。
教科書	演習の中で指示。
参考書等	演習の中で指示。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	小杉 修二 <small>こすぎ しゅうじ</small>				

講義のねらい

演習Ⅰと同じですので、そちらをご覧ください。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的には演習Ⅰと同じです。演習Ⅰでは温暖化のメカニズム、その害悪について学びますが、演習Ⅱではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか(①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減)考えます。演習Ⅲではそれらの学習を踏まえて、どんな形で温暖化問題を解決できそうかを考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。先進国と途上国では所得に大きな格差があります。貧しい国は豊かな国の生活レベルに追いつくこと、特に古典的貧困を解消することを優先しています。豊かな生活を謳歌している先進国の人間がその現実を知りながら、中国人やインド人はこれまで車に乗っていなかったのだから、これからもそれで頼むとって通じるでしょうか。それどころか、先進国の中にも「格差」があって、これらを解決するためには経済成長が必要だとの議論がされています。これまでは経済成長の中で格差問題は解決されてきたと考えられていました。一説によれば、21世紀末の世界の経済規模は今の50倍程度とされています。その時には炭酸ガスの排出規模も50倍程度になるでしょう。これを省エネルギーで乗り切るとしたら、効率を50倍にすることが最低限の条件です。トヨタのプリウスで言えばガソリン1リッターで900キロメートル走ることとなります。たぶん不可能ですね。私たちが挑戦する課題はこうしたものです。

この課題を解決するのがいかに難しいかはすぐ想像できると思いますが、お金がかかることも事実です。これを最少の費用で達成するにはどんな方法があるかも考えねばなりません。

履修上の留意点

演習Ⅰと同じ。

成績評価の方法

演習Ⅰと同じ。

教科書

演習Ⅰ、Ⅱの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

参考書等

演習Ⅰと同じ。

その他

<卒業研究の有無>
あり(通常のゼミの4単位と別に卒業研究の4単位が与えられる)。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	こばやし まさと 小林 正人				

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種についてテーマを決め（一般的な産業問題、あるいは生活経済の問題でもよい）、その特徴、歴史や現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。

講義の内容・授業スケジュール

「卒業論文の提出までに必要な段階」として、文献研究発表、参考文献一覧の提出、卒論の予定目次と題名の発表、卒論の本論の中間発表、最終稿の総合審査など、指導教員による事前審査があります。
審査を通った論文は、教務部に提出できます。さらに卒業論文集（仮称『現代産業学生論集』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒論の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。
詳細について、下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」の2007年度の中の「卒論作成プラン07」で確認すること。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記の「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参考書等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、ゼミ全体に必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正				

講義のねらい

演習I・IIの集大成としてゼミナール論文（「卒業研究」）の作成をめざします。テーマは自由ですが第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいことが予想されますが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。
後期はゼミ論の完成に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	さとなか つねし 里中 恆志				

講義のねらい

この演習のテーマは「国債を抱えた財政」である。各自の問題意識を財政経済の視点からとらえて検討思考し、主張を「卒業研究」の論文にまとめてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

6月段階で各ゼミ生の卒業研究の論題が決まるのでその後は順番を決めて順次論文の中間報告を求め問題点を指導する。12月には「卒業研究」の論文発表会の機会を作る。

履修上の留意点

この演習の演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

「演習III」については平常点により成績評価する。「卒業研究」については論文により評価する。

教科書

富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN4-492-62051-6

参考書等

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文真堂）3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

その他

授業の方法は「卒業研究」の論文指導が中心になる。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	しみず たかし 清水 卓				

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Iを参照のこと。

成績評価の方法

演習Iを参照のこと。

教科書

演習Iを参照のこと。

その他

演習Iを参照のこと。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	代田 ^{しろた} 純・須藤 ^{すどう} 時仁 ^{ときひと}				

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・
授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法

卒業論文の提出、内容で評価する。

教科書

特に決めない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

代田が在外研究のため、前期は須藤が担当し、9月から代田が担当する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 ^{すずき} 伸枝 ^{のぶえ}				

講義のねらい

公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について論文を書いてもらいます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>				

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個人で異なります。

参考書等

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個人で異なります。

その他

このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small>				

講義のねらい

企業のマーケティング能力の全般的な分析力が身に着くことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は2～3の企業を選択し、それぞれの企業で展開されている特徴的なマーケティング戦略を検討したものを発表、あるいはレポート提出してもらう。

後期は、前半にホットなマーケティング問題を取り上げ、全員で議論する。後半は他学年とディベートをするためのチーム研究に時間をとる。

並行して、卒業研究の指導もする。

履修上の留意点

4年生は就職活動にエネルギーを多く費やさなくてはならないだろうが、チームによる共同学習などもあるので、時間を有効に使えるようにして欲しい。

成績評価の方法

平常点(授業中の発表、レポート、チーム学習などから判断する。)卒業研究に関しては、論文の内容をもって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法ーゼミ形式

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

演習I・IIでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従い個別指導を行います。

成績評価の方法

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明				

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国(発展途上諸国:第3世界)の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは? 自由とは? 愛するとは? 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ともまつ よしのこ 友松 憲彦				

講義のねらい

演習II(3年)で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。

履修上の留意点

「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

平常点(報告や討論の状態)と出席で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

その他

卒業研究を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかすみ みつあき 中済 光昭				

講義のねらい

卒業論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの卒業論文の内容を高めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- ・研究計画書作成
- ・論題の提出
- ・研究テーマに関する調査・分析
- ・レジュメ作成、レポーティング、発表を行い、最終的に卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

- ・ゼミへの積極的な参加を期待しています。
- ・追加募集は致しません。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

ゼミではパソコンを使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

本演習は演習Ⅰ・Ⅱの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習Ⅱの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜				

履修上の留意点 原則として4年生からの募集は行わない。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

参考書等 福原好喜『総理に忠告す―日本経済危機水域に入れり―』、『Warm Heart』、『私も生命 汝も生命』

専門教育

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

講義のねらい 4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕卒業作品を完成する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。
(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
(3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法 作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他 「卒業研究」を併設する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	ほり りゆうじ 堀 龍二				

講義のねらい

演習IとIIの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスをする形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。

履修上の留意点

興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。

成績評価の方法

ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。

教科書

ゼミ生と話し合って決定します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平				

講義のねらい

卒論を完成させる。

講義の内容・
授業スケジュール

卒論指導。

履修上の留意点

受講生は、3年次からの継続に限る。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

教科書

必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

授業のなかで必要に応じて、指示する。

その他

「卒業研究」を開設する。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	みぎて よしかず 溝手 芳計				

専門教育

講義のねらい	食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習IIIでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	演習IIIでは、卒業研究に向けて、個別指導と集団討論を中心に進めます。
履修上の留意点	ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。
成績評価の方法	卒業研究に向けた取り組み姿勢と、研究論文を基本として評価しますが、出席状況や社会人としての良識ある行動を求めます。
教科書	未定。
参考書等	必要に応じて紹介します。
その他	「卒業研究」を併設します。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	みつおか へくみ 光岡 博美				

講義のねらい	演習IIIのゼミナールでは、ゼミ論文を書くことを最大の目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	参加者には論文のテーマを設定し、報告してもらいます。最初のゼミで一年間の計画を説明します。日本の労働問題や社会福祉等の問題をテーマとします。
成績評価の方法	成績評価はゼミ論文の内容にもとづいて決定します。
その他	4年生からの参加も歓迎です。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	森岡 仁 <small>もりおか じん</small>				

講義のねらい

「卒業研究」の論文作成。
(新規募集はしない)

講義の内容・
授業スケジュール

各自が決定した論文のテーマに沿って議論を重ね、最終的には論文の完成を目指す。

成績評価の方法

出席状況。

教科書

特に使用せず。

参考書等

論文テーマに沿って適宜指示する。

その他

「卒業研究」を併設。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしひろ</small>				

講義のねらい

本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは、演習Iおよび演習IIにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。卒業論文未提出者には単位を認定しない。

教科書

原則として使用しない。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光				

講義のねらい

テーマ「経済発展と人・技術」

4年ゼミは、戦前の日本の工業化、戦後の経済成長とそれを支えた人材や技術開発について、各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成し、論文集に発表します。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で会社訪問する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなります。したがって基礎文献・資料を使って、日本経済の発展と教育を検証します。

〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。

①詳細は4年ゼミで説明します。

②研究の基礎資料は提供できるものは提供します。、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。

③図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況、完成したゼミ卒業論文『卒業研究』で評価します。

教科書

授業で紹介します。

参考書等

各自の論題によって、その都度お知らせします。

その他

4年ゼミでは「卒業研究」を併設します。

希望する人は併せて履修することができます。

「卒業研究」の進め方は4年ゼミの中で適宜説明します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志				

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

その他

「卒業研究」有。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
担当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉田 <small>よしだ けいいち</small> 敬一				

講義のねらい

この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行ないます。

講義の内容・
授業スケジュール

演習IIIでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。

第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。

履修上の留意点

演習IIIは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習IIをすでに履修していることが前提となります。

成績評価の方法

出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心に総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。

その他

演習IIIでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
担当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉野 <small>よしの おさむ</small> 紀				

講義のねらい

基本的な方向は演習IIの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習IIに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教科書

開講時に指示する。

科目名	演習III	開講	通年	単位	4
配当	経A4選(18年度以前入学生) 商4選(18年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく卒業論文の執筆を指導する。受講生は、可能な限り一次文献や統計書を探し出してまとめることを目指し、実証度の高い分析を行うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、目次構成の検討、論文や図表の作法習得、先行研究のサーベイ、資料・統計データの収集といった基礎的作業をきちんとこなす時期にあてる。夏季休業を経た後期は、出来上がった草稿について逐次添削・指導を行い、論文の完成度を徐々に高めていきたい。

履修上の留意点

受講生の新規募集は行わない（演習IIの継続者のみ）。

成績評価の方法

卒業論文の完成度（執筆過程で投入された労力の大きさを含む）で評価する。

参考書等

個別指導を通じて、適宜紹介していく。

III 他学部履修科目

他学部
履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

- ・授業時間表「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの頁を参照してください。(→P. 923)
- ・他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。
- ・配当学科の()内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
西洋思想史	他(国)禅仏英地文環境社福心 経A商営AGM34選	通年	4	柴野博子	653
	他(国)経B営B34選				
日本民俗学	他(国)禅仏英地文環境社福心 経A商営AGM34選	通年	4	谷口貢	654
	他(国)経B営B34選				
時事英語	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A34選	通年	4	サンダース, L. P.	655
	他(英)経B営B34選				
人口地理学	他(地文)禅仏国英歴日外考社 福心経A商営AGM34選	通年	4	山内昌和	655
	他(地文)経B営B34選				
文化地理学	他(地文)禅仏国英歴日外考社 福心経A商営AGM34選	通年	4	小田匡保	656
	他(地文)経B営B34選				
現代地理学特論				休講	
日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	他(日)禅仏国英地文環境社福 心経A商営AGM34選	通年	4	熊本史雄	657
	他(日)経B営B34選				
考古学特講Ⅲ				休講	
西洋文化史	他(外)禅仏国英地文環境社福 心経A商営AGM34選	通年	4	石田恵子	657
	他(外)経B営B34選				
哲学史	他(日)国英地文環境社福心経 A商営AGM34選	通年	4	山口祐弘	658
	他(日)経B営B34選				
産業・職業社会学				休講	
マス・コミュニケーション論	他(社)禅仏国英地文環境歴日 外考経A商営A34選	通年	4	川本勝	659
社会福祉発達史	他(福)禅仏国英地文環境歴日 外考心経A商法A政営AGM3 4選	通年	4	堀千鶴子	660
	他(福)経B法B営B34選				
国際政治学	他(政)禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 34選	通年	4	小堀訓男	660
	他(政)経B法B営B34選				

他学部
履修科目

ヨーロッパ政治史	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 3 4 選 他(政) 経B法B営B 3 4 選	通年	4	浦田早苗	661
地方自治法	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商営A 3 4 選 他(政) 経B営B 3 4 選	通年	4	富井幸雄	662
比較政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 3 4 選 他(政) 経B法B営B 3 4 選	通年	4	三竹直哉	663
現代国家論	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM 3 4 選 他(政) 経B法B営B 3 4 選	通年	4	大塚桂	664
国際経営論				休講	
経営分析論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政GM 3 4 選 他(営A) 経B法B 3 4 選	通年	4	片桐伸夫	665
経営情報論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政 3 4 選 他(営A) 経B法B 3 4 選	通年	2	岩渕匠	666
情報理論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政 3 4 選 他(営A) 経B法B 3 4 選	通年	4	西村和夫	667
経営統計	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政 3 4 選 他(営A) 経B法B 3 4 選	通年	4	長国強	668
医療経済学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A 3 4 選 他(放) 経B営B 3 4 選	半期	2	永山くに子	669
情報メディア産業論 I	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商政営A 3 4 選	半期	2	福家秀紀	670
メディア・コミュニケーション 概論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商営A 3 4 選 他(GM) 経B営B 3 4 選	半期	2	西岡洋子	671
比較メディア制度論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商政営A 3 4 選	半期	2	西岡洋子	672
ネットワークコミュニケーション 論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商営A 3 4 選 他(GM) 経B営B 3 4 選	半期	2	菅谷実	673

都市とメディア	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A 3 4 選	半期	2	高 媛	674
	他(GM) 経B営B 3 4 選				
グローバルアート政策論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A 3 4 選	半期	2	川崎賢一	675
	他(GM) 経B営B 3 4 選				
グローバル創造都市論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政 3 4 選	半期	2	川崎賢一	675
情報保護と社会	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A 3 4 選	半期	2	苗村憲司	676
	他(GM) 経B営B 3 4 選				
異文化コミュニケーション				休講	
女性史				休講	
文化概論				休講	
メディアと表現				休講	
時事英語				休講	

他学部
履修科目

科目名	西洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選 他(国) 経B営B34選				
担当者名	柴野 ^{しばの} 博子 ^{ひろこ}				

講義のねらい

カント以後のドイツを中心とする西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話する予定です(6・7月)。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デールタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経A 商営AGM34選 他(国) 経B 営B34選				
担当者名	たにくち みつぎ 谷口 貢				

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	時事英語	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(英) 経B営B34選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア (advertising、TVニュース、雑誌、タブロイドなど) で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	人口地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選 他(地文) 経B営B34選				
担当者名	やまうち まさかず 山内 昌和				

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕 人口学的方程式、人口構造の把握 (性比、年齢構造)
〔少子化問題と出生の分析〕 出生の指標 (合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因
〔人口高齢化と死亡の分析〕 死亡の指標 (生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因
〔人口移動の概念とデータ〕 人口移動の概念、人口移動データとその特徴
〔世帯の分析〕 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
〔日本国内の人口移動〕 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
〔日本人の居住地移動〕 地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
〔将来人口の推計〕 将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

科目名	文化地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選 他(地文) 経B営B34選				
担当者名	小田 匡保				

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地
8. 村落の宗教組織

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験(前期・後期の2回、持込不可)によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

履他
修学
科目部

科目名	日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	開講	通年	単位	4
配当	他(日) 禅仏国英地文環境社福心経 A 商営AGM34選 他(日) 経 B 営B34選				
担当者名	熊本 史雄				

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、その準備過程と条約締結交渉を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期 2 回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他学部
履修科目

科目名	西洋文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(外) 禅仏国英地文環境社福心経 A 商営AGM34選 他(外) 経 B 営B34選				
担当者名	石田 恵子				

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシャ・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	哲学史	開講	通年	単位	4
担当	他(日)国英地文環境社福心経A商営AGM34選 他(日)経B営B34選				
担当者名	山口 祐弘				

講義のねらい

ヨーロッパにおける哲学の起源を探索し、その問題圏を明らかにして哲学とは何かを考え、また現代において思索する方法を学ぶ。

講義の内容・ 履修スケジュール

前期

①哲学と哲学史 ②ギリシア哲学の起源 ③イオニアの哲学(タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネス) ④ピュタゴラスとピュタゴラス派 ⑤エレア派(クセノファネス、パルメニデス、メリッソス、ゼノン) ⑥ヘライクレイトス
⑦エムペドクレス ⑧原子論(レウキッポス、デモクリトス) ⑨アナクサゴラス
⑩アテネの哲学とポリス ⑪ソフィスト(プロタゴラス、ゴルギアス) ⑫ソクラテス
⑬メガラ派(エウクレイデス、エウブリデス、スティルポン) ⑭キュレネ派(アリストティッポス、テオドロス、ヘゲシアス、アニケリス) ⑮小論文作成

後期

①ペロポネソス戦争とポリスの変貌 ②プラトン ③アリストテレス ④ヘレニズム・ローマ哲学
⑤ストア哲学 ⑥エピクロス哲学 ⑦新アカデメイア派(アルケシラオス、カルネアデス)
⑧懐疑主義 ⑨キリスト教 ⑩新プラトン主義(アンモニオス・サッカス、プロティノス)
⑪ピロン
⑫カバラ派とグノーシス主義 ⑬古代哲学の問題圏 ⑭哲学の歴史性と普遍性 ⑮小論文の作成

履修上の留意点

単なる知識の習得ではなく、哲学史を素材として自ら考える態度を養うことに努めてもらいたい。

成績評価の方法

平常の学習態度および小論文の評価による。

教科書

「原典に見る哲学の歴史」 公論社

参考書等

ヘーゲル「哲学史」岩波書店

科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	他(社)禅仏国英地文環境歴日外考経A商営A34選				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のもの
の考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう?」といった問いに対
して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュ
ニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、
マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュ
ニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動に
よる他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多種多様化したメデ
ィアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。
後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響に
ついての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのよ
うなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修し
ているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会福祉発達史	開講	通年	単位	4
配当	他(福) 禅仏国英地文環境歴日外考心経A商法A政営AGM34選 他(福) 経B法B営B34選				
担当者名	堀 千鶴子				

講義のねらい

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1	社会福祉の歴史と人物史	1	13	人物史	4
2	”	2	14	”	4
3	慈善・救済の時代		15	”	4
4	人物史	1	16	社会事業・社会福祉の時代	
5	”	1	17	人物史	5
6	”	1	18	”	5
7	”	2	19	”	5
8	”	2	20	”	6
9	”	2	21	”	6
10	”	3	22	”	6
11	”	3	23	社会事業に生きた女性	
12	”	3	24	地域の歴史	

履修上の留意点

出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法

出席(40%)、レポート(60%)

教科書

室田保夫『人物で読む近代社会福祉のあゆみ』(ミネルヴァ書房) 2800円 ISBN4-623-04519-6

科目名	国際政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選				
担当者名	小堀 訓男				

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	ヨーロッパ政治史	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選 他(政) 経B 法B 営B34選				
担当者名	浦田 早苗				

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商営A34選 他(政) 経B 営B34選				
担当者名	とみい ゆきお 富井 幸雄				

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	比較政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選 他(政) 経B 法B 営B34選				
担当者名	みたけ なおや 三竹 直哉				

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見いただけますので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)
他にも指定する可能性はあります。
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

その他

この文章は2006年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	現代国家論	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A営AGM34選 他(政) 経B法B営B34選				
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂				

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといいきれぬでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。
※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	経営分析論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政GM34選 他(営A) 経B 法B34選				
担当者名	かたぎり のぶお 片桐 伸夫				

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか(社会性分析)、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析(統)」

☆提出日(授業はじめに配布するシラバスに明記)以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	経営情報論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営A) 経B法B34選				
担当者名	いわぶち たくみ 岩淵 匠				

講義のねらい

企業活動を支える経営資源には様々なものがある。この資源をいかに整理して重要なものを取り出すかが企業発展のための鍵となる。

本講義では、最近の情報技術で活用されている資源整理のための手法を解説する

講義の内容・授業スケジュール

- 1.経営情報学と情報科学の基礎(前期)
 - 1)経営科学における情報(4月～5月)
経営科学における情報についての考え方と、企業における情報の利用方法を整理する
 - 2)情報科学における情報(5月～6月)
一般的な情報に関する考え方、コンピュータでの基礎的な情報処理を学習する
 - 3)情報技術(IT)と情報システム(IS)(6月～7月)
金融情報システムやコンビニなどで利用されているPOSシステムなどの最近の情報技術やシステムについて整理する。また、今後ITとISの展望を考察する。
- 2.経営情報学と情報科学の応用(後期)
 - 1)情報システムの種類(9月～10月)
基礎的な数理モデルを使って多々あるシステムを整理し、その特性を学習する。
 - 2)データの加工(11月～12月)
RDBSを利用したデータの整理方法(SQL文の作成)を学習する。
 - 3)シミュレーション(12月～1月)
実際の経営資源データをコンピュータを利用して整理する技術を学習する

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。

成績評価の方法

前期・後期に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も反映する

教科書

未定

科目名	情報理論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営A) 経B法B34選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。
この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。
また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。
その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。
途中で、古代から現代にわたる暗号の話します。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	経営統計	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営A) 経B法B34選				
担当者名	なが <small>こきょう</small> 長 国強				

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値：平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測
 経営指数：物価指数、数量指数
 統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	医療経済学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(放) 経B営B34選				
担当者名	ながやま くにこ 永山 くに子				

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
(イ) レポート
(ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鍋田忠彦『日本の医療経済』(東洋経済新報社) 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』(医学書院) 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』(中公新書) 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

他
学
部
履
修
科
目

科目名	情報メディア産業論Ⅰ	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(GM) 経B営B34選				
担当者名	福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small>				

他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

インターネットの普及により急速な変化をみせる日本のメディア産業の現状と課題を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・講義の内容
情報メディア産業全体を俯瞰した後に、情報通信ネットワークの機能と役割を分析する。しかる後に、電話や放送など旧来型のネットワークと対比させることによって、インターネットの基本的な構造と特徴、ならびにその構造と特徴が社会経済に与える影響と問題点などについて考察する。
- ・授業スケジュール
①情報メディア産業とは、②情報メディア産業を理解するためのキーワード(1)：ネットワーク、③情報メディア産業を理解するためのキーワード(2)：デジタル化とモジュール化、④電話網と放送網、⑤携帯電話網、⑥インターネットの基礎(1)、⑦インターネットの基礎(2)、⑧情報通信産業、⑨放送産業、⑩ケーブルテレビ産業、⑪新聞産業、⑫コンテンツ産業、⑬まとめ

履修上の留意点

授業中の指示事項が成績評価に反映されるので、授業への出席が単位認定の前提となる。

成績評価の方法

授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・その他講義の中で適宜紹介する。

その他

レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用する。

科目名	メディア・コミュニケーション概論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他 (GM) 経B営B34選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション
4. マス・コミュニケーション
マス・コミュニケーションとメディア
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、レポート、平常点などで総合的に評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	比較メディア制度論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営A34選 他 (GM) 経 B 営B34選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

講義のねらい

本講義では、米国を中心に、EU主要国、アジア主要国の放送制度について解説する。また、適宜、日本の場合と比較を行うことで、その特徴および制度形成の背景を理解するとともに、日本の制度への適用の可能性を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

各国の規制機関、放送制度、放送産業の概要と動向

履修上の留意点

メディア政策論または、同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

他学
部
履修
科目

科目名	ネットワークコミュニケーション論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他 (GM) 経B営B34選				
担当者名	菅谷 実				

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--|---|
| <p>第1部 ネットワークとコミュニケーション</p> <p>1. ネットワークと経営
企業経営とは
企業活動にとっての情報基盤の重要性
クローズネットワークとオープンネットワーク</p> <p>2. 企業組織とネットワーク
企業組織
組織コミュニケーション</p> <p>3. ネットワーク産業の特質
ネットワーク産業の構造
ネットワーク産業の変容</p> <p>第2部 情報ネットワーク発展の歴史</p> <p>4. 郵便制度
物流と情報流を支える流通ネットワーク
郵便サービス
郵便局
民営化
情報ネットワークとしての郵便ネットワーク</p> | <p>5. 交通ネットワーク
貨物輸送
国内旅客輸送
国際輸送</p> <p>6. 放送ネットワーク
放送ネットワーク種別
放送規制
テレビ放送ネットワークの発展</p> <p>7. 通信ネットワーク
通信事業者の種別
通信ネットワークの構造
制度の変容</p> <p>8. インターネット
発展の歴史
ブロードバンドネットワーク
ネットワーク機能</p> <p>第3部 ネットワークの融合</p> <p>9. ネットワークの融合</p> <p>10. ネットワークの高度化と経営環境の変化</p> |
|--|---|

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

講義には毎回出席してください

成績評価の方法

平常点と期末テスト

教科書

特に指定しません

参考書等

公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。
その他 初回講義時に紹介します。

科目名	都市とメディア	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(GM) 経B営B34選				
担当者名	高 <small>こう</small> 媛 <small>えん</small>				

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、文学、流行歌、広告、映画、ドラマなどに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

メディア都市の誕生、メディアが変える都市の風景、メディアのなかの都市像、都市空間のなかのメディア、都市というメディアなどの諸テーマに沿って、ビデオ鑑賞や視聴覚教材を交えながら講義する。

履修上の留意点

講義中に取り上げたトピックについて、討論を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

- ・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』(弘文堂、1987年)、2,300円、ISBN: 4335550294
- ・前田愛『都市空間のなかの文学』(ちくま学芸文庫、筑摩書房、1992年)、1,600円、ISBN: 4480080147
- ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』(有斐閣、2000年)、2,300円、ISBN: 4641121036

その他

講義形式

科目名	グローバルアート政策論	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(GM) 経B営B34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策(cultural policies)特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

履修上の留意点

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島(共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

他
学
部
目
録

科目名	グローバル創造都市論	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市(Creative Cities)ないし創造産業(Creative Industries)である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例(ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など)を例にとりて、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

履修上の留意点

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

科目名	情報保護と社会	開講	半期	単位	2
配当	他(GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(GM) 経B営B34選				
担当者名	苗村 憲司				

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 【第1週】 情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- 【第2週～第6週】 知的財産権の保護に関する政策と技術
- 【第7週～第11週】 情報セキュリティに関する政策と技術
- 【第12週～最終週】 グローバル環境における情報保護の課題

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績
 2. 期末試験の成績

教科書

特に定めない。

参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/>上に掲載する。

IV 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	681
日本語入門Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	681
日本語入門Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	682
日本語入門Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石真理子	682
日本語Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	683
日本語Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	683
日本語Ⅰ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	683
日本語Ⅰ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	684
日本語Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	684
日本語Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野典子	684
日本語Ⅱ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	685
日本語Ⅱ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	685
日本語Ⅲ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	686
日本語Ⅲ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	686
日本語Ⅲ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	687
日本語Ⅲ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	687
日本語Ⅳ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	688
日本語Ⅳ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	688
日本語Ⅳ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	689
日本語Ⅳ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村礼子	689

日本語Ⅴ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	690
日本語Ⅴ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	690
日本語Ⅴ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	691
日本語Ⅴ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	691
日本語Ⅵ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	692
日本語Ⅵ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川守	692
日本語Ⅵ a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	693
日本語Ⅵ b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅哲子	693

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	高橋健太郎	694
日本事情Ⅱ〔自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	清水善和	695
日本事情Ⅲ〔歴史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	井上桂子	696
日本事情Ⅳ〔思想〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	菅原光	697
日本事情Ⅴ〔社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	山田信行	698
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	三竹直哉	699
日本事情Ⅶ〔文学〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	坂口博規	700
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	佐藤美奈子	701
日本事情Ⅷ〔経済〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	小杉修二	702
日本事情Ⅸ〔経営〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	鈴木幸毅	703

科目名	日本語入門Ⅰa	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門Ⅰb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	大石 ^{おおいし} 真理子 ^{まりこ}				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

日本語
事情

科目名	日本語入門II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	大石 ^{おおいし} 真理子 ^{まりこ}				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%
筆記テスト・・・30%
プレゼンテーション・・・60%
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語Ⅰa	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>				

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語Ⅰb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>				

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語Ⅰa	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語V・VIの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の基礎を日本語V→VIに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語IVは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語V→日本語VI→日本語IVの順でやっていますので、できれば、日本語Vを取り、次に日本語VIそして最後に日本語IVをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語IVaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語IVaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語IVaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Va	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語Vb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語 Va に続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語 Va と同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語V a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書

プリント配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語V b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

日本語
事情

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

科目名	日本事情I〔地理〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>たかはし けんたろう</small> 高橋 健太郎				

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	日本事情II〔自然〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	清水 善和				

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書(English version)」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する（漢字にはできるだけ読みがなをつける）。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書(English version)」を用意する。

科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いのうえ けいこ 井上 桂子				

講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	菅原 ^{すがわら} 光 ^{ひかる}				

講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特徴を押さえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本事情V〔社会〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動（4回）
2. 現代日本の基本的趨勢（4回）
 - （1）情報化
 - （2）少子・高齢化
 - （3）グローバル化
3. 現代日本の社会問題（4回）
 - （1）若年者問題－フリーター、ニート
 - （2）学力低下問題
 - （3）格差問題

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示する。

その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情VI〔政治・法律〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	三竹 <small>みたけ</small> 直哉 <small>なみや</small>				

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	日本事情Ⅶ〔文学〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識(1)
- 6、古代後期の文学とその美意識(2)
- 7、中世の文学とその美意識(1)
- 8、中世の文学とその美意識(2)
- 9、近世の文学とその美意識(1)
- 10、近世の文学とその美意識(2)
- 11、近代の文学とその美意識(1)
- 12、近代の文学とその美意識(2)
- 13、日本文学の特質

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を概括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価(90%)を中心に、受講姿勢(出席状況・関心の度合等々、10%)を加えて評価する。

教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

参考書等

授業内で紹介する。

科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐藤 美奈子				

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響を持った政教社の国粹主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粹主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粹主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粹主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼応するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えていくこととします。

履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することとします。

成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業時に適宜、紹介します。

その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

科目名	日本事情IX〔経済〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}				

講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？はっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的变化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借りれば、4年であくらくになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいかわかります。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとんでもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようなものか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

成績評価の方法

出席点と試験による。

教科書

特にありません。

参考書等

特にありません。

その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

科目名	日本事情X〔経営〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	鈴木 <small>すずき こうき</small> 幸毅				

講義のねらい

日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。

履修上の留意点

教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。
講義に際しては、プリントを多く使います。

成績評価の方法

出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。

そ の 他

質問（授業中の）を歓迎します。

経済学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経B1必	通年	4	池田道浩	713
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年				
仏教と人間	経B1必	通年	4	熊本英人	713
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年				
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年	通年	4	松本史朗	714
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年	通年	4	村松哲文	714
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年	通年	4	四津谷孝道	715
仏教と人間〔再クラス〕	経B法B営B234年	通年	4	岩永正晴	716

科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B1必 経B法B営B234年				
担当者名	いけだ みちひろ 池田 道浩				

講義のねらい 人間と動物の違いの一つに宗教的思考の有無がある。動物は本能的に死を恐れるが、「死後」を恐れることはなく、世界を超越した神を求めることもない。宗教は日常から離れた特別な場所にあるのではなく、人間の日々の生活に密接に関わっている。
本講義は仏教の歴史を概説するものであるが、それを通じて、宗教に関する視点を身に付けていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 仏教の誕生とその歴史を説明していくが、随時、今日の社会や文化における宗教に関わる事例を取り上げ、問題点を説明する。

履修上の留意点 特定の教科書を使用しないため、欠席が重なると授業の流れが理解できないことになる。また、欠席の多い者には評価を与えない。

成績評価の方法 出席と定期試験によって評価を行う。

教科書 特に使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等 講義中に随時紹介する。

科目名	仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B1必 経B法B営B234年				
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人				

講義のねらい 仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。
日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

履修上の留意点 受講態度を重視する。坐禅などの実践体験も行う。

成績評価の方法 年度末の筆記試験の成績に、出席状況、受講態度、通常の小テストを加味して評価する。

教科書 適宜プリントで配布する。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	まつもと しろう 松本 史朗				

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	むらまつ てつあき 村松 哲文				

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	四津谷 ^{よつや} 孝道 ^{こうどう}				

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教
 仏教と科学
 仏教と他の宗教
 喩えて語る仏教（1）
 喩えて語る仏教（2）
 縁起・苦・無我
 慈悲
 輪廻と解脱（業について）
 輪廻と解脱（差別思想について）
 仏教以前のインドの宗教（歴史）
 仏教以前のインドの宗教（思想）
 仏陀の伝記（誕生から出家まで）
 仏陀の伝記（悟りと伝道）
 仏陀の伝記（涅槃）
 部派仏教の歴史と思想
 インド仏教（大乘仏教の歴史）
 インド仏教（大乘仏教の思想）
 チベット仏教（転生ラマについて）
 チベット仏教（密教）
 中国仏教（浄土思想）
 中国仏教（禅仏教）
 日本仏教（歴史）
 日本仏教（思想）（1）
 日本仏教（思想）（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B234年				
担当者名	いわなが しょうせい 岩永 正晴				

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。しかし、永い歴史を有する仏教が生み出した儀礼や慣例、多くの用語や多量の文献など、諸君を仏教から遠ざける要因は少なくないでしょう。本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきたいと思ひます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料を提供したいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を読み進め、解説を行います。また必要に応じてプリントを配布して補足します。

履修上の留意点

成績評価に際しては、出席点やレポートなどの補助的な評価材料を用いないので、授業には積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)

参考書等

中村元『ブツダ入門』(春秋社)、平川彰『仏教入門』(春秋社)、梶山雄一『空入門』(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』(曹洞宗宗務庁)、末木文美土『日本仏教史—思想史としてのアプローチ』(新潮文庫)、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』(日本放送出版協会・生活人新書041)等。その他は講義の中で適宜紹介する。

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

- ・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。(P.31)
- ・配当学科
 経済学科(19年度入学生)…経 経済学科フレックスA…経A
 商学科…商 現代応用経済学科…現
 経済学科フレックスB…経B

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学【〔比較宗教文化〕】	経B法B営B選	通年	4	田中かの子	723
	経A法A営A放選				
	商選(18年度以前入学生)				
文学【1〔日本文学「古典」〕】	経B法B営B選	通年	4	田中伸作	723
	経A法A営A放選				
	商選(18年度以前入学生)				
文学【2〔日本文学「近代」〕】	経B法B営B選	通年	4	中西亮太	724
	経A法A営A放選				
	商選(18年度以前入学生)				
文学【3〔日本文学「古典」〕】	経B法B営B選	通年	4	伴野英	724
	経A法A営A放選				
	商選(18年度以前入学生)				
歴史学【1〔日本近代史〕】	経B法B営B選	通年	4	林彰	725
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
歴史学【2〔中国史概観〕】	経B法B営B選	通年	4	小林惣八	725
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
歴史学【3〔アジア史概観〕】	経B法B営B選	通年	4	飯山知保	726
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
哲学【〔西洋思想の源流〕】	経B法B営B選	通年	4	滝沢正之	726
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
哲学【〔近代の人間観と世界観〕】	経B法B営B選	通年	4	伊古田理	727
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
哲学【〔現代文明と人間〕】	経B法B営B選	通年	4	鈴木聡	727
	経A法A営A選				
	商選(18年度以前入学生)				
論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】	経B法B営B選	通年	4	伊古田理	728
	経A法A営A放選				
	商選(18年度以前入学生)				

論理学 【〔科学方法論と現代論理学〕】	経B法B営B選	通年	4	麻生享志	729
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
倫理学【〔現代と倫理〕】	経B法B営B選	通年	4	古田知章	730
倫理学【〔人生と倫理〕】	経B法B営B選	通年	4	末木恭彦	731
教育の思想	経B法B営B234選	半期	2	山本敏子	731
	経A法A234選				
	商政営A234選 （18年度以前入学生）				
教育と社会	経B法B営B234選	半期	2	山本敏子	732
	経A法A234選				
	商政営A234選 （18年度以前入学生）				
発達と学習の心理学	経B法B営B234選	半期	2	三國隆子	732
	経A法A234選				
	商政営A234選 （18年度以前入学生）				
カリキュラムと学習	経B法B営B234選	半期	2	三國隆子	733
	経A商法A政営A234選				
	（18年度以前入学生）				

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学・憲法【〔法と権利〕】	経B営B選	通年	4	鶏徳啓登	733
	経A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
法学・憲法【〔法と社会生活〕】	経B法B営B選	通年	4	長谷川日出世	734
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
社会科学論 【〔社会認識の思想〕】	経B法B営B選	通年	4	枝松正行	735
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
経済学【〔現代経済と人間〕】	経B法B選	通年	4	沼田郷	736
	経A法A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
社会学【〔現代社会を考える〕】	経B法B営B選	通年	4	呉炳三	737
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
社会学【〔現代文化を考える〕】	経B法B営B選	通年	4	橋爪敏	738
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
統計学 【〔社会現象の統計的決定〕】	経B法B営B選	通年	4	新行内康慈	739
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
文化人類学【〔文化と人間〕】	経B法B営B選	通年	4	川上新二	740
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				

文化人類学 【〔諸民族とコスモロジー〕】	経B法B営B選	通年	4	杉井純一	741
	経A法A営A放選				
	商選（18年度以前入学生）				
政治学 【〔政治システムと政治参加〕】	経B法B営B選	通年	4	真下英二	742
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
政治学【〔国際社会と日本〕】	経B法B営B選	通年	4	山村恒雄	743
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学 【〔ヒューマン・ウォッチング〕】	経B法B営B選	通年	4	鈴木順一	744
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
心理学 【2〔人間関係を考える〕】	経B法B営B選	通年	4	鈴木順一	745
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
生物学【〔生態と進化〕】	経B法B営B選	通年	4	清水善和	746
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
生物学【〔生物と環境〕】	経B法B営B選	通年	4	中村敏枝	747
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】	経B法B選	半期	2	澤口隆	748
コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】	経B法B選	半期	2	谷本玲大	749
コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】	経B法B選	半期	2	澤口隆	750
コンピュータ基礎 【〔コンピュータと情報〕】	経B法B選	半期	2	谷本玲大	751
地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	経B法B営B選	通年	4	加藤潔	752
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
地球科学 【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	経B法B営B選	通年	4	加藤潔	753
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
自然環境論 【〔宇宙から見た地球環境〕】	経B法B営B選	通年	4	篠原正雄	754
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
自然環境論【〔生命と環境〕】	経B法B営B選	通年	4	山縣毅	755
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				
情報数学【〔情報と論理〕】	経B法B営B選	通年	4	小沢誠	756
	経A法A営A選				
	商選（18年度以前入学生）				

科目名	宗教学【〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	田中 ^{たなか} ^{かのこ} かのこ				

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する課題レポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

教養教育

科目名	文学【1〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	田中 ^{たなか} ^{しんさく} 伸作				

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	文学【2〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	中西 亮太 <small>なかにし りょうた</small>				

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」(斎藤史『魚歌』)

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』(講談社学術文庫)
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』(桜楓社)
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名	文学【3〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	伴野 英一 <small>ばんの ひでかず</small>				

講義の内容・授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の遊里風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は単位不認定となる。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、出席状況、受講態度を総合的に評価する。臨時にレポートを課す場合がある。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義中に指示する。

科目名	歴史学【1〔日本近代史〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	ほやし あきら 林 彰				

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』大月書店、2002年、1800円

参考書等

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』粹出版、1984年、2000円
早川紀代編『軍国の女たち』吉川弘文館、2005年、2600円
安在邦夫ほか編『自由民権の再発見』日本経済評論社、2006年、3500円

科目名	歴史学【2〔中国史概観〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	こばやし そうはち 小林 惣八				

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	歴史学【3〔アジア史概観〕】	開講	通年	単位	4
担当	短仏選 経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生) GM選				
担当者名	飯山 知保				

講義のねらい

歴史上アジアに興亡した諸民族の事跡を理解することは、単に歴史を学習するためのみならず、現在のアジアにおける国家・民族の情勢を把握するためにも重要である。本講義では、そうした諸民族の興亡の通時的考察を通じ、主に現代中国の民族情勢とその淵源を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

現在アジアの民族分布を解説した後、時代を遡り、主に中国を対象として、紀元前から諸民族集団の興亡を通観する。

成績評価の方法

前・後期の教場試験と平常点による総合評価。詳細はおって指示する。

教科書

特になし。

参考書等

講義上で紹介する。

その他

出席による平常点を重視する。

科目名	哲学【〔西洋思想の源流〕】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	滝沢 正之				

講義のねらい

西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないの、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目指す。それと同時に、はるか昔の頭のよい？人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点

教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	哲学【〔近代の人間観と世界観〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	いこた まさる 伊古田 理				

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「機械」について検討する。現代の科学技術文明は、さまざまな機械を製作し、またその前提として自然（および人間）を機械との類比でとらえようとする傾向を明らかに含んでいる。この発想の特性と問題点を探ることが、本年度の課題である。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	哲学【〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき さとる 鈴木 聡				

講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下のトピックのうちのいくつかを取り上げる予定である。

1. 宇宙のはじまり
2. 懐疑論
3. 意識という謎
4. 推論の落とし穴
5. 他人の心
6. 考える機械
7. 意味とは何か？
8. 道徳を教えるのは神か？
9. 悪について
10. 芸術について
11. 知識について
12. 帰納法の正当化
13. タイム・トラベルは可能か？
14. 人は人を罰しうるか？
15. 人格の同一性
16. 様々なパラドクス

履修上の留意点

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

科目名	論理学【(科学方法論と現代論理学)】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>				

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで(時間の許すかぎり)こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系I～命題論理 (3) 公理系II～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験(夏期中間試験+年度末定期試験)を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』(東京大学出版会)

科目名	論理学【(科学方法論と現代論理学)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	麻生 <small>あさお</small> 享志 <small>たかし</small>				

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料(60%)にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習(ないし論述筆記)。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【〔現代と倫理〕】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選				
担当者名	ふるた ともあき 古田 知章				

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しき」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 ー倫理的であることー
 2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
 3. 中世における宗教的倫理観
 4. ルネサンスと宗教改革 ー個としての人間ー
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
近・現代における倫理思想 ー主体性と自由の問題ー
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	倫理学【(人生と倫理)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選				
担当者名	末木 <small>すえき やすひこ</small> 恭彦				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ている。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のレポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山本 <small>やまもと としこ</small> 敏子				

講義のねらい

今日の学校教育が抱える様々な問題を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。

- ・日本の基層文化に流れる教育の思想
- ・近世の表層文化に現れた教育の思想
- ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する予定です。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山本 敏子				

講義のねらい

近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。

- ・「家」が未成立の社会と教育システム
- ・「家」社会の形成と教育システム
- ・「家」の解体と近代学校システムの稼働

成績評価の方法

出席状況、学期末レポートなどの総合評価。

教科書

特に使用せず、必要に応じて資料を配布します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	経B法B営B234選 経A法A234選 商政営A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	三國 隆子				

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	経B法B営B234選(12年度以降入学生) 経A商法A政営A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	三國 隆子				

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（１）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（２）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	法学・憲法【法と権利】	開講	通年	単位	4
配当	経B営B選 経A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	鶏徳 啓登				

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義
 - (2) 法発生の背景
 - (3) 法とその近辺の社会規範
 - (4) 法の種別と解釈
 - (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	法学・憲法【〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	長谷川 <small>はせがわ ひてよ</small> 日出世				

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	社会科学論【(社会認識の思想)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	<small>えだまつ まさゆき</small> 枝松 正行				

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。すなわち、社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手として、つねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように、人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、不連続な飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。その意味で、社会科学論は、政治学や経済学、法律学、社会学、宗教学、倫理学など個別社会科学全体を貫く普遍的で総体的な発展法則の解明を課題とするメタ社会科学であるといつてよい。

グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期にあるが、歴史科学であると同時に未来科学でも社会科学論こそは、現代社会の変化・生成・発展法則の解明とリスクの回避に究極的な使命を担っている。それゆえ、現代人の歴史的課題とその根本的な解決としての未来社会論を必然的に内包する普遍的な発展法則の理解こそが講義の最終目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、アリストテレスの形而上学、ヘーゲル論理学、マルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などの方法に学びつつ、社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブで持続可能なアソシエーション社会への移行を展望する。

このような社会科学的視座の習得を基礎として、さらに、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材を取り入れておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書、渡辺憲正『イデオロギー論の再構築』青木書店、など。

その他

毎回、授業の冒頭で前回授業のカードによる学生諸君の質問・意見・要望に応え、授業に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	経済学【〔現代経済と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B選 経A法A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	ぬまた さとし 沼田 郷				

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODAとは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます(年間で1、2回)。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

科目名	社会学【〔現代社会を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	お びよんさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

I 行為論：(2)社会学における行為、(3)行為者としての個人、(4)社会化と人間形成、(5)日本の行為論

II 集団論：(6)集団の概念、(7)官僚制理論、(8)小集団論、(9)集団の類型、(10)日本的集団論

(後期)現代社会の特徴的な諸相：

(11)家族、(12)恋愛、(13)結婚、(14)若者・IT文化、(15)少年犯罪、(16)自殺、

(17)ジェンダー、(18)少子・高齢、(19)アダルトチルドレン、摂食障害、

(20)就職、転職、リストラ、(21)フリーター、ニート、引きこもり、(22)性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参すること、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【(現代文化を考える)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	橋爪 敏 <small>はしづめ さとし</small>				

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスバット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	統計学【(社会現象の統計的決定)】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	新行内 康慈 <small>しんきやうち こうじ</small>				

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ
(後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定
(17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定
(20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	文化人類学【〔文化と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二				

講義のねらい

文化人類学は、世界各地のさまざまな人々の文化を理解し、さらにそれを通じて究極的には人間の理解を目指そうとする学問です。そして、私たちとは異なる人々の文化を理解するためには、客観的な見方を養う必要があります。見方を誤ると理解ではなく、誤解になってしまう危険性があります。この講義では、異文化を理解するための見方を養うことを目的とします。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、文化人類学の特徴、文化とは何か、文化人類学の歴史と代表的な学説を紹介します。後期では、具体的な文化事象をとりあげて（日本、韓国、中国など東アジアの文化を中心に考えています）、文化人類学による見方を紹介します。

成績評価の方法

レポートと学期末の試験で評価します。随意のレポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

教科書

使用しません。

参考書等

伊藤亜人監訳『韓国文化シンボル事典』平凡社、2006年など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

科目名	文化人類学【(諸民族とコスモロジー)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A放選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	すぎい じゆんいち 杉井 純一				

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み(1)
 3. 文化人類学の歩み(2)
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
 6. 環境と人間(2) 牧畜民
 7. 環境と人間(3) 農耕民
 8. ジェンダー
 9. セクシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

科目名	政治学【〔政治システムと政治参加〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	眞下 英二 <small>ました えいじ</small>				

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

科目名	政治学【(国際社会と日本)】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	山村 ^{やまむら} 恒雄 ^{つねお}				

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	心理学【〔ヒューマン・ウォッチング〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき じゆんいち 鈴木 順一				

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強する)ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き(精神分析的人格理論) [9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

科目名	心理学【2〔人間関係を考える〕】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき じゅんいち 鈴木 順一				

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自他肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxationによる心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

その他

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

科目名	生物学【(生態と進化)】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	しみず よしかず 清水 善和				

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由

教科書

参考書等

その他

にダウンロードして利用できる。

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

講義で必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

科目名	生物学【〔生物と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	中村 ^{なかむら} 敏枝 ^{としえ}				

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
 - (1-5) 地球の歴史と生命の起源
 - (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 - (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - (22-23) 水銀汚染と水俣病
 - (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】	開講	半期	単位	2
配当	経B法B選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【〔コンピュータと情報〕】	開講	半期	単位	2
配当	経B法B選				
担当者名	たにもと さちひろ 谷本 玲大				

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス／履修許可
 - 2 情報倫理概説／起動～ログオン～終了／検索エンジンとWWW体験
 - 3 画像処理／電子メールのマナーと実習／添付ファイル
 - 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習
 - 5～8 Word
 - 9～12 Excel
 - 13～15 予備
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～中級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点（40％）、課題・レポート（60％）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
（講談社現代新書1603） 2002/04、714円 ISBN：4-061496034

科目名	コンピュータ基礎【(コンピュータと情報)】	開講	半期	単位	2
配当	経B法B選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【〔コンピュータと情報〕】	開講	半期	単位	2
配当	経B法B選				
担当者名	谷本 玲大				

講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
前半ではExcelの使いこなしを目指し、後半ではPowerPoint発表会によって対人コミュニケーション能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス／履修許可
- 2～3 Excel 基礎
- 4～7 Excel 応用
- 8～12 PowerPoint
- 13～15 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

中級向け。パソコンでインターネット検索、文章入力ができる程度の技能が必要である。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点（40％）、課題・レポート（60％）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』
（講談社現代新書1603） 2002/04、714円 ISBN：4-061496034

科目名	地球科学【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	かとう きよし 加藤 潔				

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

科目名	地球科学【〔地球の素顔と地球環境問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	かとう きよし 加藤 潔				

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書

特に定めません。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

科目名	自然環境論【〔宇宙から見た地球環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>				

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球環境
自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

その他

「宇宙」に関する映像を使うことがあります。教科書外の事柄については適宜プリント等を配布します。

科目名	自然環境論【〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
- 1. 大気構造とオゾン層
- 2. 気候の決定要因
- 3. 生物生存条件としての地球磁場
- 〔人間活動による環境変化〕
- 1. 公害問題の変遷
- 2. 地球温暖化とその要因
- 3. 大気汚染
- 4. 酸性雨
- 5. 光化学スモッグ
- 6. 海洋汚染
- 7. 資源とエネルギー
- 〔自然災害〕：
- 1. 気候変動
- 2. 地震とその災害
- 3. 火山とその災害

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に紹介します。

その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	情報数学【〔情報と論理〕】	開講	通年	単位	4
担当	経B法B営B選 経A法A営A選 商選(18年度以前入学生)				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい ▶ コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に着けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール ▶ 教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合・・・記号論理、写像、関係
2. ブール代数・・・二進数、電子回路
3. ベクトル・・・ベクトルの演算、ベクトル空間
4. 行列と行列式・・・連立一次方程式、行列の演算、行列式

また、必要に応じてグラフ理論についても解説する。

履修上の留意点 ▶ 毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法 ▶ 前期と後期の期末試験の結果で評価する。

教科書 ▶ 野崎昭弘／田中公治 共著『情報数学入門』サイエンス社
1173円（税込）ISBN4-7819-0171-9

参考書等 ▶ 適宜紹介する。

その他 ▶ 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA〔再クラス〕	月7	経B法B営B234年	通年	2	高橋 寛	761
英語IB〔再クラス〕	月7	経B法B営B234年	通年	2	高橋 寛	
英語IA〔再クラス〕	水6	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	761
英語IB〔再クラス〕	水6	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	
英語IA〔再クラス〕	水7	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	762
英語IB〔再クラス〕	水7	経B法B営B234年	通年	2	熊沢 和明	
英語IA〔再クラス〕	木7	経B法B営B234年	通年	2	町田 成男	762
英語IB〔再クラス〕	木7	経B法B営B234年	通年	2	町田 成男	
英語IIA	火7	経B2年	通年	2	杉本 誠	763
英語IIA	火7	経B2年	通年	2	萩原 輝	763
英語IIB	金7	経B2年	通年	2	林 孝憲	764
英語IIB	金7	経B2年	通年	2	狩野 晃一	764
英語IIA〔再クラス〕	火6	経B法B営B34年	通年	2	尾形 重政	765
英語IIB〔再クラス〕	火6	経B法B営B34年	通年	2	尾形 重政	
英語IIA〔再クラス〕	木6	経B法B営B34年	通年	2	岸本 茂和	765
英語IIB〔再クラス〕	木6	経B法B営B34年	通年	2	岸本 茂和	
英語IIA〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	飯沼 好永	766
英語IIB〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	飯沼 好永	
英語IIA〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	本間 俊一	766
英語IIB〔再クラス〕	土5	経B法B営B34年	通年	2	本間 俊一	

〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	本橋 右京	767
ドイツ語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	本橋 右京	
ドイツ語IIA	火6	経B2年	通年	2	清水 修	767
ドイツ語IIB	金6	経B2年	通年	2	篠原 敏昭	768
ドイツ語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	本橋 右京	768
ドイツ語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	本橋 右京	

〔フランス語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	長谷川 光明	769
フランス語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	長谷川 光明	
フランス語IIA	火6	経B2年	通年	2	高橋 明美	769
フランス語IIB	金6	経B2年	通年	2	木下 雄介	770
フランス語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	長谷川 光明	770
フランス語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	長谷川 光明	

〔中国語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	大久保 明男	771
中国語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	大久保 明男	

中国語IA〔再クラス〕	土3	経B法B営B234年	通年	2	曹 泰和	771
中国語IB〔再クラス〕	土3	経B法B営B234年	通年	2	曹 泰和	
中国語IIA	火6	経B2年	通年	2	秋元 翼	772
中国語IIB	金6	経B2年	通年	2	王 聡	772
中国語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	弘兼 加奈子	772
中国語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	弘兼 加奈子	

〔スペイン語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	栗林 ゆき絵	773
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	栗林 ゆき絵	
スペイン語IIA	火6	経B2年	通年	2	荻野 雅司	773
スペイン語IIB	金6	経B2年	通年	2	中山 直次	774
スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	栗林 ゆき絵	775
スペイン語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	栗林 ゆき絵	

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	776
ロシア語IB〔再クラス〕	土4	経B法B営B234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IIA	火6	経B2年	通年	2	廣田 英靖	776
ロシア語IIB	金6	経B2年	通年	2	廣田 英靖	777
ロシア語IIA〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	777
ロシア語IIB〔再クラス〕	土3	経B法B営B34年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	

《選択科目》

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英会話I	金6	経B法B営B1234選	通年	2	ロビン、 G. F.	778
英会話II	金7	経B法B営B選	通年	2	ロビン、 G. F.	778
英語LLI	火7	経B法B営B1234選	通年	2	川崎 浩太郎	779
英語LLII	木6	経B法B営B選	通年	2	林 明人	779

英 語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英 語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	たかはし ひろし 高橋 寛				

講義のねらい

英会話でよく用いられる常套句を学ぶとともに、相手に正確に情報を伝えるための正しい文法知識と語彙力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に英会話、英作文の練習としていきます。また併せてリスニングの練習も行います。

履修上の留意点

テキストは必ず購入すること。また毎回英和/和英辞書を持参のこと。

成績評価の方法

1年に2回の定期試験の得点と出席率をもとに評価します。

教科書

『New Activator』(金星堂) ISBN 978-4-7647-3844-7

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『Why Is That?』(金星堂)

科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	熊沢 <small>くまざわ かずあき</small> 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『Why Is That?』（金星堂）

科目名	英語IA〔再クラス〕・英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	町田 <small>まちだ しげお</small> 成男				

講義のねらい

英文を通じて様々な教養を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。また、スピード・リーディングの基礎を身につける。

履修上の留意点

英和辞典は必ず持参の事。

成績評価の方法

出席＋発表＋前期後期の試験の総合評価

教科書

未定

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科目名	英語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	すぎもと まこと 杉本 誠				

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

『1 / 2 版：ニュースメディアの英語』 2007年度版 (朝日出版) 1,100円
ISBN978-4-255-15437-4 C1082

科目名	英語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	はぎわら てる 萩原 輝				

講義のねらい

英語で、自分の意見が自由に表現出来る能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、その日に読んだテキストの本文に対する意見を、英語で表現する。

履修上の留意点

大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業態度、出席、前期、後期の試験等の総合評価

教科書

Jim Knudsen 著 『Who Said That?』
ISBN4-523-17292-7 C0082

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	はやし たかひり 林 孝憲				

講義のねらい

速読の訓練を行うと同時に、正確に講文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

初めにパラグラフごとに要約し、その後、必要に応じて精読も行う。内容は次世代を担うビジネスや環境・健康問題など時事的なものを扱う。

履修上の留意点

単語の意味などの予習が必要となる。

成績評価の方法

平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。

教科書

『ダイナミックなビジネスと環境』(南雲堂) 1900円 ISBN978-4-523-17532-2

外国語

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	かのう こういち 狩野 晃一				

講義のねらい

IBを土台にして、より高度な文章に接する。

講義の内容・授業スケジュール

文法の基礎固めをした後、文章を詳しく読み込んでゆく。後期は実践的な文章読解に挑戦する予定。

履修上の留意点

必ず辞書を持参のこと。予習復習は当然行う。特に後者を重点的に行うこと。

成績評価の方法

3分の2以上の出席が求められる。その他授業態度で判断する。

教科書

未定

科目名	英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政				

講義のねらい

入学時の英語力を基に、英語による伝達能力の獲得を目指します。特に会話表現では、日常基本表現からダイアログまで幅広く学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞記事や英語検定問題等も適宜使用します。

履修上の留意点

予習して授業に臨むこと。辞書を持参すること。

成績評価の方法

授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。

教科書

Focus on Communication 1 朝日出版社 ISBN978-4-255-15442-8
Focus on Communication 2 朝日出版社 ISBN978-4-255-15443-5

科目名	英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	きしもと しげかず 岸本 茂和				

講義のねらい

基本英語の向上、とくに読解力を伸ばすことを意図する。やさしいパラグラフリーディングをとおして基礎学力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけだけの章をこなしてゆきたい。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席の場合は「不可」とする。

教科書

『イングリッシュ・ワールド』（朝日出版社）1,700円

科目名	英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B34年				
担当者名	飯沼 好永 <small>いひぬま よしなが</small>				

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指します。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項も確認していきます。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

「21世紀の企業—成功の舞台裏 Leading Companies in the 21st Century」(松柏社)
¥1,900 ISBN 4-88198-566-3

科目名	英語II A〔再クラス〕・英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B34年				
担当者名	本間 俊一 <small>ほんま としかず</small>				

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕・ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B営B234年				
担当者名	本橋 <small>もとほし</small> 右京 <small>うきよう</small>				

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書 春日・松澤 『レッカー！レッカー！レッカー！ おいしく学ぶドイツ語』（郁文堂）

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
担当	経B2年				
担当者名	清水 <small>しみず</small> 修 <small>おさむ</small>				

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点 ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法 主に平常点で評価します。

教科書 プリントを用意します。

参考書等 授業中に指示します。

科目名	ドイツ語II B	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	篠原 <small>しのはら としあき</small> 敏昭				

講義のねらい

1年次で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを合わせて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『CD付きドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDを活用する授業をおこなう予定です。

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕・ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	本橋 <small>もとばし うきよう</small> 右京				

外国語

講義のねらい

初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点

テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

中川・長澤・吉原 『エルスター・シュリット』（白水社）

〔フランス語〕

科目名	フランス語IA〔再クラス〕・フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	長谷川 <small>はせがわ みつあき</small> 光明				

講義のねらい

旅行会話を教材にして、フランス語の実践的な表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

瀬戸秀一他『街かどのフランス語』（朝日出版社）2,100円

科目名	フランス語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	高橋 <small>たかはし あけみ</small> 明美				

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

渡辺公子著『アルモニ』（駿河台出版社）1800円

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	きのした ゆうすけ 木下 雄介				

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書

最初の授業のときにプリントを配布します。

科目名	フランス語II A〔再クラス〕・フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	はせがわ みつあき 長谷川 光明				

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教科書

藤田裕二『新・えすかるご2』（朝日出版社）2,625円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.197) 参照

【辞書について】

(P.197) 参照

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	おおくぼ あきお 大久保 明男				

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。
毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教 科 書

本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	そう たいわ 曹 泰和				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・ 授業スケジュール

基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教 科 書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円＋税

参 考 書 等

開講時に説明する。

そ の 他

中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

外
国
語

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
担当	経B2年				
担当者名	あきもと たすく 秋元 翼				

講義の内容・
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
担当	経B2年				
担当者名	おう そう 王 聡				

講義の内容・
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

外国語

科目名	中国語II A〔再クラス〕・中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B 営B34年				
担当者名	ひろかね かなこ 弘兼 加奈子				

講義の内容・
授業スケジュール

全15課の課文を通し、中国の現在の状況を学んでいく。テキストには文化的、社会的、経済的な視点から見たテーマが取り上げられている。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

村松恵子・董紅俊『中国語中級テキスト China Now』（白帝社）2400円

〔スペイン語〕

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	経B法B 営B234年				
担当者名	栗林 <small>くりばやし ゆきえ</small> ゆき絵				

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（毎時間の小テスト含む）30％と前後期の期末試験70％。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

初回の授業の授業で指示（プリント教材配布予定）。初回は必ず出席のこと。

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	スペイン語ⅡA	開講	通年	単位	2
担当	経B2年				
担当者名	荻野 <small>おぎの まさし</small> 雅司				

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語Ⅱの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様になります。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」
（弘学舎）

参考書等

出来るだけ詳しい西和辞典（例、小学館「西和辞典」等）を用意したい。

科目名	スペイン語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	なかやま なおし 中山 直次				

講義のねらい

スペイン語の日常会話によく現われる表現を暗誦し、状況に応じて簡単な応用ができるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

空港・駅・路上・ホテル・カフェ・レストラン・銀行・郵便局・洋品店・病院等の場面を設定し、そこで交わされる典型的ないし最大公約数的な表現を習得します。モデル表現を暗唱し、人称・性数・語句などの置換練習や状況の変更に伴う表現拡大等の応用を演習します。

履修上の留意点

「継続は力なり」と言います。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。

教科書

中山著『250語のできるやさしいスペイン会話』（白水社・1996年改訂）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）

桑名他編『西和中辞典』（小学館・1990年）

参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）

特に上記の本でなくても構いませんが、小型辞書しか持っていない人や参考書類を一冊も持っていない人は、手頃な中型辞書や自習参考書を購入し、予習・復習の際に参照することをお勧めします。

その他

常に「ピンポン型」の対話形式で授業を進めます。

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕・スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	栗林 <small>くりばやし ゆきえ</small> ゆき絵				

講義のねらい

現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。
最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認のあと、会話テキストの読解、発音練習を行う。また受講者の希望に応じて新聞記事など生のスペイン語教材も毎回1記事ずつ読んでいく。新聞記事は最初は見出しのみの読解、その後5文程度の記事、最後にはA4ページ程度の記事を読む予定。

履修上の留意点

できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。試験は行わないので、日々の授業で地道に力をつけていってほしい。
辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点(出席点および授業中の和訳提出)で評価する。

教科書

福嶋教隆『生き活きスペイン語』(朝日出版社) 2,000円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)
*和西(単語集)のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B234年				
担当者名	すぎやま ひでこ ひろた ひでやす 杉山 秀子・廣田 英靖				

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

外国語

科目名	ロシア語IIA	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

講義のねらい

ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。
授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	経B2年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

講義のねらい

ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドート（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕・ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B34年				
担当者名	すぎやま ひでこ ひろた ひでやす 杉山 秀子・廣田 英靖				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	経 B 法 B 営 B1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard
ISBN-10 9620056655

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
担当	経 B 法 B 営 B 選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

「Fifty-Fifty Student Book 1」 Warren Wilson and Roger Barnard
ISBN-10 9620056655

英語 L L I ・ II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B1234選				
担当者名	かわさき こうたろう 川崎 浩太郎				

講義のねらい

英語の母音、子音の発音、アクセント、イントネーション等を学習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

日常の様々な場面を再現したスキットをビデオを見ながらリスニング能力の向上を目指します。さらに、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点

恥ずかしがらずに大きな声で発音するよう努めて下さい。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』（マクミランランゲージハウス）¥2000（税別）ISBN4-89585-304-7

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	経B法B営B選				
担当者名	はやし あきと 林 明人				

講義の内容・授業スケジュール

リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①発表、②試験、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

4月に教場で指示します。

4. 保健体育科目

4. 保健体育科目

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ論	木6	経B1選必	半期	2	鈴木 淳平	785
健康・スポーツ論 〔再クラス〕	木6	経B234年	半期	2	鈴木 淳平	
健康・スポーツ論	火7	経B1選必	半期	2	田中 佳孝	786
健康・スポーツ論 〔再クラス〕	火7	経B234年	半期	2	田中 佳孝	
健康・スポーツ実習 (ミニサッカー)	月6	経B1選必	通年	2	大石 武士	787
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (ミニサッカー)	月6	経B 営B234年	通年	2	大石 武士	
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	月6	経B1選必	通年	2	秋田 浩一	788
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	月6	経B 営B234年	通年	2	秋田 浩一	
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	月7	経B 営B234年	通年	2	秋田 浩一	789
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (ミニサッカー)	月7	経B 営B234年	通年	2	大石 武士	790
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (バドミントン)	水7	経B 営B234年	通年	2	三幣 晴三	791
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 (卓球)	水7	経B 営B234年	通年	2	村松 誠	792
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)					休講	
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)					休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎)					休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・応用)					休講	
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン基礎) (ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	佐藤 政之他	793
生涯スポーツ演習Ⅰ (シーズン応用) (ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	佐藤 政之他	
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	山口 良博他	795
生涯スポーツ演習Ⅱ (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選 経B法B営B選	シーズン	2	山口 良博他	
余暇学	月5	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選	半期	2	秋田 浩一	796
余暇学	火4	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選	半期	2	田中 佳孝	797

科目名	健康・スポーツ論 健康・スポーツ論〔再クラス〕	開講	半期	単位	2
配当	経B1選必 経B234年				
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゆんぺい</small>				

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。
将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科目名	健康・スポーツ論 健康・スポーツ論〔再クラス〕	開講	半期	単位	2
配当	経B1選必 経B234年				
担当者名	田中 ^{ななか} 佳孝 ^{よしたか}				

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養（睡眠）と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻（大修館）
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』（女子栄養大学）

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名	健康・スポーツ実習(ミニサッカー) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	開講	通年	単位	2
配当	経B1選必 経B 宮B234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習(バドミントン) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
配当	経B1選必 経B 営B234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

- 1.補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- 2.バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：＃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

- 1.定員は約30名とする。
- 2.実技は本校第1体育館で行なう。
- 3.服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4.シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5.その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
配当	経B 営B234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：＃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：}
- 10 時限目：} 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11 時限目：}
- 15 時限目：} 総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は約30名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	開講	通年	単位	2
配当	経B 営B234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目：ゲーム
 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習(バドミントン) 健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	開講	通年	単位	2
配当	営B1必 経B 営B234年				
担当者名	みゆき はるみ 三幣 晴三				

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴(体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	通年	単位	2
配当	経B営B234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

他時限・他種目を含め、施設・用具の都合、授業効率のため、受講人数を30名程度に制限する。受講希望が多数の場合は、抽選にて受講者を決定する。したがって、1時限目に出席しないものは、受講できない可能性があるので注意すること。

科目名	生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ) 生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	佐藤 政之 他				

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(火) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月10日(月)

講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習

※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月11日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
 - 3日目 9月12日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
 - 4日目 9月13日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月14日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習I(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成19年9月10日(玉川校舎)・9月11日~14日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - (1) 集合 9月10日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月11日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月14日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	山口 良博 他				

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月29日(火)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月30日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月31日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月1日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月2日(土)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成20年1月29日(火)～2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)
- 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成19年5月21日(月)～6月2日(土)
- 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
配当	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選				
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>				

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3時限目：オランダサッカーの現状
- 4時限目：＃ の考え方
- 5時限目：イタリアサッカーの現状
- 6時限目：＃ の将来
- 7時限目：ドイツサッカーの現状
- 8時限目：＃ の将来
- 9時限目：イングランドサッカーについて
- 10時限目：フランスサッカーについて
- 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13時限目：オランダサッカーの実習
- 14時限目：イタリア 〃
- 15時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参考書等

不要。

科目名	余暇学	開講	半期	単位	2
担当	経商現選 経A234選(18年度以前入学生) 経B選				
担当者名	田中 ^{たなか} 佳孝 ^{よしたか}				

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：Jリーグの運営について
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11時限目：冬のアウトドアスポーツ
- 12時限目：グループ・プレゼンテーション
- 13時限目：グループ・プレゼンテーション
- 14時限目：テスト

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、レポート提出（2回）とテスト（最終週）により、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

Ⅱ. 専 門 教 育 科 目
経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

II. 専門教育科目

- ・経済学科フレックスA、商学科、経済学科フレックスBの学生で、『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。(P.407)
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスBの科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・配当学科
 経済学科(19年度入学生)…経 経済学科フレックスA…経A 商学科…商
 現代応用経済学科…現 経済学科フレックスB…経B

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎ゼミ				休講	
経済学入門				休講	
経済学概説	経B 1 選 (16年度以降入学生) 経B 1 必 (15年度以前入学生)	通年	4	森田成也	813
キャリア・デザイン	経B 1 2 選 (18年度以降入学生) 経A 1 2 選 (18年度以降入学生) 商 1 2 選 (18年度以降入学生)	通年	4	竹下睿駿	814
経済理論 I A・資本の原理				休講	
経済理論 I B・経済システムの原理	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 経A 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	大石雄爾	815
経済理論 B・経済システムの原理	経 1・2・3・4 選 (19年度以降入学生)				
経済理論 II・ミクロ経済学	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	松井柳平	816
経済理論 II・マクロ経済学				休講	
経済学史				休講	
経済数学	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	池田宏	817
応用ミクロ経済学				休講	
応用マクロ経済学				休講	
計量経済学				休講	
統計原論	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	田中正光	818
景気循環論	経B 1・2・3・4 選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4 選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4 選 (18年度以前入学生)	通年	4	野村信廣	819
現代資本主義論				休講	
社会思想史 a				休講	
社会思想史 b				休講	
経済史				休講	

日本経済史				休講	
西洋経済史	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	友松憲彦	820
経済政策	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	松前龍直	821
農業政策	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	溝手芳計	822
工業政策				休講	
経済地理				休講	
中小企業論	経B2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	吉田敬一	823
中小企業政策論	経B2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	吉田敬一	824
環境経済論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	山口由二	825
公共経済学 a	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鈴木伸枝	826
公共経済学 b	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鈴木伸枝	827
財政学				休講	
地方財政論				休講	
金融論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	代田純 森谷智子	828
国際金融論				休講	
社会政策	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	光岡博美	829
人口論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	森岡仁	830
教育経済論				休講	
労働経済論				休講	
日本経済論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	小林正人	831
国際経済論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	徳永俊明	832
アジア経済論				休講	
中国経済論				休講	
アメリカ経済論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	瀬戸岡紘	833

E U統合論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	廣田愛理	834
現代西欧経済論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	廣田愛理	835
ロシア・東欧経済論				休講	
情報・経済ネットワーク論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経1・2・3・4選(19年度以降入学生) 経A1・2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	中濟光昭	836
プログラミング論				休講	
情報処理論	経B1・2・3・4選	通年	4	岩瀬弘和	837
※応用情報処理 I	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	井川俊実	484
※応用情報処理 II	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	井川俊実	485
商学総論	経B1・2・3・4選	通年	4	大吹勝男	838
企業経営学 a	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	名取修一	839
企業経営学 b	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	名取修一	840
※企業論基礎	商1選(19年度以降入学生) 商1選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	劉永鶴	448
会计学総論	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A1・2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	北口りえ	841
簿記論	経B1・2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	842
※ファイナンス基礎	商1選(19年度以降入学生) 商1選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	須藤時仁	449
貿易実務	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	荒畑治雄	843
通関実務	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	荒畑治雄	844
憲法	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	内田真利子	845
民法一部	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	織田晃子	846
民法二部	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	中田英幸	847

商法一部	經B 1・2・3・4選 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	重田麻紀子	848
商法二部	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	中濱義章	849
経済法	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	荒井登志夫	850
労働法	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	藤本茂	851
行政法	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	金子昇平	852
国際法	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A商2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	王志安	853
社会保障法	經B 1・2・3・4選	通年	4	原田啓一郎	854
保険・海商法	經B 1・2・3・4選	通年	4	濱田盛一	855
商法総則・商行為法	經B 1・2・3・4選	通年	4	川口幸美	856
税法Ⅰ	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	奥村正郎	857
税法Ⅱ	經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	奥村正郎	858
※経済外国書講読Ⅰ a〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	494
※経済外国書講読Ⅱ a〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	
※経済外国書講読Ⅰ b〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	495
※経済外国書講読Ⅱ b〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	
※経済外国書講読Ⅰ a〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	495
※経済外国書講読Ⅱ a〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	
※経済外国書講読Ⅰ b〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 經B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	496
※経済外国書講読Ⅱ b〔英語〕	經A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	松本典子	

※経済外国書講読Ⅰa〔英語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	496
※経済外国書講読Ⅱa〔英語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	
※経済外国書講読Ⅰb〔英語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	497
※経済外国書講読Ⅱb〔英語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	安元稔	
※経済外国書講読Ⅰa〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	497
※経済外国書講読Ⅱa〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	
※経済外国書講読Ⅰb〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	498
※経済外国書講読Ⅱb〔ドイツ語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	松田健	
※経済外国書講読Ⅰa〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	498
※経済外国書講読Ⅱa〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	
※経済外国書講読Ⅰb〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	499
※経済外国書講読Ⅱb〔中国語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	小杉修二	
※経済外国書講読Ⅰa〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	499
※経済外国書講読Ⅱa〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	

※経済外国書講読Ⅰb〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	499
※経済外国書講読Ⅱb〔ロシア語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	山縣弘志	
※経済外国書講読Ⅰa〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	500
※経済外国書講読Ⅱa〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	
※経済外国書講読Ⅰb〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B1・2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	500
※経済外国書講読Ⅱb〔朝鮮語〕	経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生) 経B2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	鄭章淵	
現代経済事情Ⅰ 〔IT時代の経済産業動向〕	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	竹本正男	859
現代経済事情Ⅱ 〔少子高齢化と経済〕	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	増田幹人	860
現代経済事情Ⅲ 〔世界経済と中小企業〕	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	高田好章	861
現代経済事情Ⅳ 〔フリーターと日本社会〕	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	豊田義博	862
現代産業事情Ⅰ	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	代田純	863
現代産業事情Ⅱ	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	半期	2	友松憲彦	864
会計資格特別演習	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	鈴木勝浩	865
情報資格特別演習Ⅰ	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 商2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	永井勇	866
情報資格特別演習Ⅱ	経B1・2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生) 経A2・3・4選(18年度以前入学生)	通年	4	井川俊実	868

教員試験特別演習	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	谷敷正光	869
※流通経済論	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	大吹勝男	505
商業政策				休講	
マーケティング	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	曾我信孝	870
商品学				休講	
交通政策・交通論				休講	
商業史	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	幸野保典	871
消費経済論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	姉齒暁	872
※ロジスティックス	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	石原伸志	511
経営管理論 a	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (16年度以降入学生)	半期	2	岩波文孝	873
経営管理論 b	経B 2・3・4選 (16年度以降入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	岩波文孝	874
人的資源管理論 a	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	堀龍二	875
人的資源管理論 b	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	堀龍二	876
経営戦略論 a				休講	
経営戦略論 b				休講	
企業統治論 a				休講	
企業統治論 b				休講	
財務管理 a	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	白坂亨	877
財務管理 b	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	白坂亨	877
経営学史	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小阪隆秀	878
非営利組織論 a				休講	

非営利組織論 b				休講	
※経営情報システム論 I	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	斎藤隆	526
※経営情報システム論 II	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	斎藤隆	527
財務会計論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	小栗崇資	879
会計監査論				休講	
会計情報論				休講	
管理会計論 a	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	石川祐二	880
管理会計論 b	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	石川祐二	880
原価計算論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	鈴木勝浩	881
税務会計論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	高木克己	882
経営分析	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	渡邊智	883
上級簿記	経B 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 1・2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 1・2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	福島隆	884
※コンピュータ会計 I	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木勝浩	532
※コンピュータ会計 II	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	鈴木勝浩	533
貿易論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	通年	4	古沢紘造	885
銀行システム論	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齊藤正	886
現代銀行事情	経B 2・3・4選 (18年度以前入学生) 経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齊藤正	887
証券市場論				休講	
保険論				休講	

ビジネス事例研究				休講	
トップ・マネジメント講座				休講	
ビジネス英会話 a	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井上愛子	888
ビジネス英会話 b	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	井上愛子	889
※ビジネス・インターンシップ a	経B 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	吉田敬一 光岡博美	540
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	岩波文孝	542
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	齋藤正	543
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	清水卓	543
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	代田純	544
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	瀬戸岡紘	544
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	曾我信孝	545
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	徳永俊明	545
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	光岡博美	546
※ビジネス・インターンシップ b	経B 3選 (17年度入学生のみ) 経A 3選 (17年度入学生のみ)	半期	2	谷敷正光	547
※現代産業事情Ⅲ	経A 3・4選 (18年度以前入学生) 商3・4選 (18年度以前入学生) 経B 3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	齋藤正	554
グローバル・ファイナンス				休講	
※情報の経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	館健太郎	549
※法と経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	550
※制度の経済学	経A 2・3・4選 (18年度以前入学生) 商2・3・4選 (18年度以前入学生) 経B 2・3・4選 (18年度以前入学生)	半期	2	村松幹二	551
演習 I	経B 2選	通年	4	大吹勝男	890
演習 I	経B 2選	通年	4	谷敷正光	891
演習 I	経B 2選	通年	4	石川純治	892
演習 II	経B 3選	通年	4	石川純治	
演習 I	経B 2選	通年	4	百田義治	893
演習 II	経B 3選	通年	4	百田義治	

演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	姉齒暁	894
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	姉齒暁	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	姉齒暁	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	阿部弘	895
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	阿部弘	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	阿部弘	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	荒木勝啓	895
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	荒木勝啓	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	荒木勝啓	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	有井行夫	896
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	有井行夫	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	有井行夫	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	岩下弘	897
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	岩波文孝	897
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	岩波文孝	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	岩波文孝	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	小林正人	898
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	小林正人	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	小林正人	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	齊藤正	899
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	齊藤正	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	齊藤正	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	清水卓	900
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	清水卓	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	清水卓	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	代田純 森谷智子	901
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	代田純 森谷智子	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	代田純 森谷智子	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	鈴木伸枝	901
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	鈴木伸枝	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	鈴木伸枝	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	瀬戸岡紘	902
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	瀬戸岡紘	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	瀬戸岡紘	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	曾我信孝	903
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	曾我信孝	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	曾我信孝	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	鄭章淵	904
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	鄭章淵	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	鄭章淵	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	徳永俊明	905
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	徳永俊明	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	徳永俊明	

演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	友松憲彦	906
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	友松憲彦	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	友松憲彦	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	中濟光昭	907
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	中濟光昭	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	中濟光昭	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	福原好喜	908
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	福原好喜	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	福原好喜	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	古沢紘造	909
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	古沢紘造	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	古沢紘造	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	堀龍二	910
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	堀龍二	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	堀龍二	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	松井柳平	911
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	松井柳平	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	松井柳平	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	溝手芳計	912
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	溝手芳計	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	溝手芳計	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	光岡博美	913
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	光岡博美	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	光岡博美	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	森岡仁	913
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	森岡仁	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	森岡仁	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	山縣弘志	914
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	山縣弘志	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	山縣弘志	
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	渡邊恵一	915
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	渡邊恵一	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	渡邊恵一	
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	大吹勝男	915
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	大吹勝男	
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	谷敷正光	916
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	谷敷正光	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	石川純治	917
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	大石雄爾	918
演習Ⅱ	経B 3選	通年	4	大石雄爾	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	大石雄爾	
演習Ⅲ	経B 4選	通年	4	百田義治	918

科目名	経済学概説	開講	通年	単位	4
配当	経B1選(16年度以降入学生) 経B1必(15年度以前入学生)				
担当者名	森田 ^{もりた} 成也 ^{せいや}				

講義のねらい

経済学は、生活や仕事にとって最も重要な領域を理論的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ用語や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がより人間らしい生活と労働を実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことが重要です。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を講義し、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます(多少、後期にくい込む可能性あり)。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2,3) 商品・貨幣 (4,5, 6) 資本と剰余価値 (7) 賃金
- (8,9) 資本の蓄積 (10,11) 利潤と利潤率 (12,13) 利子生み資本と株式資本
- (14,15) 独占資本、国家、外国貿易 (16) 世界市場と帝国主義 (17) 19世紀資本主義と20世紀資本主義日本経済の基本構造を学ぶ
- (18,19) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (20,21) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (22,23) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (25) 企業社会と女性 (26) クルマ社会日本 (27,28) 経済大国日本とバブル経済 (29,30) 長期不況と構造改革下の日本経済 (31) 日本経済の未来

履修上の留意点

ノートをごまめにとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

とくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済入門』(青木書店)

科目名	キャリア・デザイン	開講	通年	単位	4
配当	経B12選(18年度以降入学生) 経A12選(18年度以降入学生) 商12選(18年度以降入学生)				
担当者名	たけした えいき 竹下 睿駿				

講義のねらい

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には（職業・労働の世界での生き方に限定されず）「人生の諸過程（ライフプロセス）、生き方（ライフスタイル）」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」＝それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

講義——1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応（学業と就職準備活動の両立）、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか（生涯学習社会と「キャリア・デザイン」）、3. ライフサイクルと職業生活（職業と就職の意味）、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割（学業と課外活動の意義）、5. 大学生活をどのように過ごすか（進路選択＝職探しは自分探しである）。ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計論）」——前期3～4回、後期5～6回。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

後期の期末に記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

講義のつど紹介します。

その他

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配布します。

科目名	経済理論B・経済システムの原理	開講	通年	単位	4
配当	経1234選(19年度以降入学生)				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちが生活している社会は資本主義社会と呼ばれています。それは、利潤を追求する資本が生産・分配を規定する力となっているからです。特に現代社会は複雑になり、様々な問題を抱えています。貿易摩擦、貧富の格差、失業率の上昇や地球環境の悪化など、数えたらきりが無いほどです。資本主義社会は経済成長を達成したにもかかわらず、どうしてこうした問題を解決しえないのでしょうか。これらの問題が資本主義の発展を通して生じたことを考えれば、それらの解決の糸口を探るためにも、私たちは資本主義経済の一般法則とその運動の仕組みを学ぶことが必要となります。

経済理論B・経済システムの原理では、「資本の原理」に関する説明ののち、資本主義経済システムを成り立たせている諸関係・諸制度や、国家財政・経済政策、さらに資本の生活過程としての産業循環などについて講義します。また、新聞記事が少しでもよく理解できるよう、ときに現実の経済問題を取り上げて解説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は以下のようなテーマに沿って進めていきます。

1. 経済学との出会い
2. 商品と貨幣
3. 資本の生産と再生産
4. 平均利潤率と生産価格
5. 金融、利子生み資本と株式会社
6. 近代的農業と地代、土地価格
7. 社会階級と国民所得
8. 国家と国家財政、経済政策
9. 貿易と国際経済関係
10. 産業循環と不況・恐慌
11. 独占価格と独占資本の経済構造
12. 21世紀の経済と社会

履修上の留意点

経済理論は体系性・連続性をもっているので、1年間を通して出席することが必要です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを書き、提出していただくことがあります。成績評価は、定期試験の結果に小レポートの点数を加味して行います。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

科目名	経済理論II・ミクロ経済学	開講	通年	単位	4
配当	商234選(2006年度以前入学生)				
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平				

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
 ガイダンス 講義の概要等説明
 あるパン屋の話
 ナッシュ均衡
 バックワード・インダクション
 サブゲーム完全均衡
 <後期>
 不完備情報ゲーム
 ペイズ完全均衡
 消費者理論
 金融とリスク管理
 契約と誘因

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算(足し算、引き算、かけ算、わり算)、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全に身につけていることが、受講生には求められる。こうした算数、初等的な数学について自信のない場合は、算数や中学時代の数学の教科書を事前によく復習してきてもらう必要がある。

講義プリントを、<http://www.komazawa-u.ac.jp/~matsui/lecture.html> から事前にプリントアウトして予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やミクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。

また、夏期休暇中のレポート課題も1点~10点で評価する。

以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。

成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成績の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

教科書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』(日本評論社) ISBN4-535-55202-9

参考書等

岩田 規久男『経済学を学ぶ』(筑摩書房)(ちくま新書) ISBN4-480-05602-5

武藤 滋夫『ゲーム理論入門(日経文庫—経済学入門シリーズ)』(日本経済新聞社) ISBN: 4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』(ナツメ社) ISBN: 4816337458

船木『演習ゲーム理論』(新世社) ISBN4-88384-072-7

神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』(日本評論社) ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

科目名	経済数学	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いけだ ひろし 池田 宏				

講義のねらい

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうち基本的方法の習得を目差す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2.3) ベクトルと行列の定義と計算 (4.5.6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7.8) 行列式の定義と計算 (9.10) 連立1次方程式(掃きだし方) (11.12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1.2.3) 微分の基礎 (4.5) 接線、増減、極値 (6.7.8.9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11.12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

田村嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

参考書等

図書館書誌検索画面へ

科目名	統計原論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たなか まさみつ 田中 正光				

講義のねらい

現代社会では、様々な場面でデータの統計的整理・分析が必要とされている。これら多種・大量のデータを有効に活用するためには、統計的知識が不可欠である。そのための統計学の基礎的な理解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

統計学の基礎的知識を一通りマスターすることを目指すので、教科書として「統計入門」(内田老鶴圃)を定め、原則これに従って講義を進める。

この教科書を一通り理解することで、統計学がどのようなことを目指しているかがかなり理解できるものと信じる。

・前期

記述統計を中心に、データの代表値(平均値、中央値、モード)、分散などの基礎統計量、データ間の関係を見る相関・回帰分析などについて勉強する。これにより、データの分類整理の仕方、及びデータ間の関係などを的確に把握することが可能となることが期待される。

・後期

推測統計に必要な確率から確率変数・確率分布についての理解を深める。特に、二項分布・ポアソン分布、連続型確率分布の代表格である正規分布について勉強する。ついで、標本と標本分布について理解し、統計的推定と統計的検定について学ぶ。これらの事項を概ね把握できれば、推測統計学の入門としては十分であろう。

履修上の留意点

講義中に簡単な計算を行う場合があるので、電卓などの持参が望ましい。

教科書

荷見守助・三澤進共著「統計入門(はじめての人のための)」内田老鶴圃, 1900円(本体)、ISBN4-7536-0096-3 C3041

参考書等

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著「経済・経営・統計入門」共立出版。
大村平著「今日から使える統計解析」講談社。
吉田耕作「直感的統計学」日経BP社。

その他

なし

科目名	景気循環論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	野村 信廣 <small>のむら のぶひろ</small>				

講義のねらい

景気(循環)への関心は極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響する(2)景気循環の姿がその都度変化する(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用して景気の過去や現状把握、将来予測一などを学ぶ。学生達が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようになる。

講義の内容・授業スケジュール

景気循環と景気指標
景気循環を引き起こす要因とメカニズム
景気循環の歴史
景気循環の理論
30900景気循環論は09300景気循環論に比較して、実証的なもののウエートを高くして行う。

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つこと。

成績評価の方法

レポート(前期)、定期試験(筆記・後期)、出席状況を加味して評価。

教科書

景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」(東洋経済新報社)。

参考書等

適宜参考資料を配布。

その他

講義中心だが、質問や討議を歓迎。

科目名	西洋経済史	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	友松 憲彦				

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）の問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋資本主義の歴史を学ぶことによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
2. 前近代の経済 - 封建制 -
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命（工業化）
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 国際経済
 - (3) 帝国主義と植民地
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。

教科書

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

参考書等

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房、1992年
岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版、1996年
楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社、2006年
飯田隆『図説西洋経済史』日本経済評論社、2005年

科目名	経済政策	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	まつまえ たつよし 松前 龍宜				

講義のねらい

本講義は、経済政策に関する様々なトピックとその背景にある基礎理論を学び、各々の経済政策がどのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。本講義の特徴は、多くの専門分野における経済政策に関するトピックを、ミクロ経済政策(参入規制、価格規制、特定産業の保護政策)、マクロ経済政策(成長政策、財政・金融政策による安定化政策)、所得再分配政策(税制の公平性、社会保障制度、世代間所得移転問題)の3部に統一的に分類し、バランスよく解説することにある。講義の方針としては、数式の利用を極力避け、表やグラフを利用して直感的に理解してもらうこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎知識1
2. 経済学と経済政策の基礎知識2
3. ミクロ経済政策1：市場への政府介入
4. ミクロ経済政策2：公共事業と競争政策
5. ミクロ経済政策3：外部性と公共財
6. ミクロ経済政策4：情報の経済学と経済政策
7. マクロ経済政策1：成長政策の理論と課題
8. マクロ経済政策2：安定化政策の基礎と財政・金融政策
9. マクロ経済政策3：インフレ・デフレと失業
10. マクロ経済政策4：安定化政策の現代的課題
11. 所得再分配政策1：所得再分配政策の基礎知識
12. 所得再分配政策2：税制の効率性と公平性
13. 所得再分配政策3：年金と医療政策

履修上の留意点

数学の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

試験60%、レポート40%で評価する。

教科書

岩田規久男、飯田泰之、(2006)、『ゼミナール経済政策入門』、日本経済新聞社、3200円(税別)、ISBN 4-532-13310-6

参考書等

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社
マクロ経済学：吉川洋、(2001)、『マクロ経済学』、岩波書店

その他

板書による講義形式である。

科目名	農業政策	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	みぞて よしかず 溝手 芳計				

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策—農業構造問題を中心に—（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

科目名	中小企業論	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	よした けいいち 吉田 敬一				

講義のねらい

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I中小企業の基礎理論、
I-1 中小企業の法的規定、
I-2 中小企業の経営類型、
I-3 中小企業の企業形態、
I-4 日本型下請構造の特質、
II日本型下請システムの形成過程、
II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、
II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

『中小企業白書』
吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	中小企業政策論	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	吉田 敬一				

講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験（ノート持込可）を基準とし、追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	環境経済論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	山口 由二				

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美徳とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われている自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこれら。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

科目名	公共経済学 a	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき のぶえ 鈴木 伸枝				

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学の手法を用いて考えます。

『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができます。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 政府の役割
3. 日本の政府
4. 数学・ミクロ経済学の復習
5. 競争均衡の効率性・公平性
6. 寡占・独占

履修上の留意点

公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法

レポート・試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

その他

講義情報ページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/>

科目名	公共経済学 b	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	すずき のぶえ 鈴木 伸枝				

講義のねらい

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて考えます。

『公共経済学 a』は、現実の基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかりと理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

0. 寡占・独占（『公共経済学 a』で終わらなかった場合のみ）
1. 外部性
 2. 公共財
 3. 環境問題
 4. 保険の理論
 5. 医療・年金
 6. 失業

また、時間に余裕があれば、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。

履修上の留意点

公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法

レポート・試験で評価します。

教科書

特に指定しません。

その他

講義情報ページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/>

科目名	金融論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	代田 純・森谷 智子				

講義のねらい

通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融を含む、金融の全体像の理解を目指す。

テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。

- 1 金融とは
- 2 通貨とは
- 3 小切手・手形とは
- 4 ペイオフ解禁とは
- 5 銀行貸出とは
- 6 金利とは
- 7 金融市場とは
- 8 証券市場とは
- 9 国債とは
- 10 金融機関とは
- 11 公的金融とは
- 12 財政投融资とは
- 13 郵便貯金とは
- 14 簡易保険とは
- 15 公的年金とは
- 16 政府系金融機関の再編とは

履修上の留意点

OHPにより授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。

成績評価の方法

定期試験(100点)とレポート(提出した場合、20点を加点)により評価する。4~9月には試験を実施しない。

教科書

代田 純、『図説 やさしい金融財政』(丸善)を使用する。

参考書等

レポートの際に、
代田 純著、『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済、2002年)
代田 純著、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理、2007年)
のいずれか(本人の選択による)を使用する。

その他

出席はとらないが、私語は厳禁する。
代田が在外研究のため、4~7月は森谷が担当し、9月以降代田が担当する。

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	みつおか はくみ 光岡 博美				

講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学（沖縄）に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	人口論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	森岡 仁 <small>もりおか じん</small>				

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものとはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年、2,800円、1033-330172-3177
大淵 寛・森岡 仁『人口減少時代の日本経済』（原書房）2006年、2,800円

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年、4-562-09112-6
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
担当	経B1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小林 ^{こばやし} 正人 ^{まさひと}				

講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバルゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：その国内原因と海外要因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の発展過程と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典の一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

科目名	国際経済論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明				

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているのです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義社会経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは、〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていくことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義を進めます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点。学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	アメリカ経済論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	瀬戸岡 <small>せとおか ひろし</small> 紘				

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社)2005年
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店)1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店)2003年
 をおすすめします。

科目名	EU統合論	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ひろた らり 廣田 愛理				

講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的 precedent としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：
 ◇ 両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動
 ◇ EUの制度的起源：ECSCとEEC
 ◇ 経済統合の拡大と深化
 ◇ 通貨統合
 ◇ EUの政策と制度
 ◇ EUの現在の課題

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	現代西欧経済論	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	廣田 ^{ひろた} 愛理 ^{あり}				

講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義の主な内容は以下のとおりです：

- ◇第一次大戦以前の西欧経済
- ◇第一次大戦とパックス・ブリタニカの動揺
- ◇大衆消費社会のはじまり
- ◇世界恐慌と資本主義の“大転換”
- ◇第二次大戦後の西欧経済社会の再編
- ◇福祉国家の成立と展開
- ◇ヨーロッパ経済の分裂から統合へ
- ◇植民地体制の崩壊と南北問題
- ◇資本主義の“黄金時代”
- ◇ブレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化
- ◇グローバル化の深化と西欧経済

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	情報・経済ネットワーク論	開講	通年	単位	4
担当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A1234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭				

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 ー情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 ーコンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 ー電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 ーマイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0 やロングテール、google のビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com, google などについてビジネスモデルを調査・分析する)

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理I・IIやコンピュータ基礎を履修することをお薦めします。

成績評価の方法

講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと最終講義時に行うテストによります。実習を含むため、追試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難です）。
- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

科目名	情報処理論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	岩瀬 <small>いわせ</small> 弘和 <small>ひろかず</small>				

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス（CG）は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・2次元CGの作成と変換理論の習得
 - ・3次元図形の表示技術（投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など）
 - ・自由曲線の種類とその理論（ベジエ曲線、Bスプライン曲線など）
 - ・自由曲面の種類とその理論（ベジエ曲面、Bスプライン曲面など）
 - ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Script などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。

教科書

配布資料。

参考書等

田中成典、小林孝史（編）『VRMLの達人』（森北出版）
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』（共立出版）

科目名	商学総論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	おおぶき かつお 大吹 勝男				

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

科目名	企業経営学 a	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なとり しゅういち 名取 修一				

講義のねらい

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

企業経営学(a)では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。ここでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的連関の構図の把握を目指す。

まず、資本と労働の構造的・機能的な関係からの二重性、また国内・国際市場との複層性を理解する。その上で、国際社会化、情報社会化の展開とともに、たとえば労働生産性の追求と超高齢社会、人々の生活と機械的合理主義、国内ならびに国際的格差の構造化、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等を考察し、広い視野から企業の実像を探る。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。

教科書

百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川彰編著『現代経営学要論』（同友館）

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

科目名	企業経営学b	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生)				
担当者名	名取 修一 <small>なとり しゅういち</small>				

講義のねらい

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

企業経営学(a)で理解した企業活動の構造的理解の上に立って、経営学の体系的理解を目指す。

経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が勧められている。「日本的経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度(出席状況)・レポート・定期試験により評価する。

教科書

百田義治編著『経営学 基礎』(中央経済社)

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)、名取修一・市川彰編著『現代経営学要論』(同友館)

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

科目名	会計学総論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生)				
担当者名	きたぐち りえ 北口 りえ				

講義のねらい

本講義は、会計学をはじめて学ぶ者を対象とします。まず、企業会計に関する基礎的知識を幅広く修得することを目的とし、さらに、講義を通じて会計の大まかな仕組みを知り、財務諸表を読み解く力をつけることを目指します。この力は企業の財務・経営状況を把握するための大きな助けとなります。企業の財務・経営状況を把握できるようになれば、皆さんが就職活動などにおいて行きたいと思う企業を選別、分析する際にも役立つと思います。また、就職するときだけでなく、就職した後も企業で業務を行っていく上で必要不可欠な知識や能力であると思いますから、大学の中だけでの勉強という意識ではなく、その後の生活でも必要な知識を習得しているんだという目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、会計学の基本的原理、会計制度の構造、財務諸表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書）の作成方法やその分析方法などについて講義します。また、皆さんが理解しやすくなるように、講義では身近な具体的事例に関して新聞記事などを紹介しながら講義していく予定です。

履修上の留意点

本講義では、財務諸表を作成する技術である簿記については学びません。しかし、基本的な簿記の知識があるほうが講義内容を理解しやすいため、授業の最初の段階で簿記に関する簡単な説明を行います。

成績評価の方法

成績評価は、出席点、中間試験、期末試験の総合評価により行います。

教科書

未定。第1回目の講義の際に指示します。

科目名	簿記論	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	すずき かつひろ 鈴木 勝浩				

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

参考書等

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』（中央経済社）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名	貿易実務	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あらはた 是るお 荒畑 治雄				

講義のねらい

貿易取引の基本は、どこで、何を、どのような方法で売買するかにある。企業が生産する製品は買手志向の観点から把握される傾向が強くなっており、相手市場の需要動向を正確に把握し、顧客のニーズに合致する商品の取引を行うことが必要となる。

近年、アジア諸国の経済発展、EUの拡大、電子商取引の進展等国际ビジネス環境の変化が著しくなってきた。そこで、本講において、変化しつつある取引方法を念頭に入れ、貿易実務を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 貿易実務の戦略
 - (1) 有力市場の選定 (2) 貿易戦略の設定
- 2 取引関係の創設
 - (1) 取引先の選定 (2) 信用調査
- 3 引合から成約までの実務
 - (1) 見本の価格表 (2) 一般的取引条件の協定
- 4 売買契約の成立に伴う実務
 - (1) 売買契約の確認 (2) 売主・買主の義務
- 5 通関・船積み・陸揚げ
 - (1) 輸出通関と船積み (2) 陸揚げと輸入通関
- 6 貿易決済
- 7 国際電子商取引の実務

履修上の留意点

国際ビジネスの変化に常に関心を持ち、国際的な視野を広げるように努力する。

成績評価の方法

授業への参加度、試験の結果等による。

教科書

荒畑治雄『現代 国際商取引』（慶應義塾大学出版会）

参考書等

授業に必要な参考書はその都度授業時に指示する。

科目名	通関実務	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒畑 ^{あらいはた} 治雄 ^{はるお}				

講義のねらい

わが国は、世界の多くの国々と貿易を行っており、海外諸国との貿易を増大することにより、わが国の経済が発展してきたのである。

日本から外国へ、外国から日本へという国際的な商取引には、いくつかの規制があり、必ず税関を通ることになっている。貨物を輸出入する時には、税関に申告してその許可を受けることが必要である。

本講義では、輸出の許可、輸入の許可、関税の徴収、保税地域の許可等通関手続きの業務を修得する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 通関業務の定義 | (2) 通関士の義務 |
| (3) 関税法 | (4) 関税額の確定の方式 |
| (5) 関税の納付・徴収 | (6) 保税制度 |
| (7) 課税価格 | (8) NACCS |
| (9) 輸出申告書 | (10) 輸入申告書 |

履修上の留意点

貿易実務講義を履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、最終試験。

教科書

講義用プリントを配布する。

参考書等

『出る順通関士』2006年版(株東京リーガルマインド) 2,800円 ISBN4-8449-9270-2

科目名	憲法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	内田 ^{うちだ まりこ} 真利子				

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけではなく、主体的に授業に参加できる人にものみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

その他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科目名	民法一部	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	織田 ^{おだ} 晃子 ^{てるこ}				

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税
コンパクト六法（岩波）

その他

プリント配布

科目名	民法二部	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかた ひでゆき 中田 英幸				

講義のねらい

本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期(1)~(3)、後期(4)~(6))
- (1)序論
 - ①債権総論とは何か②債権とは何か
 - (2)債権の「目的」
 - ①債権の「目的」の意味②債権の種類
 - (3)債権の効力
 - ①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞
 - (4)債権債務の移転
 - ①債権譲渡②債務引受
 - (5)債権の消滅
 - ①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同
 - (6)多数当事者の債権関係
 - ①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務

履修上の留意点

最新の六法を必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験により評価する。

教科書

野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）

参考書等

星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）
他の文献は講義中に指示する。

科目名	商法一部	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	重田 ^{しげた まきこ} 麻紀子				

講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキーパンソンは会社である。その会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化するなど急速な勢いで変化しており、これを受けて、2006年5月から新たに「会社法」が施行され、わが国の会社法制は大きくその姿・内容を変えた。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いため、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとしたい。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

履修上の留意点

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自予習・復習を心がけてもらいたい。できれば、民法科目について事前に（少なくとも並行して）履修していることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験（1回）の成績に小テスト（1～2回）の成績を加味して評価する。

教科書

最新の六法（小型のものでよい）を用意すること。
使用テキストについては開講時に指示する。

科目名	商法二部	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	なかほま よしあき 中濱 義章				

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。
民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）

参考書等

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	荒井 ^{あらい} 登志夫 ^{としお}				

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3講義方針、基礎概念、歴史 4～5私的独占 6～10不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14不正な取引方法 15～17景品表示法 18～19第四章規定（一般集中、市場集中） 20寡占規制 21～23公正取引委員会、手続規定、罰則 24国際的環境 25～26事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

「経済法」（第5版・荒井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ

参考書等

「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）
根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名	労働法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法制定の動きや男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席などととも、総合的に評価します。確認テストや中間試験も評価の対象です。

追試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』(有斐閣)か浅倉むつ子ほか著『労働法』(有斐閣)のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの(法律改正や制定があるので特に)。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	行政法	開講	通年	単位	4
担当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	金子 昇平 <small>かねこ しょうへい</small>				

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥー・デートな課題を積極的に提示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1)行政法の基礎
(1)行政と法の一般的関係 (2)日本行政法の基本構造 (3)行政法の法源 (4)行政法の基本原理
- 2)行政過程論
(1)行政立法 (2)行政行為 (3)行政上の契約 (4)行政指導 (5)行政計画
- 3)行政上の一般的制度
(1)行政上の義務履行確保 (2)即時強制 (3)行政調査 (4)行政手続 (5)行政情報管理
- 4)行政過程における私人
行政過程における私人の地位及び、行為。

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

塩野宏『行政法I』(行政法総論) [第四版] 有斐閣

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選I、II』(第5版)(有斐閣)

科目名	国際法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	王 ^{おう} 志 ^し 安 ^{あん}				

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要がある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名	社会保障法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	はらだ けいいちろう 原田 啓一郎				

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは履修中であることが望ましい。

科目名	保険・海商法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	はまだ せいいち 濱田 盛一				

講義のねらい

保険契約法および海商法の基礎的知識を習得することがこの講義の目的です。保険法ですが、私たちは、火災・自動車事故・病気などいろいろな危険にさらされて生活しております。これらの危険を予防・軽減することはできますが、それをすべて除去することはできません。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ保険料を拠出し、その拠出金を損害を被った者の損害の補填に充てる制度です。このように保険制度は私たちにとって有用なものですが、これが濫用されるおそれがあります。それは、少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。新聞などで報道される保険金殺人事件は濫用の代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこの2つの側面を法的視点から考察しようとするものです。

次に海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶は、交通手段としては時代遅れのようにも思われますが、物品の運送については、依然として重要な地位にあります。また、海商法は、その起源を中世の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概要をみることにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の仕組みを中心に概説します。後期は、火災保険・自動車保険・生命保険を解説し、その後海商法を概説します。

履修上の留意点

民法の基本法である民法を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

原則として学期末試験により評価します。試験は持込み不可で行います。出席を数回とる予定です。これは、成績評価の際に加点事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田康彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

その他

授業は、講義形式で行います。

科目名	商法総則・商行為法	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選				
担当者名	かわぐち ゆきみ 川口 幸美				

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

①～⑥は商法総則、⑦～⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ①商法総則（商法の意義） | ②商法の適用（商行為概念・商人概念） |
| ③営業譲渡（商号の保護） | ④商号 |
| ⑤商業使用人（支配人・その他） | ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力） |
| ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） | ⑧運送契約 |
| ⑨仲立人・取次人・商事代理 | ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ） |

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
 鴻常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎／編
 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選（第4版）」

その他

（当然のことだが）授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

科目名	税法I	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おくむら まさひろ 奥村 正郎				

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。本年度、税法I（前期）では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 財政の役割と租税
2. 税法の基本原則
3. 租税の種類と分類
4. 相続税の意義
5. 相続税の納税義務者
6. 相続税額の計算（1）
7. 相続税額の計算（2）
8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産
9. 生前贈与と相続時精算課税制度
10. 相続税・贈与税の財産評価（1）
11. 相続税・贈与税の財産評価（2）
12. その他の税（法人税概説1）
13. その他の税（法人税概説2）

履修上の留意点

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	税法II	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	おくむら まさろう 奥村 正郎				

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。本年度、税法IIでは定率減税の廃止、税率など抜本的見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 所得の概念 | 8. 各種所得金額の計算（4） |
| 2. 納税義務者 | 9. 所得控除及び税額の計算（1） |
| 3. 課税所得の範囲等 | 10. 所得控除及び税額の計算（2） |
| 4. 各種所得の種類 | 11. 申告・納付、源泉徴収、その他 |
| 5. 各種所得金額の計算（1） | 12. その他の税法（消費税法概説1） |
| 6. 各種所得金額の計算（2） | 13. その他の税法（消費税法概説2） |
| 7. 各種所得金額の計算（3） | |

履修上の留意点

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）

参考書等

授業を進める中で適時紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用する場合があるので毎回持参のこと。

科目名	現代経済事情I【(IT時代の経済産業動向)】	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たけもと まさお 竹本 正男				

講義のねらい

現代世界は新世紀の行動原理の下で動きだそうとしている。
ベルリンの「壁」撤去によって期待された「新世界秩序」は構築されることなく、同時多発テロ時代を導いてしまい、今日の核拡散不安を招くこととなってしまった。
バブル崩壊とデフレ不況に見舞われた日本経済は日銀「量的緩和」によって家計は構造改革の痛みを味わい、企業は収益回復を享受しはじめた。
本講義は、そうした21世紀のIT時代を生きる産業の「今」を事例的にとらえることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

第1～3回：ITネットワーク社会の到来。
第4～5回：戦後60年か失われた10年か。
第6回：前半のまとめ（アンケート実施）（参考文献・資料の感想文提出）。
第7回：IT時代の総括（レポート課題提示）。
第8～11回：産業の「今」≪情報通信・生活産業・重化学工業・金融／保険≫。
第12回：後半のまとめ（アンケート結果・感想文結果報告）。
第13回：今、体験している情報革命（期末レポート提出）。

履修上の留意点

eラーニングを活用し、課題提出やディスカッションを行なう予定にしているため、KOM-AnetのユーザーIDを取得しておくこと。なお、ディスカッションは毎回の授業毎に行なう。

成績評価の方法

授業出席40%、感想文・レポート提出40%、ディスカッション参加20%で評価。

教科書

使用しない。

参考書等

指定しない（参考文献・資料は授業の進行に応じ都度情報提供する）。

その他

授業方法は講義形式（PPT使用、必要に応じプリント配布も併用）。以上

科目名	現代経済事情II【〔少子高齢化と経済〕】	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	増田 ^{ますだ} 幹人 ^{みきと}				

講義のねらい

日本において現在進行している少子高齢化は、社会経済に対して大きな影響を及ぼしているが、この結果今まで前提としてきた社会保障制度は適格的でなくなっている。また少子高齢化の結果、日本では2005年より人口減少時代に突入し、社会経済全体を新たな形に変えようとしている。本講義の目的は、少子高齢化が社会経済、そして社会保障制度の一つである年金制度に及ぼす影響を幅広い視点に立って解説し、現代経済の理解を深めることにある。

講義の内容・ 授業スケジュール

本講義は以下のスケジュールに従って進める。

1. イントロダクション
2. 基礎的な人口統計指標について
3. 少子化の背景①：理論による考察
4. 少子化の背景②：日本の特徴
5. 高齢化のメカニズム、および年齢構造変化が経済に及ぼす影響
6. 日本人口の歴史的推移および将来予測
7. 日本の少子高齢化、人口減少がもたらす社会経済問題
8. 日本の年金制度の歩み
9. 日本の少子高齢化が年金制度に及ぼす影響
10. 政策的対応①：少子化対策
11. 政策的対応②：少子高齢化を前提とした対策
12. 世界的な人口現象としての少子高齢化

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

定期試験を主とするが、授業にて出席調査を行い、この平常点を定期試験の点数に加えて総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

阿藤誠、『現代人口学：少子高齢社会の基礎知識』、日本評論社、2,835円、4535552274。
大淵寛、『少子化時代の日本経済』、日本放送出版協会、966円、414001797X。
大淵寛・森岡仁、『経済人口学』、新評論、3,360円、4794873034。
社会保障入門編集委員会、『社会保障入門2006』、中央法規、2,415円、4805846445。
和田光平、『Excelで学ぶ人口統計学』、オーム社、3,990円、4274066584。

その他

授業ごとに資料を配布するので各自保管のこと。

科目名	現代経済事情III【(世界経済と中小企業)】	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	高田 好章				

講義のねらい

日本の経済の国際化は、東アジア地域を中心に、輸出入から技術移転・直接投資さらに海外進出にすすみ、その波は中小企業をも巻き込んでいます。それは、資本のあり方だけでなく、技術のあり方、経営のあり方、労働のあり方、生活のあり方を大きく変貌させてきています。そのような視点から、世界経済と中小企業の問題を一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

以下のテーマを軸に、時事的問題に関連させながら講義いたします。◇日本経済の国際化と海外展開 ◇海外進出と地場産業、産業空洞化 ◇グローバリゼーションを中小企業の視点から ◇技術移転と経済の自立化 ◇海外展開と労働問題 ◇経済の国際化と国際分業 ◇国際的ネットワークと中小企業の経営戦略

履修上の留意点

授業中の質問は大歓迎。専門用語、時事用語等、わからない言葉はその場で解決しましょう。複雑な問題は講義後も考えて、次回に質問するか、メールで問い合わせてください。

成績評価の方法

成績評価はレポートによります。レポートは受講中に適宜課題を出します。また自発的に提出されたレポート・感想文・質問文等は評価に加味します。

教科書

森岡孝二編著『格差社会の経済構造』桜井書店、2007年3月刊

参考書等

出来れば、以下を読んでおいてください：鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』(昭和堂) 3,000円。その他の参考文献等は講義の中で、随時紹介いたします。

その他

図や表などの具体的な資料を紹介し、時事問題のビデオも使って講義をすすめます。適宜アンケートをお願いし、それらを取り上げながら双方向の授業を念願しています。また、受講生からの講義テーマに関するレポート、感想文、質問文(以上メールでも可)は大いに歓迎します。講義に使用したレジュメ、図・表などの資料はホームページに掲載いたしますので、復習・レポート執筆等の参考にして下さい。E-mail: ystakada@komazawa-u.ac.jp ホームページ: <http://homepage1.nifty.com/ytakada/>

科目名	現代経済事情Ⅳ【〔フリーターと日本社会〕】	開講	半期	単位	2
担当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	豊田 <small>とよだ よしひろ</small> 義博				

講義のねらい

フリーターに関する議論が、さまざまところで、さまざまな形で繰り広げられている。しかし、その実態が不明確であるために、適切な議論がなされている状況とはいいがたい。本講義では、フリーターという存在の意義、日本社会に与える影響を、多面的観点から提示し、近未来に向けての処方箋の方向性を共有する。

講義の内容・授業スケジュール

フリーターという存在を、「国家視点」「産業視点」「企業視点」「職場視点」「個人のキャリア視点」などの多様な視点から見つめ、課題のありかを抽出していく。

履修上の留意点

受講者の一部には、講義内容づくりに参加してもらいたいと考えている。学年問わず、希望者を初回講義において募る。この講義を機会に、思考・行動の視野を変えてみたい、という気概を持っている人の参加を期待している。

成績評価の方法

期間中に数回提出してもらったレポートあるいはエッセイの提出状況、内容により評価を決定する。

教科書

なし。

参考書等

授業において、参考図書の指定を行う予定。

その他

初回の講義で、重要な通達、意思決定、意見収集を行う。必ず出席のこと。

科目名	現代産業事情I	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	代田 純				

講義のねらい

この授業は住友信託銀行による冠講座である。信託銀行は企業年金を運用するため、年金制度に精通している。こうした専門家の立場から、「高齢化と年金」について講義していく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 高齢化と年金
- 第3回 年金入門
- 第4回 適格退職年金
- 第5回 厚生年金基金
- 第6回 退職給付会計
- 第7回 代行返上
- 第8回 新しい年金制度
- 第9回 キャッシュ・バランス・プラン
- 第10回 最近の動き
- 第11回 まとめ
- 第12回 レポート提出

成績評価の方法

出席とレポートで評価します。

教科書

資料コピーを配布する予定。

参考書等

山口・久保著、『企業年金の再生戦略』、金融財政事情
 浅野・山口著、『最新企業年金戦略』、日本経済新聞社
 久保 知行著、『わかりやすい企業年金』、日本経済新聞社
 代田 純著、『日本の株式市場と外国人投資家』、東洋経済新報社

その他

私語は禁止。

科目名	現代産業事情II	開講	半期	単位	2
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	<small>ともまつ</small> 友松 <small>よしのぶ</small> 憲彦				

講義のねらい

「新聞から学ぶ経済問題」をテーマとします。経済学を学ぶうえで新聞はさまざまな情報を発信してくれる「宝の山」です。この講義は新聞記事を教材とする日本や世界の経済問題への入門講座です。担当者は日本経済新聞の編集委員，研究主管を務めたベテラン講師です。経済問題への理解だけでなく、「新聞の読み方や利用法」，「経済用語の解説」など就職活動や社会人となってからも役に立つに実践的な内容を講義します。ジャーナリズム・マスコミ関係を志望する者にとっても最適な講義です。

講義の内容・授業スケジュール

経済新聞を毎回配布し，それを資料として講義します。

成績評価の方法

出席状態とレポートで評価します。

教科書

教科書はありません。

参考書等

講義中に紹介します。

科目名	会計資格特別演習	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 勝浩				

講義のねらい

本講義は、特に税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法

出席率と講義中の演習で評価する。

教科書

社団法人全国経理教育協会編『演習法人税法』（清文社）

参考書等

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成19年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成19年度版〕』（TAC出版）
『法人税法 理論マスター〔平成19年度版〕』（TAC出版）

その他

法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

科目名	情報資格特別演習I	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ながい いさむ 永井 勇				

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」受験を希望する学生への対策講座です。同時に、情報処理技術(IT)の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門的資格です。情報関連企業に限らず、金融期間、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期では午前問題基礎対策講座として、主に午前問題のコンピュータサイエンス基礎とハードウェア/ソフトウェア基礎に力を入れて学習します。

後期では午後問題対策講座として、特にアルゴリズムの基礎の習得に力を入れ、その後に午後問題を中心に演習を行います。

ただし平成19年度秋期本試験の受験者を想定し、前期においても適時に午後の問題や下記スケジュール範囲外の問題演習を前倒して実施します。

前後期ともに講義に加え、その時点における最新の午前午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】午前問題基礎対策講座の目安

第1回 ガイダンス

〔講義/演習〕

第2回 コンピュータ概論

〔講義/演習〕

第3回 アルゴリズムの表現法

〔講義/演習〕

第4～5回 コンピュータの基礎理論 その1

〔講義/演習〕

第6～8回 コンピュータの基礎理論 その2

〔講義/演習〕

第9～11回 ハードウェアの基礎

〔講義/演習〕

第12～13回 ソフトウェアの基礎

〔講義/演習〕

【後期】午後問題対策講座の目安

第1回 午後問題解説

〔講義/演習〕

第2～3回 基礎的なアルゴリズム

〔講義/演習〕

第4～6回 代表的なアルゴリズム

〔講義/演習〕

第7回 データ構造

〔講義/演習〕

第8～10回 プログラム設計と内部設計

〔講義/演習〕

第11～12回 総合演習

〔演習〕

(上記スケジュールは状況により変更することがあります)

履修上の留意点

「基本情報技術者試験」は、午後の問題においてCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語のうち少なくとも1ヶを習得していることが前提です。そのため高等学校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を修得していることが望ましい。また時間上の制約から、講義内容の一部(データベース、ネットワーク、システム開発)を情報資格特別演習II(初級システムアドミニストレータ試験対応)で補うため、同講座を同時履修している事が望ましい。

今後の受験勉強に備え、平成19年度秋期の本試験を受験することが望ましい。特に後期後半はこの秋期本試験を受験したことを前提に講義を進める。

成績評価の方法

定期試験では、基本情報技術者試験の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

教科書

『コンピュータシステムの基礎』(㈱アイテック) 4,200円(税込)

参考書等

- ・基本情報技術者試験の過去の問題を適時に配布
- ・JTECのホームページを適時に参照

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習IIは来期以降に履修することもできますが、内容的に本講座と補っているため((3)参照)、同時履修することをお勧めします。

科目名	情報資格特別演習II	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	井川 俊実				

講義のねらい

パソコンの普及により、誰でもがコンピュータを仕事や趣味に利用する時代になっています。「初級システムアドミニストレータ試験」は、コンピュータ（パソコン）を道具として利用し、事務作業の効率化を推進する人のためにできた国家試験であり、この試験に合格することは就職にも有利になります。

本講座は「初級システムアドミニストレータ試験」の合格を目指す人は勿論ですが、「基本情報技術者試験」受験でも必要になる「ネットワーク」、「データベース」、「システム開発」の分野も取り上げますので、その合格を目指す人も履修することが望まれます。

講義の内容・履業スケジュール

講義は説明を行い、演習で講義内容の理解を確実にする形で進めていきます。演習は過去の情報処理技術者試験の午前問題、午後問題を取り上げ、本試験に対応できるようにします。表計算とデータベース（SQL）については、パソコン上でExcelとAccessを使った実習も行います。

また、講義内容の理解度を確認するための小テストを4回実施します。

- ・コンピュータの基礎知識
- ・パソコンのハードウェアとソフトウェア
コンピュータの仕組み、OSの機能など
- ・表計算ソフト
表計算ソフトの基本構造、セルの複写とセルアドレスの調整、関数
- ・関係データベースソフト
関係データベースの構造と特徴、データの正規化、SQL
- ・ネットワーク
コンピュータネットワーク、LANとクライアントサーバシステム、インターネット
- ・セキュリティ
ハードウェア／ソフトウェアによるセキュリティ、暗号と認証
- ・考え方を整理するための方法・知識
DFD、E-R図、デシジョンテーブル

履修上の留意点

本講座は主に「初級システムアドミニストレータ試験」を受験する人向けの講座であるので、ハードウェアやソフトウェアについてはコンピュータの利用者側の視点で講義を行います。コンピュータの基礎理論をじっくり学習するには、情報資格特別演習Iの同時履修が望まれます。

成績評価の方法

主に初級システムアドミニストレータ試験の過去問題を使用したテスト及び講義への出席率によって評価します。

教科書

「出る順 初級シスアド合格テキスト」(東京リーガルマインド) 1,890円

参考書等

『初級シスアドパーフェクトラーニング過去問題集』(技術評論社)
『コンピュータシステムの基礎』(アイテック)
テキストを補足する資料を適時配布します。

その他

初級システムアドミニストレータ試験の合格を目指す人は勿論ですが、パソコンを利用する上でもっと知識を深めたいと望んでいる人にもお勧めできる講座です。
なお、本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。

科目名	教員試験特別演習	開講	通年	単位	4
配当	経B1234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	谷敷 ^{やしき たかみつ} 正光				

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、小・中学校学習支援ボランティア（ティ칭ング・アシスタント）活動など、さまざまな活動を通して、教師としての資質・力量の涵養につとめたい。模擬授業実践、ボランティア活動など実践経験を要するものはサブゼミでも行います。

教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教員採用試験の実施状況
2. 教員試験の心構えと学習計画
3. 教師の資質と能力について
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和・人権教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際（演習）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 先輩教師との交流、対話
21. ティーチング・アシスタントの全員実施

履修上の留意点

講義、問題演習、各種討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。全員、小学校、中学校でティ칭ング・アシスタントを体験します。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、各種討論、小論文作成などを参考にするが、基本的には真剣さ、真面目さ、出席状況なども加味して総合的に評価するので、追試験は実施しない。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- (1) 『教育小六法』（学陽書房、三省堂など）
- (2) 小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

その他

小学校・中学校でティーチング・アシスタントを行なう他に、養護学校でのボランティア、自然体験学習指導者講習、救護員講習なども紹介します。ボランティア活動は教員の資質の養成に役立ちます。

科目名	マーケティング	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	そが のぶたか 曾我 信孝				

講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの実例を上げ（事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める）、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

なお、講義は全てパワーポイントを使って行う。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中で受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート（60%程度）と平常点（講義中の小レポートの評価：40%程度）によって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法－講義形式

科目名	商業史	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	幸野 保典 <small>こうの やすのり</small>				

講義のねらい

広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービスの受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新期から戦前期（1859年～1945年）までを四期にくぎり検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1期 外圧への権力・商人的対応。
1. 自由貿易の開始から産業革命へ。
 2. 外圧の下で拡大する国内市場。
 3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。
- 第2期 産業革命と流通の新基軸。
4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。
 5. 商業関連政策・制度の整備。
 6. 交通・通信網の発達と商業の再編。
 7. 第一次大戦期の商業と消費。
- 第3期 戦間期の商業と消費—不況・恐慌から景気回復へ—。
8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。
 9. 関東大震災後の商業構造の変容。
 10. 小売業の新たな展開。
 11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。
- 第4期 戦時下の商業統制。
12. 日中戦争の卸・小売業。
 13. 「新体制」下の商業再編成。
 14. アジア太平洋戦争期の配給機構。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に筆記試験を行う。

教科書

石井寛治編『近代日本流通史』（東京堂出版）2005年 2800円＋税 ISBN4-490-20550-3
石原武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年

参考書等

石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。鈴木安明『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。

その他

授業の方法—講義形式で行う。

科目名	消費経済論	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	あわは あき 姉齒 暁				

講義のねらい

「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動が抱える問題が噴き出す場でもある。私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。米国産牛肉の輸入禁止をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金の無人店舗から消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 今日の「生産」「流通」と消費経済
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 2. 経済の変化と消費生活
 3. 流通システムの変化と消費生活
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. 豊かさ論議をめぐる「消費のサービス化」から豊かさを考える
 2. 家計と金融—家計内債務と消費者問題
 3. 「情報」・「情報化社会」と消費
 4. ITと消費生活への影響
- III. グローバリゼーションと消費生活
 1. 食料輸入大国日本の消費生活
 2. グローバリゼーション下における地域経済と消費生活
 3. 環境問題を生産・流通・消費の相互連関から考える

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法

中間試験及び学年末試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも、随時、評価に組み入れる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

参考文献などについては講義の中でそのつど紹介する。

その他

配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

科目名	経営管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(16年度以降入学生)				
担当者名	岩波 <small>いわなみ</small> 文孝 <small>ふみたか</small>				

講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。企業におけるマネジメントの基本的役割、企業管理の発展史を踏まえ、企業管理の現代的課題を考察していく。本講義は、現代企業における株式所有・会社支配・戦略的管理に関連づけてコーポレート・パワーの権能の行使および行使システムの現代的特質を明らかにし、現代の企業管理におけるトップ・マネジメントの構造と機能を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 経営管理論と企業・市場・社会
- 3 市場・社会と企業：国際比較
- 4 アメリカ企業と社会
- 5 アジア企業と社会
- 6 EU社会の変貌と企業
- 7 市場移行と東欧企業
- 8 ロシア企業と社会
- 9 多様化する市場・社会と企業管理の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

前期末（2007年7月）の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	経営管理論 b	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(16年度以降入学生)				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

講義のねらい

現代の企業管理の構造的特質、特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解することを目的として、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。本講義は、コーポレート・パワー行使に対する企業間関係のパーспекティブを導入し、現代企業の株式所有・会社支配・戦略的管理の考察にあたって、企業間関係のパーспекティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業と社会：社会的責任
- 3 現代社会におけるCSR
- 4 SCRの評価と市場
- 5 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパーспекティブ
- 6 企業と社会：社会ネットワークのパーспекティブ
- 7 企業と社会：非営利組織のパーспекティブ
- 8 企業と社会：グローバル化のパーспекティブ
- 9 持続可能な発展と企業管理の課題
- 10 経営管理論の現代的課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

後期末（2008年1月）の定期試験により評価します。

教科書

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

参考書等

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	人的資源管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ほり りゆうじ 堀 龍二				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことで、端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。a（前期）では、主にわが国の雇用の変化と新しい働き方の問題を取り上げます。

いま、雇用のあり方は流動化、多様化、階層化という事態を迎えています。まず長期勤続を奨励する従来の雇用政策から従業員の入れ替えがしやすい政策への転換がみられます。次に、いわゆる正社員という雇用形態だけでなく、パート、派遣、契約といった非正規雇用の活用が進んでいます。非正規雇用は雇用者全体の3割にも達しています。また、正社員の間でも職種別、地域別、組織別に別々の人事制度を適用する複線化が進められています。さらに、最近では、労働基準法による労働時間規制を適用しない「ホワイトカラー・エグゼンプション」という新しい働き方が検討されています。このような雇用のあり方の変化は、何を背景にして生じているのか、企業の経営戦略とどのように結びついて展開されてきているのか、それが働く者にとってどのような意味を持つのかこうした問題を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本の経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エグゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き（労働契約法）
15. 雇用問題の日米比較

履修上の留意点

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、前期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。（2,600円＋税）。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	人的資源管理論 b	開講	半期	単位	2
担当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ほり ゆうじ 堀 龍二				

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するかという問題を取り上げます。つまり、人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生などに関する諸制度です。

いま、わが国企業は、激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の更なる有効活用を追求しています。そこで登場してきたのが、従来の年功主義や能力主義ではなく、成果主義という新たな方針です。この成果主義はかなり普及してきましたが、その具体的制度の導入や実施・運営をめぐる混乱や不満も引き起こしています。本講義は、成果主義に基づいて展開されている、新しい人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生の諸制度の実態と問題点を探ることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷（属人給と仕事給）
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用（総額人件費）
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

履修上の留意点

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

成績評価の方法

出席、小レポート（毎回）、後期定期試験を総合して評価します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。（2,600円＋税）。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	財務管理 a	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	しらさき とおる 白坂 亨				

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本運用（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割
4. 配当政策
5. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	財務管理 b	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	しらさき とおる 白坂 亨				

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本運用（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 資金調達の実態—株式資本—
2. 資金調達の実態—借入れ資本—
3. 資金調達の実態—社債資本—
4. 資金調達の実態—自己金融—

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科目名	経営学史	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	こさか たかひで 小阪 隆秀				

講義のねらい

アメリカ経営管理論の歴史的な展開を中心にして、経営学の発展史を跡付けていくことが、この講義の目的である。経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論に支えられて成長することができた。そして、企業の成長と発展にともない、それまでの理論は古いものとなっていき、やがて新しい管理の理論を必要とするようになる。その新しい理論が、さらに企業の成長と発展を可能にしていくことになる。本講義では、このようにして経営学の発展史が形成されてくることを、明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：①初期のマネジメント思想
②科学的管理の理論とその発展
③人間関係論とモチベーション
後期：④組織とリーダーシップ
⑤企業と戦略
⑥企業と社会

履修上の留意点

これまでに習った経営学や経営管理の理論を復習するとともに、これから習うさまざまな管理の理論をしっかりと身につけることが重要である。それによって、経営学の体系が理解できるようになる。

成績評価の方法

学年末試験80%、夏休みのレポート20%、この他に授業中に行う4回から6回程度の小テストによって点数の上乗せ措置を設けている。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

D. S. ピュー、D. J. ヒクソン著、北野利信訳『現代組織学説の偉人たち』(有斐閣)、J. シェンドレイク著、齊藤毅憲、他訳『経営管理論の時代』(文真堂)

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	小栗 <small>おぐり たかし</small> 崇資				

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計についての規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考えるー変わる会計と経済』（大月書店）

科目名	管理会計論 a	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、管理会計の基礎的な概念を学ぶことにする。その上で、意思決定に関わる具体的な手法を取り上げることにする。

履修上の留意点

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。
また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

前期末の試験により評価する。

教科書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	管理会計論 b	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二				

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・
授業スケジュール

伝統的な管理会計研究との相違を明らかにした上で、とくに「リスク・マネジメント」にかかわる会計現象を取り上げ、考察を加えることにする。

履修上の留意点

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

後期末の試験により評価する。

教科書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	原価計算論	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	鈴木 <small>すずき かつひろ</small> 勝浩				

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

成績評価の方法

定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書

清水孝／長谷川恵一／奥村雅史著『入門原価計算（第2版）』（中央経済社）

参考書等

参考文献については必要に応じて紹介する。

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	たかき かつみ 高木 克己				

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与(報酬、給料、賞与)の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	経営分析	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智				

講義のねらい

企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えています。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を正確に把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどの様な状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ガイダンス (2・3) 財務諸表分析とは何か
(4～12) 貸借対照表とその分析 (13) まとめ
(後期) (14～16) 貸借対照表と損益計算書 (17～19) 株主資本等変動計算書とその分析
(20～25) キャッシュフロー計算書とその分析 (26) まとめ

履修上の留意点

日頃から企業に関心を持つと良いでしょう。また、財務諸表や資料を収集する労力を惜しまないことも必要だと思います。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、期末レポートの内容および試験の結果などから総合的に判断して評価します。

教科書

あずさビジネススクール編『財務諸表分析入門』三訂版 会社法対応(エクスメディア)

参考書等

参考書等は必要に応じて紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科目名	上級簿記	開講	通年	単位	4
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふくしま たかし 福島 隆				

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。2006年度は学生の要望が多かったため、商業簿記終了後は工業簿記を行いました。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。授業中に2回中間試験を行います。

- (1) ガイダンス (2) 現金預金 (3) 有価証券 (4・5) 手形
- (6) 引当金 (7・8) 商品売買 (9・10) 特殊商品売買取引
- (11) 固定資産 (12) 税金 (13・14) 株式会社会計 (15・16)
- (17) 本支店会計 (18・19) 帳簿組織 (20～) その他の論点

11月の日商簿記2級の試験までに、2級の商業簿記の範囲を終わらせます。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに（つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として）、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

- 評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。
- (1) 平常点重視型・出席10点、課題30点（3点×10回）、中間試験40点（20点×2回）、定期試験20点。
 - (2) 試験重視型・中間試験60点（30点×2回）、定期試験40点。

教科書

福島隆「上級簿記」。これは、上級簿記を教えるための自作のテキストなので、駒澤大学の売店以外では販売しません。値段は3000円前後です。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

科目名	貿易論	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命体との共存、などを基本とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農作物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）

科目名	銀行システム論	開講	半期	単位	2
担当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	齊藤 <small>さいとう</small> 正 <small>ただし</small>				

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。

(2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。

1) 銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。

2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

3) 地域金融機関の再編・淘汰が進む一方、地域経済の「疲弊」が深刻化している。経済発展に果たすべき銀行の役割について考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 後期科目の「現代銀行事情」
- 2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
吉田暁『決済システムと銀行・中央銀行』日本経済評論社、2001年

科目名	現代銀行事情	開講	半期	単位	2
配当	経B234選(18年度以前入学生) 経A234選(18年度以前入学生) 商234選(18年度以前入学生)				
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正				

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

(1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関(普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など)の役割を理解する。

(2) 時期区分は、おおまかに高度成長期(1974年まで)、低成長・自由化期(1985年まで)、バブル経済期(1990年まで)、グローバル期(1990年代以降)とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。

(3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指したビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

(4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「銀行システム論」
- 2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年
大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融』大月書店、2001年
川波・上川編著『現代金融論』(有斐閣ブックス)2004年

科目名	ビジネス英会話 a	開講	半期	単位	2
配当	経A234選（18年度以前入学生） 商234選（18年度以前入学生） 経B234選（18年度以前入学生）				
担当者名	井上 愛子 <small>いのうえ あいこ</small>				

講義のねらい

本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義

- 1回目 インTRODクシヨン
- 2-4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
- 5-6回目 プレゼンテーション
- 7-10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
- 11-12回目 プレゼンテーション
- 13回目 テスト

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。
履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。

教科書

1) ディビッド・ワグナー 2) ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 3) 朝日出版社 4) 1400円 5) IS BN4-255-99044-1

参考書等

適宜授業中に案内します。

その他

英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

科目名	ビジネス英会話 b	開講	半期	単位	2
配当	経A234選 (18年度以前入学生) 商234選 (18年度以前入学生) 経B234選 (18年度以前入学生)				
担当者名	井上 <small>いのうえ あいこ</small> 愛子				

講義のねらい

本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義
 1 回目 イントロダクション
 2 - 4 回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
 5 - 6 回目 プレゼンテーション
 7 - 10 回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
 11 - 12 回目 プレゼンテーション
 13 回目 テスト

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。
履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。

教科書

1) ディビッド・ワグナー 2) ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 3) 朝日出版社 4) 1400円 5) IS BN-255-99044-1

参考書等

適宜授業中に案内します。

その他

英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経B2選				
担当者名	<small>経経ふき かつお</small> 大吹 勝男				

講義のねらい

今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告ブランドと物流』をテーマに学習します。近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。

それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

そ の 他

<課題研究の有無>
 義務ではありませんが、3年次および4年次には併せて開講します。

科目名	演習I	開講	通年	単位	4
配当	経B2選				
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光				

講義のねらい

テーマ【工業化と学校】

2年生の演習は日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能であったのか、日本の工業化・近代化の過程を通じて明らかにします。

講義の内容・ 授業スケジュール

【前期】工業化・近代化の過程で外貨の獲得に貢献した製糸業、豊田佐吉の力織機の発明で飛躍的に発展した織物業、豊田喜一郎がつくった国産初の乗用車などの理解の手がかりとし、和田英『富岡日記』、山本茂美『ああ野麦峠—ある製糸工場の女工哀史』、邦光史郎『トヨタ王国』などの経済小説を読みすすめ、「ああ野麦峠」「国産車ゼロからの出発」「近代産業の形成」などのDVDやVTRを教材として使用し、班別の課題研究発表、プレゼンテーションを行います。

【後期】前期に学んだ題材にかかわる「学術論文」を読みすすめ、工業化・近代化に関する基本的文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムの形成と織業地学校、工場内学校の設定について課題研究発表、プレゼンテーションを行います。

履修上の留意点

4年生まで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

授業の出席を基本にレポート、合宿での発表などで総合評価します。

教科書

授業中に紹介します。

参考書等

授業中に紹介します。

その他

- ① 4年生のゼミでは「課題研究」（4単位）を併設しています。
- ② 3年生のゼミでは「インターンシップb」（2単位）を併設しています。詳しくは「インターンシップb」のページを参照して下さい。
- ③ 「専修課程」を開設しています。以下の科目の中から5科目履修して下さい。「専修課程修了認定書」を授与します。系統学習する科目は演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、教育経済論、日本経済論、日本経済史、経済史、西洋経済史、商業史、経済政策、工業政策、農業政策、労務管理、景気循環論、中小企業論、応用マクロ経済学、応用ミクロ経済学。
- ④ 上記は履修せず、演習だけの履修でもかまいません。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選				
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんじ</small>				

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、あるいは世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

『日本の論点』（文藝春秋）、および会計の基本テキスト。

参考書等

その都度指示します。私のホームページ (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>) も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

科目名	演習I 演習II	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選				
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治				

講義のねらい

現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本の経営の何を残し、何を変革すべきか？
- (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年

参考書等

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年

その他

「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学基礎、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	あわは あき 姉齒 暁				

講義のねらい

演習Iでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらおうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。

具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、簡潔かつ安価な新書やブックレットを題材に、レジュメを作成し、報告した上で、全員で討論を行います。

演習IIは、Iに引き続き、文献の購読と報告、討論を行います。課題研究のための文章作成能力や自分がたてた仮定を実証するための資料収集、解析、プレゼンテーションの能力を磨くために、エッセイを書いてもらい、報告・意見交換を行うこととなります。

演習IIIは、課題研究を行うこととなります。論文作成を行いながら、「熱い心」と「冷徹な分析力」を養ってもらいたいと思います。

いずれも、課題研究のために必要不可欠な「問題意識を持つこと」そして、それを研究・論文作成を通じて形にしていくことを目的にしていますが、そのプロセスで味わう充実感を楽しんでもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミの活動と最終目標である課題研究論文作成に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。文献を読み、資料を集め、レジュメ作成を行い、報告・討論を繰り返すことで文献や問題への理解が深まると同時に、ゼミ生同士の相互理解も深まっていくことでしょう。

履修上の留意点

遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。

また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。

成績評価の方法

報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

教科書

最初の時間に提示します。

参考書等

最初の時間に提示します。

その他

課題研究論文の提出を義務とします。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘				

講義のねらい

文化経済学の発展をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表することとします。
年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。
「卒業研究」（4年次）を併設します。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	あらかし よしひろ 荒木 勝啓				

講義のねらい

EXTDを使い、回帰、非線形回帰、移動平均までを行なうソフトを開発し、それをもとに経済予測の基礎を研究する。EXTDはプログラミング言語のC言語をさらに簡単にした開発環境ソフトである。既成のソフトを与えられて使うのではなく、自分で自分好みのソフトを作りたいと考えている人にはEXTDは世界中で最も易しい開発環境ソフトのうちの1つであろう。パソコンやプログラミングをしたことのない者でもキーボードのブラインドタッチから指導するので問題ない。

成績評価の方法

成績評価は出席点+（実データをもとにした予測研究）で行なう。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ありい ゆきお 有井 行夫				

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫or妻の争奪戦からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残りの競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残りの競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。経済のグローバルゼーションは、企業のこの傾向をさらに純化し強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

諸君の人生のかなりの部分で関わらざるをえない企業中心社会の課題に、思い切って真正面からぶつかってみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

各人が毎週興味を持った新聞記事をレポートし、それに基づいて討論します。

履修上の留意点

平常点（出席、レポート、発言）。

成績評価の方法

テキストは特に使わず、日々の新聞に報じられる「日本型企业社会の変貌」に着目します。

教科書

ロナルド・ドーア『誰のための会社にするか』岩波新書

参考書等

〈課題研究の有無〉
課題研究を併設します。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B4選				
担当者名	岩下 弘 <small>いわした ひろし</small>				

講義の内容・授業スケジュール 流通・流通政策の国際比較

履修上の留意点 とにかく出席すること。

成績評価の方法 出席。

教科書 特に指定しない。教材は必要に応じて配布する。

参考書等 必要に応じて指示する。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	岩波 文孝 <small>いわたかみ ふみたか</small>				

講義のねらい 企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。演習では、企業間ネットワークとトップ・マネジメント機能の理解を中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関わり、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が直面する諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点 ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法 ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書 開講時に指定します。

参考書等 開講時に指定します。

その他 演習Ⅱまたは演習Ⅲに課題研究を併設しています。専修課程を認定します。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	小林 ^{こばやし} 正人 ^{まさひと}				

講義のねらい

テーマは「日本の経済社会の歴史と現状」であり、戦後の日本経済の発展の歴史と、その中で発生した諸問題について検討する。あわせて文献の読解力、発表力などの学生の思考力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生による文献に関するレジユメの提出と発表、論点の提示と討論など、ゼミ生中心で進める。

この二年間のゼミでは、下記の文献を使って日本経済の歴史、現状、問題点について議論を重ねた。また年度末には自由なテーマでレポートを作成した。

1. 橋本俊詔『家計からみる日本経済』岩波新書、2004年
2. 暉峻淑子『豊かさの条件』岩波新書、2003年
3. 川北隆雄『経済論戦－いま何が問われているのか－』岩波書店、2005年
4. 中村政則『戦後史』岩波書店、2005年

今年度は下記の文献に取り組みつつ、課題研究にもそなえる。

5. 神野直彦『人間回復の経済学』岩波書店、2002年
6. 田中陽『セブーンイレブン 覇者の奥義』日本経済新聞社、2006年
7. 国友隆一『セブーンイレブン 高収益・高集客の法則』ぱる出版、2005年

履修上の留意点

ゼミ生による堅実な出席、分担部分のレジユメの提出と発表、積極的な発言などを求める。

成績評価の方法

出席状況と、ふだんの発表やレポートを総合して評価。

教科書

授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

4年生に課題研究を併設。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	さいとう ただし 齊藤 正				

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代にあります。それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本的経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参考書等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
担当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	<small>しみず たかし</small> 清水 卓				

講義のねらい

フレックスAのゼミと全く同じように運営します。当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。とはいえ、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法制定、加盟国拡大問題、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

2年次はディベート、3年次は専門書購読、4年次は論文作成が中心です。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

中・東欧諸国加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学（日本銀行貨幣博物館、TBS他）などの行事を行ったり、春と夏には、楽しい合宿をやりま。

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOFRE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正『ヨーロッパ経済論』（ミネルヴァ書房）2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治『現代ヨーロッパ経済論』（有斐閣）2001年刊 2,500円

その他

「課題研究」併設。
ヨーロッパ経済論 専修課程。
ヨーロッパ経済論、清水演習I・II・III、理論経済学IA・IB、国際経済論、日本経済論、経済史、西洋経済史

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	代田 純・森谷 智子				

講義のねらい

4～7月期においては、金融の入門書を取り上げる。
9～12月期においては、証券市場論について学習する。

成績評価の方法

出席と発表によって評価する。

教科書

ゼミ開講後に相談して決定する。

その他

本年度、「演習Ⅰ」は募集いたしません。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	鈴木 伸枝				

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

公共経済学のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

「課題研究」を併設します。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済・社会・経営などにかんする学習と研究。

講義の内容・授業スケジュール

「基礎はしっかり、研究は自由に」がこのゼミのスローガンです。
ゼミ開講直後は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたなどを習得します。
その後は、各自の自由研究の発表を恒常的におこないます。何を学習・研究するかは、かなり幅広くみとめます。4年生は卒業研究の報告を随時してもらいます。
そのなかで、思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などが体得できるようにゼミ活動を展開します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。
アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことは、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役に立ちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	曾我 ^{そが のぶたか} 信孝				

講義のねらい

本当の意味のマーケティングとは何かを段階的に学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

合併で授業を進めるが、平常は学年を混ぜてチームを作り、私が提出した課題をチームで調査、発表する形式で進める。前期は主にプレゼンテーションの能力を高めることを目的に、調査発表をしてもらう。後期はディベートの能力向上のためのテクニックなどを考慮に入れた討論形式で発表してもらう。後期には他学年を相手にしたディベート大会に参加する。(受講生の人数によって、方法は若干変わるかもしれないが、内容的には大きな変化はない)

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な学生さんを求めています。

成績評価の方法

平常点(授業中の発表、レポート、チーム学習などから判断する。)課題研究に関しては、論文の内容をもって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法-ゼミ形式

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵				

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿をおこないます。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書

北原淳・西澤信善 [編著] 『アジア経済論』現代世界経済叢書 4 ミネルヴァ書房、2004年、3,200円、税

その他

「課題研究」を併設します。

アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目

アジア経済論、演習II・III、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明				

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料を使ってすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。（希望者のみ）
〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、
中国経済論、日本経済論

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦				

講義のねらい

現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を学びながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
 2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
 3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。
 4年次は、自分でテーマを決めて課題研究をまとめます。
 また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート (2) 平常点 (レジュメ、報告、討論の状態)、(3) 出席で評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習のなかで紹介します。

その他

(1) 課題研究を併設します。
 (2) 専修課程 (社会経済史専修) の認定をします。
 演習I、演習II、演習III、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	<small>なかすみ 光あき</small> 中濟 光昭				

講義のねらい

インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

履修者のパソコンスキルによっては、ITリテラシー、レジュメ作成、レポーティング、プレゼンテーションなどの実習を行います。各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

履修上の留意点

メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。自宅にインターネットに接続しているパソコンがあることが必須です。

成績評価の方法

出席と課題提出、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書

別途指示

参考書等

別途指示

その他

- ・今年度はオーストラリアでの在外研究から戻りゼミをゼロから再構築します。新しいゼミと一緒に作っていただける積極性のある学生の参加を希望します。
- ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。
- ・課題研究を併設します。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜				

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉強態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉強に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉強はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教を胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎しむこと

履修上の留意点

「課題研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造				

講義のねらい

アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つをとってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 次のテーマについて研究発表を行う。
 - A 多様な人間社会（ライフスタイル）
 - 1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 - B 多様な人間関係
 - 1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換）
 - 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ② スワヒリ語を学ぶ

履修上の留意点

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「課題研究」を併設する。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	ほり りゆうじ 堀 龍二				

講義のねらい

労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代的問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働き方やねらいと自らの望む働き方をいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をする能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較なども行う。

履修上の留意点

テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。

成績評価の方法

ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。

教科書

初回に相談して決める。

参考書等

適宜、紹介する。

その他

課題研究を併設する。
専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、労務管理論、演習などである。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平				

講義のねらい

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用方法 Excelの使用方法 データの要約と視覚化
基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定
数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3
縄田『Excelによる統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3
得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2

その他

レポーターによる報告に基づいて進める。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	溝手 芳計 <small>みぞて よしかず</small>				

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点

ゼミは集団学習相互修練の場です。世の中答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い教えあい意見交換していくことを大切にしてください。ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、ゼミ運営や議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習II、演習IIIに、「課題研究」を併設します。
専修課程<経済と暮らし>を開設します。（指定科目については、年度初めに確かめてください。）

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	みつおか ほうみ 光岡 博美				

講義のねらい

日本の福祉、社会保障、労働問題を中心とした日本経済の学習。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って各自に報告してもらい、討論する。具体的なゼミの進め方については、参加人数などを考慮して必要な工夫を行う。多数の希望があれば必要に応じて合宿なども実施する。

履修上の留意点

各自の関心に応じて自主的に学習することが望ましいが、最低でもテキストは事前に精読しておくこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート報告など総合的に判断する。

教科書

参加者の意見や希望も考慮して決める。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

講義のねらい

日本の人口は2005年から減少に転じた。少子高齢化が進んできたわが国の人口もいよいよ絶対的減少の時代に入った。しかもその減少が極めて急速であることが危惧される点である。

講義の内容・
授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国の人口減少・少子高齢化経済とは一体どういう社会なのかを探ってみたい。

履修上の留意点

休まず遅れず参加することが演習履修の大前提である。議論への積極的参加が要求される。

成績評価の方法

平常点。

教科書

未定

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「課題研究」を併設する。

科目名	演習I 演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志				

講義のねらい

比較経済論

講義の内容・
授業スケジュール

テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

2年次生は入門的文献、3年次生は専門的文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。

「課題研究」有。

〔比較経済論〕専修課程

系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Ⅰでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を輪読し、基本的事実や先行研究について理解することを目標にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

学生が主体となったレポート（報告）&ディスカッション（討論）形式を基本とする。素朴な疑問などを遠慮なく出しあえる自由な雰囲気場にしていきたい。フレックスAゼミとの交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

演習Ⅱ、演習Ⅲに課題研究を併設する。

科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B3選 経B4選				
担当者名	おおぶき かつわ 大吹 勝男				

講義のねらい

昨年の継続として、『マーケティングにおける広告とブランド』の学習を深めます。それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他

<課題研究の有無>
義務ではありませんが、三年次あるいは四年次には併せて開講します。

科目名	演習II 演習III	開講	通年	単位	4
配当	経B3選 経B4選				
担当者名	やしき ただみつ 谷敷 正光				

講義のねらい

テーマ〔日本の工業化と学校〕

戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにするとともに、戦後60年間の日本型経済システムの形成過程とその帰結を基本文献や「学术论文」を使って明らかにします。

講義の内容・ 授業スケジュール

戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書

授業中に紹介します。
学术论文は授業中に配布します。

参考書等

参考文献などは必要に応じて適宜紹介します。

その他

課題研究を併設しています。

＜専修課程認定の有無＞

有り……以下の科目の中から5科目履修すると「専修課程」修了を認定し、経済学部から「専修課程終了認定書」が授与されます。（「専修課程」は履修せず、演習だけの履修でもかまいません。）

教育経済論、景気循環論、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、日本経済論、日本経済史、西洋経済史、経済史、経済政策、工業政策、農業政策、社会政策、財政学、人口論、マーケティング、中小企業論。

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B4選				
担当者名	いしかわ じゆんじ 石川 純治				

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、あるいは世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

『日本の論点』（文藝春秋）、および会計の基本テキスト。

参考書等

その都度指示します。私のホームページ（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm>）も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。

科目名	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B2選 経B3選 経B4選				
担当者名	おおいし 雄爾 大石 雄爾				

講義のねらい

昨年度の演習では、現実の日本経済について幅広く学びました。今年度はそれを踏まえて、市場経済の進歩的な側面とそれが抱える本質的な問題点について検討し、資本主義経済の基本的特徴に関する理解を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

いまや、世界中が市場経済に組み込まれています。これは資本主義的な商品経済の仕組みが、地球的な規模で成立したことを意味しています。そのため、現代社会の政治や経済を理解するには、市場経済の法則および運動の仕組みを理解することが求められます。
今年度の演習では、マルクスが『資本論』で明らかにした資本主義経済の経済法則について学び、すでに学んだ日本経済の仕組みや地球環境問題に関する理解を深め、現代資本主義の本質に迫ります。

履修上の留意点

少人数で共通問題について学習するので、全員そろっていることが授業の前提となります。参加者はその点を自覚し、欠席や遅刻をしないよう心がける必要があります。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

鶴田満彦編『入門 経済学〔新版〕』（有斐閣新書）

その他

①「課題研究」を併設します。
②「専修課程」を開設します。この「専修課程」の履修は自由です
〈経済学と経済政策〉以下の科目の中から選択履修
経済理論A, 経済理論B, ミクロ経済学, マクロ経済学, 経済学史, 経済政策, 社会政策, 財政学, 金融論, 日本経済論, 中小企業論, 農業政策, 現代資本主義論, 人口論

科目名	演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	経B4選				
担当者名	ひやくた ましほる 百田 義治				

講義のねらい

現代日本企業が直面する経営管理に関するテーマ、特に「企業と社会」に関連する企業倫理やCSR（企業の社会的責任）に関するテーマを中心に、大きく変貌する日本企業の課題について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱの継続です。課題研究（卒業論文）の作成にむけて、各人が発表し、討論を積み重ねて行きます。

履修上の留意点

課題研究（卒業論文）の作成・提出が履修の前提です。

成績評価の方法

出席、発表内容、クラス・リーダーシップなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

なし

参考書等

課題研究のテーマに沿って指示します。

その他

「課題研究」（4単位）を併設します。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

①授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの頁を参照してください。(P.653)

②他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。

③配当学科の()内の学科生は、他学部履修科目として履修できません。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
国際紛争解決法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	王志安	923
法思想史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	高橋洋城	924
日本法制史		通年	4	休講	
西洋法制史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	北野かほる	925
国際関係論	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	三船恵美	926
地方自治法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	富井幸雄	927
倒産処理法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選	通年	4	鈴木貴博	928
アメリカ経営学	他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選	通年	4	宮城徹	929
経営組織論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選	通年	4	日野健太	930
公益企業論		通年	4	休講	

科目名	国際紛争解決法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選				
担当者名	おうしあん 王志安				

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構(WTO)の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(下)(東信堂)2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	法思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選				
担当者名	高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろぎ}				

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということに自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される(東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない)。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想(続)：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的世界像と社会契約説総説
- [7] ホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する
- [9] ルソールの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる(定期試験のみを受験するのでもかまわないということ)。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	西洋法制史	開講	通年	単位	4
担当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他（法B）経B営B34選				
担当者名	きたの かほる 北野 かほる				

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世（1066-1350）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世（1350-1650）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	国際関係論	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選 他(法B) 経B営B34選				
担当者名	三船 恵美				

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、国際機構、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 《9・11》以後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ルワンダ・ダルフルからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. #2～9、19～25のクイズ(=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法

試験(100%)。

教科書

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬、大矢根聡編(有斐閣)2,000円 ISBN4-641-1732
5-7
天兒慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円+税。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商営A34選 他(法B) 経B 営B34選				
担当者名	とみい ゆきお 富井 幸雄				

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成19年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	倒産処理法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選 他(法B) 経B営B34選				
担当者名	鈴木 ^{すすき たかひろ} 貴博				

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民法法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円
伊藤真『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円
青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名	アメリカ経営学	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選				
担当者名	みやぎ てつ 宮城 徹				

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかなする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2005年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー)(8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1997年
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
 - 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000年(A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
 - 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., Organisation. Eine { } ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科目名	経営組織論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選 他(営B) 経B法B34選				
担当者名	日野 健太				

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り(番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。)

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』(日経文庫)

参考書等

桑田・田尾『組織論』(有斐閣)
大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)
田尾『モチベーション入門』(日経文庫)
経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。